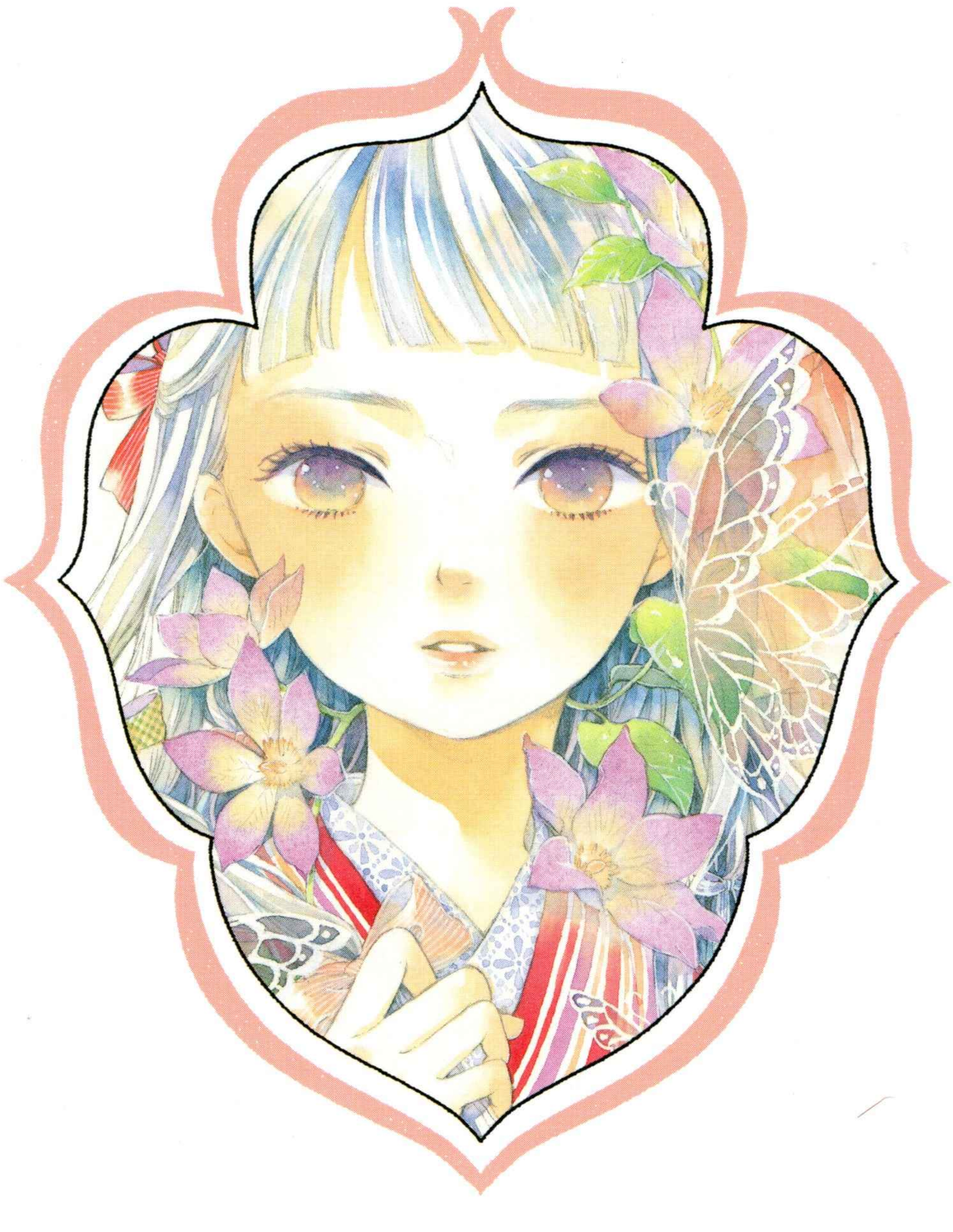
SS illust making book

スモールエス編集部・編



SS イラストメイキングブック

水彩 vol.01

はじめに

メイキング＆投稿マガジン「ＳＳスモールエス」の単行本シリーズ『ＳＳイラストメイキングブック ～ＳＳ illust making book ～水彩 vol.01』をお手に取ってくださりありがとうございます。シリーズ第２弾は、水彩を使ったイラストの描き方をお届けします。水彩絵具は、これまで風景などを描く画材として一般的に用いられていましたが、近年はキャラクターイラストを彩る画材としても盛り上がりを見せています。水彩絵具には、「透明水彩絵具」と「不透明水彩絵具」という２つのタイプがあります。透明水彩は、色を重ねると下の色が透けて見える透明度の高い絵具で、不透明水彩は、重ねても下の色が透けないマットな質感の絵具。それぞれに出せる効果や発色も異なります。本書では主に、透き通った色彩表現ができる透明水彩で、キャラクターイラストを彩る方法を紹介していきます。透明水彩は、水で溶くことで、幅広い濃淡をつくることができ、にじみ、グラデーションなど様々な表現が楽しめる画材です。メイキングでは、６人の作家たちが、水彩のテクニックを巧みに使い、淡い透明感や、ふんわりとした愛らしさ、艶やかな色気、幻想的な味わいなど、様々なテイストでキャラクターを魅力的に描き出しています。本書の巻頭では、友風子さんによる表紙の描き下ろしメイキングを完成までたっぷり紹介。そして、ましきさん、七神マナさん、うめつぼみさん、にびさん、朱華さんは、「ＳＳスモールエス」に掲載された記事を再構成の上、作品ギャラリー、創作の秘密やテクニックに迫るＱ＆Ａも追加したスペシャル版にてお届けします！

contents

はじめに……002

ホルベイン透明水彩絵具カラーチャート……004

「ホルベイン×友風子 透明水彩絵具 12 色セット」描き下ろしパッケージメイキング……006

「透明水彩の使い方【基礎編】」……008

chapter 01　友風子……009

「水筆を使って塗ろう」……035

chapter 02　ましき……037

chapter 03　七神マナ……051

「水の量を変えて塗ってみよう」「さまざまな画材メーカーの１２色セット」……065

「用紙を塗りためそう」……066

chapter 04　うめつぼみ……067

chapter 05　にび……081

chapter 06　朱華……095

「水張りをしてみよう」……109

「肌って何色で塗ればいいの？」……110

おわりに……111

ホルベイン 透明水彩絵具 カラーチャート

透明水彩絵具は、いろいろな画材メーカーから発売されていて、その色数や色味もメーカーによって様々です。チューブで一色ずつ販売をしていますが、はじめは基本色が揃った１２色セットを購入して、気になる色を単品で買い足すのがおすすめ。また、透明水彩絵具は異なるメーカー同士でも混色が出来るので、複数のメーカーから色を選んでもOKです。この本に登場しているメイキング作家の方も、いくつかのメーカーの透明水彩絵具を併用して着彩しています。ここでは全員が共通して使っていたホルベイン透明水彩絵具の全108色をカラーチャートで紹介します。色数が豊富で、価格も手に取りやすく、初心者からプロまで広く使われている人気の高い絵具です。

クリムソン レーキ
パーマネント アリザリン クリムソン
カーマイン
ローズ マダー
キナクリドン レッド
ピロール ルビン
ペリレン マルーン
ピロール レッド
キナクリドン スカーレット（チェリーレッド）
スカーレット レーキ
オペラ（キナクリドン オペラ）
ブリリアント ピンク
シェル ピンク
カドミウム レッド パープル
カドミウム レッド ディープ
カドミウム レッド ライト
バーミリオン
バーミリオン ヒュー
カドミウム レッド オレンジ
ブリリアント オレンジ
パーマネント イエロー オレンジ
カドミウム イエロー オレンジ
カドミウム イエロー ディープ
カドミウム イエロー ライト
カドミウム イエロー ペール
カドミウム イエロー レモン
イミダゾロン レモン
イミダゾロン イエロー
ガンボージ ノーバ
イソインドリノン イエロー ディープ
キナクリドン ゴールド
パーマネント イエロー ディープ
パーマネント イエロー ライト
オーレオリン
パーマネント イエロー レモン
レモン イエロー
ネイプルス イエロー
ジョーン ブリヤン No.1
ジョーン ブリヤン No.2
グリニッシュ イエロー
オリーブ グリーン
リーフ グリーン
パーマネント グリーン No.1
パーマネント グリーン No.2
カドミウム グリーン ディープ
カドミウム グリーン ペール
フーカス グリーン
バンブー グリーン
コバルト グリーン
ビリジャン
ビリジャン ヒュー
エメラルド グリーン ノーバ
コンポーズ グリーン
サップ グリーン
テール ベルト

グリーン グレイ
シャドー グリーン
フタロ ブルー レッド シェード
フタロ ブルー イエロー シェード
マリン ブルー
ターコイズ ブルー
コバルト ターコイズ ライト
ピーコック ブルー
マンガニーズ ブルー ノーバ
ホリゾン ブルー
コンポーズ ブルー
バチター ブルー
セルリアン ブルー
コバルト ブルー
コバルト ブルー ヒュー
ウルトラマリン ライト
ウルトラマリン ディープ
プルシャン ブルー
ロイヤル ブルー
インジゴ
ラベンダー
パーマネント バイオレット
ミネラル バイオレット
コバルト バイオレット ライト
ライラック
ブライト バイオレット（ルミナス）
ブライト ローズ（ルミナス）
キナクリドン マゼンタ（ローズ バイオレット）
キナクリドン バイオレット（パーマネント マゼンタ）
マース バイオレット
インデアン レッド
イミダゾロン ブラウン
ライト レッド
バーント シェンナ
バーント アンバー
ロー アンバー
ロー シェンナ
イエロー オーカー
イエロー グレイ
アンバー
バンダイキ ブラウン
セピア
アイボリ ブラック
ランプ ブラック
ピーチ ブラック
ニュートラル チント
ペインズ グレイ
デービス グレイ
グレイ オブ グレイ
チャイニーズ ホワイト
チタニウム ホワイト（オペーク ホワイト）
ゴールド
シルバー

※印刷のため実際の色味とは多少異なります。

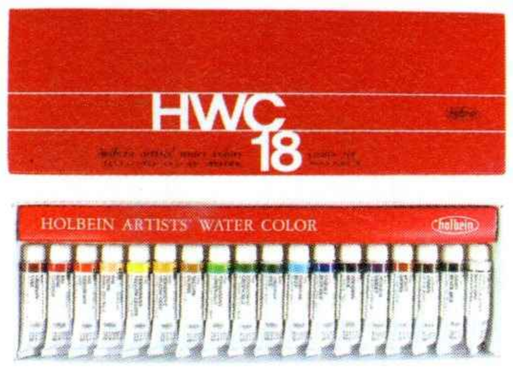
※黒い紙に塗布した色見本です。

※黒い紙に塗布した色見本です。

ホルベイン透明水彩セット

12 色セット　◎2,300 円＋税

クリムソン レーキ／バーミリオン ヒュー／イエロー オーカー／パーマネント イエロー ライト／ビリジャン ヒュー／パーマネント グリーン No.1 ／コバルト ブルー ヒュー／プルシャン ブルー／バーント シェンナ／バーント アンバー／アイボリ ブラック／チャイニーズ ホワイト



18 色セット　◎価格：3,450 円＋税

クリムソン レーキ／ローズ マダー／バーミリオン ヒュー／ジョーン ブリヤン No.2 ／パーマネント イエロー レモン／パーマネント イエロー ディープ／イエロー オーカー／パーマネント グリーン No.1 ／パーマネント グリーン No.2 ／ビリジャン ヒュー／コンポーズ ブルー／コバルト ブルー ヒュー／プルシャン ブルー／ミネラル バイオレット／バーント シェンナ／バーントアンバー／アイボリ ブラック／チャイニーズ ホワイト

SS Presents

「ホルベイン×友風子
透明水彩絵具１２色セット」

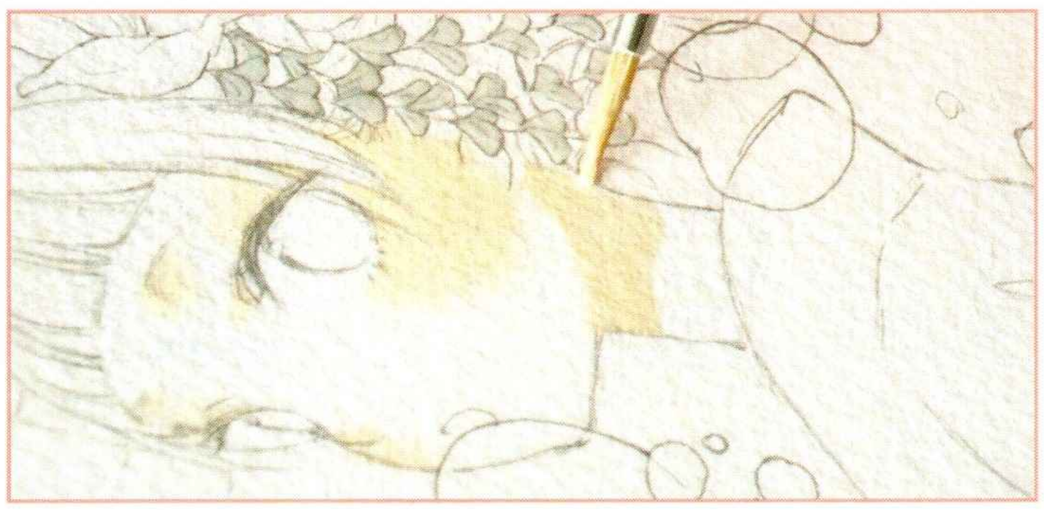
描き下ろしパッケージ
メイキング

『SSイラストメイキングブック』発売記念スペシャル企画

この本の発売を記念して、画材メーカーのホルベイン工業さんが特別配色の絵具セットをつくってくれました！ パッケージは友風子さんが描き下ろしてくれた浴衣姿の女の子。キャラクターイラストを描くために、友風子さんが特別にセレクトした12色なので、透明水彩をこれからはじめる人にオススメです。肌や頬の赤みに使える色など、通常の12色セットには入っていない色がラインナップされています。ここではセットの12色+6色で描かれたパッケージイラストの着彩を一部ご紹介します。

肌

・ジョーンブリヤン No.1
・シェルピンク（混色）



まずは、上記２色を混ぜた肌色を、頬、首、眉、鼻、髪のカゲに塗って、水筆でなじませる。

・ジョーンブリヤン No.1
・ピロールレッド
・ブリリアントオレンジ（混色）

肌色が乾いたら、上記３色を混ぜたピンクを頬に重ねる。それを水筆でぼかして肌色とグラデーションに。

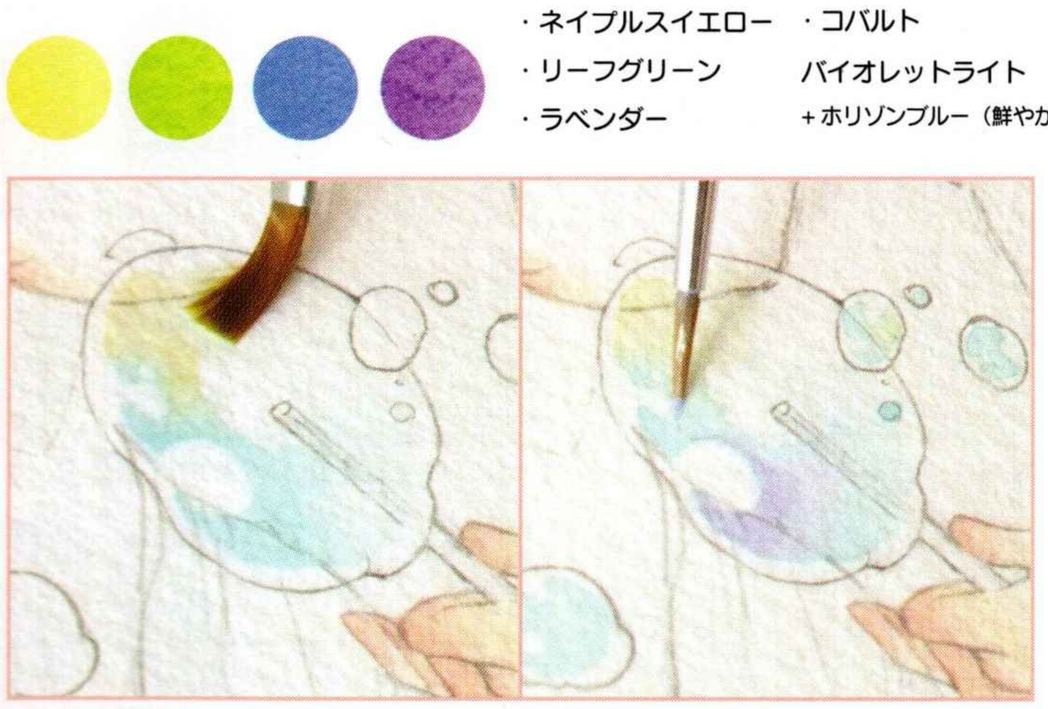
髪

・リーフグリーン
・インジゴ

髪の根元のほうに明るい緑色を淡く塗り、毛先のほうから深い青を重ねる。髪の束は１本ずつグラデーションで塗っていく。

泡

・ネイプルスイエロー
・リーフグリーン
・ラベンダー
・コバルト バイオレットライト
＋ホリゾンブルー（鮮やかな水色）



泡は複数の色を水筆でなじませながら塗っていく。まずは、ハイライトを残しながら、鮮やかな水色と黄色、黄緑色を水筆でなじませる。ハイライトの周りにはラベンダー色を。いったん乾かしてから、仕上げに明るい紫色をハイライトの周りに塗って光を強調する。

浴衣

・ラベンダー
・コバルトバイオレットライト

最初にラベンダー色で浴衣のカゲを塗っていく。そのカゲに明るい紫色をにじませてグラデーションに。

・ネイプルスイエロー
・コバルトバイオレットライト

浴衣に柄を描く。最初に黄色で七宝のような形を描いて、それに明るい紫色をにじませる。

・ラベンダー

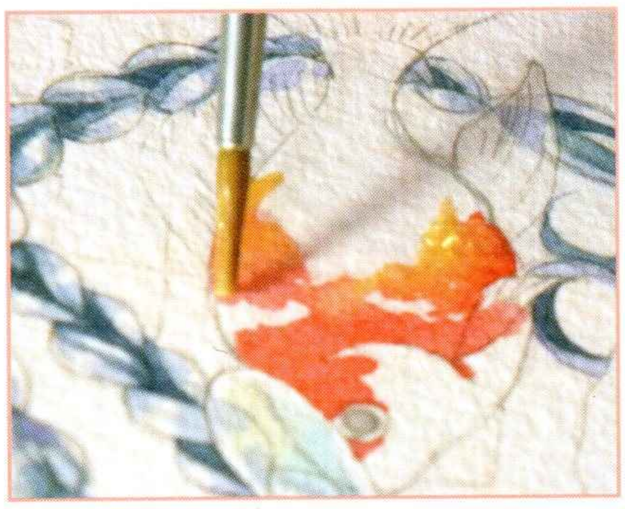
さらに、ラベンダー色で花びらのような形を連続させて描いていく。

・ウルトラマリンライト

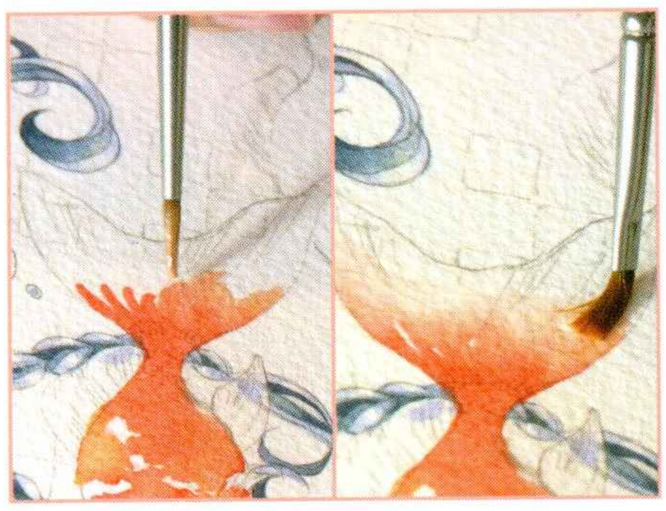
ちょんと色をおくようにして、鮮やかな青もにじませる。絵具が乾かないうちに次の色を重ねると、自然に色が混ざってくれる。

金魚

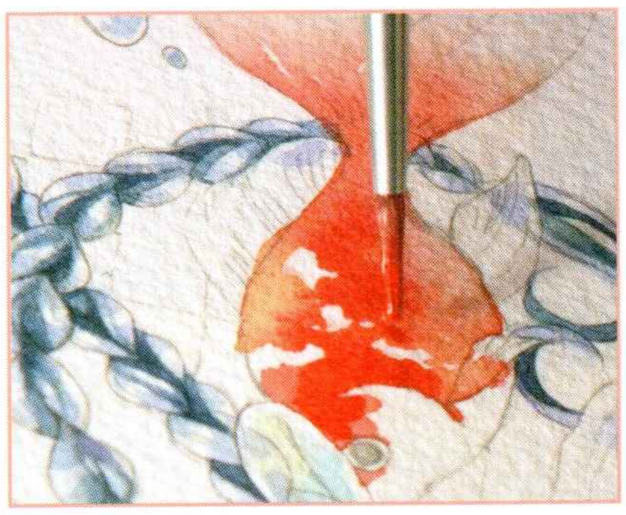
・ピロールレッド　・ブリリアントオレンジ（混色）　・ネイプルスイエロー



混色したオレンジ系の赤で、白を残しながら金魚の模様を描いていく。そこにちょんと黄色をおいてにじませる。



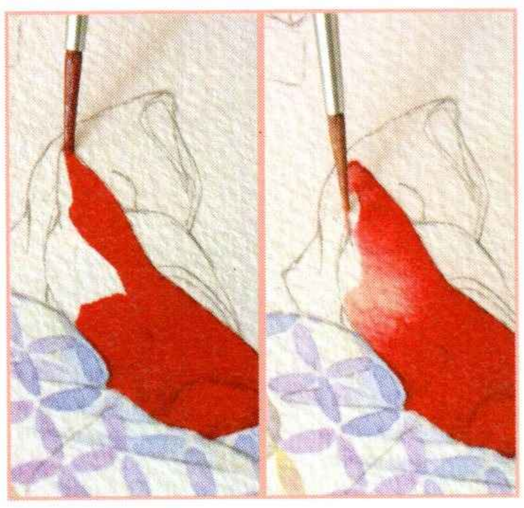
尾びれは、まず混色した赤で線を描いて、色の先端のほうを水筆でなじませる。透け感のあるグラデーションに。



最後に、金魚の真ん中あたりに赤をにじませていく。金魚の立体感が表現された。

帯

・ローズマダー



帯はポイントで大きめのにじみをつくる。まず、にじみをつくりたいところを残して赤を塗る。周りを水筆でさわってにじませていく。

・ネイプルスイエロー

光があたっているところに黄色をにじませて完成。立体的な印象になった。

友風子 selection　※印刷のため実際の色味とは多少異なります。

友風子コメント　「人物に使える色をメインに、私がイラストを描くときに必須の色を選びました。インジゴ、ラベンダー、コバルトバイオレットライト、ネイプルスイエローは、必ずと言っていいほどイラストに入れる色です。特にラベンダーは、カゲ色として優秀で、服、髪、花など色々なカゲに多用できて、透き通った印象になるので、とても活躍します。インジゴは、画面が締まる一番有効な色。ウルトラマリンライトも長年使っている色で、セーラー服を描くときにもおすすめです」

友風子さんがセット以外で使用していた 6 色

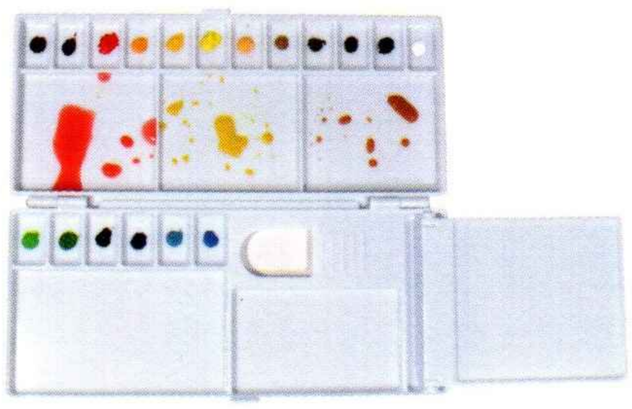
ジョーンブリヤン No.2、ビリジャン ヒュー、ホリゾン ブルー、ブライト バイオレット（ルミナス）、ロー シェンナ、デービス グレイ

「ホルベイン×友風子　透明水彩絵具 12 色セット」
◎価格：2,700 円 + 税
◎内容：12 色　2 号チューブ（5ml）
◎発売：ホルベイン工業（株）　※画像はサンプルです

透明水彩の使い方
【基礎編】

透明感のある塗りで、やわらかい濃淡やにじみなど幅広い表現ができる水彩絵具。
ここでは透明水彩の基本的な使い方と表現を紹介します。

パレット

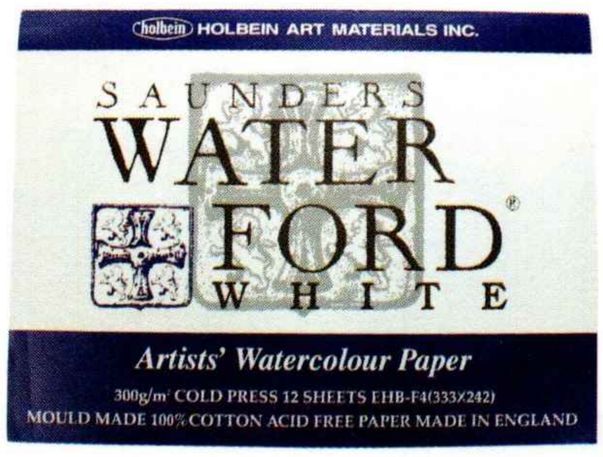


小さい仕切りに絵具を出し、広いスペースを使い絵具を溶かしたり混色をしたりする。水彩絵具は乾燥しても水で溶いてまた使うことができるので、パレットに絵具を出したまま保管する人が多い。パレットの色は、同じ色相のものを近くにまとめておくと使いやすい。

プラスチック 水彩パレット
209×185mm
◎発売：ホルベイン画材（株）

絵具を混ぜるスペースが多いタイプ。二面折りになっているので、絵具が乾いたら閉じて保存ができる。

水彩紙



水彩紙を使うと、にじみやグラデーションなど水彩らしい効果がつくりやすい。水彩紙は種類が豊富で、風合いや発色に個性があるので、いろいろと塗り試して自分好みの紙を探してみて。※ P.66 もチェック！

ウォーターフォード・ホワイト　ブロック・中目
中厚口 300g 12枚とじ
◎発売：ホルベイン画材（株）

本書の表紙イラストでも使われた水彩紙。白色度が高く、淡く繊細な色が綺麗に発色する。ブロックタイプは、側面がのり付けされているので、着彩時に紙がよれても乾くと元に戻るという優れもの。

筆

筆には平筆、丸筆、細い面相筆などがある。キャラクターイラストは、髪や瞳などの細かい工程が多いので面相筆がよく使われている。上図のような太めの丸筆は水をたっぷり含むので、背景など広い面に水をしいたり、大きなにじみを作りたいときに便利。

BLACK RESABLE SQ（No. 1、No. 3、No. 6）
◎発売：ホルベイン画材（株）

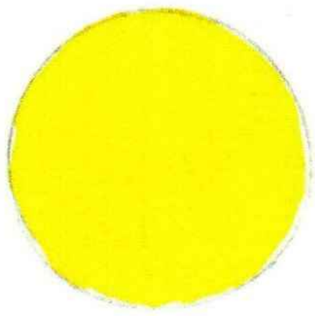
含みのよいリス毛に1本1本特殊加工されたブラックリセーブルをプラス。穂先を鋭利に仕立ててあるので細描きも得意の万能水彩筆。

基本の塗り方

色を塗る

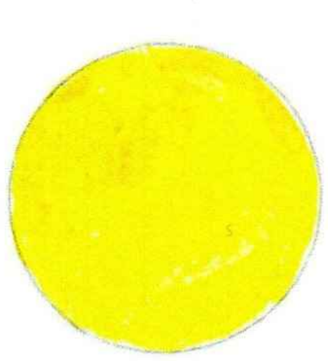
透明水彩で美しく彩色するには、「絵具を溶くときの水分量」をコントロールすることが大切。パレットから筆で色をとるときや、水筆を使うときには、「筆に含む水分量」も調整しよう。下図では、水分量や塗り方の違いによる発色や質感をご紹介。 ※ P.065 もチェック！

ほどよい水分量



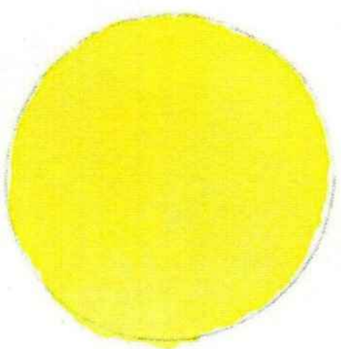
色が綺麗にのびた。絵具を水で溶くときに、ほどよい濃さに調整しているのでイメージ通りの発色に。

少なめの水分量



色があまりのびず、かすれてムラになってしまった。水分が少ないので色は濃いめになる。

水をしいてから色を塗る

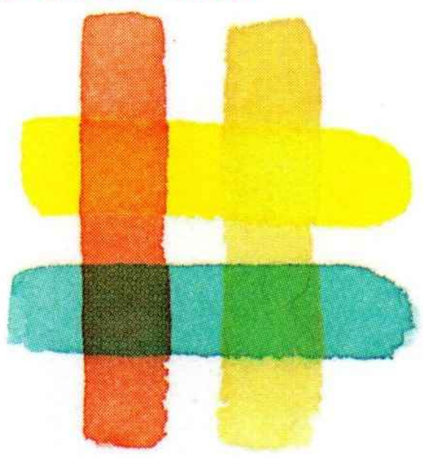


塗りたい部分（丸）に水をしいてから色を塗った。水の量は、紙の表面がきらっと光る程度に塗る。筆跡が残らずに色がなめらかに広がるので、ムラになりにくい。先に水をしいている分、水分量が多いので少し淡い発色になる。

にじませないで色を重ねる

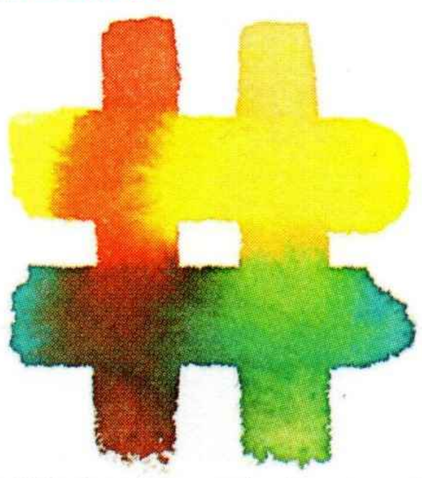
透明水彩絵具には、色を重ねると下の色が透けるという特徴がある。下の色が乾いてから、次の色を重ねることで、透き通った色の重なりが生まれる。

乾かしてから重ねた



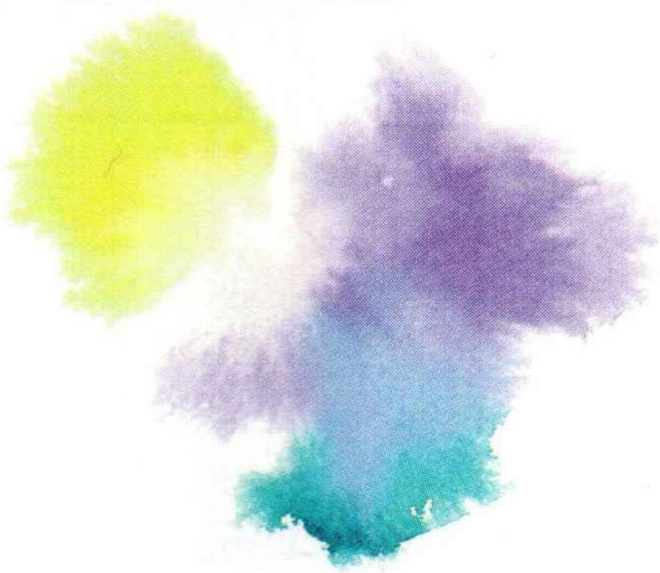
透明感のある重なりになった。色が重なり合うところに新しい色が生まれている。触りすぎると下の色が溶け出してしまうので注意しよう。

乾く前に重ねた



色が混ざり合い濁ってしまった。意図的ににじませたいときは、この手法は有効。

色をにじませる



じわっと色が広がった「にじみ」は水彩ならではの表現。紙に水や色をしいてから、乾かないうちに次の色を塗ることで、淡く透明感のある「にじみ」を描くことができる。偶然性をいかした色の広がりを楽しんで。

Chapter 01

友風子

Profile

友風子（ゆうふうし）／イラストレーター、東京都出身

pixiv ID = 7916　　Twitter = yufushi

「セミコロン」http://www1.adachi.ne.jp/jerky/

主な活動……透明水彩で女の子を描き、数多くの書籍の装画や挿絵を手掛ける。代表作に、『あやかしの鏡』シリーズ（講談社）、『さくらいろの季節』（ポプラ社）などがある／「ＳＳ」では、表紙イラストをはじめ、絵物語、透明水彩メイキングなどで初期の号から活躍。39 号よりイラスト連載開始／雑誌「Cobalt」（集英社）「和風アリス喫茶」カット連載／青空個展アトリエにて、水彩講座「とうめいの会」（月に一回開催）／コミティアやデザインフェスタなどのイベントや、個展やグループ展にも参加。

淡く透き通った色彩で描き出す、可憐な女の子が魅力的。着物やセーラー服の女の子を描くことが多く、季節を感じさせる植物、蝶、金魚、などのモチーフが彩りを添える。丁寧に色を重ねたグラデーションや、キラキラとしたにじみなど、水彩技法をいかした繊細な画面作りが美しい。

左ページ『いまはむかし 竹取異聞』著者・安澄加奈（ポプラ文庫ピュアフル）2013 年 ／ 上図［硝子の時］2011 年

［親指姫］2013 年

［昇るたましいと送り灯］2012 年

［金灯］2015 年

［花日］2012 年

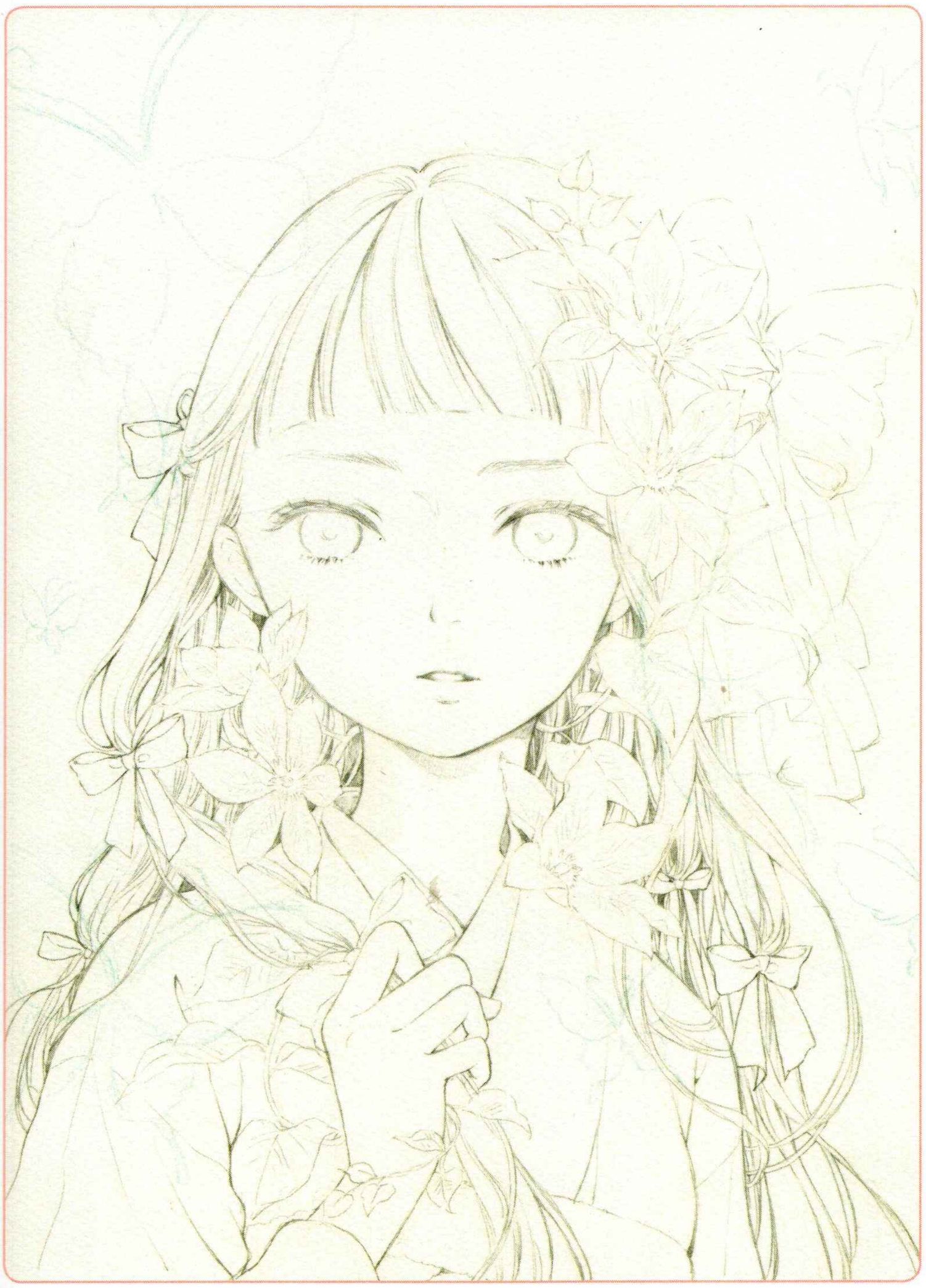
The Making of 友風子

着物姿の女の子にクレマチスの花が絡みついた、美しい表紙イラストをメイキング！　友風子さんの淡く透き通った色味は、どのように塗られているのでしょうか。線画の段階からはじまり、肌、着物、髪の毛、背景と、塗り進めた各部の着彩工程をたっぷりと紹介していきます。

画材：透明水彩絵具（ホルベイン、月光荘、ウィンザー＆ニュートン）、サクラマット水彩絵具
用紙：ウォーターフォード・ホワイト・ブロック　中目　(F4)

The Making of 友風子

上図はアイディア出しで描いたラフ。友風子さんはラフをつくった後、本番の紙におおまかなアタリの線をとって、そのまま一発描きで線画を仕上げていく。右図のオレンジ色の線が、線画を描く前に水彩色鉛筆で描いたアタリ。このアタリは、線画を仕上げた後に水で溶かして消す。



主線

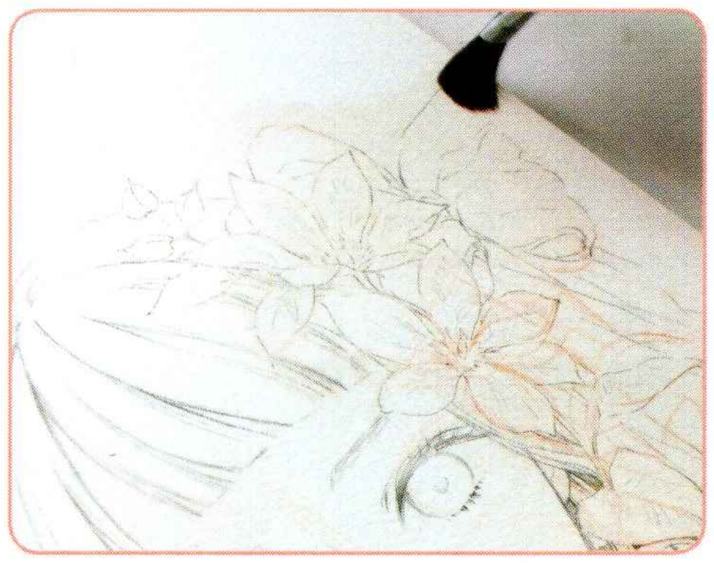
シャープペン 0.3mm（H B）

アタリ線

STAEDTLER 水彩色鉛筆（オレンジ）

アタリ線を消す

オレンジ色の線は、水彩色鉛筆で描いたアタリ。線画を描き終えたら、これを消していく。



オレンジ色の線を水筆でなでて溶かす。

ティッシュで上から押さえるようにして色を拭き取る。オレンジの線が消えたら線画が完成。

蝶の線

STAEDTLER 水彩色鉛筆（ライトブルー）

線画

アタリの線を消した線画。アタリを水筆で消すときに、線画もところどころ薄くなってしまうので、いったん乾かしてから、再びシャープペンで線を描きおこす。線画はパーツによって濃淡をつけて描くのがポイント。またここで、蝶のアタリをライトブルーの水彩色鉛筆で新たに描き足した。蝶は完成時に白抜きにするので、後で線が消せるように水彩色鉛筆を使用している。

マスキングする

マスキングとは、着彩のときに塗り残すのが難しい部分をあらかじめ保護して、部分的に色をのせずに綺麗に色を抜く技法。今回のイラストでは蝶をマスキングして白抜きにします。

メイキングでは、筆につけて塗る液状タイプのホルベインマスキングを使用。筆で塗るので細かい絵を描いて色を抜くことができる。筆は専用のクリーナーやせっけん水で洗わないと固まってしまうので注意が必要。それでも筆を痛めてしまうので、マスキング用に別の筆を用意するのがおすすめ。はがすときは専用のラバーを使用する。

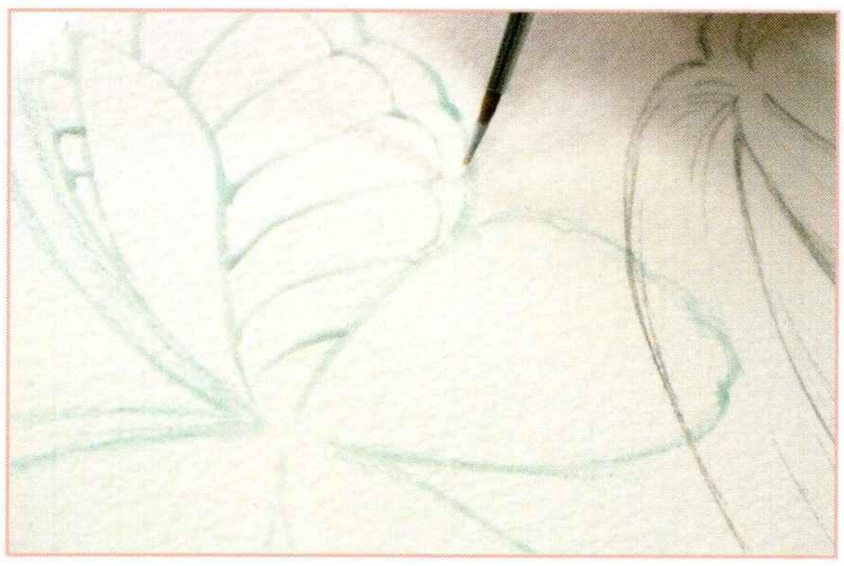
水彩画用液　マスキングインク　55ml
水彩画用液　マスキングインククリーナー 100ml

マスキングインクは、瓶からスポイトで吸い上げて、絵皿に出して使う。

蝶のマスキングが完成

今回のように絵柄をマスキングするときは、乾かないうちに描ききることがポイント。乾いた部分を筆で触るとマスキングがはがれてしまうので、線が接しているところは一気に描き上げる。マスキングインクが乾いたら、線画の前準備が完了。ここから着彩に入っていく。

1



蝶の線は白抜きにしたいので、着彩に入る前にマスキングをしておく。水彩色鉛筆で描いた蝶の線をマスキングインク（ホルベインのマスキングインクは水色）でなぞっていく。

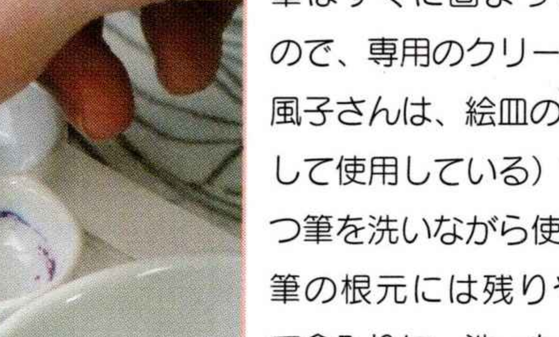
2

マスキングインクをつけた筆はすぐに固まってしまうので、専用のクリーナー（友風子さんは、絵皿の中央に出して使用している）で一回ずつ筆を洗いながら使う。特に筆の根元には残りやすいので念入りに。洗った後に、さらに水ですすぐと良い。

着彩道具

絵具／友風子さんは、絵具のチューブをトランク型の箱に入れている。色を選びやすいように、赤系、青系など同系色でまとめて仕切っていた。

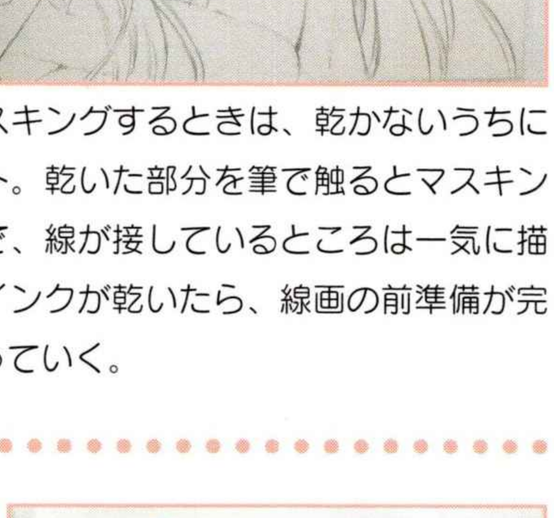
パレット・絵皿／溶く絵具の量が多いときは、深さのある絵皿を使用。



筆／人物を塗るときは、オレンジ色の柄の筆（ホルベイン）を使うことが多い。大きな面を塗るときは平筆を使用。

スポイト／パレットに水をさすときや、使い終わった絵具を吸い上げて絵皿を綺麗にするために使う。プラスチックのスポイトは、マスキングインク用。もうひとつは本来、香水用に使われるスポイトだが、友風子さんは水彩用に使っている。

タオル／色や水を含ませた筆の水分調節に使う。



肌を塗る1

肌の色は、水彩紙の白をベースにして、
赤みやカゲが入る部分にのみ、肌色を塗っていきます。

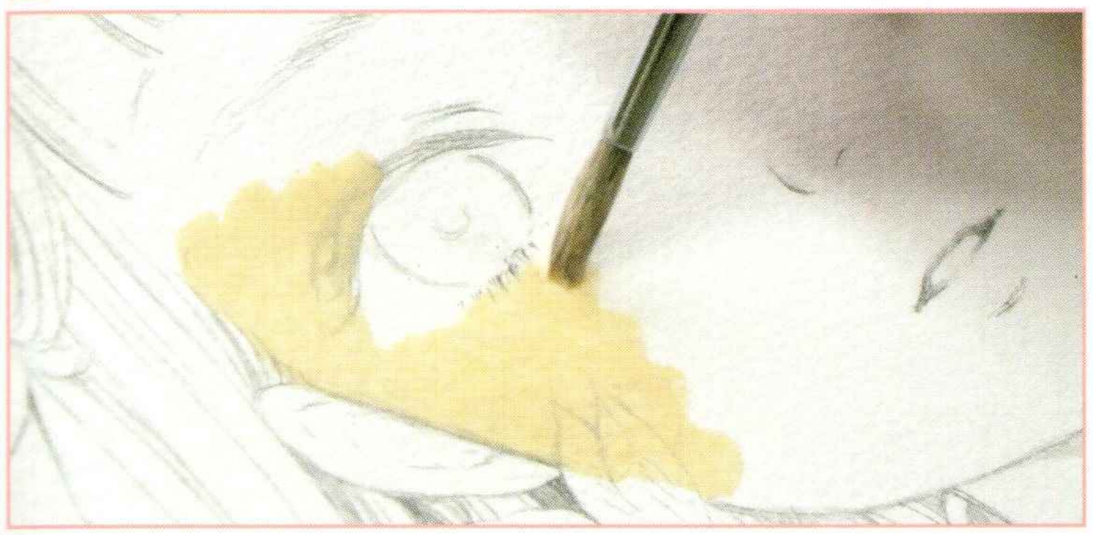
塗りはじめる前に

着彩に使う絵具を水で溶いてイメージする濃さに調整しておく。塗りながら色を作るのではなく、あらかじめ使う量の色を作っておくと、均一な濃さで塗り進めることができる。特に肌の塗りは、色ムラが出来てしまわないように、充分な肌色を用意しておく。

透明水彩絵具
画材メーカーの表記

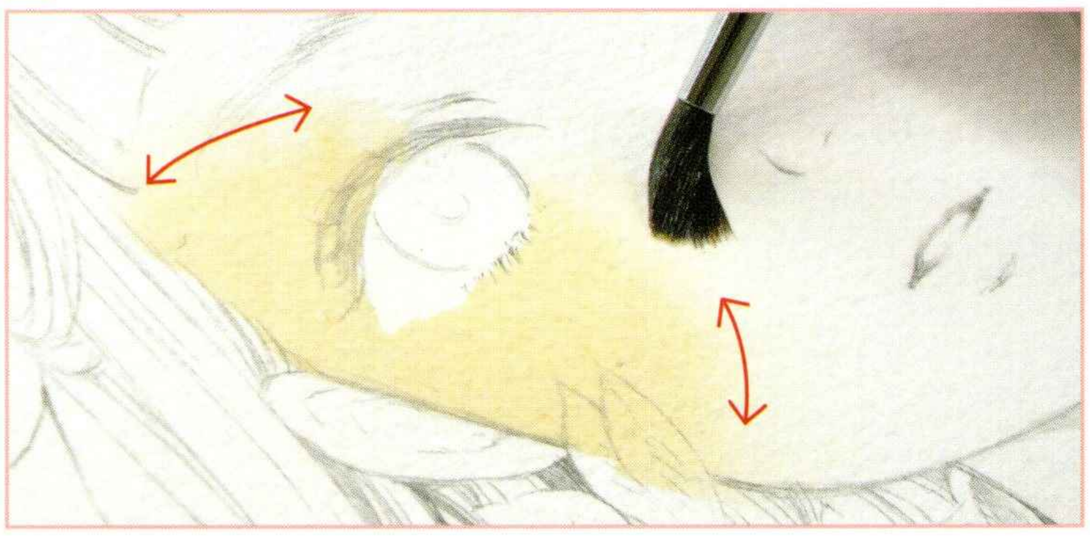
ホルベイン…（H）
月光荘…（月）
ウィンザー＆ニュートン…（W）

1



肌色のブリリアントイエローディープ（月）を溶かして、目の周りと頬のあたりに塗っていく。白目は塗り残す。

2

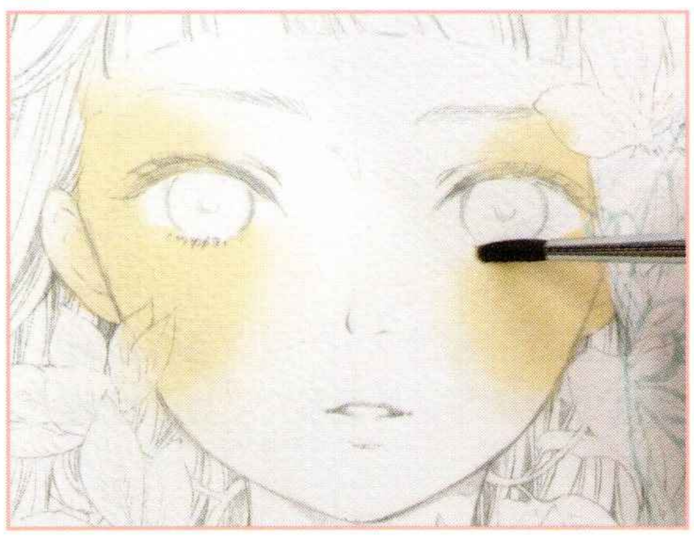


水を含んだ筆に持ち替えて、自然なグラデーションになるように外側のフチをのばしていく。頬の内側の色はさわらない。水筆の水分が少なすぎると色がほわっと広がらず、多すぎると思わぬ方向に広がってしまうので注意する。

onepoint! 筆の水分調整

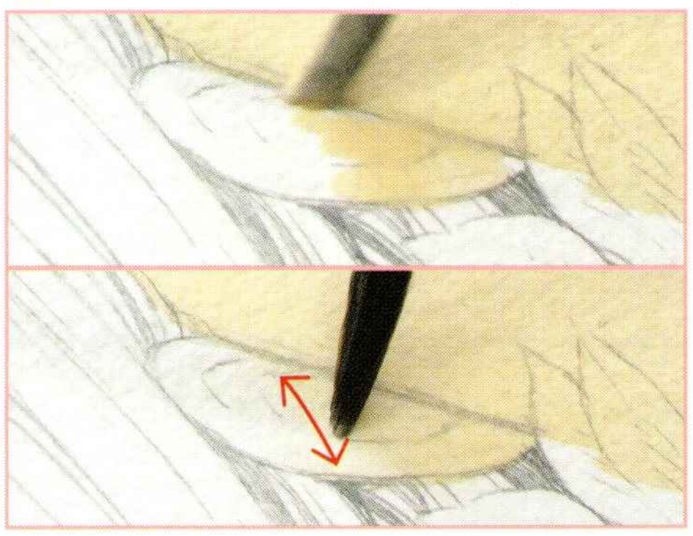
透明感のあるイラストを描くためには、筆に含ませる絵具の量や、水筆の水分量を調整することが大切です。筆に含ませる絵具や水が、少なすぎたり、多すぎたりすると、思い通りに色がのびてくれません。友風子さんは、筆に色を含ませたら（水筆も同様に）、毎回ふきんにちょんちょんと筆先を触れさせて水分量を調整していました。

3



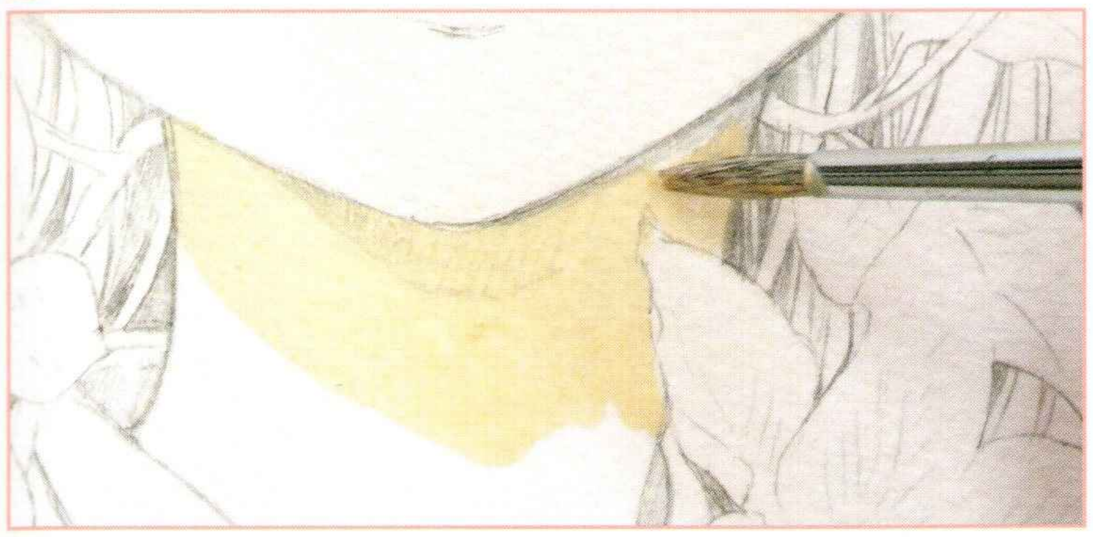
もう片方の頬も同様に、肌色をおいて水筆でフチをなじませる。

4



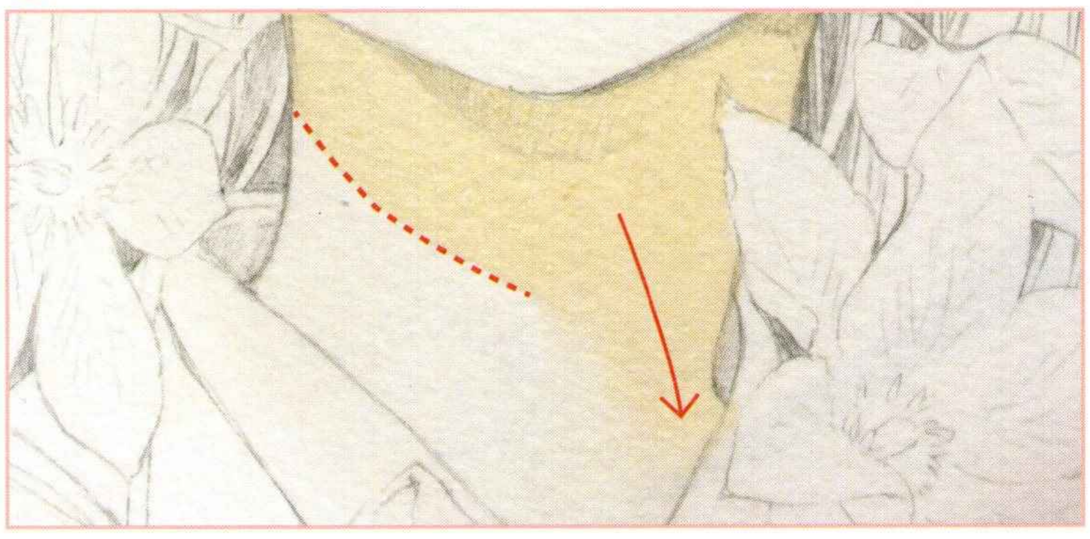
耳を塗る。耳たぶの下半分に肌色をおいて、色のフチを水筆で矢印の方向にぼかす。

5



首のカゲに肌色を塗っていく。カゲの形はあごのラインを意識して描く。均一な濃さでなめらかに塗っていく。

6

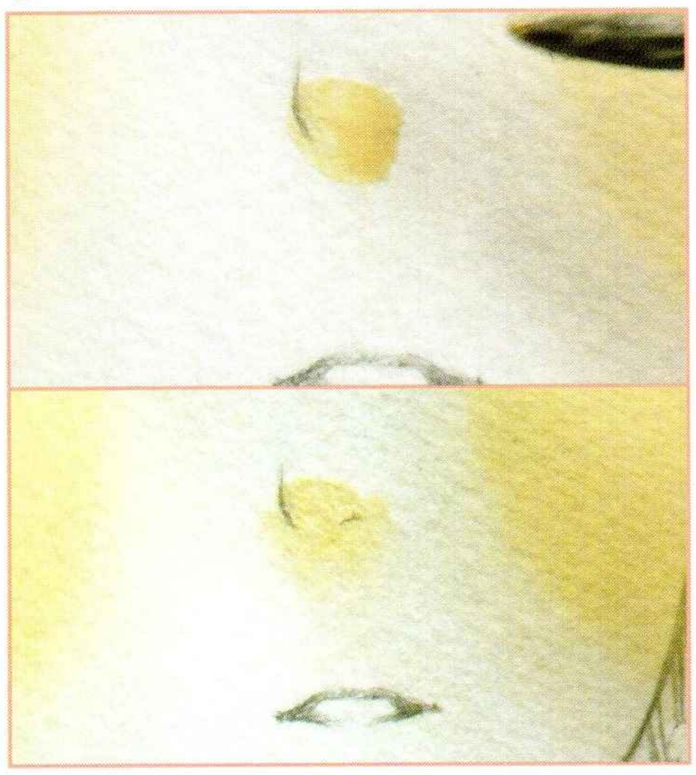


水筆に持ち替えて、右側端の肌色を矢印の方向へのばし、グラデーションに。左側（点線部分）は色のフチを残す。全部をぼかすのではなく、色のフチでエッジをきかせた部分をつくるのがポイント。

肌を塗る2

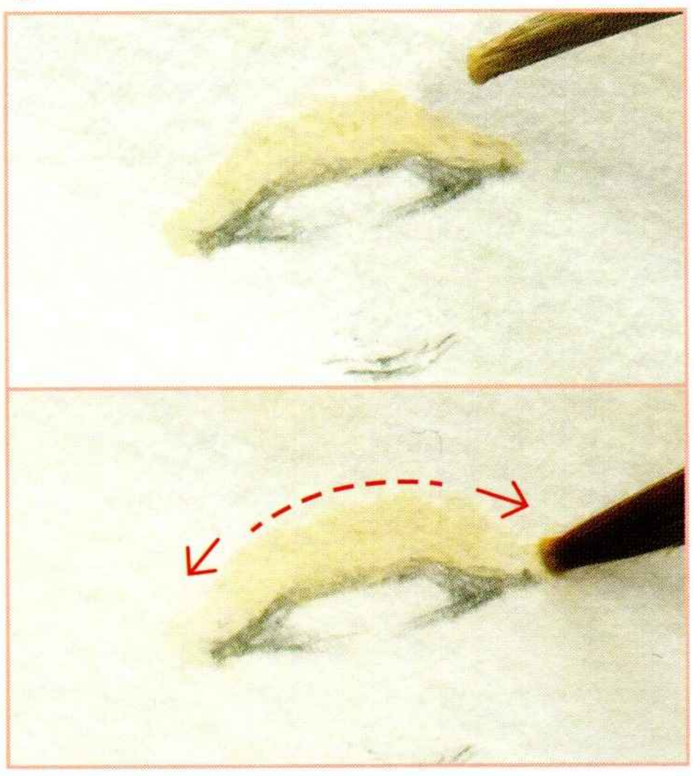
肌の塗りは、ふわっとぼかす部分と、色のフチでエッジを残す部分があります。
パーツごとの塗り方の違いに注目です。

7



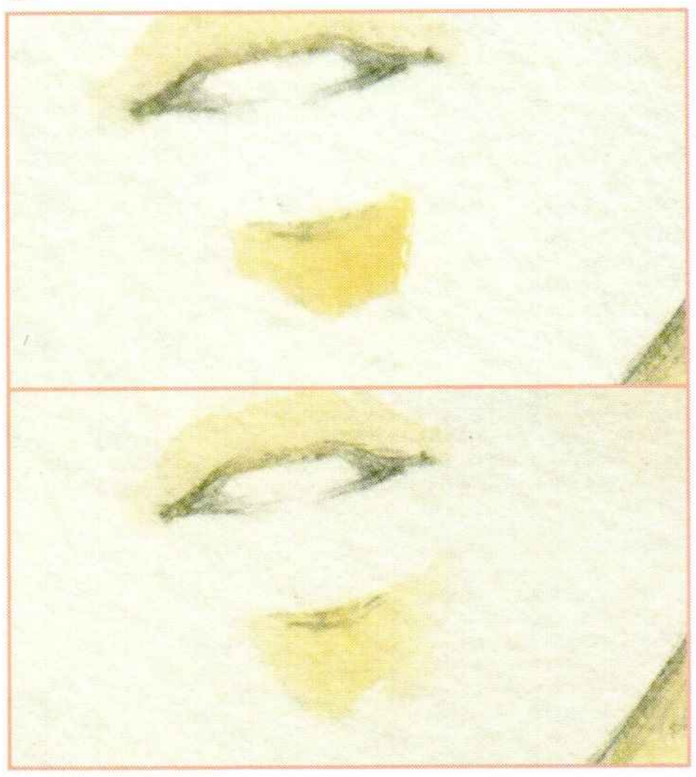
鼻を塗る。鼻に肌色をおいて、下のほうを水筆でふんわりとぼかす。上のほうはエッジを残す。

8



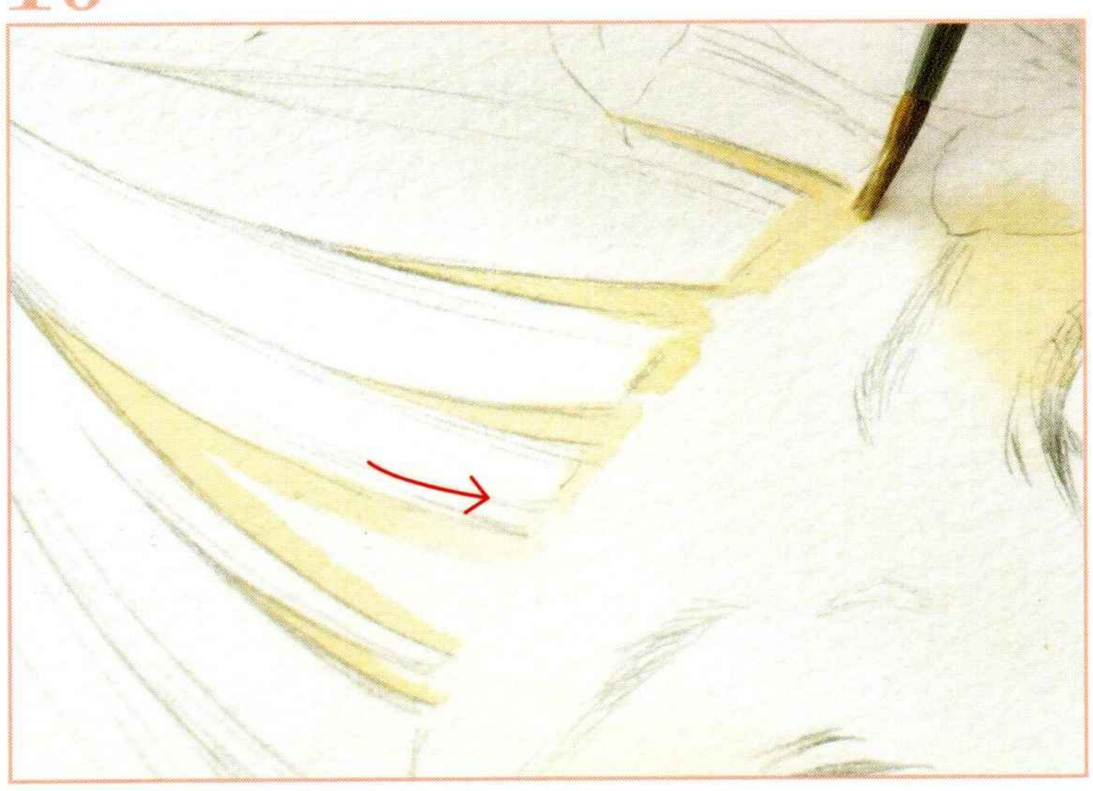
口を塗る。細い筆に持ち替えて上唇を描く。上唇の真ん中（点線部分）はエッジを残し、口の両端を水筆で淡くぼかす。

9



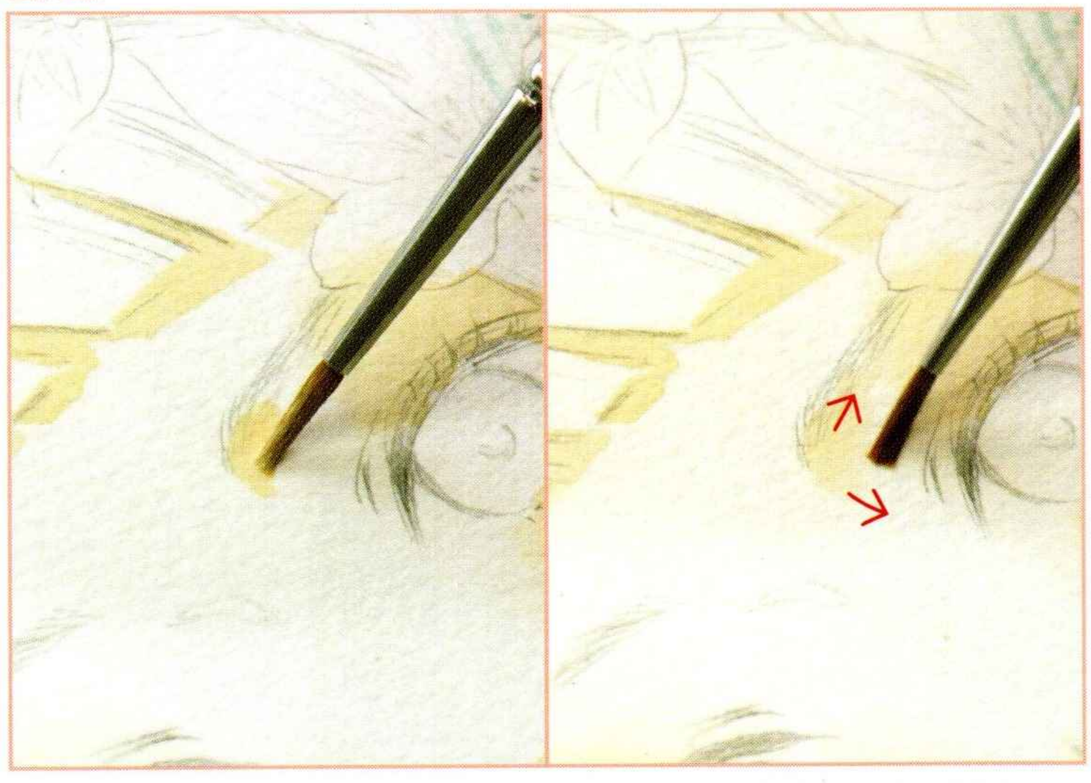
続いて、下唇のカゲを塗る。それを水筆でふんわりとぼかす。ここにカゲを入れることで、唇の厚みが表現された。

10



前髪のカゲは、基本的にぼかさずエッジを残して描く。前髪の分け目に入るカゲのみ、下のほうを水筆でグラデーションにした。

11



眉毛の根元にカゲを描く。そして、水筆で矢印の方向へ色をのばす。ここにカゲをつけると顔に立体感が出る。

12

手を塗る。指の関節にカゲを描いて、水筆でフチをなじませた。手の甲の骨や、手首にもカゲをつけた。

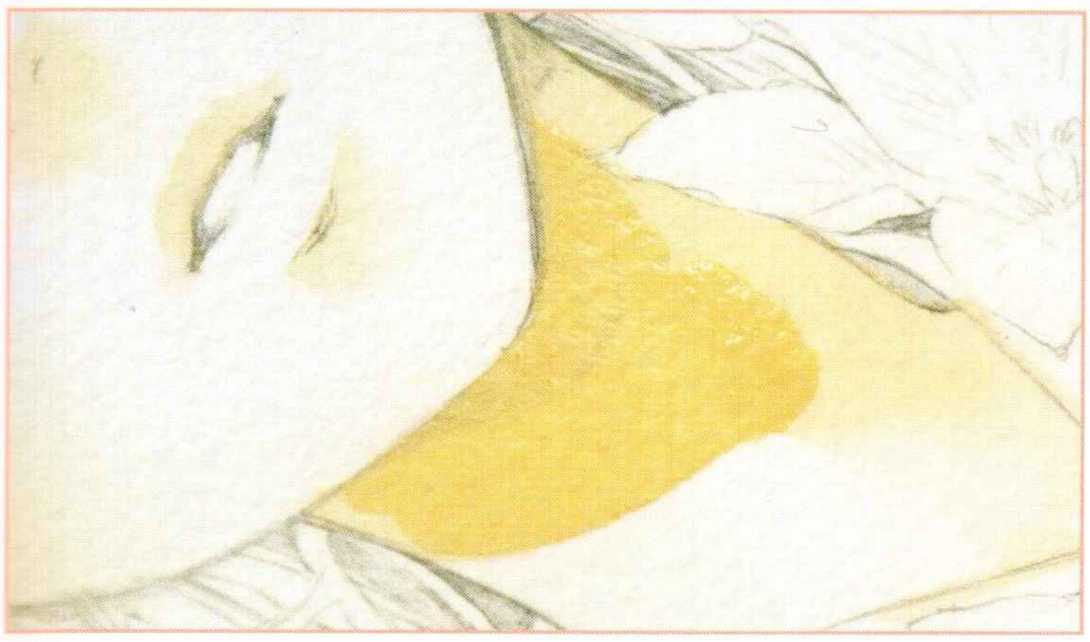
肌のベースが完成

肌色は全体に塗るのではなく、赤みやカゲになる部分に色をおいていた。ふわっとなじませるところや、エッジをきかすところなど、パーツによってぼかし方を変えて塗るのがポイント。ここでいったん肌色を乾かす。

濃い肌色を重ねる

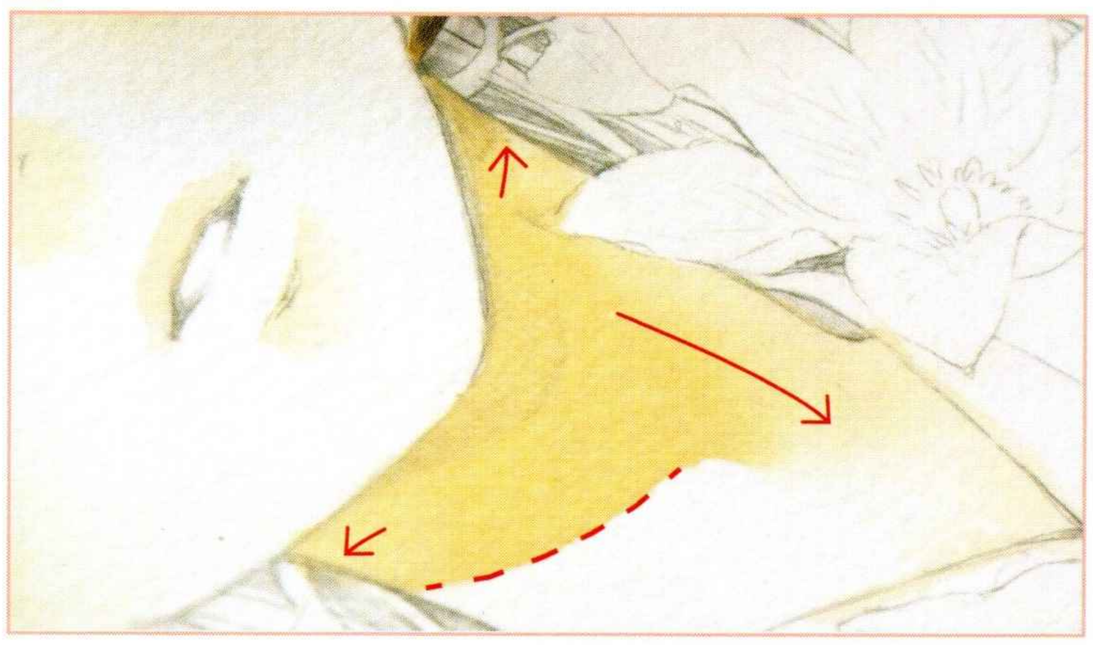
先程塗った肌色が乾いたら、少し濃い肌色を重ねて立体感を出していきます。

1



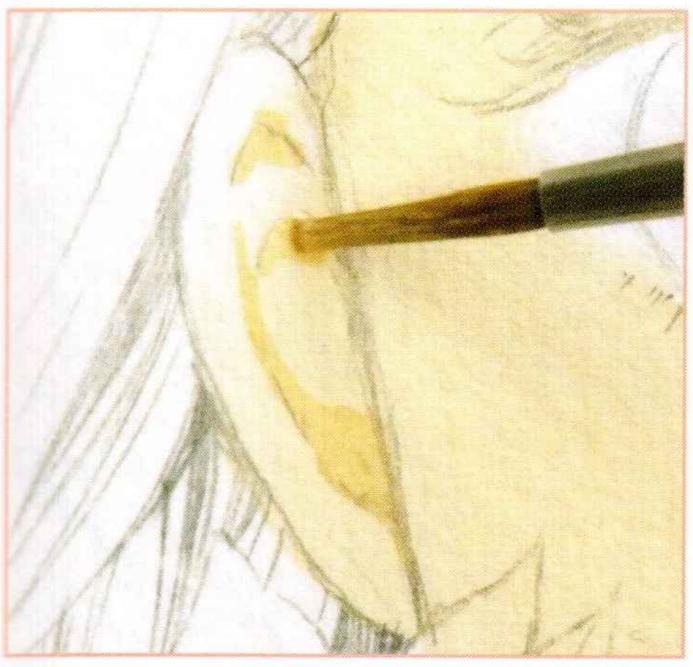
ジョーンブリヤンNo.2（H）とブリリアントイエローディープ（月）を混ぜた少し濃い肌色をつくる。それを首のカゲに塗り重ねていく。首の両端まで塗らずに、少し間隔を残しておくのがポイント。

2



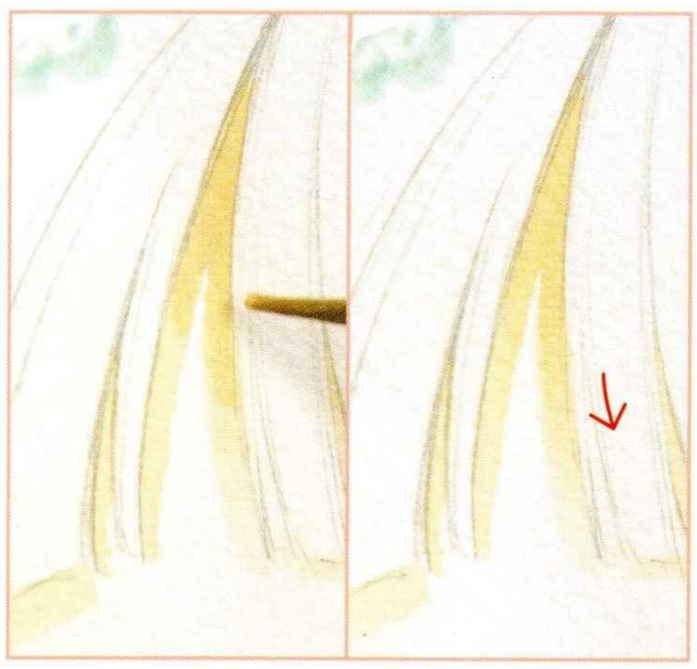
先程塗り残した首の両端を水筆でのばす。端を淡くすると、首が立体的に見える。濃いフチ（点線部分）はそのままエッジを残して、右側は下に向かってふんわりなじませる。

3



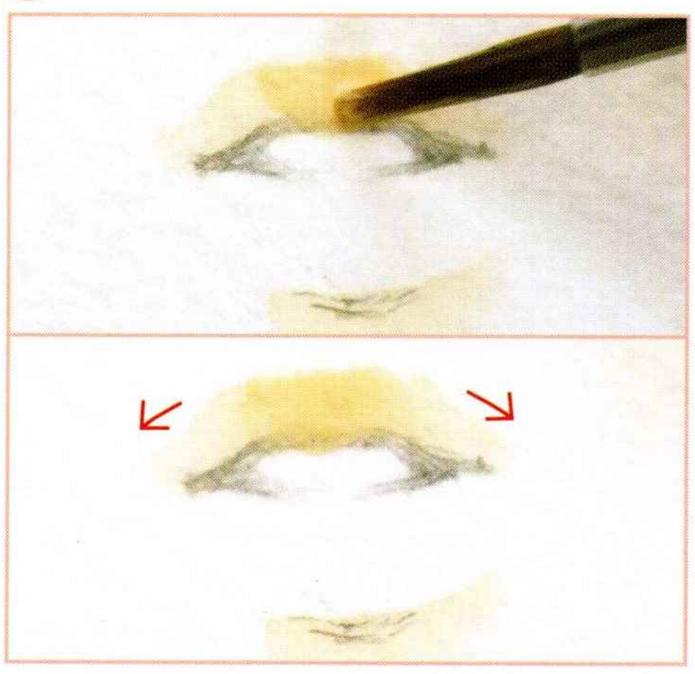
耳の内側にカゲをつけて立体感を出す。耳たぶのほうは少し広めに塗った。

4



前髪の分け目にも濃い肌色を重ねた。下のほうは水筆でグラデーションに。

5

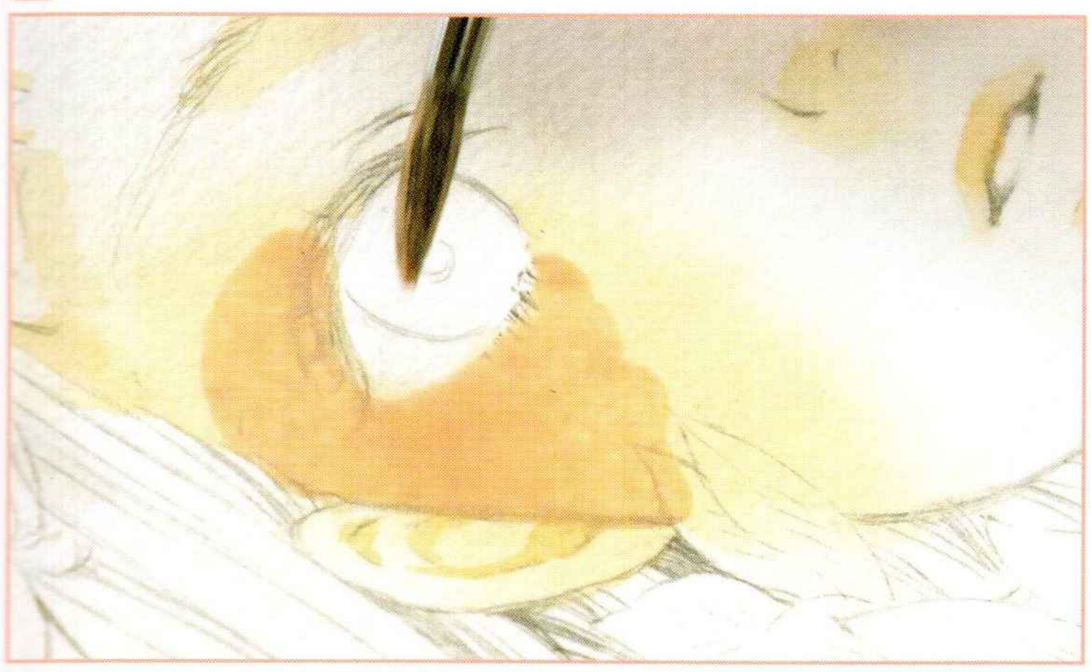


上唇の真ん中に濃い肌色をおいて両端に向けて水筆でなじませる。真ん中は濃い色を残す。

頬に赤みを入れる

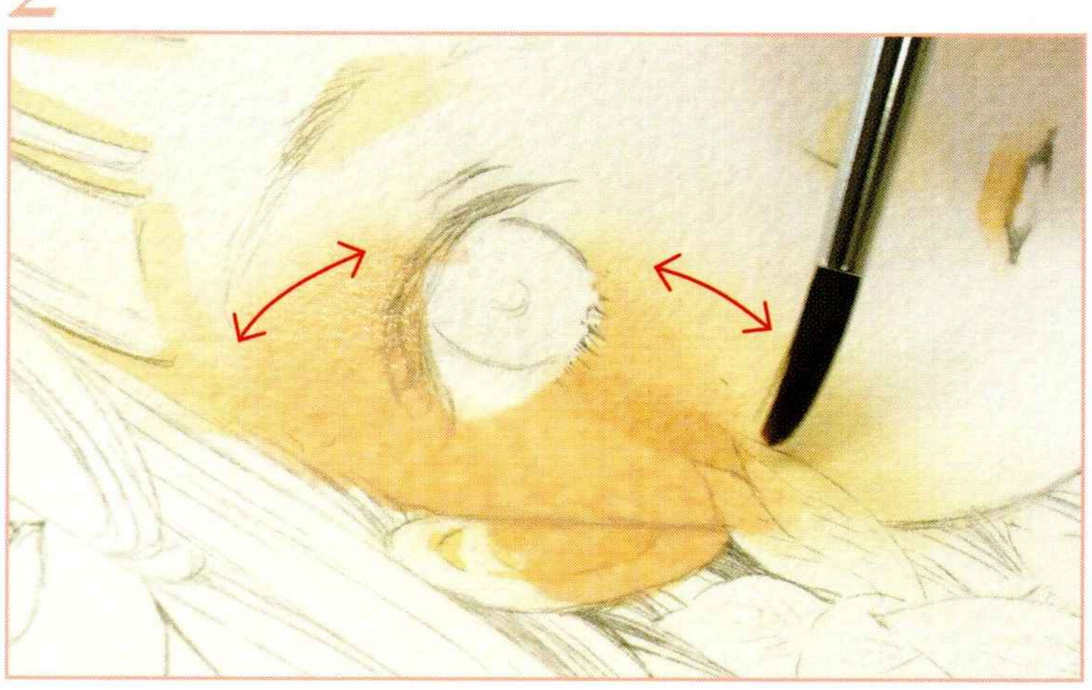
ピンクの頬は、女の子の可愛いらしさを演出してくれます。
先程塗った肌色と、ピンク色を重ねてふんわりグラデーションに。

1



塗りはじめる前に、ベースの肌色が乾いているかよく確認する。乾いていないと色が溶け出して綺麗なグラデーションにならないので要注意。頬には、コーラルレッド（月）とブリリアントイエローディープ（月）を混ぜたピンク色を使用。最初に塗った肌色よりも、内側にピンク色を塗る。この後、水筆で色を広げるので、ここでは赤みをつくりたい範囲より少し狭く塗るのがポイント。

2

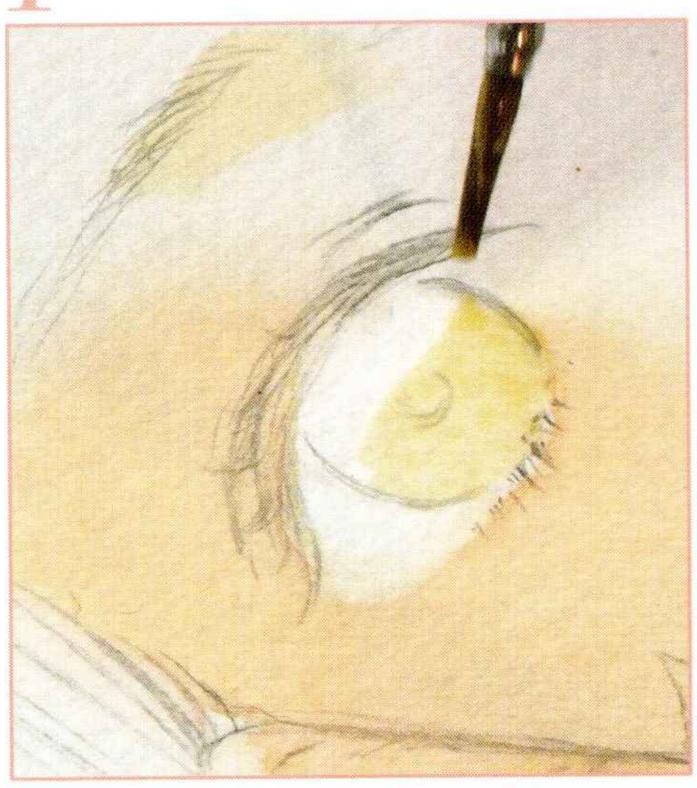


水筆でフチをなじませて、ふわっと色を広げていく。フチだけなじませて、頬の内側はさわらないように注意する。友風子さんは、ここで肌色とピンク色が綺麗なグラデーションになるように丁寧に調整していた。また、白目に色が入ってしまったときは、いったん乾かしてから細い水筆でこすって色を消すと良いそうだ。

目を塗る

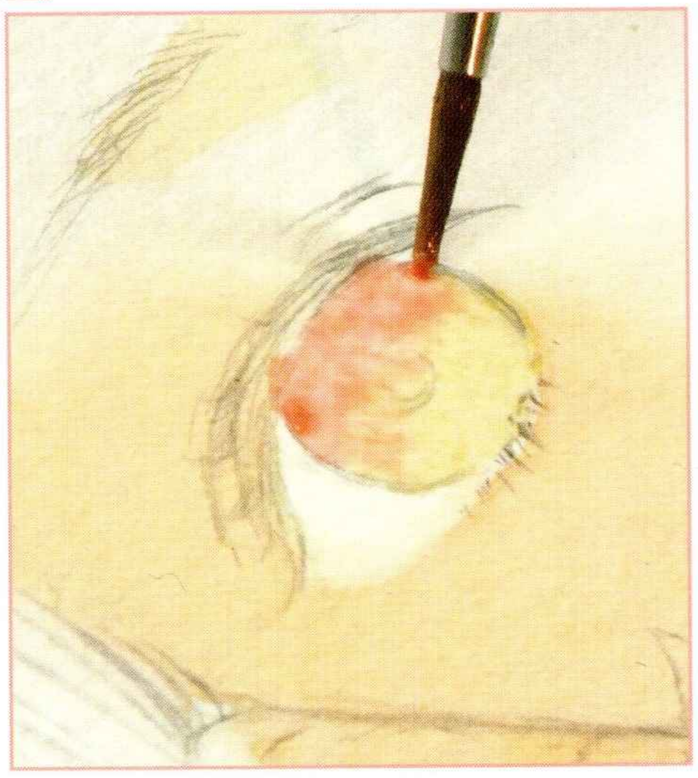
凛とした印象を与える透き通った瞳。
黄色、ピンク、紫、青と複数の色を重ねて、淡くカラフルに仕上げます。

1



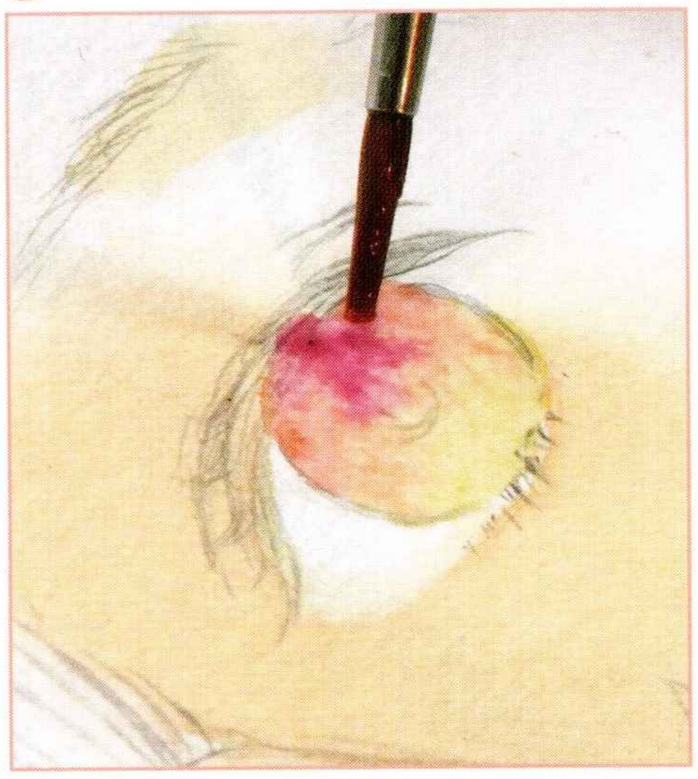
最初に、ネープルスイエロー（W）で瞳の下半分を塗る。

2



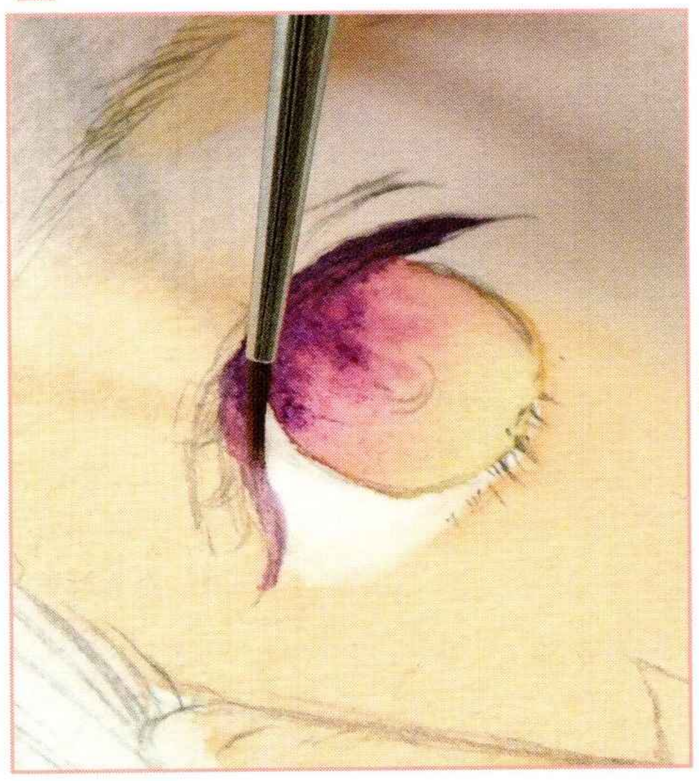
続いて、コーラルレッド（月）を上半分に塗る。中間部分は色が混ざった状態。

3



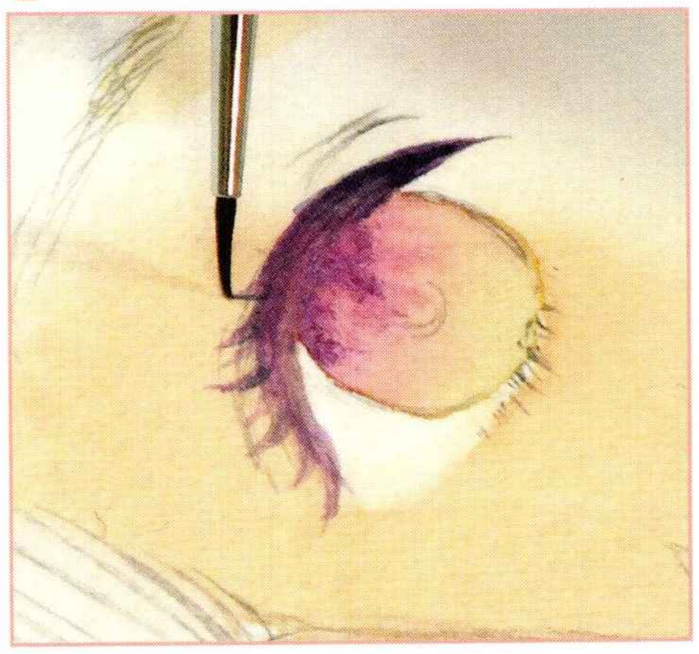
コバルトバイオレットピンク（月）を瞳孔あたりから上に向かって塗る。

4



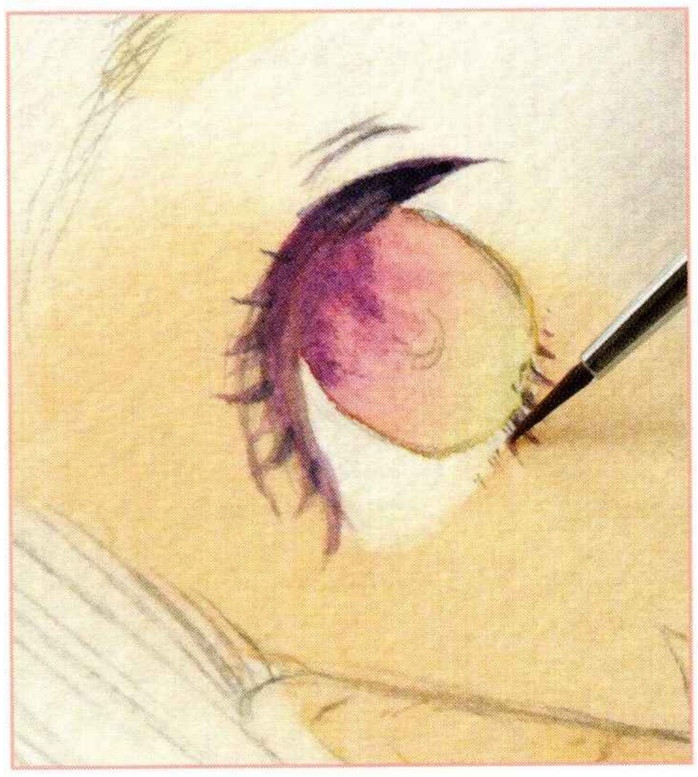
モーブ（月）をアイラインに塗る。このとき、瞳の中にも少し色をにじませる。

5



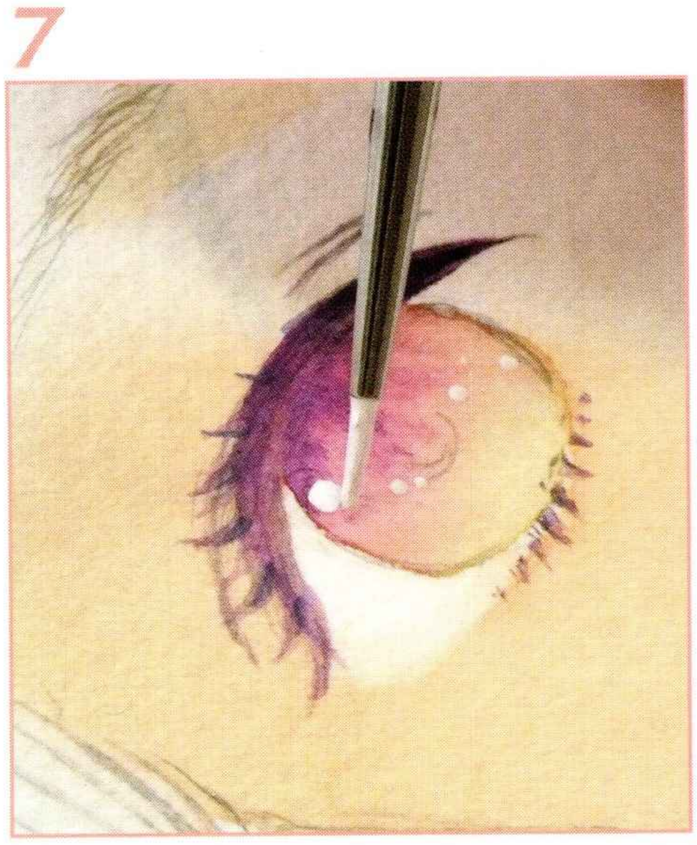
モーブで上まつ毛を描く。均一にならないように太さを変えて、毛先の方向も少しばらつかせるとナチュラルな印象に。さらに、目頭とまつ毛にウルトラマリン（月）とインジゴ（H）を混色した青も重ねた。

6



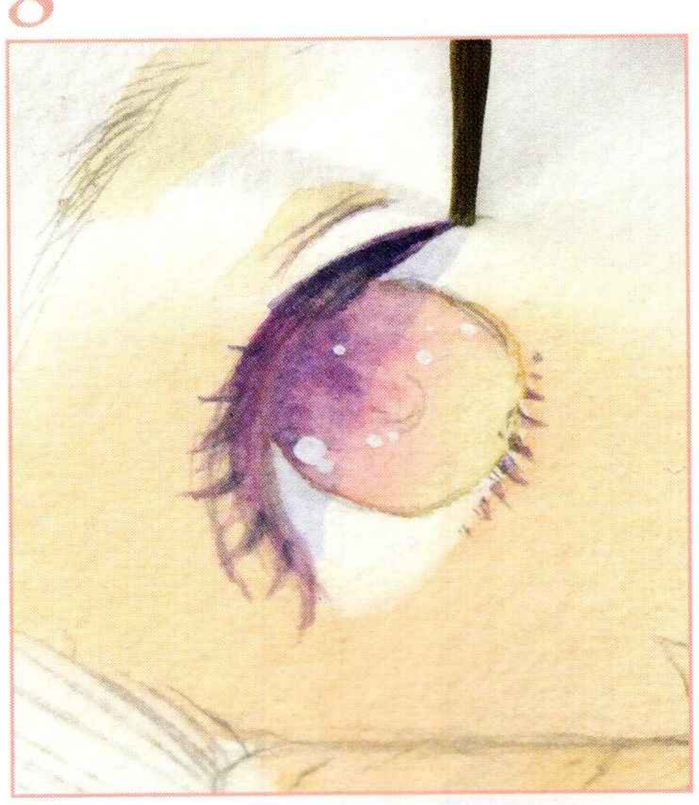
下まつ毛は瞳の下に集中させて描く。ここも５で使ったモーブと、混色した青の２色で塗っていく。

7



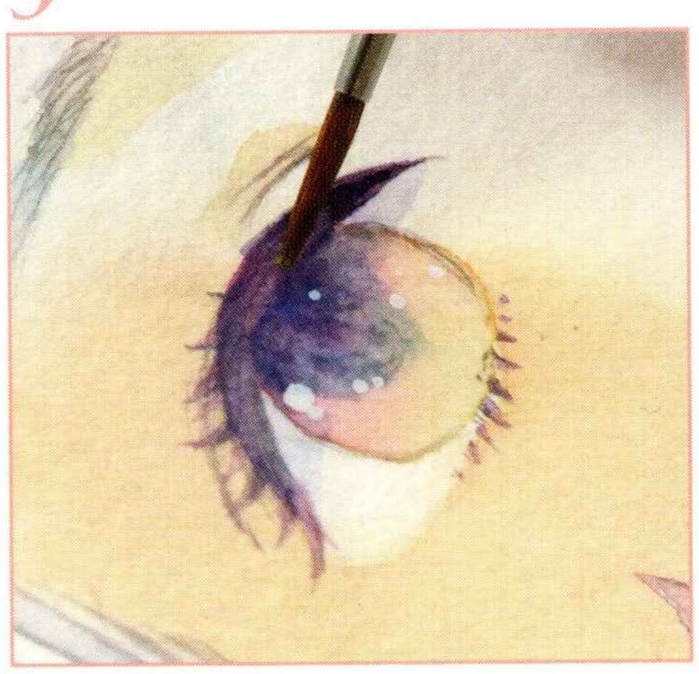
サクラマット水彩絵具の不透明なホワイトで光を描く。瞳の真ん中あたりにいくつか小さな点を散らし、左上に少し大きめの丸を描いた。

8



ラベンダー（H）で瞳と白目にかかるカゲを淡く描く。そして水筆で形を整える。

9

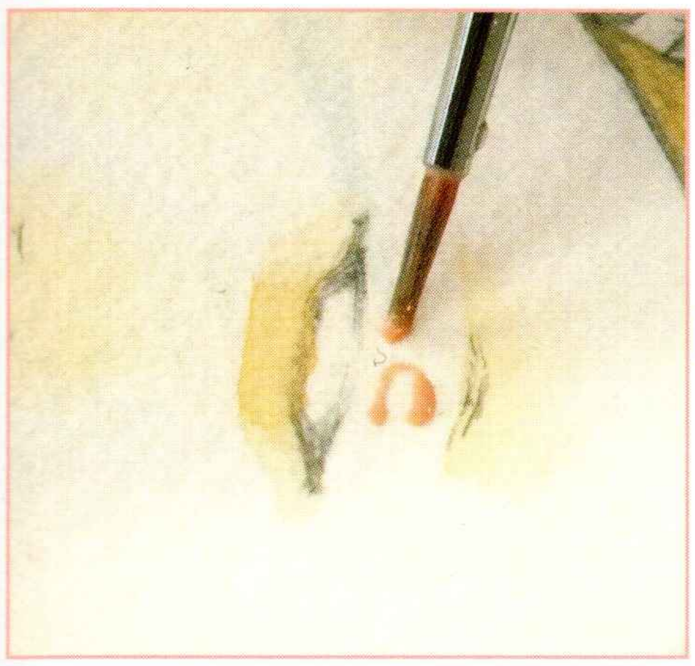


目尻側のまつ毛にウルトラマリン（月）を重ねて目力を強めた。最後に、瞳にプルシャンブルー（H）をおいて、水筆でちょんちょんとにじませる。深みのある透き通った瞳になった。

唇を塗る

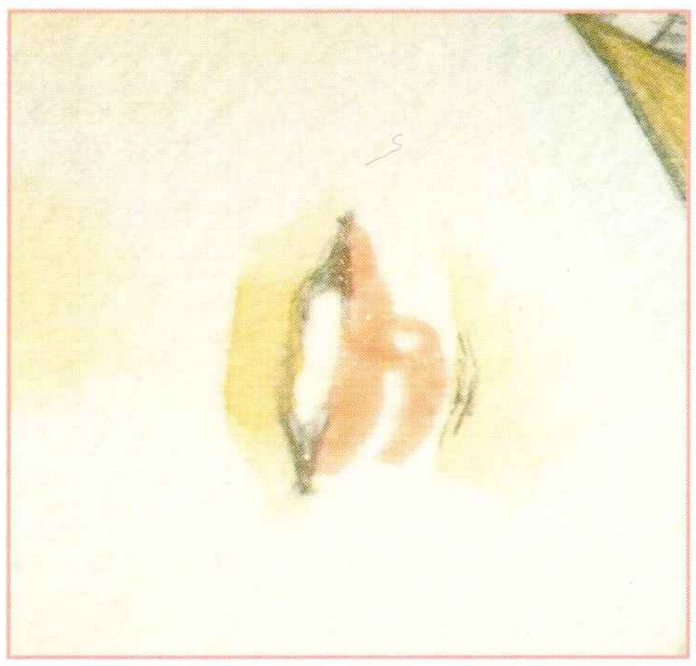
ウルッと艶めくピンク色の唇。
ここで使っているのは１色のみ。２回に分けてピンクを重ねます。

1



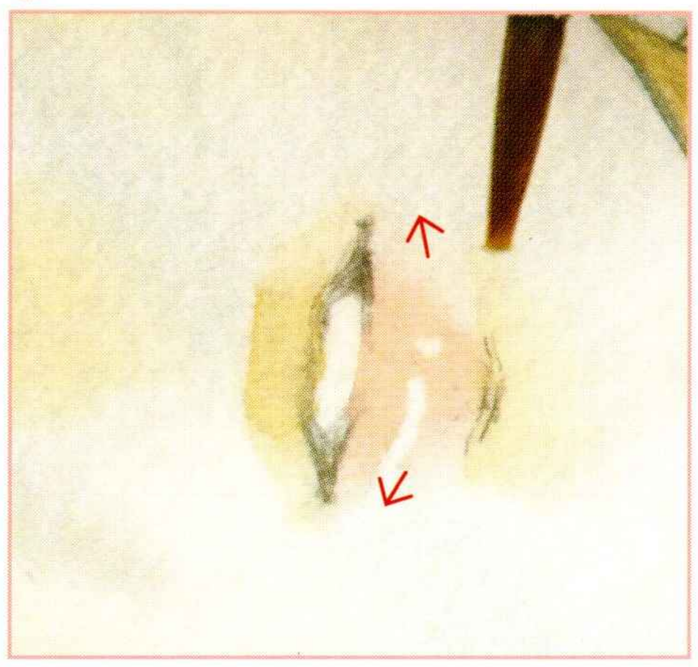
頬で使った色に、コーラルレッド（月）を少し足したピンク色をおく。まずは、下唇にツヤとして残したいハイライトを描いていく。

2



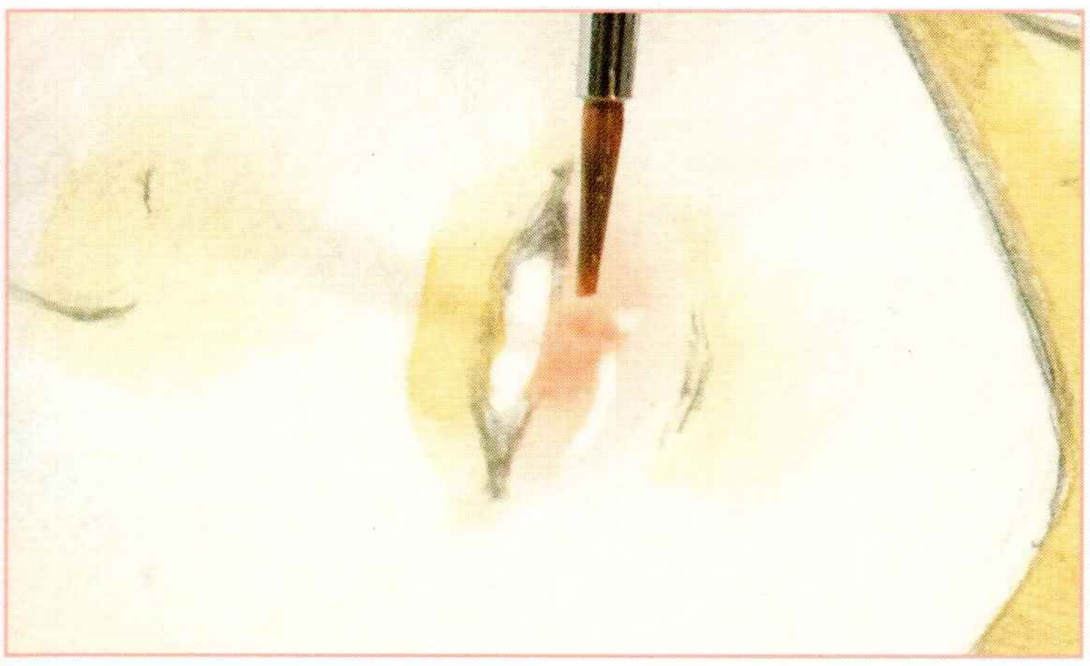
口の線に沿って細く下唇を塗る。ハイライトの下も少しだけ塗った。

3



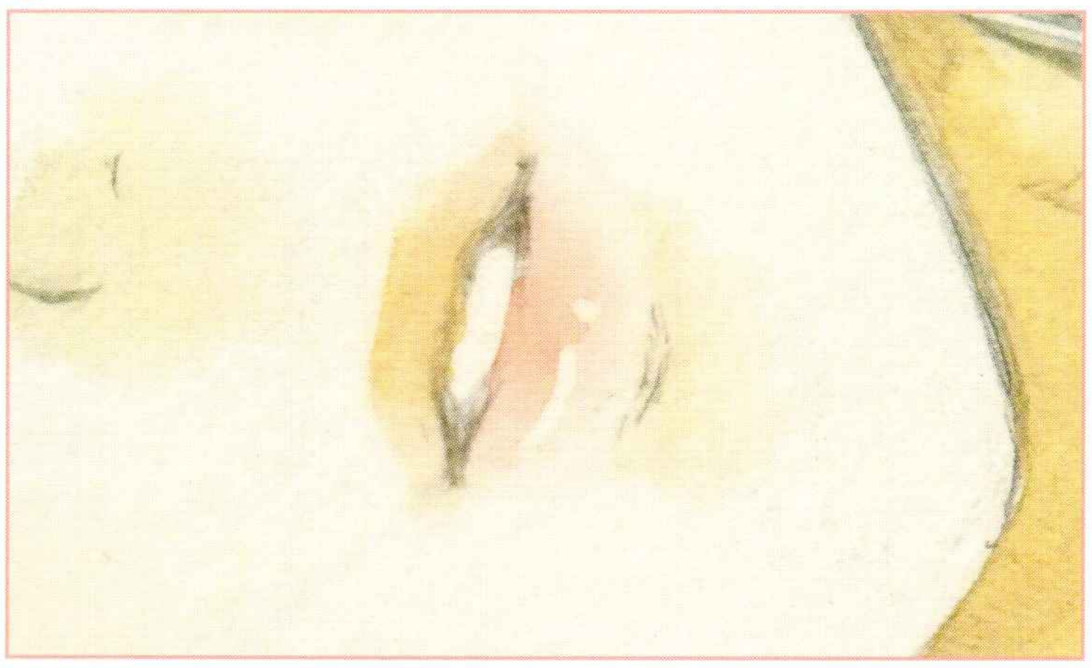
水筆に持ち替えてふんわりとぼかす。淡いピンク色になった。

4



仕上げに、コーラルレッドを下唇の真ん中に少しだけのせる。

5

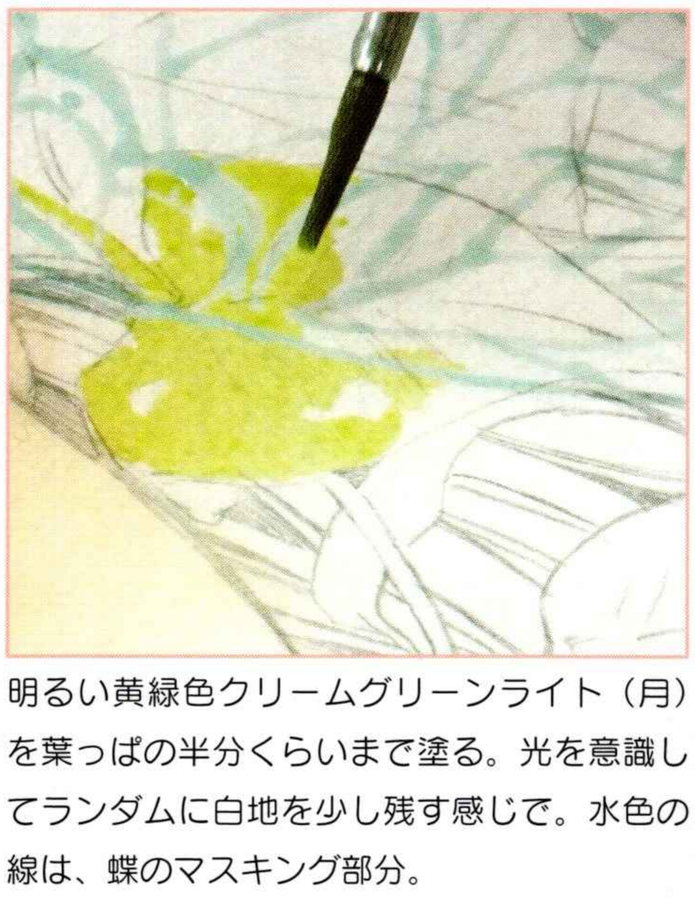


それを水筆でふわっとぼかしてなじませる。ハイライトの周りに濃い色が入ることで唇のツヤ感が強調された。

葉っぱを塗る

葉っぱは、白抜きで光を残してみずみずしい印象に。
一色目が乾かないうちに、次の色を重ねていくのがポイントです。

1



明るい黄緑色クリームグリーンライト（月）を葉っぱの半分くらいまで塗る。光を意識してランダムに白地を少し残す感じで。水色の線は、蝶のマスキング部分。

2

１で塗った色に少し重ねながら、ちょんちょんと色をおくように抹茶色のオキサイドグリーン(月)を塗る。前の色が乾かないうちに、次の色をのせると自然に色が混ざり合う。

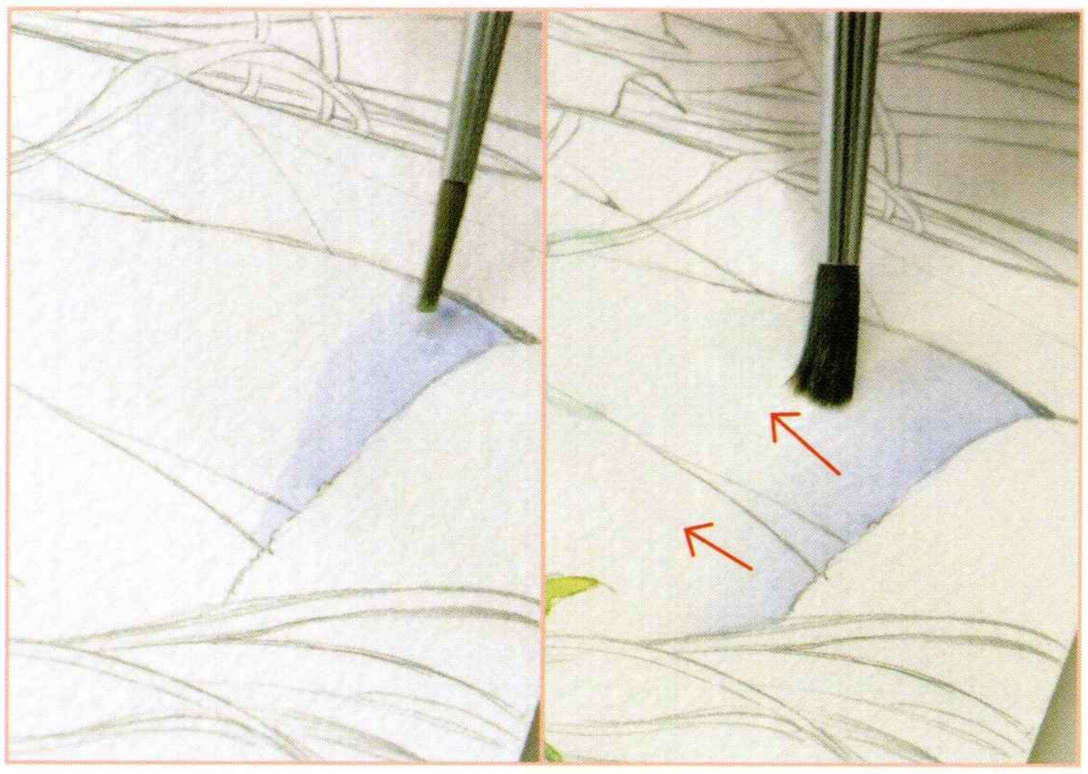
3

緑色のウィンザーグリーンブルーシェイド（W）を先端に重ねる。ハイライトをよけて色を流すようなイメージでにじませていく。この葉っぱは、マスキングをはがしたときに蝶がくっきり見えるように濃い色にしている。

着物を塗る

まずは、ラベンダー色で着物にカゲを描いて、
その上から、柄のラインを一本ずつグラデーションで作ります。

1

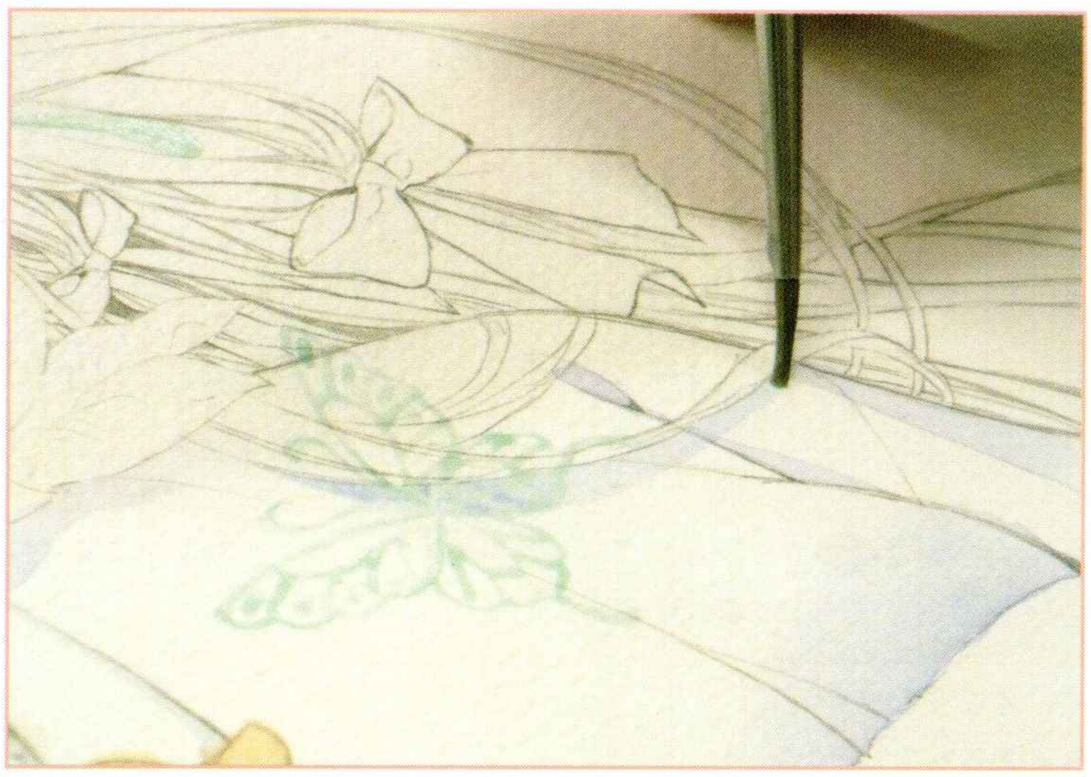


ラベンダー（H）で帯揚げの上にカゲをつける。このラベンダーは、友風子さんがカゲをつけるときによく使っている色。水筆に持ち替えて、上のほうをぼかしてグラデーションに。

2

着物におちる葉っぱや花のカゲ、着物のしわも丁寧に描いていく。葉っぱや花のカゲは、同じ形を沿わせるように。ラベンダーでカゲを入れると画面に透明感が出る。

3

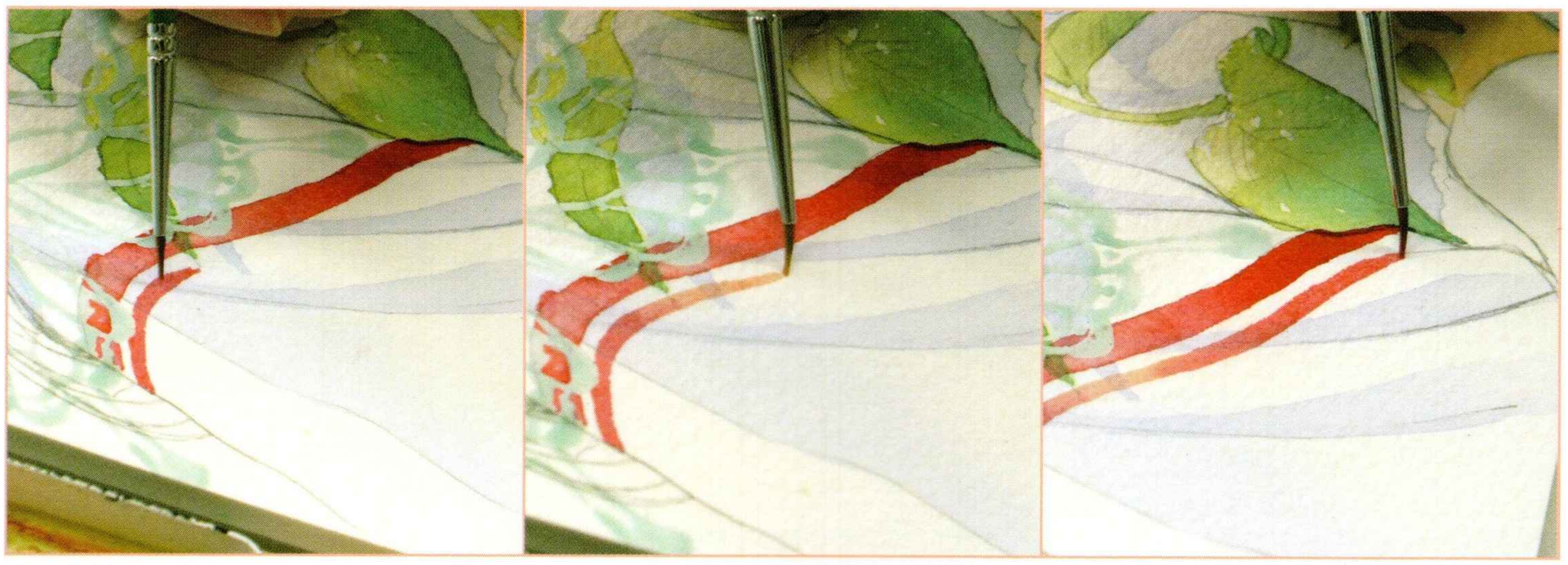


同じくラベンダーで、肩にかかる髪１本ずつにカゲを描く。カゲが入ると立体的な印象になる。一通りカゲを描いたら、ここでいったん乾かす。

4

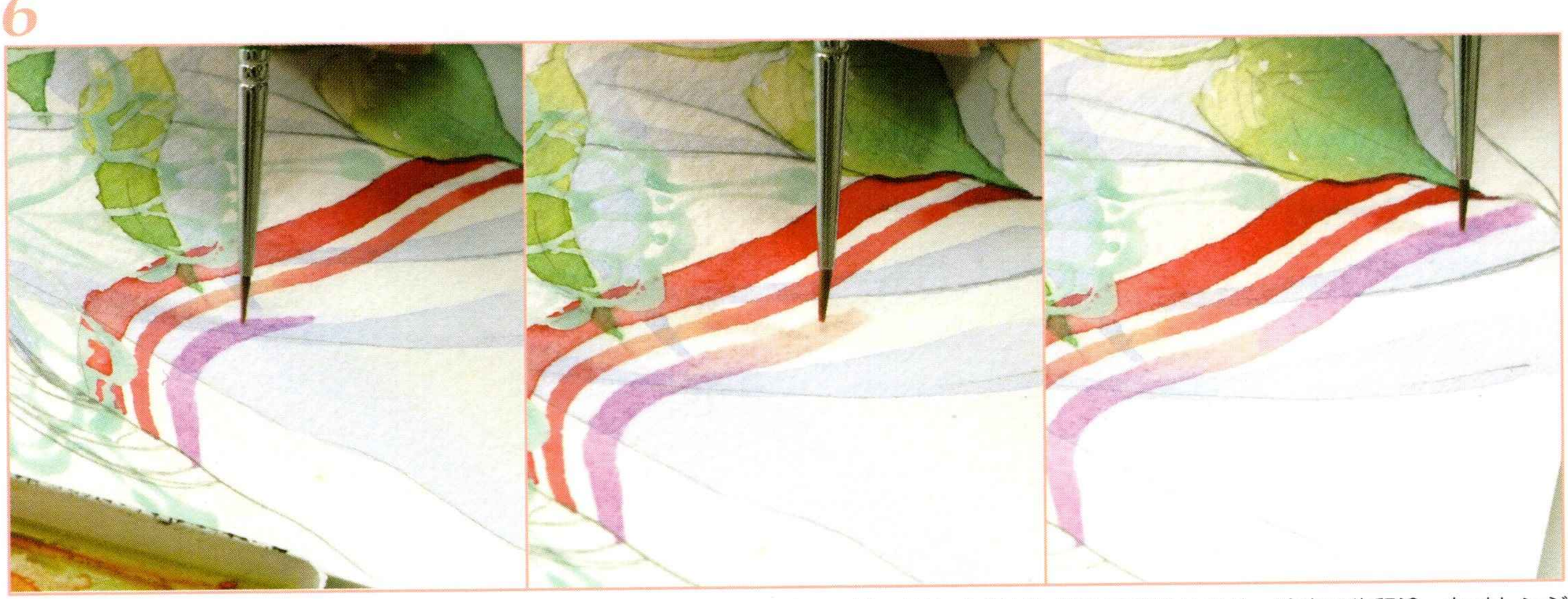
ここから着物の柄を描いていく。まずは肩のあたりから、体の立体感を意識しながらカーマイン（月）で１本目のラインを引く。ラインの端には深い赤のパーマネントカーマイン（W）をにじませる。

5



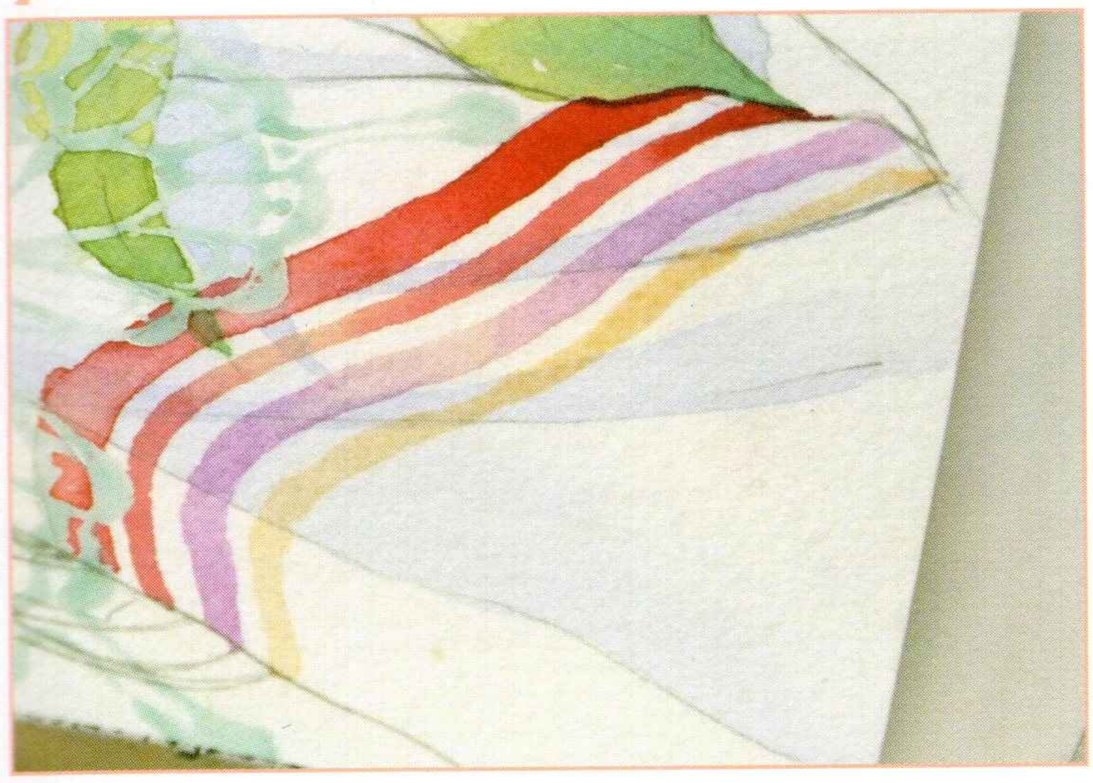
２本目は少し細いライン。光があたるところを淡くする。まずはカーマインを塗って、途中からネープルスイエロー（W）とウィンザーオレンジ（W）を混ぜたオレンジ色を、グラデーションにしながら繋げて描いていく。そして再びカーマインで端まで塗る。

6



３本目は少し太めの紫色のライン。モーブ（月）とコバルトバイオレットライト（H）を混ぜた紫色で塗りはじめ、途中で先程塗ったオレンジ色をグラデーションにしながら入れる。着物のしわを意識しながら、ラインをゆらっと描いて布の立体感を演出。

7



４本目は細めの黄色いライン。ここでは１色しか使わない。他のラインでオレンジ色を入れた位置は、黄色を少し淡くする。この４本のラインを繰り返して、着物の柄を描いていく。根気のいる塗りだが、じっくり丁寧に。

8

４色のラインを全体に入れ終わったら、仕上げにカゲを入れる。まずは常揚げの上に、深い赤のパーマネントカーマインをおいて青い点線のあたりまで水筆でのばす。紫のラインはモーブ、黄色のラインはウィンザーオレンジで同様にカゲをつける。この作業でカゲを強調していくと一気に立体感が出る。

close-up!

着物の柄が完成

柄の着彩は、ラインを１本ずつグラデーションで描くという、手間をかけた驚きの工程で描かれていた。光があたる場所は少し薄く、カゲが入る場所は濃く、４本のラインで揃えて塗る。こういった根気のいる部分も手を抜かずに丁寧に塗ることで、美しいイラストに仕上がる。

帯揚げ・帯・半襟を塗る

帯揚げは、ちょんちょんと色をおいて、
表面がでこぼこした「しぼり」の質感を表現。
帯と半襟は、パターン模様を描いて華やかに。

1

ラベンダー（H）で帯揚げを塗っていく。まずは、カゲになる下のほうに色をおく。

2

1で塗った色の上にちょんちょんとランダムにラベンダーをおく。表面がでこぼこしている「しぼり」布地のイメージで。

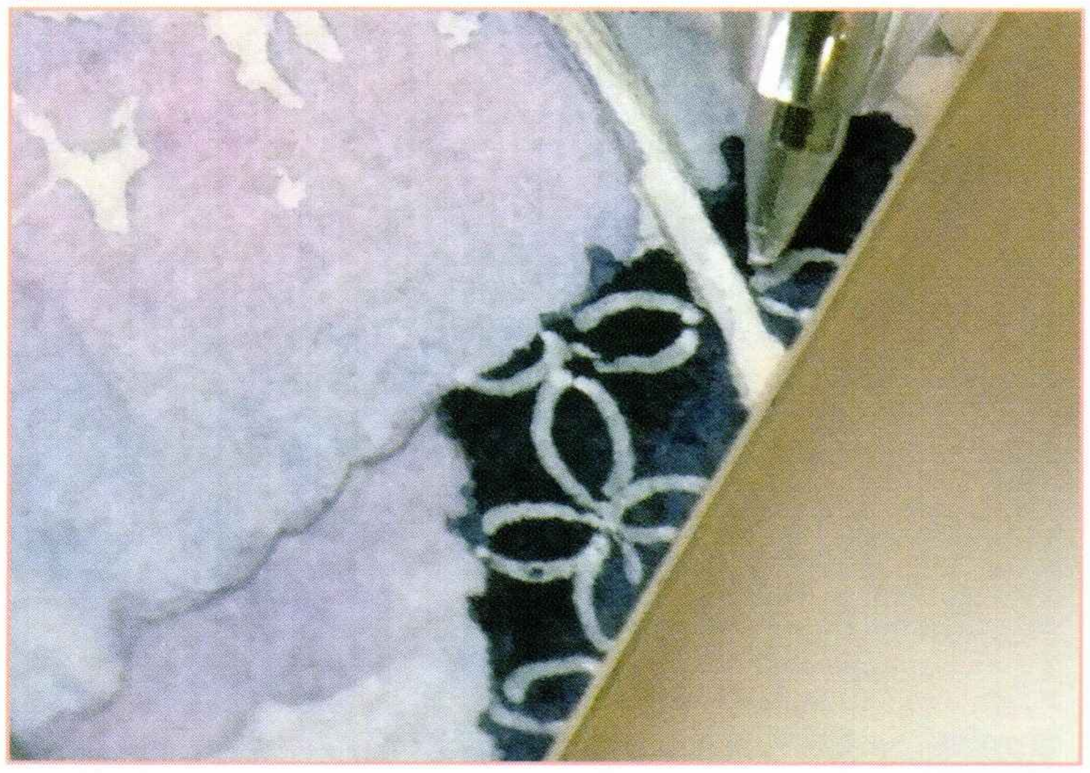
3

ラベンダーが乾かないうちに、モーブ（月）も同様にちょんちょんと重ねていく。色がじわっとにじむ。

4

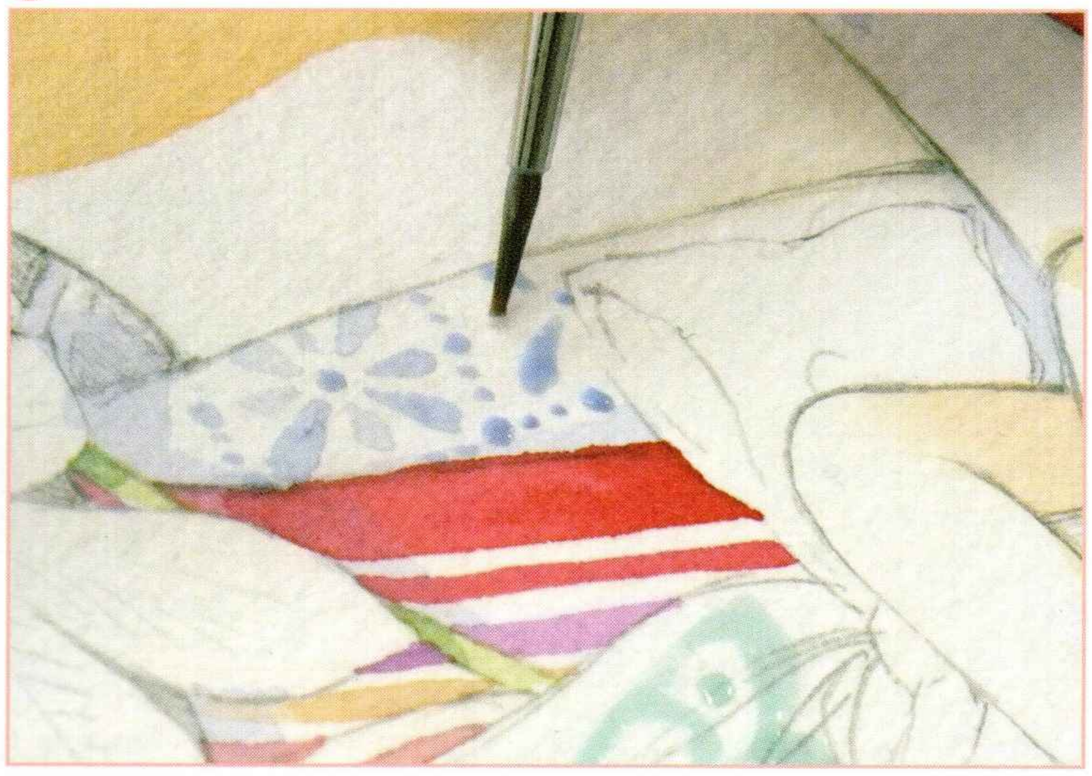
最後に、エッジがききすぎた部分を水筆でふわっとぼかして、帯揚げが完成。上図は色が乾いた状態。ところどころ水彩境界（色のフチ）ができて「しぼり」のでこぼこした質感が表現されている。

5



インジゴ（H）とモーブを混ぜた紺色で、帯揚げの下に少しだけ見えている帯を塗る。仕上げにホワイトペンで、花びらのような形を連続させた七宝繋ぎの柄を描いて完成。

6

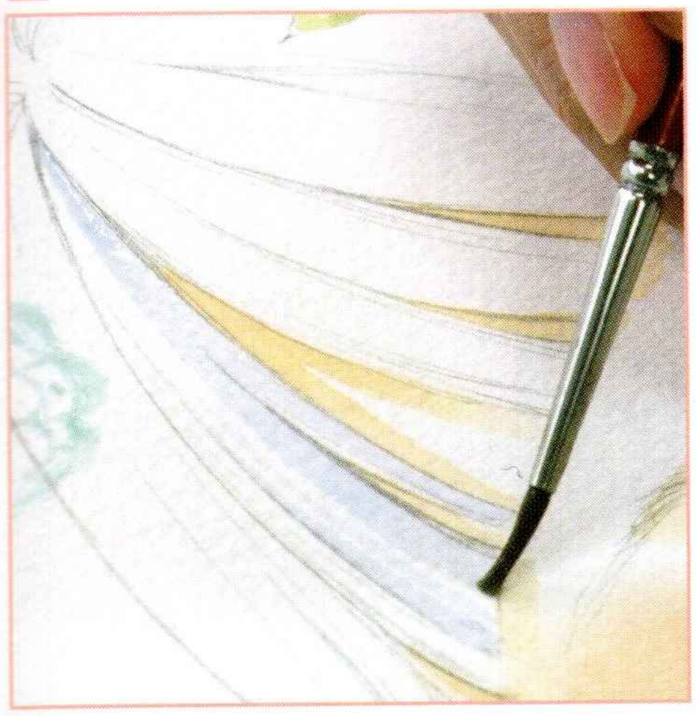


着物の襟の下に見えている半襟に柄を入れる。着物の柄を邪魔しないように白地にラベンダーで描く模様にした。キラッとした柄をイメージして、線と丸を組み合せたパターンを描いた。

髪のベースを塗る

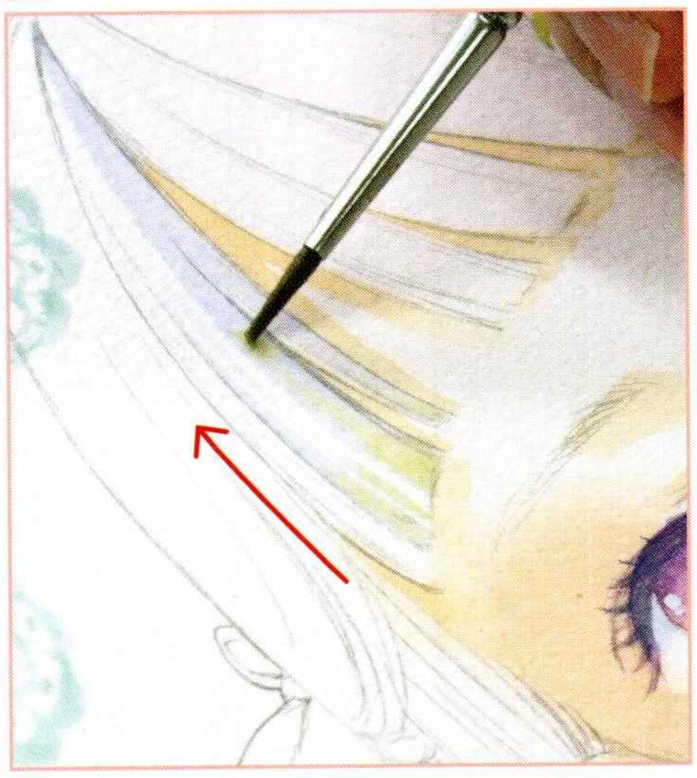
髪すじをラベンダー色で描いて、黄緑や紫もひそませ、ふんわりカラフルに。
「太い髪すじ」と「細い髪すじ」を混在させるとナチュラルな印象になります。

1



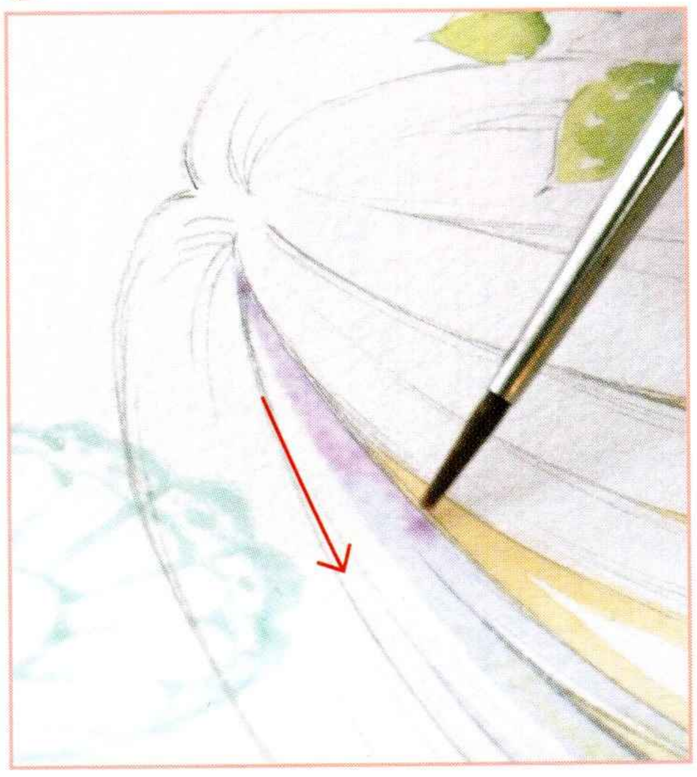
細かい髪すじは線画で描かずに、着彩時に色で描いていく。着物のカゲに使ったラベンダー（H）で、生えぎわから髪の流れに沿って前髪にすじを描いた。

2



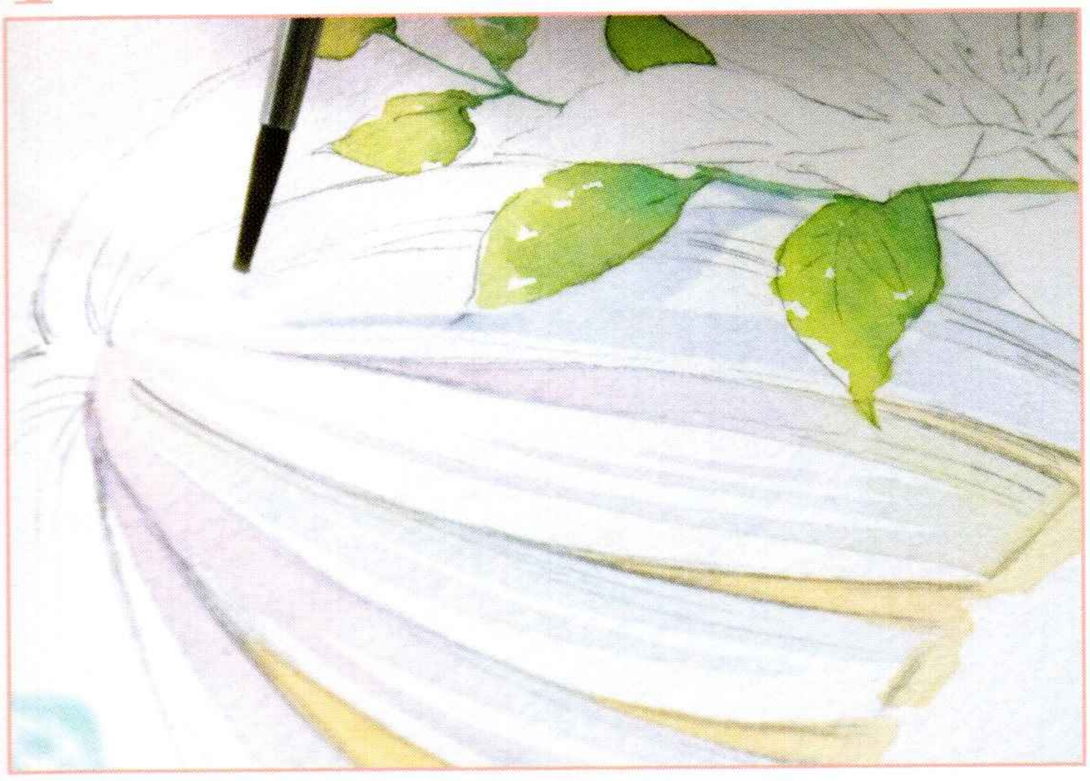
ラベンダーが乾かないうちに、下のほうに黄緑色のクロームグリーンライト（月）を塗る。それを上へ向けてグラデーションにする。

3



さらに、生えぎわに紫色のコバルトバイオレットピンク（月）を塗って、今度は下へ向けてグラデーションをつくる。

4

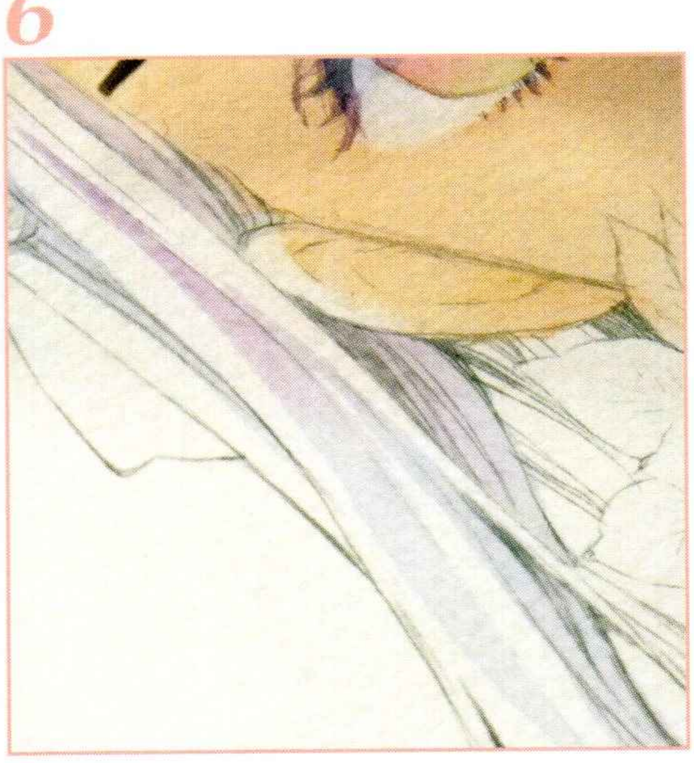


髪すじを描き進めた状態。ラベンダーで葉っぱのカゲも描いた。基本的には明るいところに黄緑色、カゲが強くなるところに紫色をおくが、ときどきそのルールをはずして色の調子を見ながらバランスを整える。

5

ラベンダーで塗った葉っぱのカゲに、コバルトバイオレットライト（H）を足した。今回のように、色の上に他の絵具を重ねるときは、水筆は使わずに色の水分でぼかしてなじませる。

6

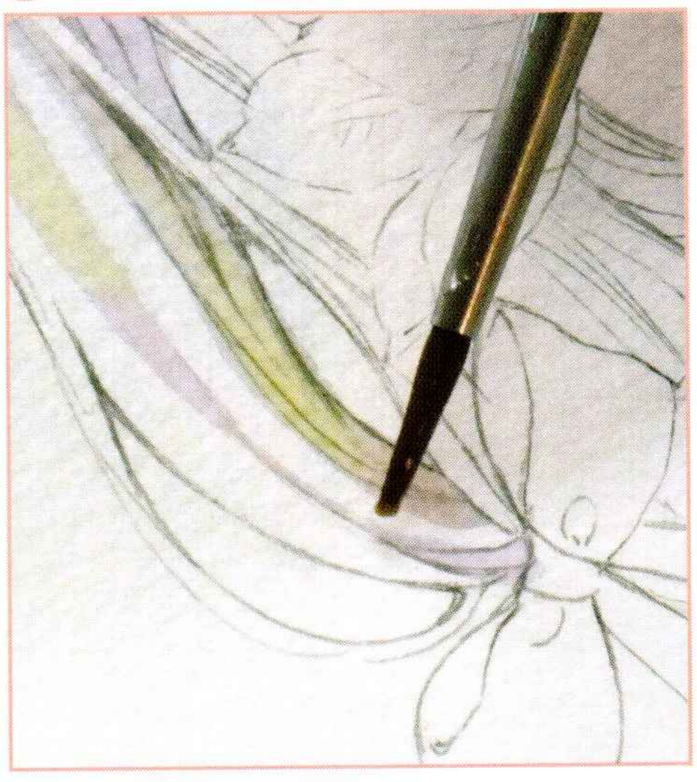


続いて、サイドの髪にもすじを入れていく。前髪と同様に、まずはラベンダーで描いて、乾かないうちに根元のほうにコバルトバイオレットライトをなじませた。

7

光があたっている中間にクロームグリーンライト（月）をなじませる。長い髪のすじは、均一な太さで描かずに、細い部分と太い部分をつくって動きを出す。

8

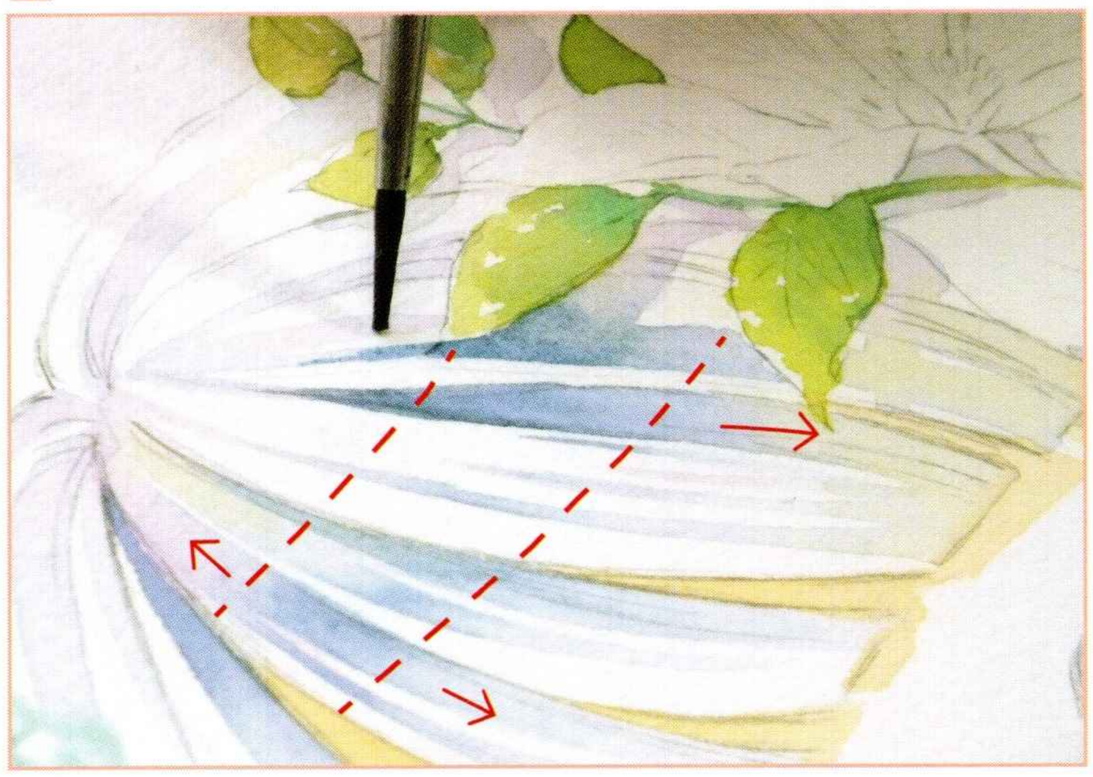


リボンの上部分に細くコバルトバイオレットライトを塗った。カゲと光を意識しながら紫色や黄緑色を足すことで髪にツヤができる。

髪に藍色を重ねる

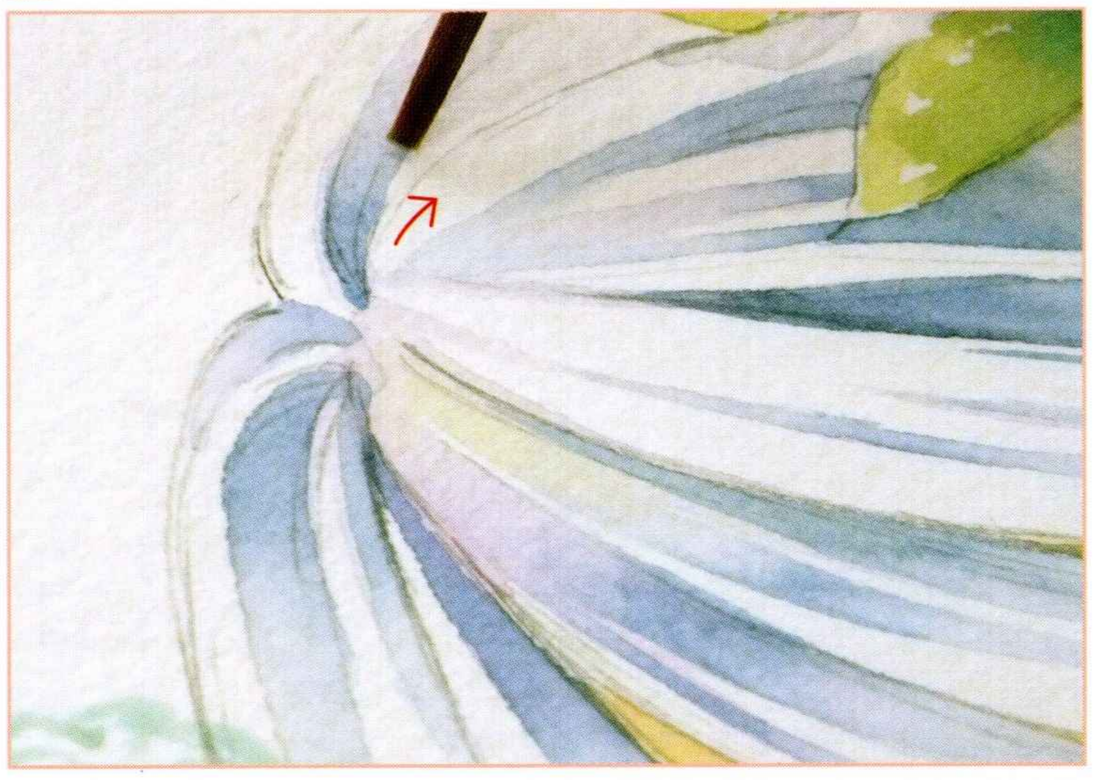
藍色を塗り重ねて、濃い髪色にしていきます。
再び水筆を使って１本ずつグラデーションに。

1



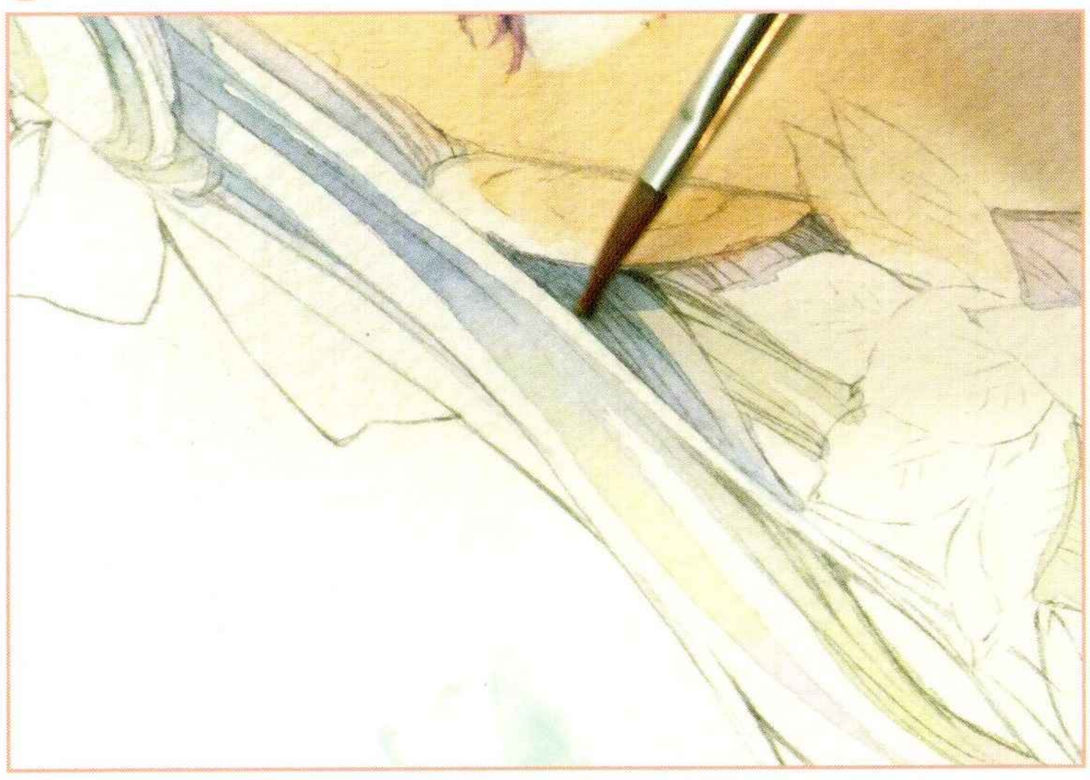
ウルトラマリン（月）とインジゴ（H）を混ぜた藍色を、髪すじの上に重ねていく。前髪の真ん中（点線で囲んだ部分）あたりに、藍色をおいて、水筆で上下をなじませる。

2



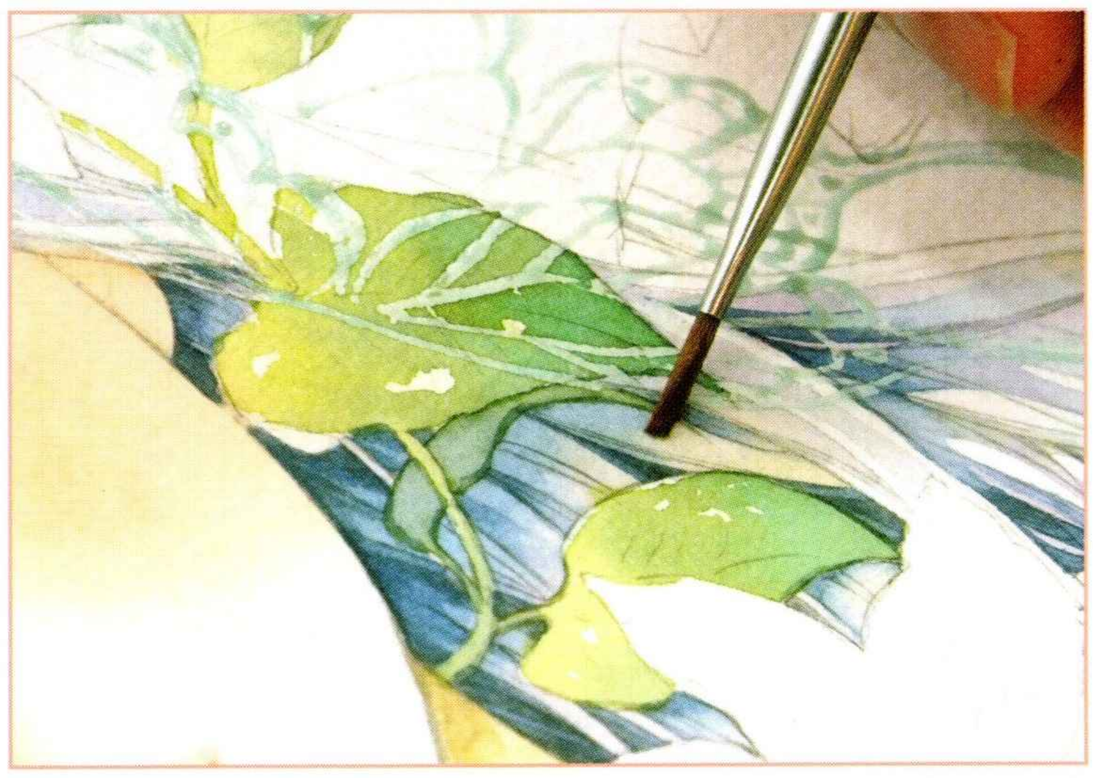
つむじの根元にも藍色をおいて、水筆で外側に向かってのばす。基本的には、23 ページで髪すじの色をおいたところにのみ藍色を重ねる。

3



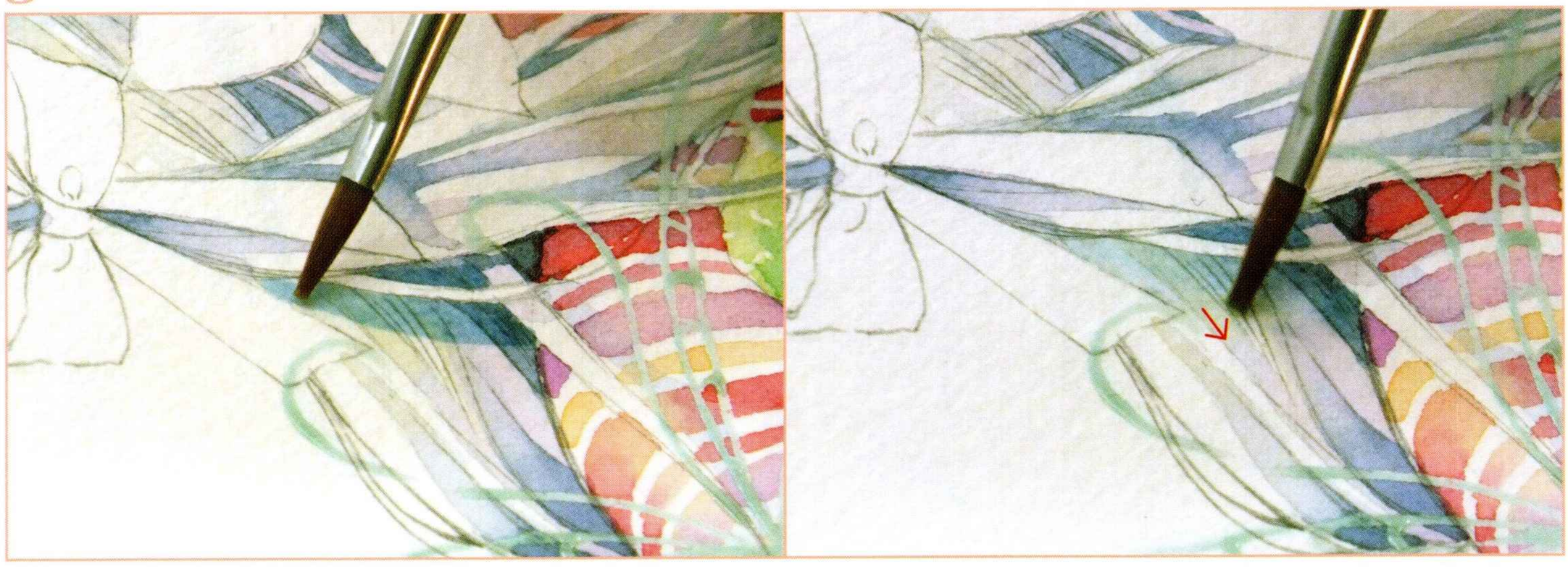
サイドの長い髪にも同様に藍色を重ねる。髪の根元のほうに色をおいて、水筆で下へ向かってグラデーションにする。この手順で、全体に藍色を塗っていく。

4



藍色を全体に塗り終ったら、プルシャンブルー（月）でカゲをつけて奥行きを出していく。まずは首の後ろに。それを水筆で下へのばす。葉っぱにもカゲを落とし、グラデーションでなじませて遠近感を出す。

5

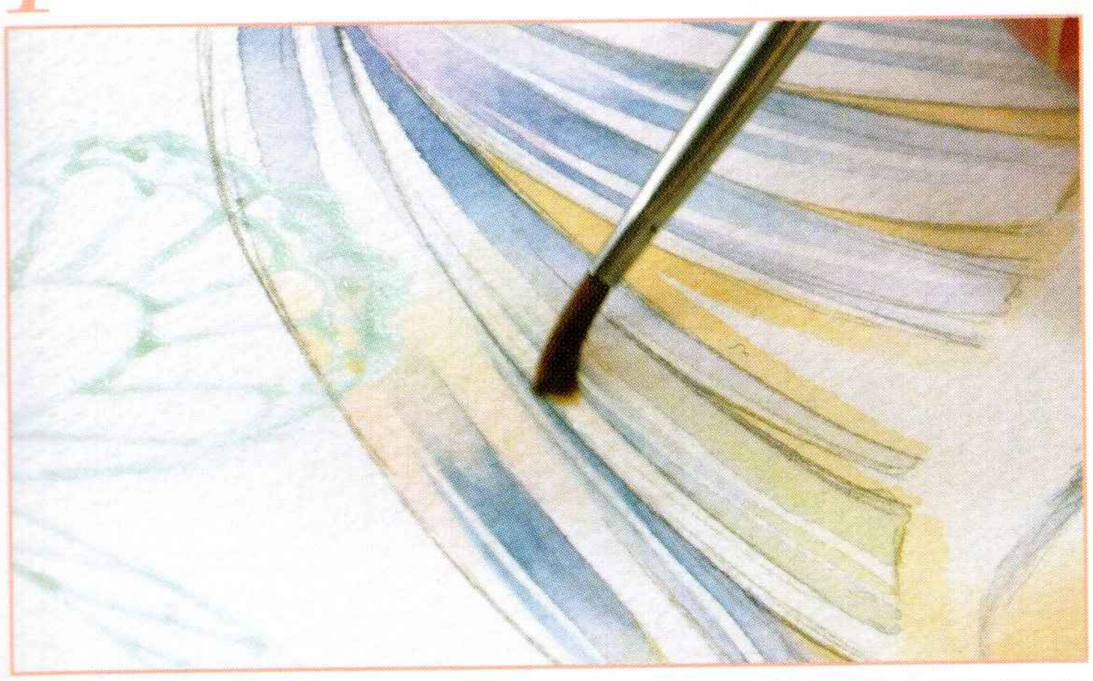


女の子が握っている髪の束の下にもプルシャンブルーでカゲを入れた。それを水筆でグラデーションにして自然なカゲに。「握っている髪の束」と「後ろの髪」に遠近感が出た。

髪に色みをたす

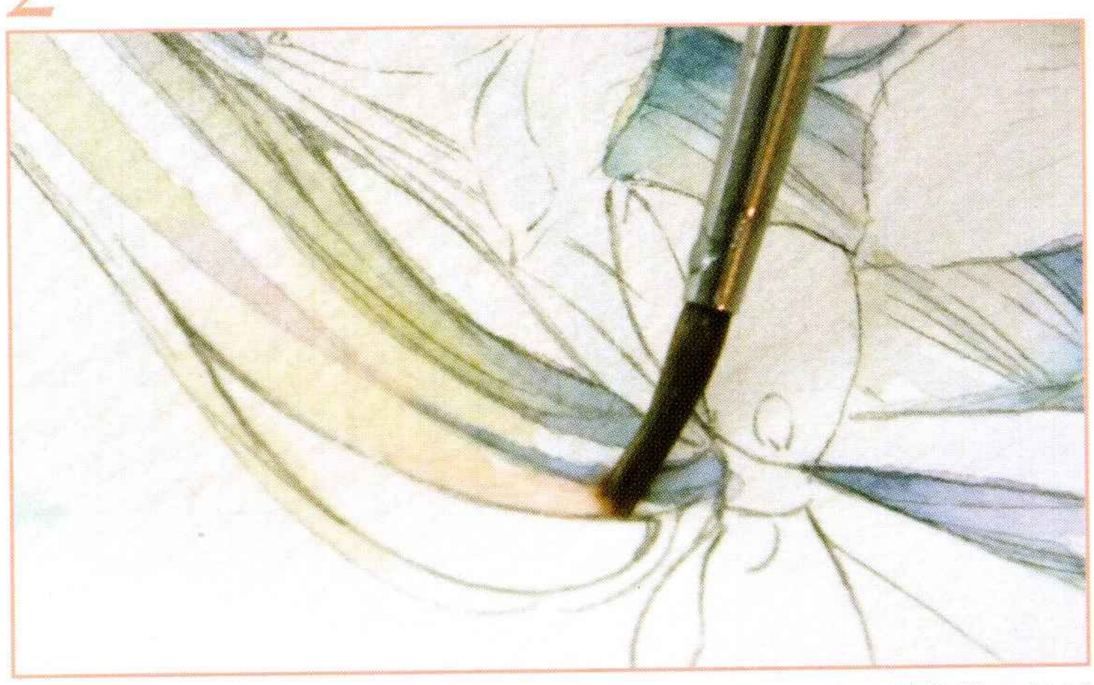
仕上げに、暖色系の色をふわっと髪にのせて柔らかな印象をプラス！

1



髪の一部に蝶の羽が重なっている。そこで、マスキングをはがした後に蝶の白抜きがよく見えるように、色をしくことにした。藍色が乾いたら、ネープルスイエロー（W）とコーラルレッド（月）を重ね、水筆でなじませる。

2

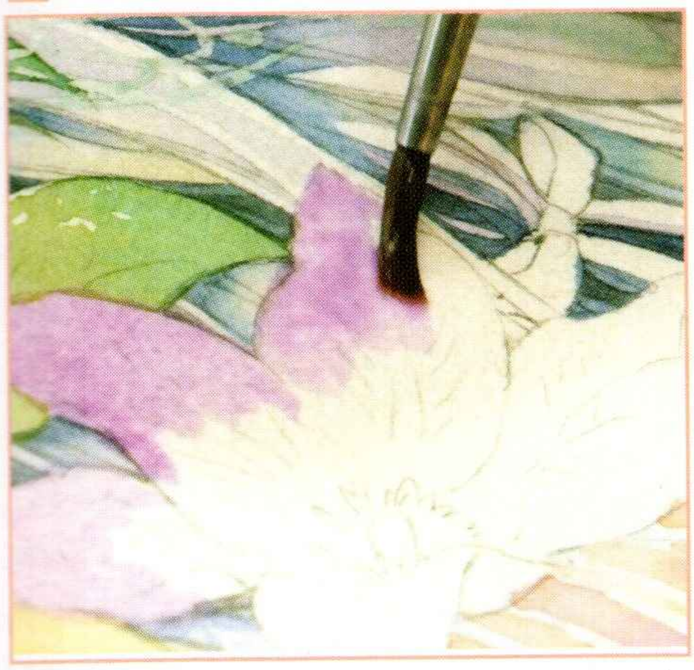


サイドの髪にも、先ほどの２色をのせてなじませた。髪には複数の色が入っているが、どれも淡い色みなのでなじみが良い。プリズムの光のようなカラフルな仕上がりになった。

クレマチスの花を塗る

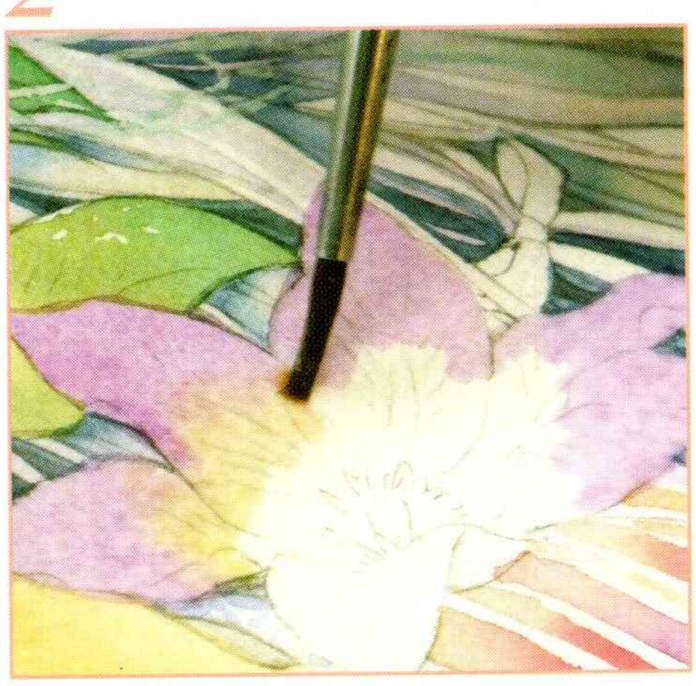
花びらのすじまでリアル描かれたクレマチスの花。
透明感のある紫で塗っていきます。

1



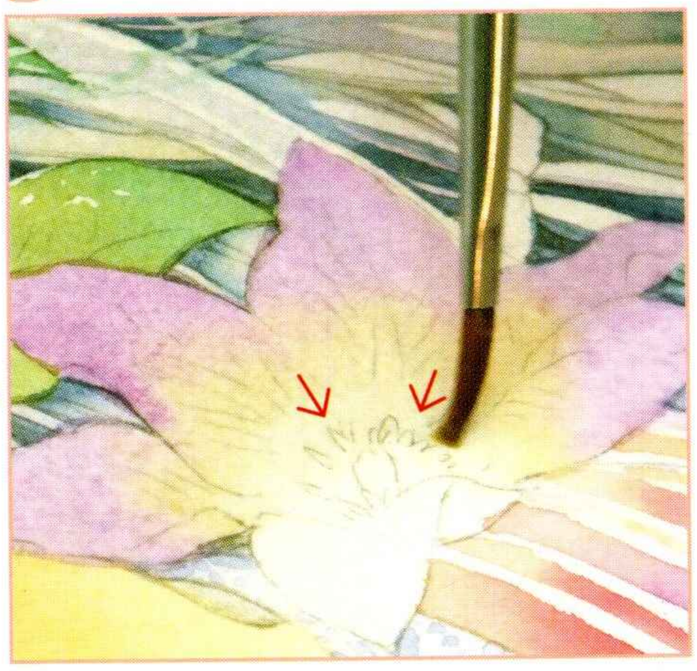
花びらの色は、紫色のコバルトバイオレットライト（H）。絵皿で溶いたときの上澄みの薄い色を筆に含ませて塗るのがポイント。

2



ごく淡い黄緑色のクリームグリーンライト（月）を内側に塗っていく。１の色が少し乾いていると、色が混ざりすぎず綺麗になじむ。

3

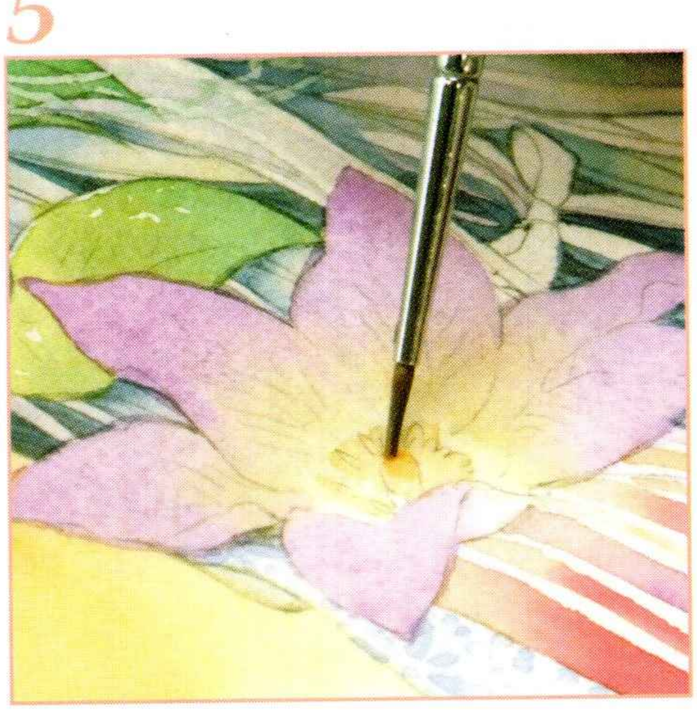


２で塗った黄緑色を真ん中に向けて水筆でのばす。実際のクレマチスはもっと白っぽい色だがバランスを見て黄緑色にアレンジした。

4

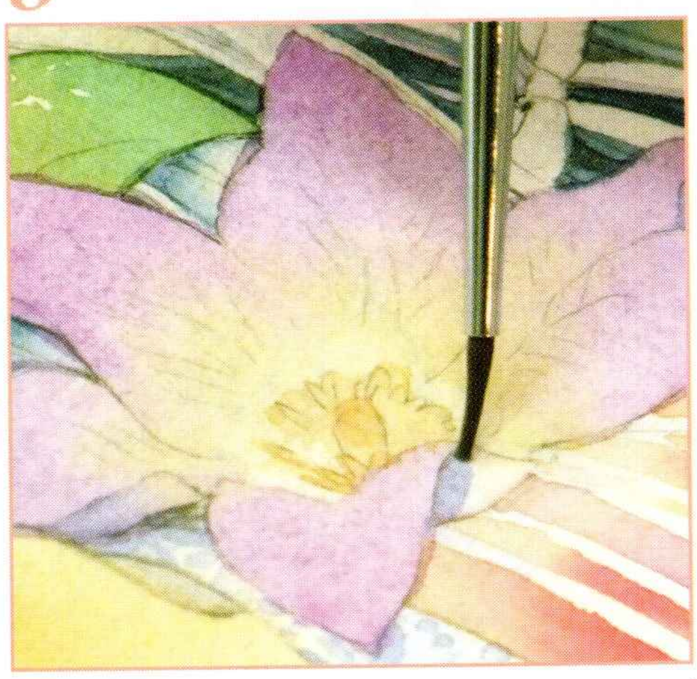
花びらの先端に紫色を重ねる。ここでは、絵皿の下のほうに沈殿している濃い色を使った。

5



続いて、クレマチスのおしべをネープルスイエロー（W）で、その先端とめしべをウィンザーオレンジ（W）で塗って目立たせる。

6

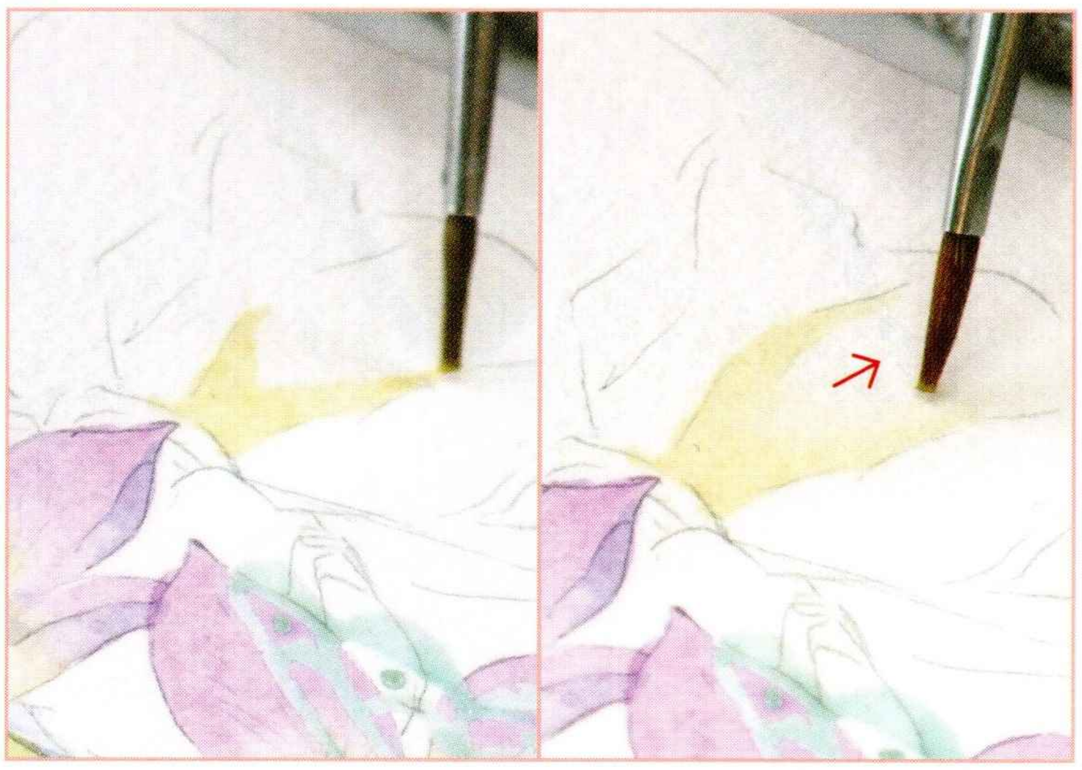


花びらのひるがえった部分に、プルシャンブルー（月）とコバルトバイオレットライト（H）を混色した青紫色を塗って完成。

透けるリボンを塗る

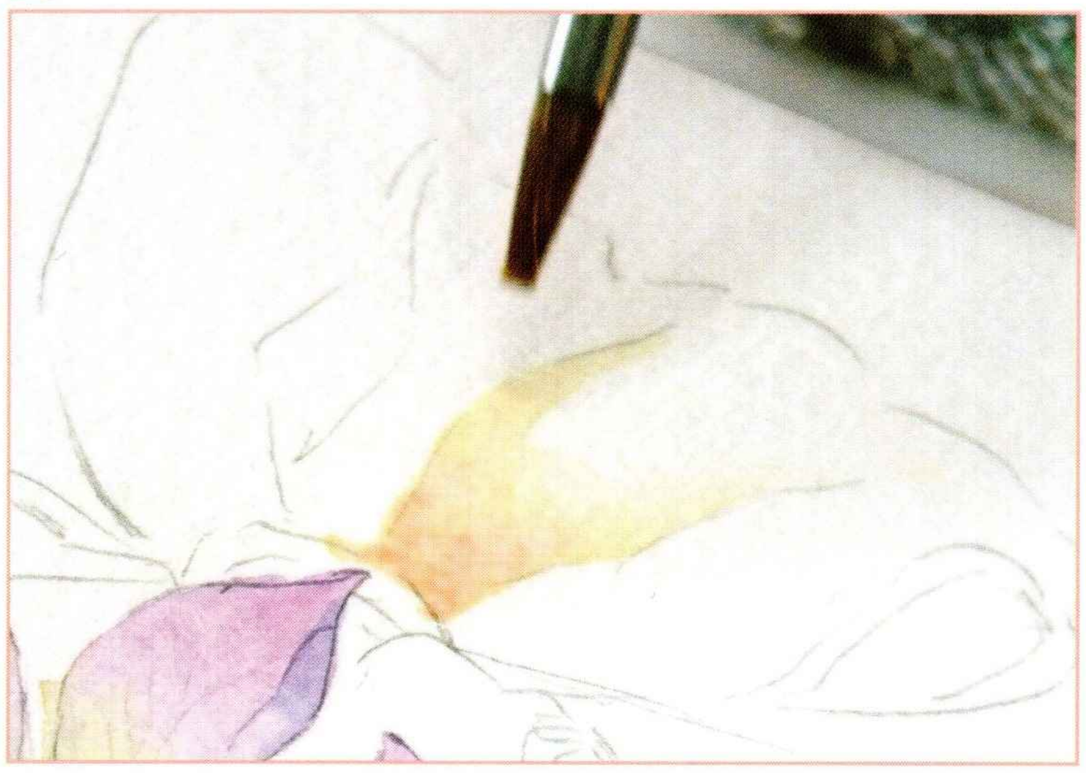
シフォン生地のくしゅっとしたリボン。
透けている素材感を淡い色で表現していきます。

1



まずは、リボンの結び目側にネープルスイエロー（W）を塗って、水筆で外側へ向けてのばす。

2

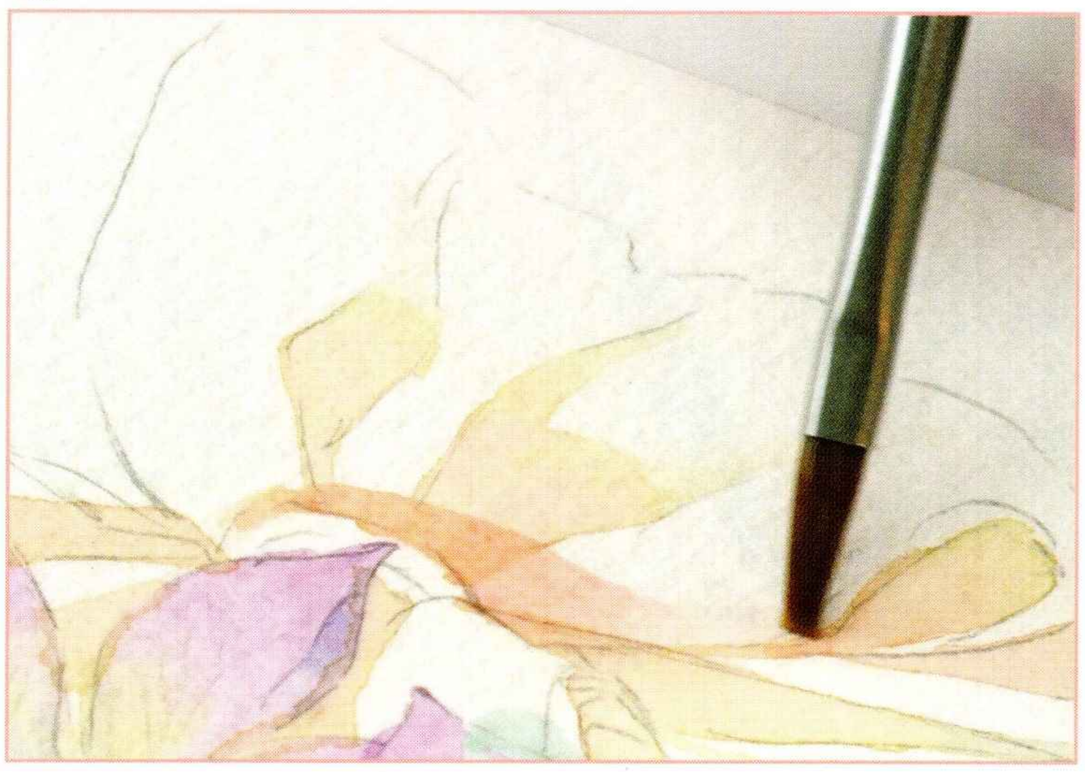


さらに、結び目の根元にコーラルレッド（月）を重ねてなじませる。
この手順で、他の膨らみやしわもふわっと塗っていく。

3

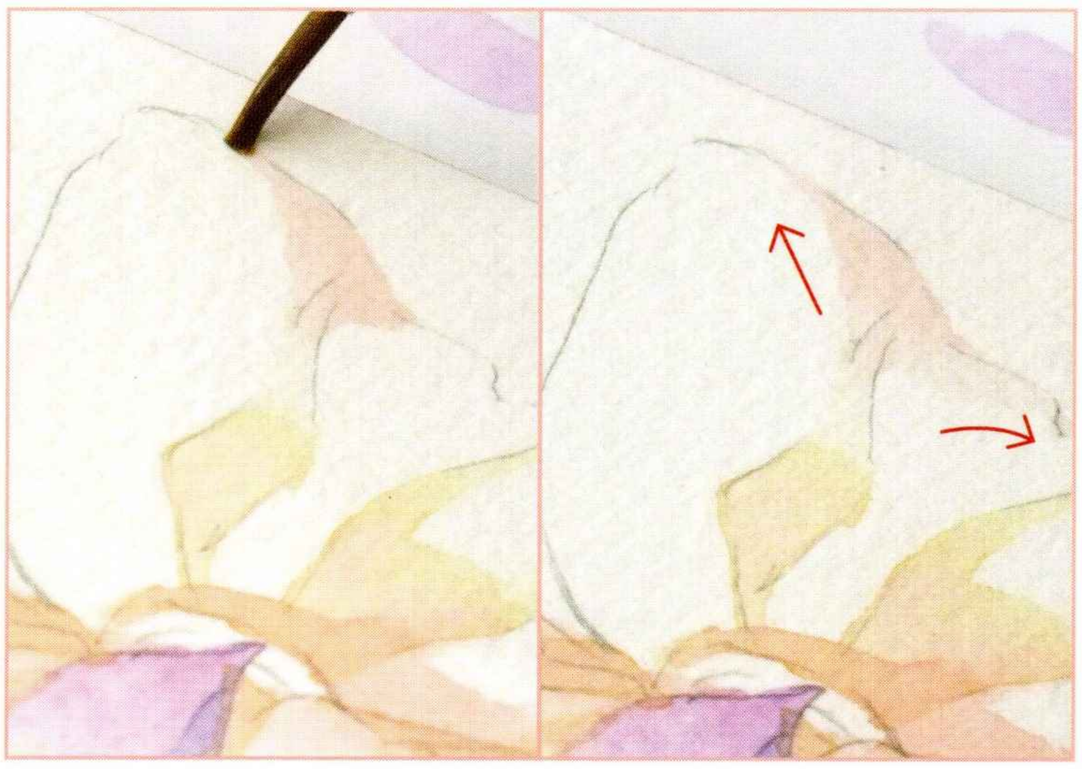
垂れているリボンのカゲも、ネープルスイエローとコーラルレッドを重ねて塗る。リボン全体を塗るのではなく、カゲになる部分に色をのせるイメージ。

4



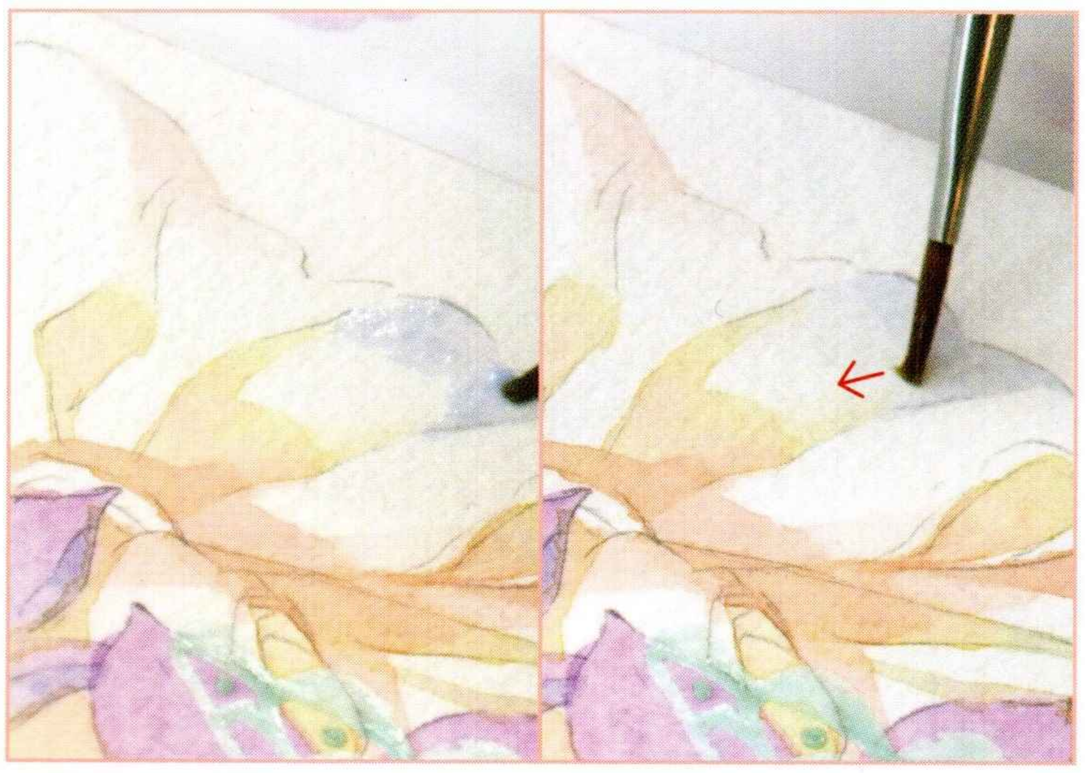
3までの塗りが乾いたら、少し濃いめのコーラルレッドで縦にカゲを描く。最初に塗った色と違う方向に色を重ねることで、くしゅっとしたカゲに見える。色が重なった部分が少し濃くなって、透明感のある綺麗なレイヤーになった。

5



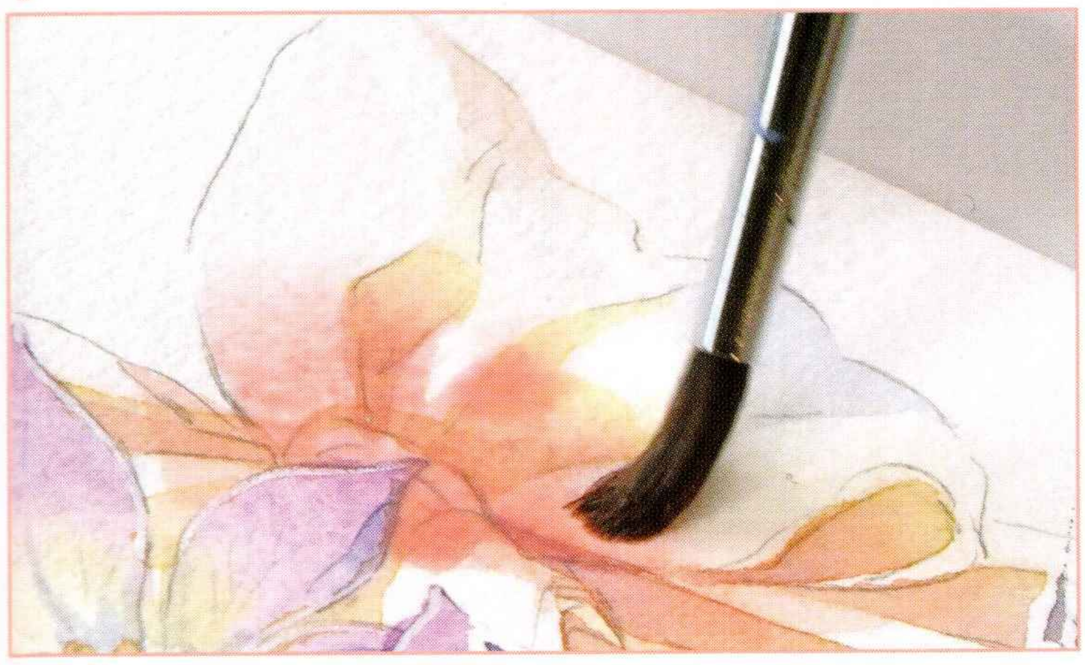
さらに、リボンの先端にもコーラルレッドでカゲをつけて、フチを水筆でふわっとなじませる。

6



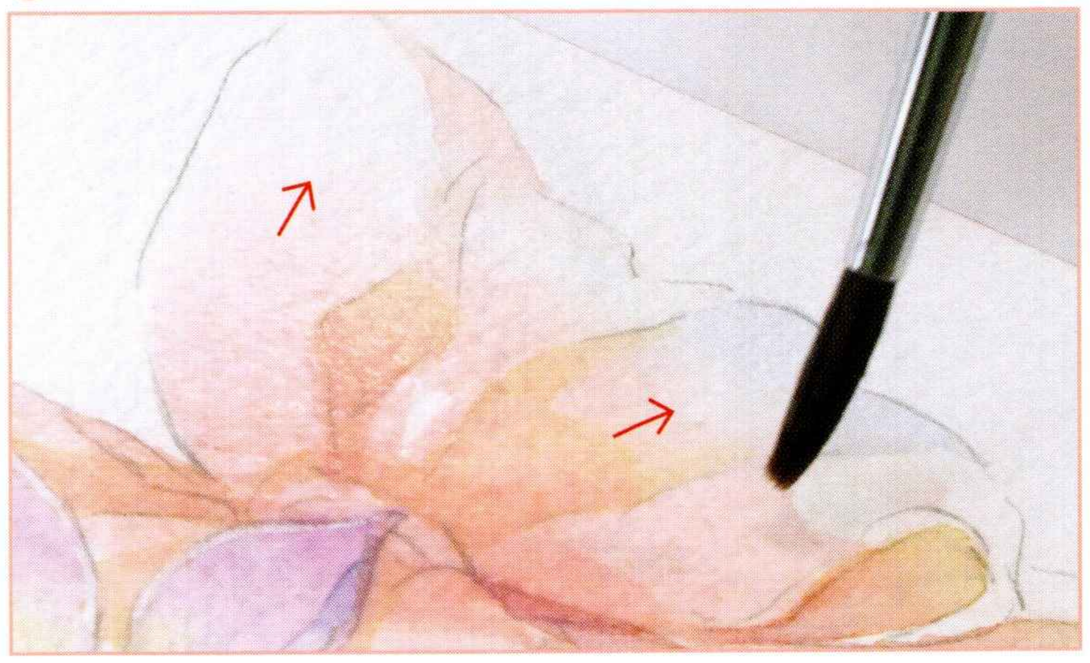
ラベンダーでもカゲをつける。リボンの内側に向かって水筆でのばしてグラデーションに。ラベンダーを入れると、より透き通った印象になる。
ここまでの塗りをいったん乾かす。

7



6までの塗りが乾いたら、リボンに水をしく。コーラルレッドとシェルピンク（H）を混ぜたピンク色を、リボンの結び目のほうに淡く塗る。

8

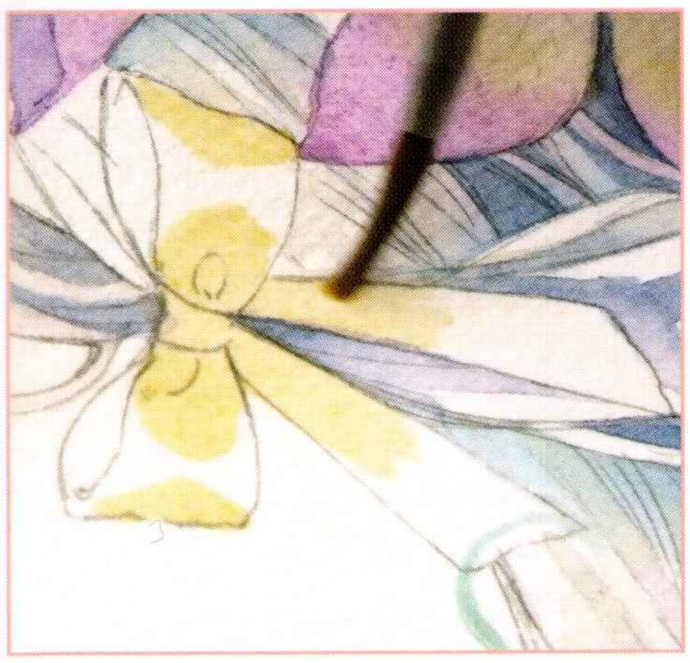


7で塗ったピンク色をふわっと広げて完成。ピンク色は均一に広げるのではなくグラデーションにする。先端のほうを白く残すと、よりいっそう透明感が出る。

黄色いリボンを塗る

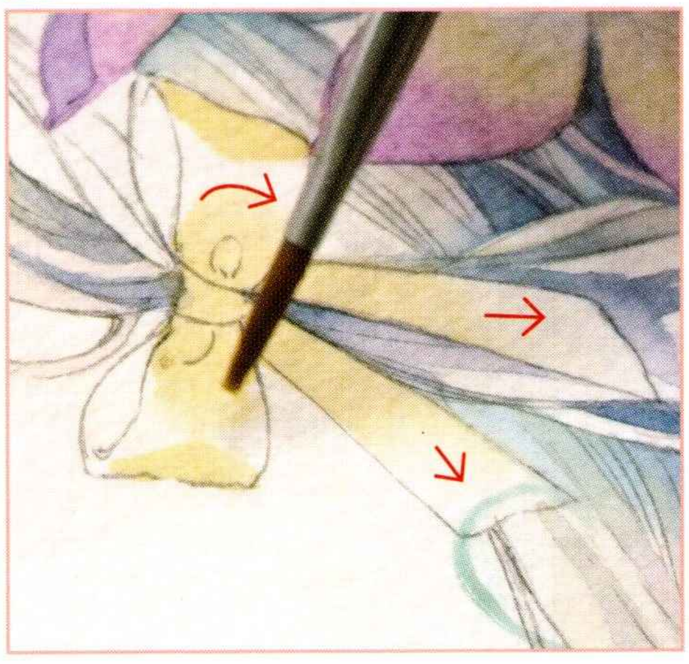
黄色いリボンは、ハリのある素材感を意識して塗っていきます。
カゲをしっかりつけて立体的な印象に。

1



リボンの膨らみを白く残しながら、ネープルスイエロー（W）を塗る。

2

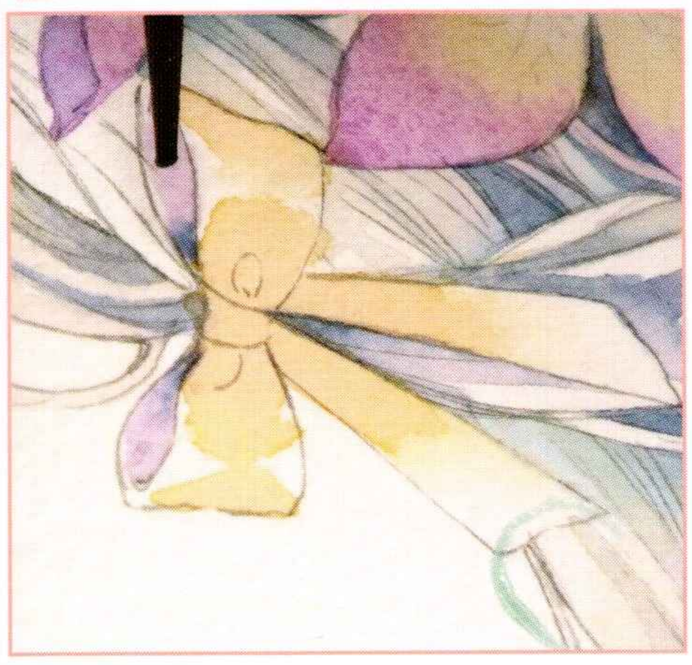


水筆でフチをなでるようになじませる。くっきりしていた色の境界がやわらかくなった。

3

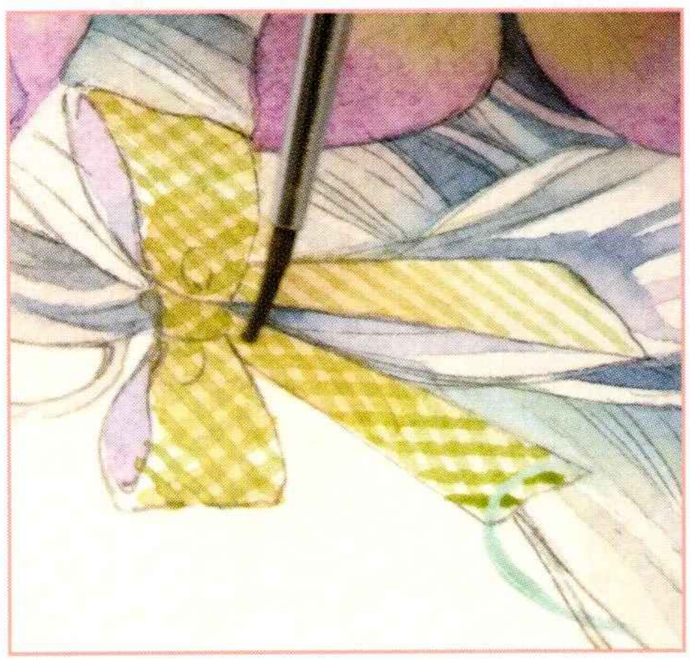
結び目のまわりや、リボンの両端にウィンザーオレンジ（W）を重ねて、水筆でぼかす。点線部分はエッジを残した。

4



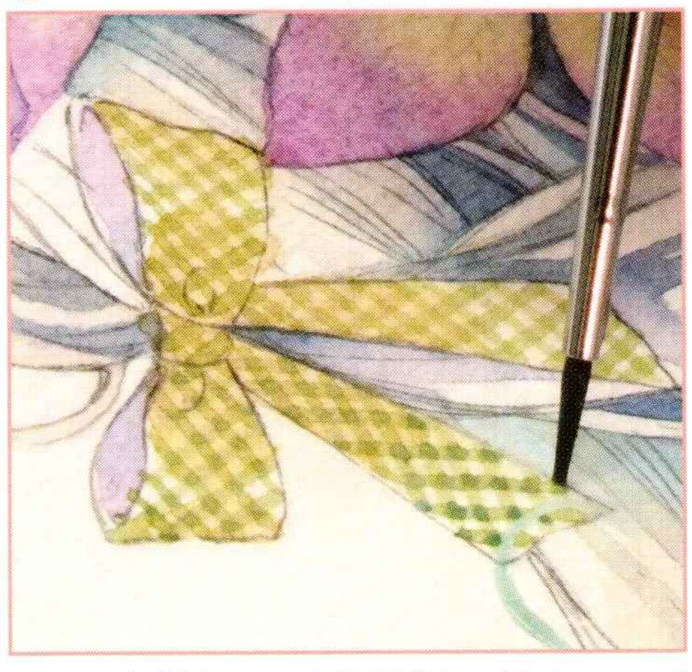
リボンの内側をコバルトバイオレットライト（H）で塗り、結び目のあたりに少しだけインジゴ（H）を塗ってぼかす。

5



最後に、グリーンライト（月）とオキサイドグリーン(月)を混色した緑でチェックを描く。

6

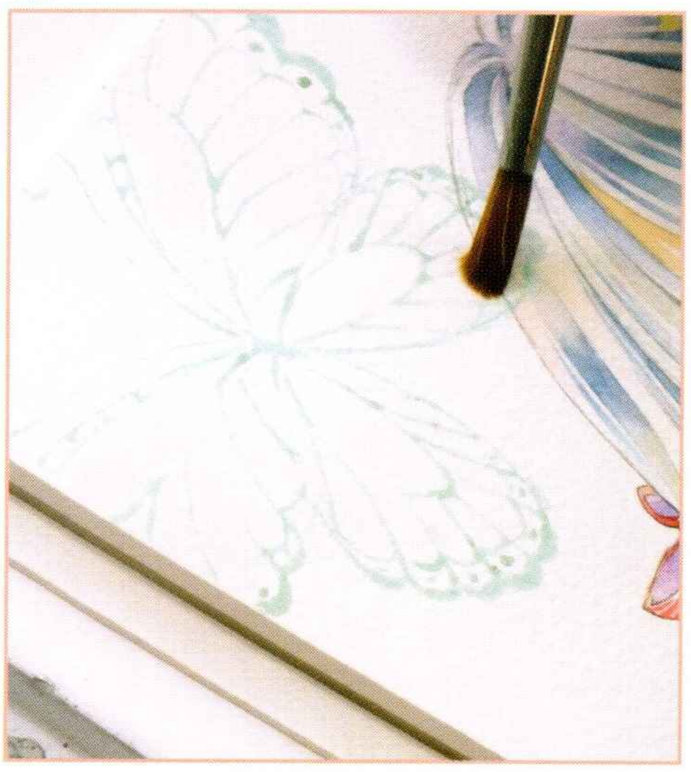


チェックがクロスする部分にプルシャンブルー（月）をぽつぽつと塗って完成。

蝶を塗る

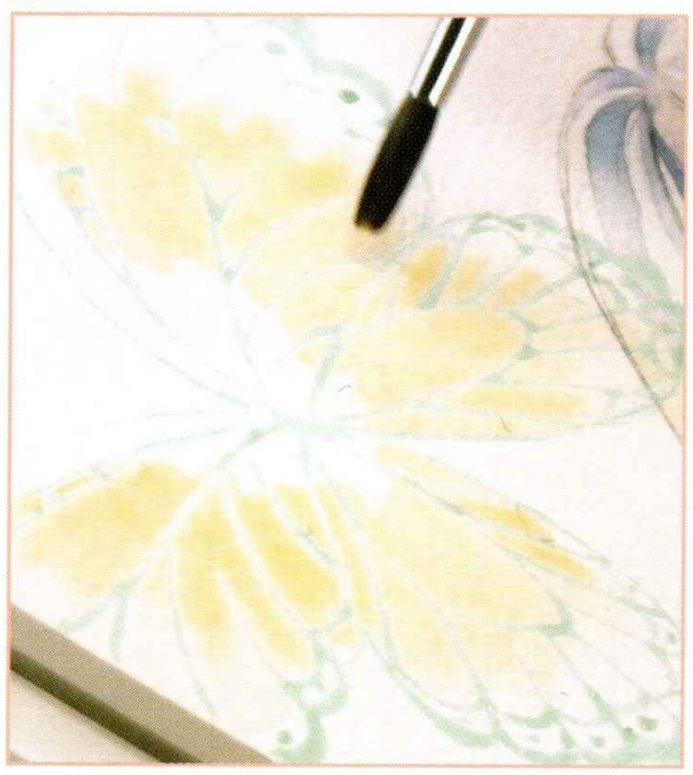
蝶の形を浮き立たせるために、蝶の内側とまわりに色を広げます。
複数の色を淡く塗り重ねて、華やかなグラデーションに。

1



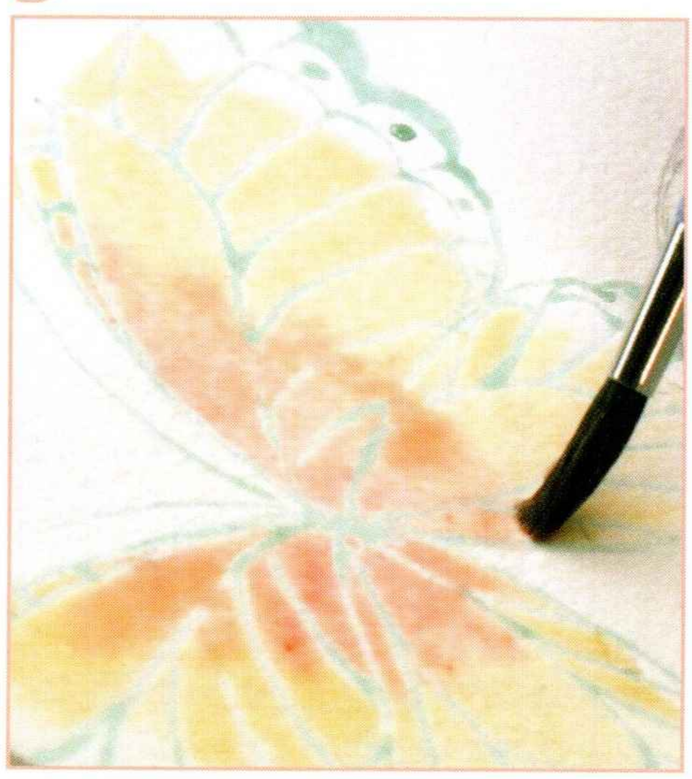
まず最初に、蝶の中に水をひく。広い面に水をしくので、ここでは水含みのよい太めの筆を使った。

2



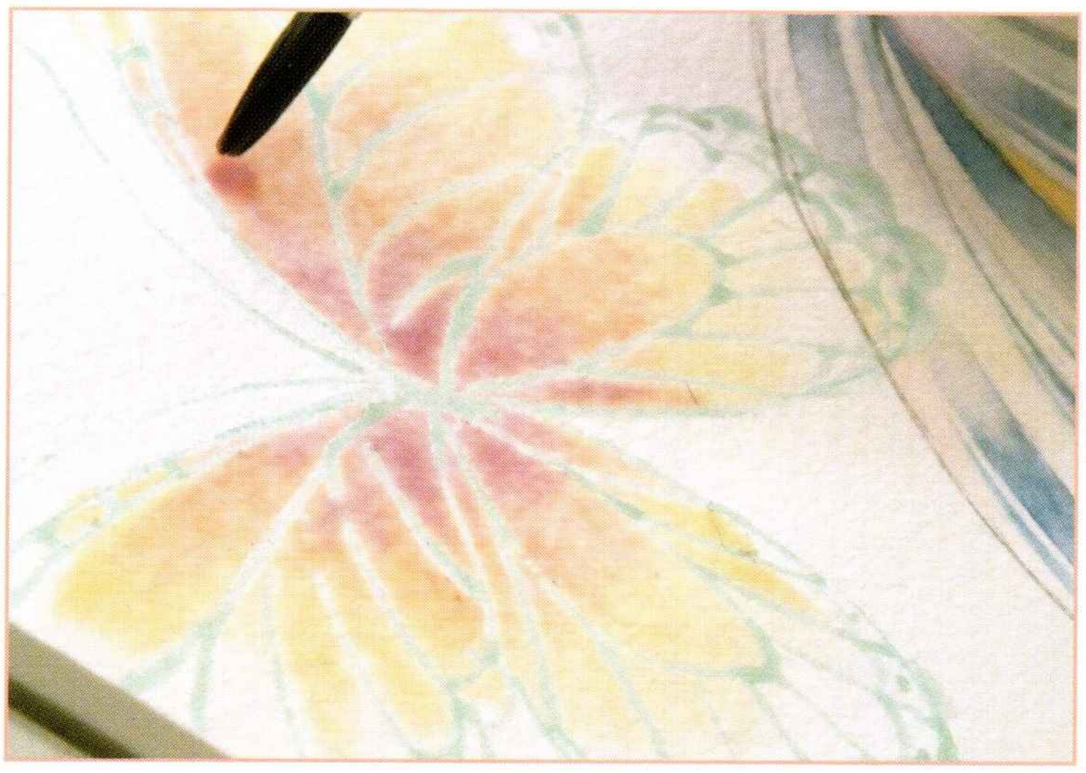
ネープルスイエロー（W）とサクラマット水彩絵具のホワイトを混色した不透明な淡い黄色を、羽の内側に塗っていく。

3



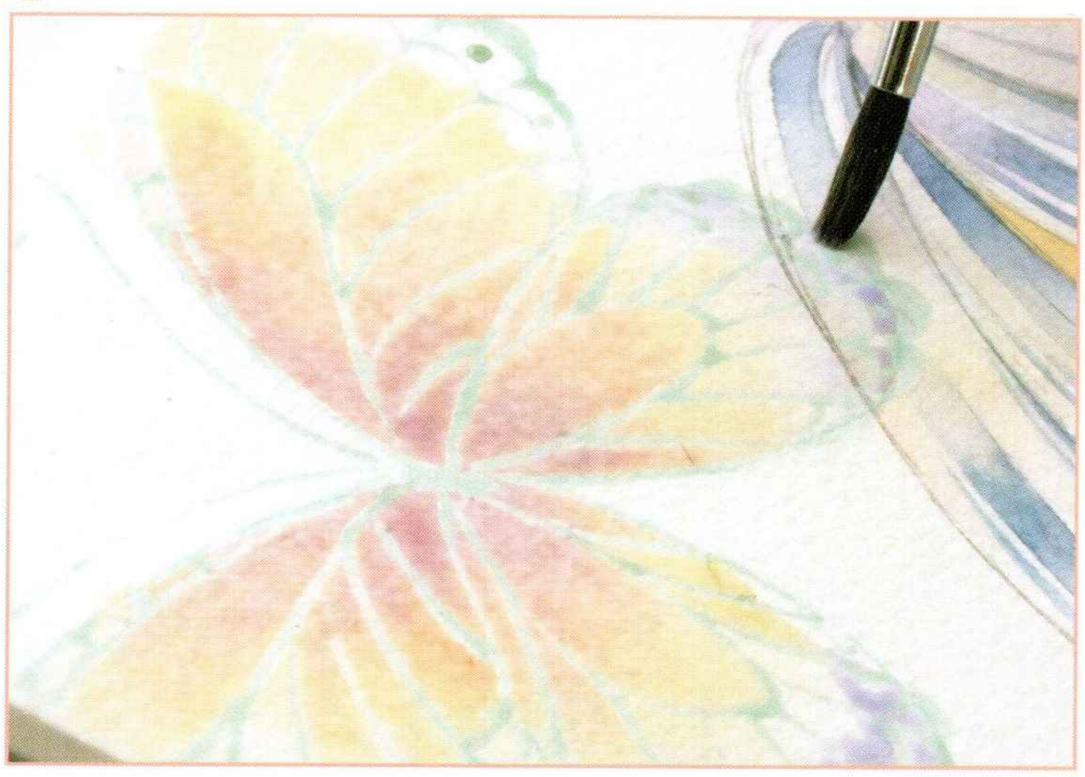
2で塗った色が乾かないうちに、コーラルレッド（月）を内側に塗る。水筆は使わずに色の水分でなじませる。

4



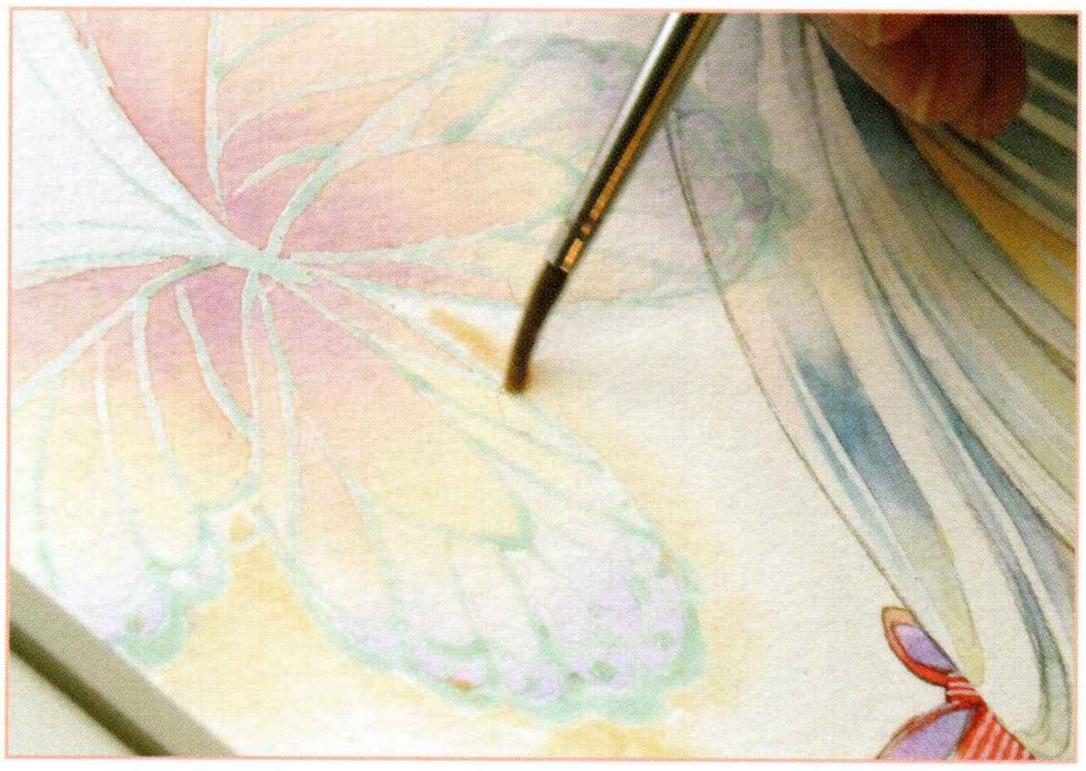
さらに内側に、コバルトバイオレットライト（H）を塗って同様になじませる。外側へ向かって黄色に変化していくグラデーションになった。

5



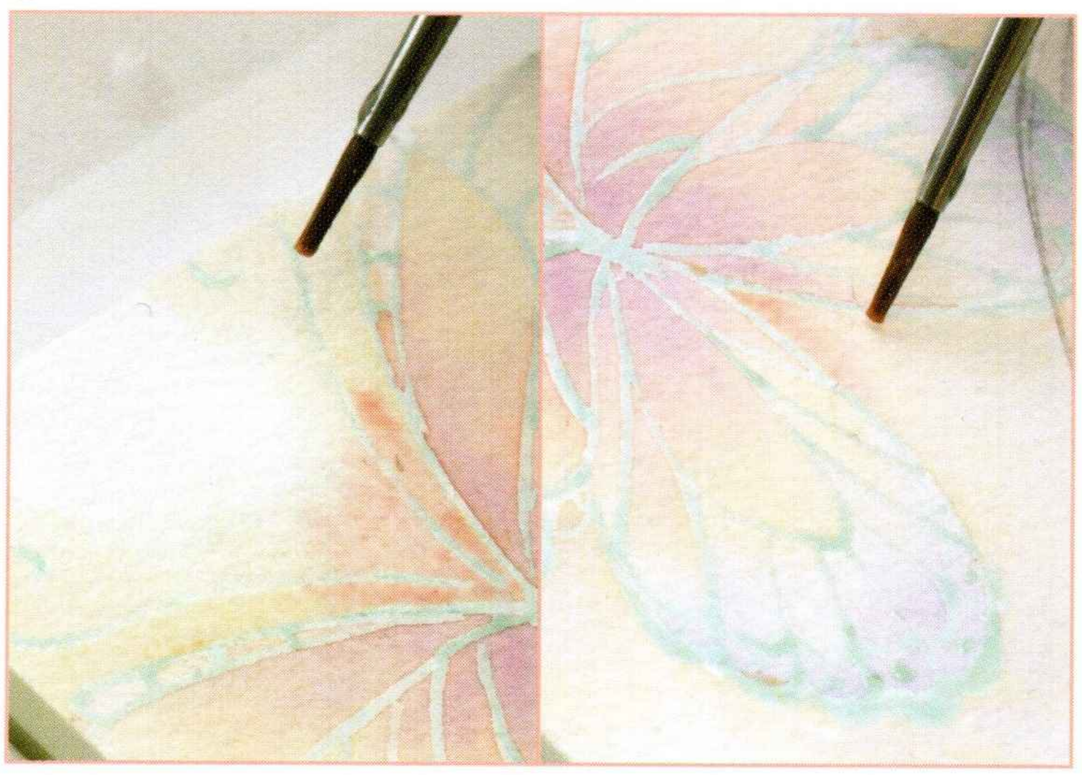
最後に、羽の輪郭のあたりにラベンダー（H）を塗る。羽の先端は濃いめに、淡い黄色とはあまり色を混ぜないで淡いグラデーションにする。

6



マスキングをはがしたときに蝶の形がよく見えるように、外側にもネープルスイエローで塗っていく。

7

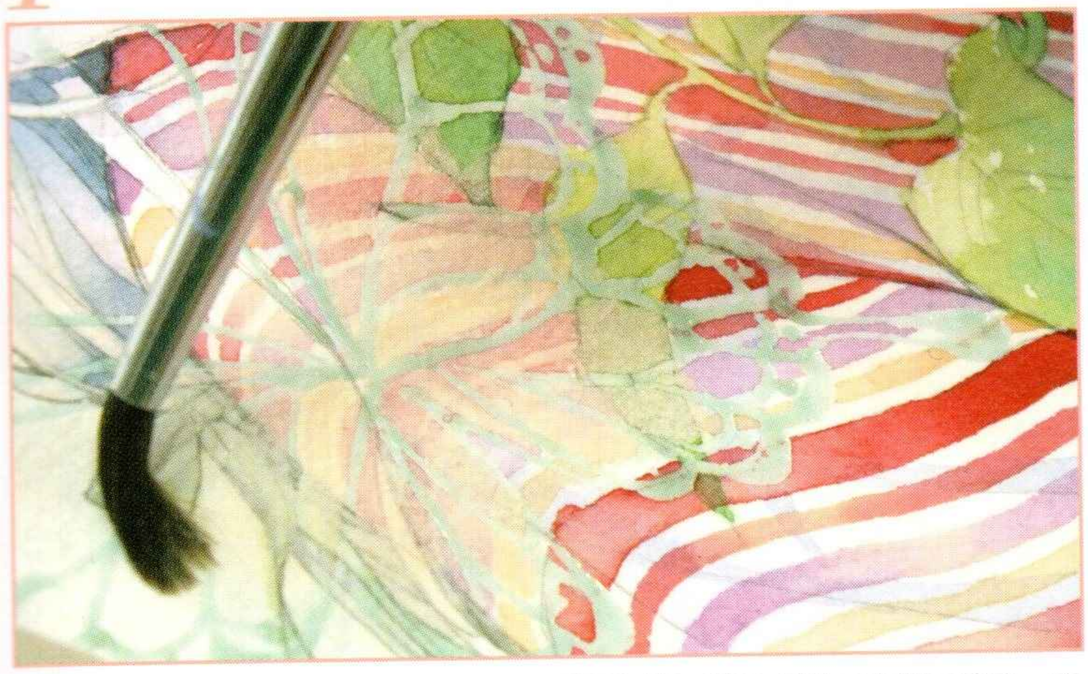


外側の羽と羽の間にはコーラルレッドを塗る。真ん中の赤みがふわっと広がっているような印象に。

着物に重なっている蝶を塗る

蝶は、ベースに不透明な肌色を塗るのがポイント。
下の色がおさえられて、くもりガラスのような効果が生まれます。

1

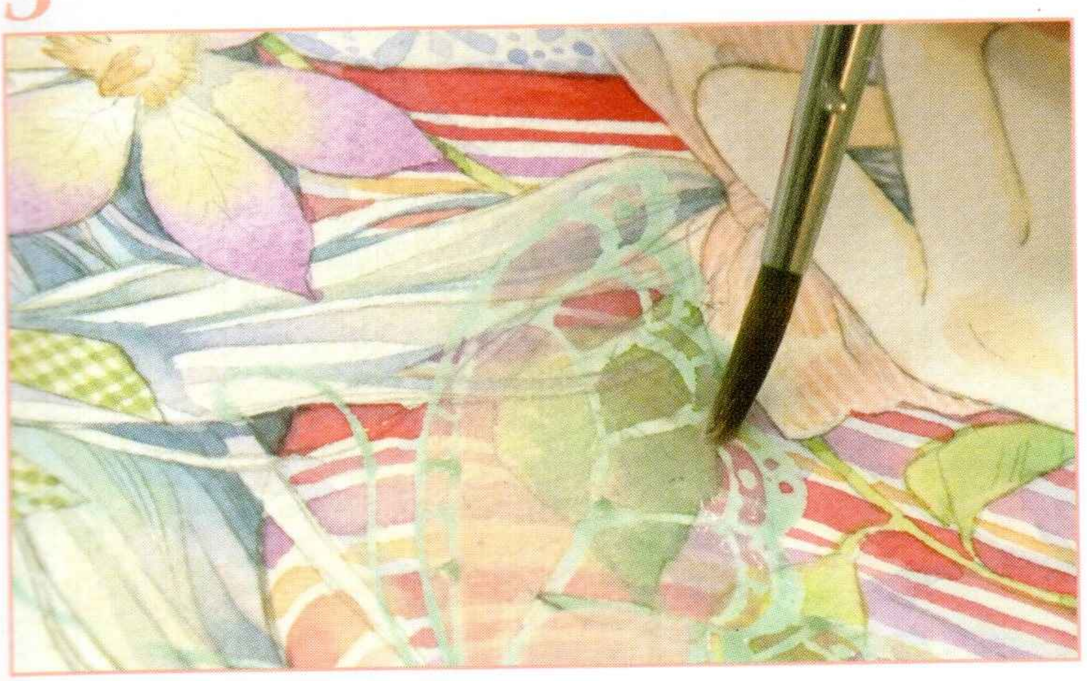


まずは水をしいて、先ほども使った不透明な淡い黄色を蝶の内側に塗る。不透明な色をベースにしくことで、着物や葉っぱの色味が少しおさえられて、くもりガラスのような効果になる。その肌色を水筆で外側へ淡く塗り広げる。

2

蝶の真ん中あたりに、コーラルレッド（月）を塗って、水筆は使わずに絵具の水分でなじませる。

3



さらに、羽の先端にコバルトバイオレットライト（H）を塗る。

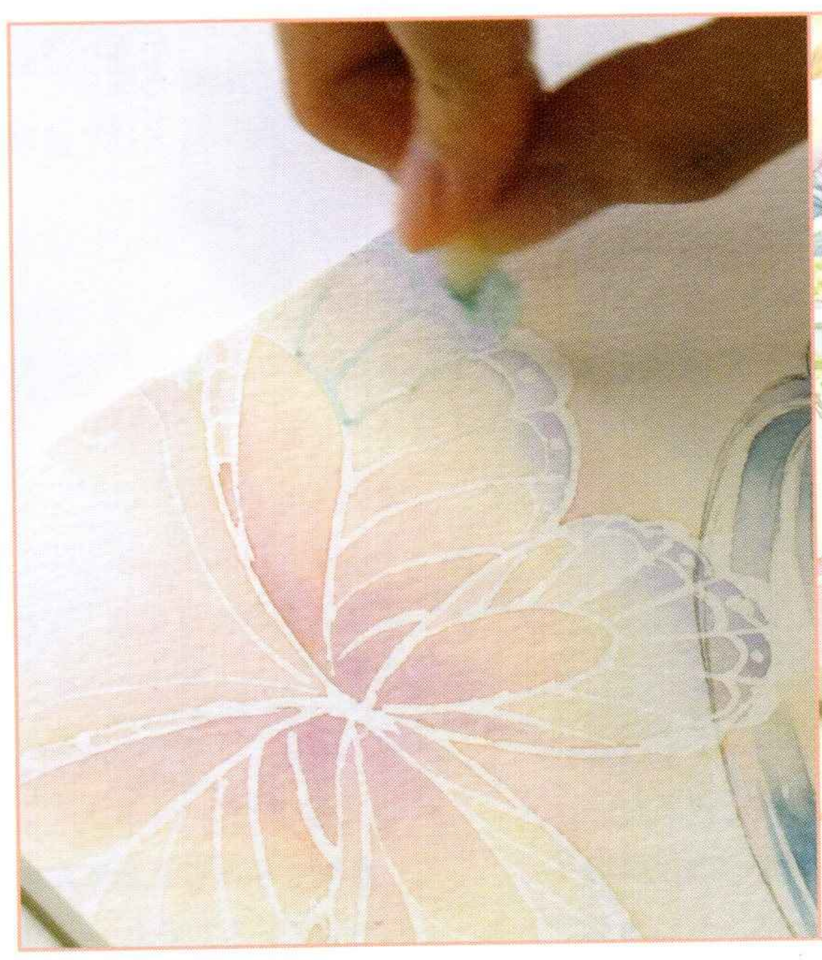
4

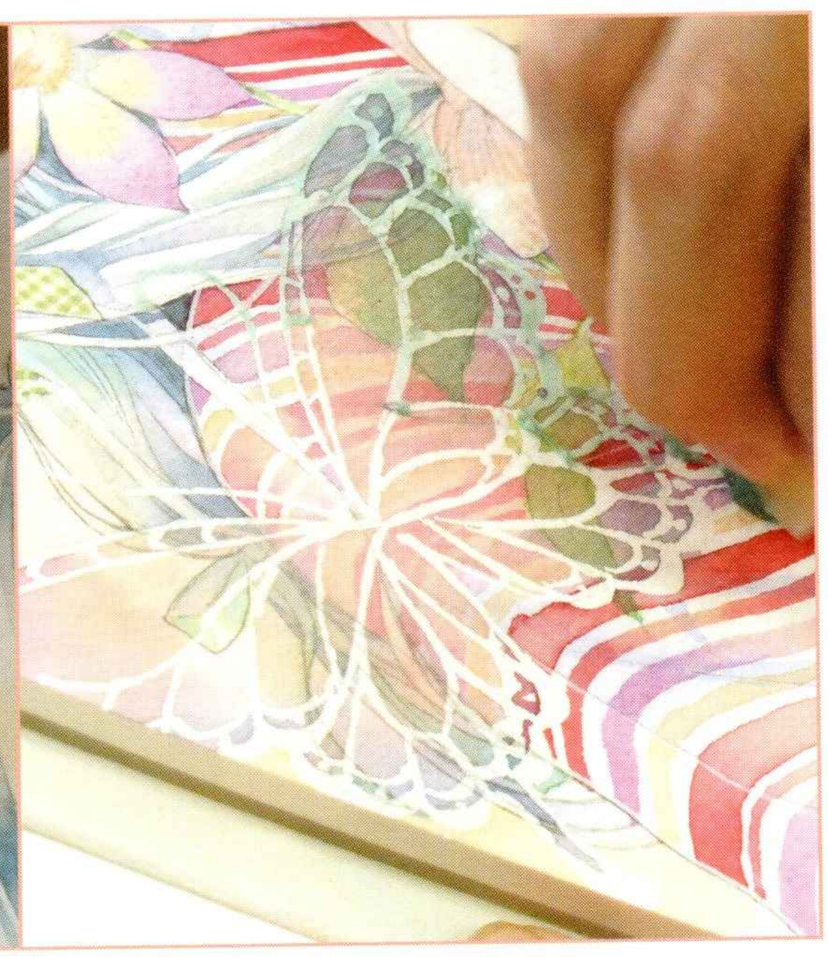
インジゴ（H）とプルシャンブルー（月）を混色した藍色を羽根の先端に塗ってなじませる。蝶と人物に重なっている部分は、羽の中にのみ色をのせるようにする。

マスキングをはがす

専用のラバーでマスキングをはがしていきます。
保護されていた蝶の形が白地のまま出てきました！

ミツワ　ラバークリーナー



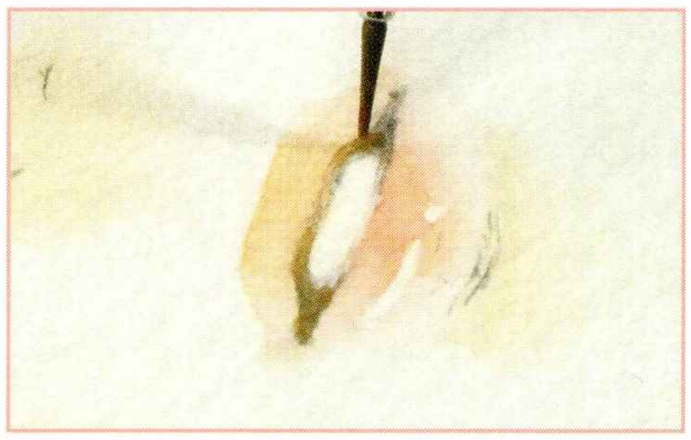


水色のマスキング部分を専用のラバーで軽くたたいて、マスキングをはがしていく。マスキングがはがれると蝶の形が白地のまま出てくる。はがすときは、紙をやぶらないように慎重に。

仕上げ

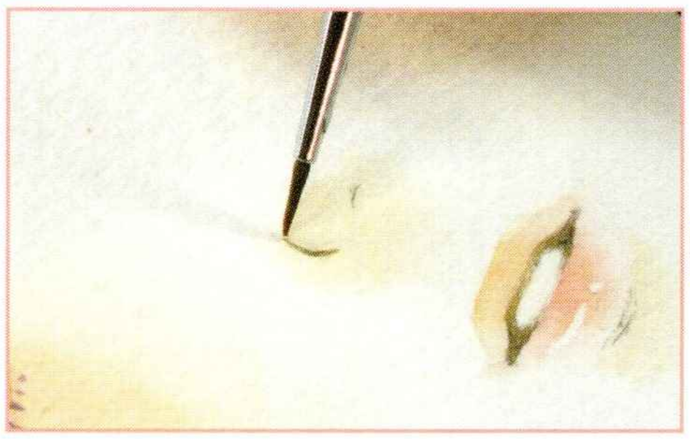
線をくっきり出したい部分に茶色を、光のあたる部分にホワイトを入れて仕上げます。
ホワイトが入るとイラストが繊細になり、完成度がグッと上がります！

1



バンダイキブラウン（月）、イエローオーカー（月）、ジョーンブリヤンNo.2（H）を混ぜた茶色で、口の端と上唇のラインをなぞる。口に奥行きが出る。

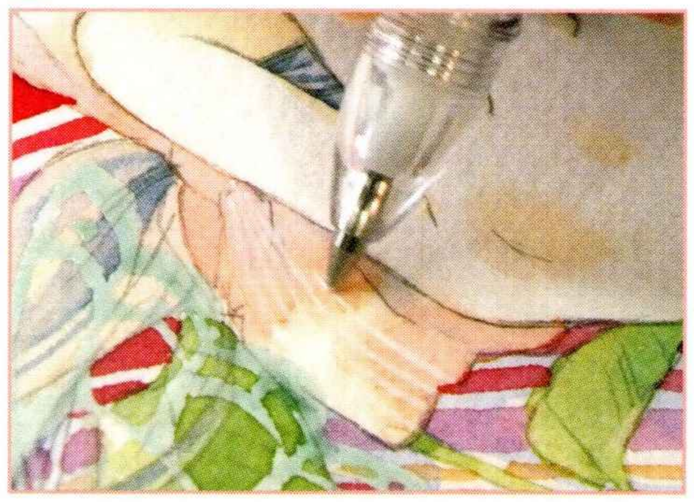
2



同じ茶色で鼻のラインも細く入れる。

PILOT ジュース
パステルカラー　ホワイト

3

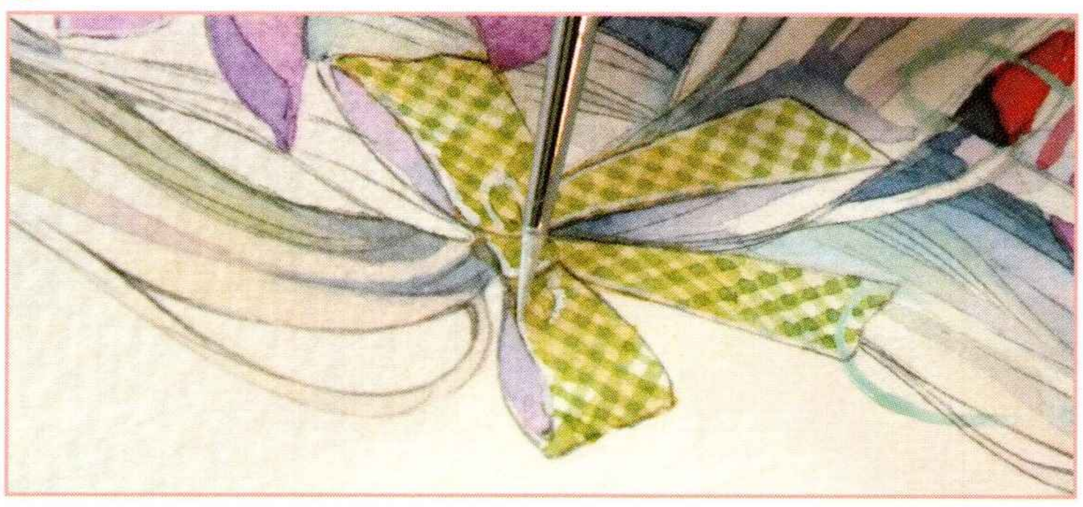


続いて、ホワイトペンでリボンにストライプを描いていく。ホワイトペンは均一な太さで線を描きたいときに便利。

4

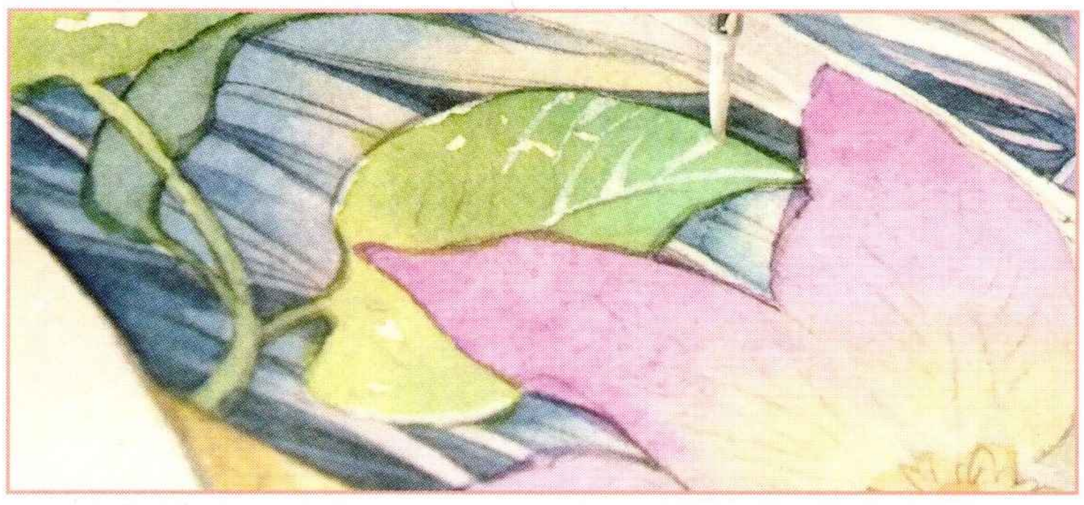
ここからは、サクラマット水彩絵具の不透明なホワイトを使用。まずは蝶の形を整える。マスキングで白く残した線は少しでこぼこしているので、ホワイトで綺麗に整えていく。

5



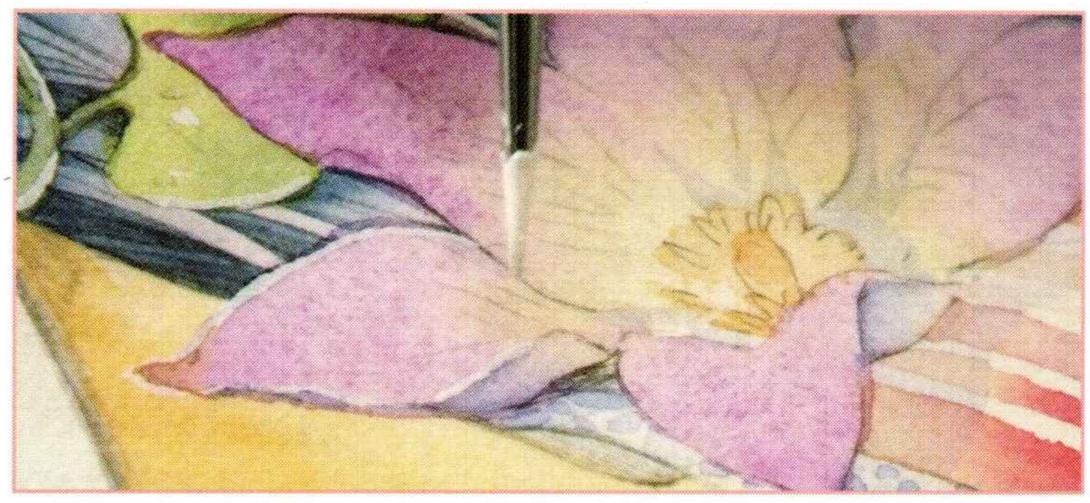
リボンにハイライトを入れる。結び目の横に入るしわや、部分的に輪郭線に沿って細くホワイトを入れると、リボンの厚みも表現できる。

6



葉っぱのすじをホワイトで描く。全てのすじを描かずに、光があたっているところだけ描くとナチュラル。輪郭も少しだけなぞると、葉っぱがみずみずしく見える。

7

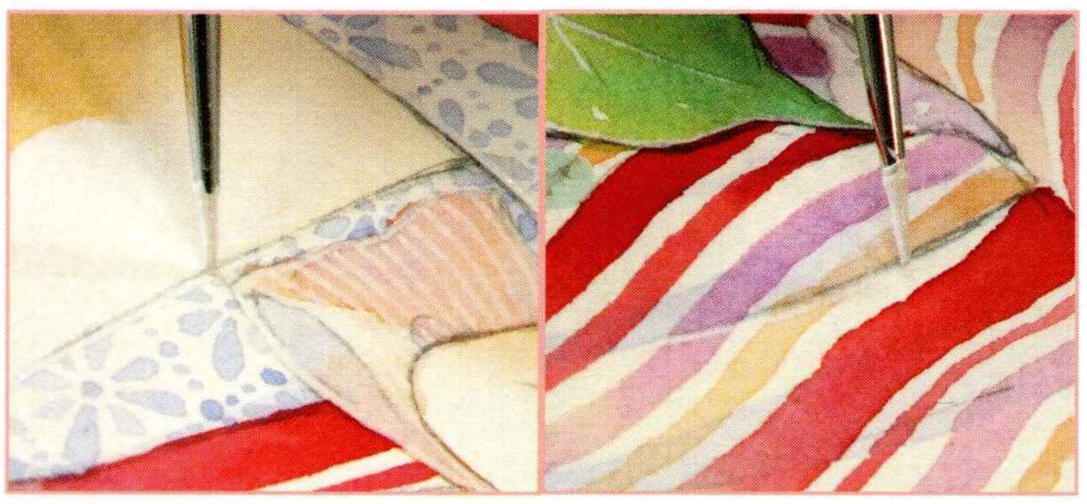


花びらの輪郭も部分的に囲んでいく。花びらがひるがえっているところもホワイトを入れて境界線を目立たせる。

8

さらっと揺れている髪を細い線で描く。髪に繊細な動きが出た。ホワイトがよく見えるように濃い色の上に描くようにする。

9



着物にもホワイトを入れていく。半襟の輪郭や、しわの線に沿って細くホワイトを入れた。

完成！

着物姿の凛とした女の子のイラストが完成！　友風子さんの着彩は、「色の筆」と「水筆」の二本の筆を使います。「色をおいたら、水筆でぼかしてなじませる」という工程を繰り返し、なめらかな塗りを実現していました。ポイントは、全てをなめらかに塗るのではなく、パーツごとにエッジをたてる部分を作り、塗りにメリハリをつけること。蝶のマスキングや、くもりガラスのように下の色が透けた塗り方など、イラスト表現が広がるテクニックも披露してくれました。みなさんもメイキングを参考に、ぜひ水彩イラストを描いてみてください！

interview

――友風子さんは、いつ頃から透明水彩を使ってイラストを描かれているんですか？

友風子　水彩をはじめたのは高校生の頃です。その前は、CGでイラストを描いていて、ネットの「お絵描き掲示板」で知り合った友達に「水彩っぽい塗り方だから、水彩をはじめてみなよ」と言われたことがきっかけでした。

――最初にCGで描いていて、後から水彩をはじめたんですね。

友風子　そうなんです。もともとミギーさんや羽住都さんの絵が好きだったので、透明水彩の存在は知っていたし、気になっていたんですが、その友達の一言で描いてみようと思って。

――水彩の塗り方を覚えるときに、技法書などは見ましたか？

友風子　ほとんど見ていなくて、本屋でちょっと立ち読みするくらいだったと思います。水彩の本は、風景の描き方などが多いので、あまり参考にならなかったですね（笑）。だから、水彩を使って同じマンガ系のキャラクターを描いているイラストを見て勉強する、という感じでした。それこそ、「SS」を見たり、友達に塗り方を聞いてみたり。今でも、グループ展で一緒になった水彩描きの人に、「ここはどうやって塗ってるんですか?」とか、質問したりします。お互いに気になったことを聞き合う感じで。絵を描いている人は、みんなそういう話が好きなので、あまりテクニックを出し惜しまないというか。お互い勉強になればいいなという雰囲気があるので、いろいろ話しますね。

――そうなんですね。友風子さんのイラストは、どんどん淡く透明感のある塗り方になっていると感じるのですが、ご自身でもそういったことを意識されていますか？

友風子　前は、色を重ねるという発想自体が自分の中になくて。それは、本当に初心者だったからなんですが…（笑）。最初から濃い色を塗るんじゃなくて、淡い色を重ねていくというのが透明水彩の醍醐味でもあるし、そういう塗り方になっていきました。重ねてみたら面白くて、どんどん重ねるようになったという感じで、自分でも塗り方はすごく変わったと思います。色を重ねることが増えたので、紙もウォーターフォードに変えました。

――ウォーターフォードはどんな使い心地なんですか？

友風子　アルシュに近い使い心地（※発色が鮮やか。よく水を吸い、色を重ねても下の色が溶け出さない）で、あまりクセが強くなくて、色を重ねやすいです。慣れもあると思うんですけど、思った通りに染み込んでくれるので、にじみもコントロールしやすいように感じます。最初は、紙の種類をあまり知らなくて、ワトソンを使っていたんですが、下の色が溶けてきちゃって色を重ねることにあまり適さなかったんですよね。紙は、色々使ってみて、徐々に違いを理解していった感じです。

――透明水彩の塗りで「にじみが上手くできない」とか、「色が綺麗に重ならない」という人は、紙が合っていない場合もありますよね。普通のスケッチブックや画用紙に塗っても、綺麗なにじみを作るのは難しいですし…。

友風子　そうですね、難しいと思います…。にじみを思い通りにコントロールすることは出来ないかも。水彩紙も種類によって特徴があるので、同じ人が同じように色をにじませても全然違う仕上がりになったりします。

――上手くいかないと思っている人は、紙も色々と試してみて欲しいですね。また、友風子さんは、毎月ギャラリーで水彩講座をされていますが、初心者の方が、塗りで意識すると良い部分があれば教えて欲しいです。

友風子　水加減ですね。初心者さんは、筆の水分量が多すぎたり少なすぎたりしちゃうので。あとは、パレットから筆に色をつけて、そのまま紙に塗ろうとする方が多いので、タオルやティッシュで筆の水分を少し吸わせてから、紙に塗るようアドバイスしています。筆に含ませる水分量のコントロールと、水筆の使い方をアドバイスすると、すんなりと上手く塗れたりしますよ。

――やはり水の扱いが肝になるんですね。友風子さんは、メイキング中も、筆で色をとったらタオルにちょんちょんと筆を触れさせて水分量を調整していましたよね。水筆の使い方でアドバイスしているのはどんなことですか？

友風子　初心者さんは、とくに色のムラが気になると思うのですが、それを作らない方法が、水筆を使って色をのばすという工程なんです。私は基本的に、「色の筆」と「水筆」の２本を使って着彩をしていて、色を塗ったら乾いて定着する前に水筆でのばします。多少乾いてしまっても、ちょっとこすれば色ムラは落ちるので、あまり焦らずに塗っていければ綺麗に仕上がると思います。

――また、友風子さん自身、「こうすれば上手くいくんだ！」と塗りのコツが分かった経験や、上手く塗れるようになって水彩が楽しくなった、というお話があればお聞きしたいです。

友風子　私は下手なときから、水彩が楽しかったんですよね(笑)。でも、背景など一面を塗るときに、ムラにならない塗り方が分かった瞬間はありました。広い面を塗るときって、水をしいても部分的に紙が乾いてきちゃうんです。でもそういう場合は、もう１回水筆で紙を濡らしておけば、そこを放置しておいても良くて。その間に細かい部分を塗り進めて、また乾きそうになったら水で濡らしておく。そうすればムラなく塗れます。それに気がついたときは、「あ、そうか」とコツが分かった感じがありました。それと、少し話が変わるんですが、『ピーターラビット』の作者を描いた『ミス・ポター』という映画を見たときに、オープニングで青い綺麗な絵具を、たっぷりの水でゆっくり塗っていくシーンがあって。それを見て、「塗るときに焦らなくていいんだ」と思ったんです。意外とそれが自分の中で「はっ」としたことで。塗りにも影響しているんじゃないかと思います。私も慣れていない頃は、色が乾いちゃうことに焦っていて、水筆の他にも色の筆をいっぱい持ちながら塗っていたんですけど、それだと焦っている上に混乱も招いて（笑）。

――なるほど。水彩は濡れている間に、にじみなどの表現を作るから、

interview

乾く前に塗らなきゃと思って、焦っちゃうという問題があるんですね。

友風子　そうなんです。焦ってましたね、常に（笑）。あっちも乾いちゃう、こっちも乾いちゃうと思って。急いでにじみを作ったり。

――そういうときは、先ほどのお話ですと、もう一度水で濡らしておくと良い、と。

友風子　そうです。焦って塗るとはみ出しますからね。そういう面でも塗り方が変わったかなぁと思います。その頃はいつでも必死だったけど、余裕ができたほうが描いていても楽しいですよね。

――綺麗に仕上げて、なおかつ楽しく描くために大切なことですね。続いて、色についてもお聞きしたいと思います。友風子さんは表紙のメイキングで、塗りながら色を決めていましたが、普段から着彩前に色計画は作っていないのでしょうか？

友風子　そうですね。みなさん作っていてびっくりします。

――色はどうやって選んでいますか？

友風子　まずラフを描いた時点で、ここはこの色にしようと心に決めている部分があるんです。今回の表紙だと、お花は紫と決めていたし、着物も赤ベースと決めていたから、そこに合わせてまわりを塗っていきました。

――着物は、最初のラフでは赤一色でしたが、塗るときに黄色と紫を入れた縦縞の柄に変更していましたね。こうやって塗り進めながら色や柄を決めていくんだなぁと興味深かったです。「SS」の読者でも、「色が決められない」というお悩みが多いんですが、色選びで意識してることがあれば教えてください。

友風子　本当に感覚としか言いようがないのですが…、今回の着物に使っている赤と黄色と紫は、もともと好きな色の組み合わせです。自分の持っている小物にもこういう配色が多いんですよね。配色に悩む人は、身の回りの小物や雑貨を見ると、自分の好きな配色を見つけるヒントになるかもしれないです。ファッション誌で色の合わせ方を見るのも参考になるかも。

――ちなみに、透明水彩で友風子さんの好きな色は？

友風子　月光荘のコーラルレッドです。頬に使っている色で、桜を描いたり、ピンク系を塗るときに必ず使う色です。

――好きな色の組み合わせも教えてください。

友風子　青のウルトラマリン、紫のコバルトバイオレットライト、黄緑のリーフグリーンの組み合わせが好きです。

――表紙の塗りで悩んだ部分があれば教えてください。

友風子　髪の色と蝶々ですね。蝶々は最初、線を白く抜くだけで、透けている塗りにしようと思っていなくて。以前に描いた『硝子の時』（P.009 掲載）という絵で、硝子の破片を透けさせているんですが、そのときは最初から透けているイメージがあったので、先に硝子の色を塗って、後から透けている向こう側を薄めに塗る、という手順で描いたんです。今回の絵では、そんなことは考えずに着物を最初に塗っちゃったので、上から不透明な肌色をのせて下の色をおさえることで透け感を出していきました。

――透けさせる塗りとしては、ちょっとイレギュラーな方法だったんですね。

友風子　そうですね。でも結果的に、蝶々にたくさん色をのせてカラフルになったので、ちょうど良かったかなと。

――着物の上に重ねる蝶々の色は、どんな色が合うのか難しいなぁと思って見ていたんですが、友風子さんはすいすい色を決めていって。たくさんの色を使って塗ると思わなかったので驚きました。グラデーションになっていてすごく綺麗です。

友風子　普通の蝶々の色だったら、黄色とピンクと紫だけで良かったんですが、それだけだと着物と重ねたときの印象が薄いなと思って。青系を入れたほうがキラキラ感が出るので、色をどんどん追加していった感じです。

――塗りながら追加していく感じでしたよね。

友風子　そうですね。極端な色はおかないし、ざっくりとした全体のイメージがあったから大丈夫かなと。今回は、SS編集部から「乙女チックな感じ」というご要望もあって、そういった雰囲気も意識していたので（笑）。

――はい、すごく可愛らしく仕上げていただいて（笑）！　マスキングで蝶々を描いたことは今までにもあったんですか？

友風子　はじめてです。だから、けっこう手探りでした。マスキングするときは、点々をおいてキラキラした光を表現したり、シンプルな植物の形を抜く程度だったので。それと、今回はじめてホルベインのマスキングインクを使ったんですが、すごく使いやすかったです。はがしやすくて、ベタベタしない。おすすめです。筆を洗う専用のクリーナー液もありますし。

――今回のマスキングと透けた蝶々の塗りは、試してみたくなる素晴らしいテクニックでした。続いて、ここからは１枚の絵を仕上げるためにかかる時間について教えてください。まず、アイディア出しのラフと線画はどのくらいかかりますか？

友風子　ラフは、絵によってかなり幅があるんですが、すぐに決まるときは五分で決まるし、なかなか決まらないときは１週間かかることもあります。線画は１時間くらいで出来ますね。調整を含めると、２、３時間。昔は下絵を作ってトレースしていたけど、今はほとんどしていなくて、アタリ線を描いて、その上からシャープペンでそのまま線画を描いています。

――トレースをしなくなったのは、どうして？

友風子　一筆入魂というか…（笑）。トレースすると変に線が硬くなっちゃって。１回で描くとラフのようなさらさらっとした線が描けて、絵も硬くならないんですよね。今のやり方のほうが気にいっています。

――絵を描く工程もコンパクトになって良いですね。

友風子　そうですね。でも、線を整えるために何度も消したりするので、筆圧の強い人だと線の跡が残っちゃって難しいかもしれないです。筆圧が弱めで、そんなにたくさん消さない人だったらこのやり方でも良いと思いますね。

――塗りの時間はどれくらいですか？

友風子　絵によりますが、塗りは２日くらいです。すごくスムーズに進んだら、ラフも含めて１日、２日で仕上がるときもあります。私は、線画を描いてから一気に塗らないとモチベーションが下がっちゃうので、描いたらすぐに塗りたくて。今回の表紙も「早く塗りたい！」って思っていました（笑）。

――そうだったんですね（笑）。素敵に仕上げていただいてありがとうございました！　それでは最後に、友風子さんが思う透明水彩の魅力をお聞きしたいです。「SS」に投稿してくれていたときから愛用されていて、今も透明水彩を使ってイラストレーターのお仕事をされていますが、使い続けていて感じることがあれば教えてください。

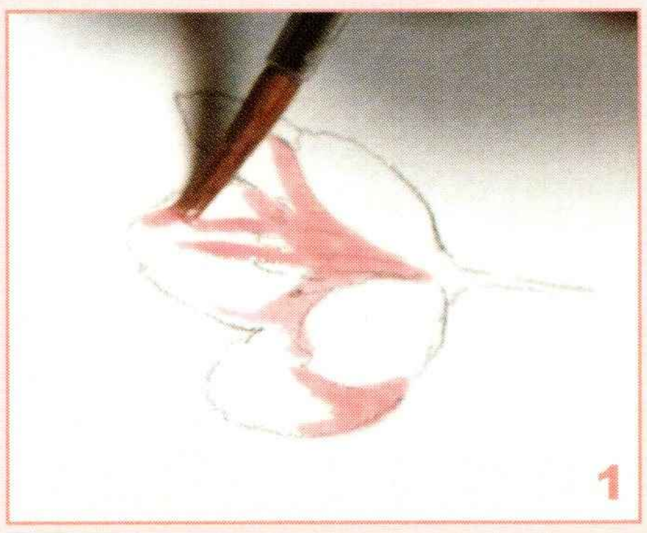
友風子　自分でも、ずっと同じ画材を使っていてよく飽きないなと思うんです。でも、誰かの絵を見るときも、CGですごく上手な絵より、水彩の味のある絵のほうが、私は惹かれるものがあって。水彩の絵が好きなんだなぁと思います。そういう風に感じてもらえる絵を、これから自分も発表していきたいですね。

「水筆」を使って塗ろう

透明水彩で、グラデーションや、にじみ、ぼかしを作るときは「水筆」を使います。「水筆」とは、水のみを含ませた筆のこと。絵具が混ざらないように、色を塗る筆とは別にもう１本用意します。ここでは、「水筆」を使った基本の塗り方を、友風子さんに実演していただきました。

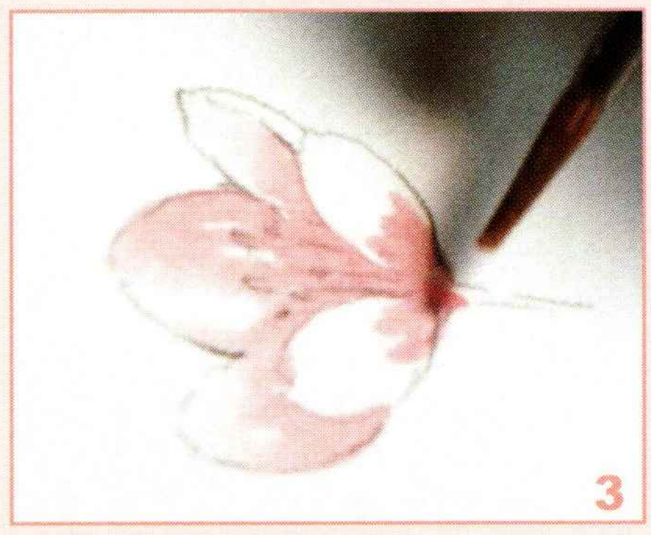
色をなじませる

作例の桜の塗りから、基本となる「水筆」の使い方を改めて見ていきましょう。友風子さんの着彩は、色をおいて「水筆」でなじませる、という手法がベースになっています。表紙メイキングでは、肌や髪、花など、ほとんどがこの手法で塗られていました。また、なじませるときに細かくグラデーションをつくることで、透き通った色が生まれます。

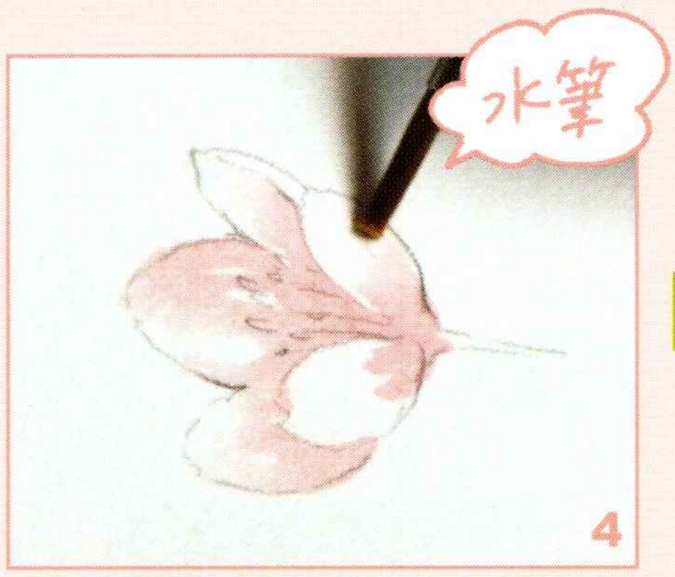


まずはピンク色で、桜の花びらの内側を塗る。

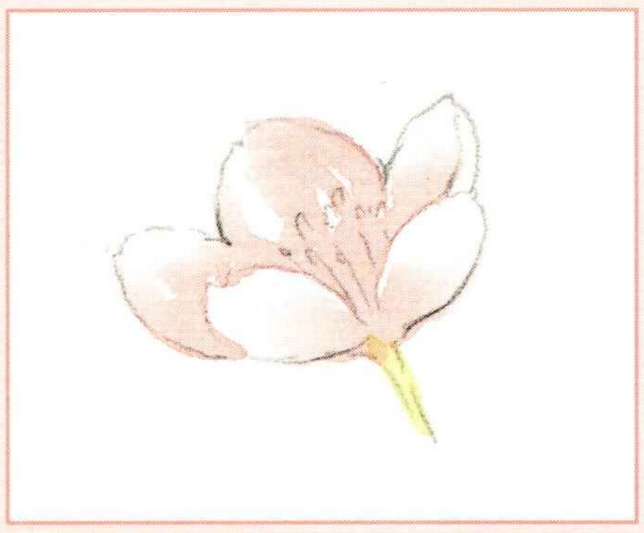
水のみを含ませた「水筆」に持ち替えて、ピンク色の上のほうをのばす。中心の色はさわらないようにする。



続いて、手前の二枚の花びらにも、根元にピンク色を塗る。



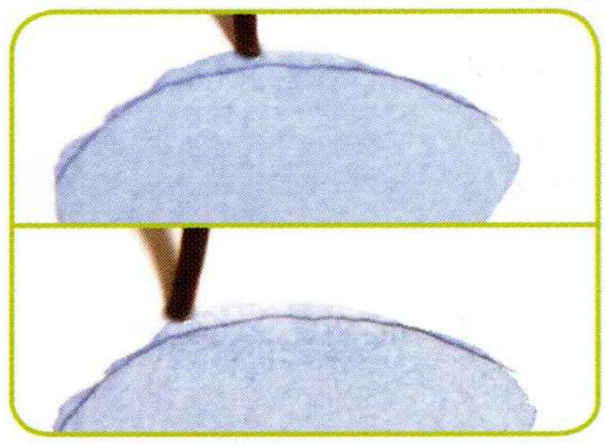
再び「水筆」に持ち替えて、ピンク色の上のほうをのばした。ここでも、根元の色はさわらないように。



［完成］ピンク色がふわっと広がって、内側は濃く、外に向かって淡くなるグラデーションに。色のフチはなく、やわらかな印象。

one point!

はみ出した色を「水筆」で消す

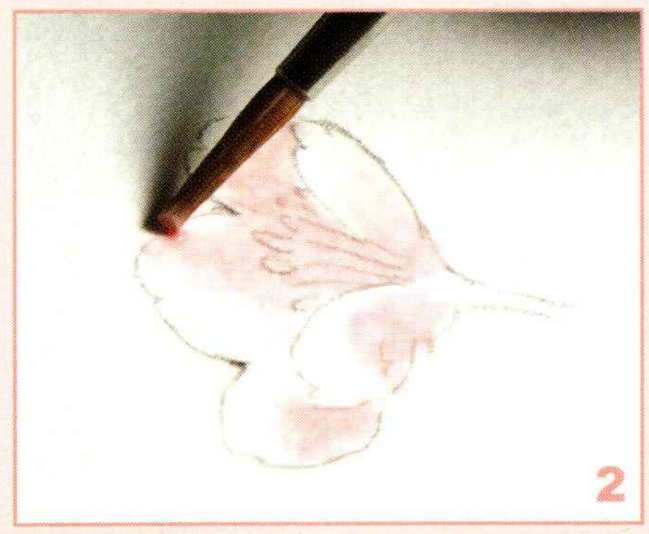


はみ出してしまった色は、「水筆」でこすって消すことができる。まわりの色にひびかないように一度乾かしてから消すと良い。

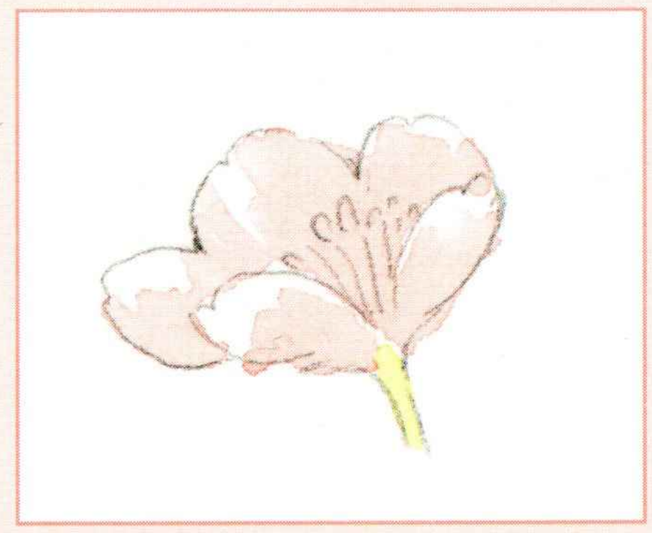
水をしく

色を塗る前に、画面に水をしくのも「水筆」の基本の使い方。広い面を塗りたいときや、ムラなくなめらかに色を広げたいとき、あるいは、にじみをつくりたいときなどにも有効です。

「水筆」で、桜の内側に水をしく。水の量は、表面に光沢ができる程度。



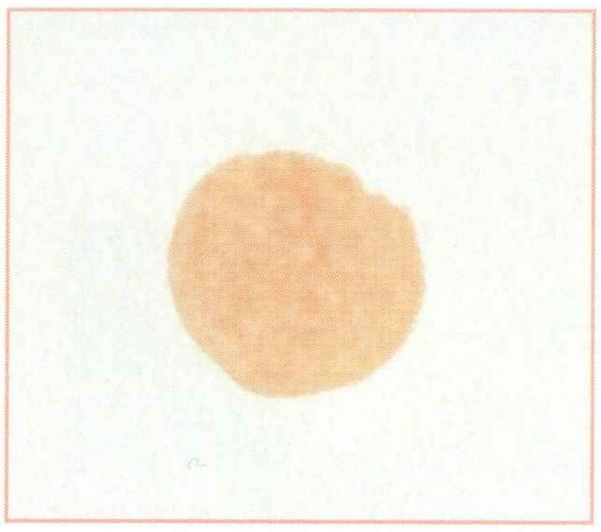
ピンク色で桜を塗る。ハイライトを残しながらにじませた。やわらかい発色になり、なめらかに色が広がる。



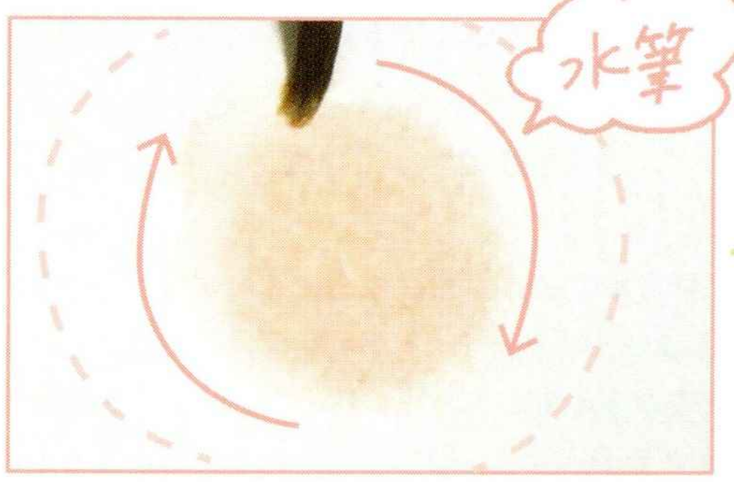
［完成］色の濃淡はほとんどなく、均一な印象になった。水分量が多かったため、色の輪郭にフチが残っている。

ぼかす

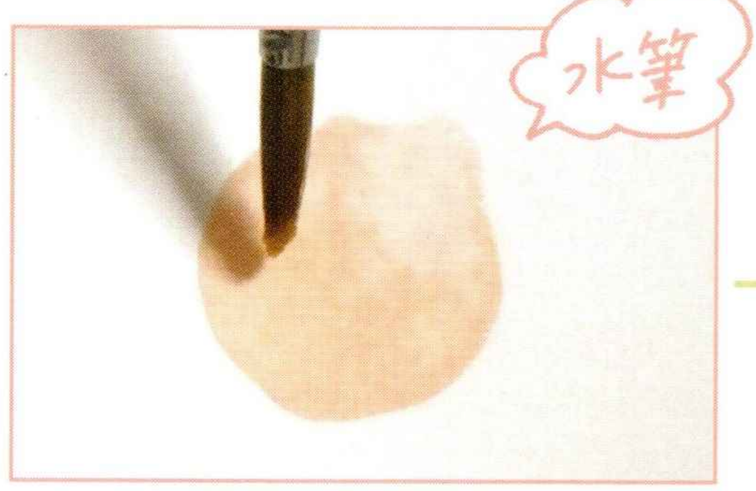
頬の塗りなど、ほわっと色を広げたい！　そんなときはどのように「水筆」で色をのばすと良いのか。ここでは、ぼかしの成功例と失敗例を紹介します。



肌色を丸くおいた。ここで紹介するぼかしは、人物の頬の塗りでも使える。その場合は、完成でイメージしている大きさよりも、小さめに色をおくと良い。



「水筆」に持ち替えて、丸の輪郭をなでるように色を広げる。外へ向けて、たっぷり広めにのばすと自然なグラデーションになる。筆は水を含ませ過ぎないように注意。肌色の内側はさわらない。

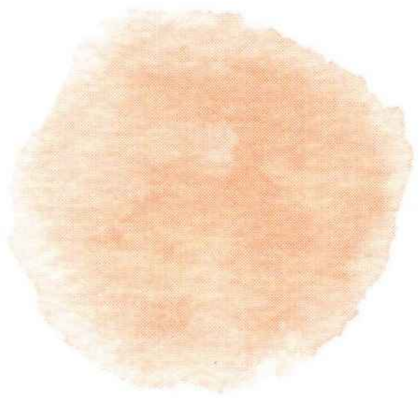


「水筆」に持ち替えて、全体をちょこちょことさわって色を広げる。筆も細かく動かして、フチの色も少しずつのばした。

［成功］

ほわっとやわらかく肌色が広がった。外に向かって淡くにじんでいて、色のフチがない。輪郭だけを、「水筆」で大きくのばすのがポイント。

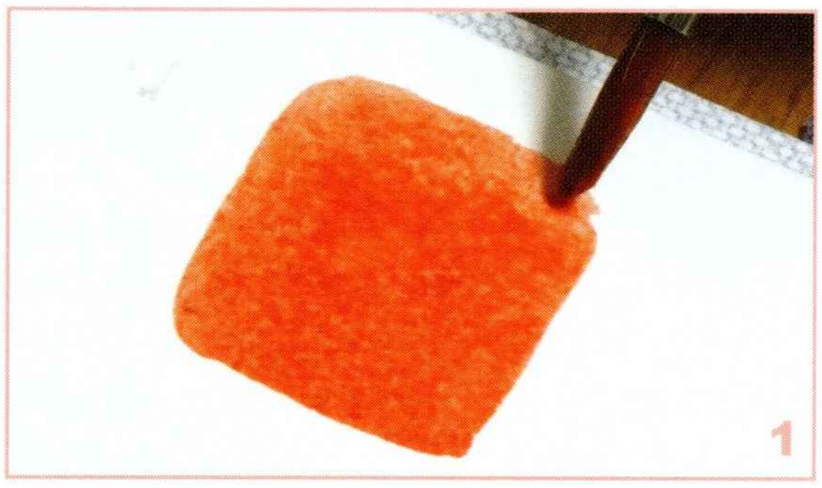
［失敗］



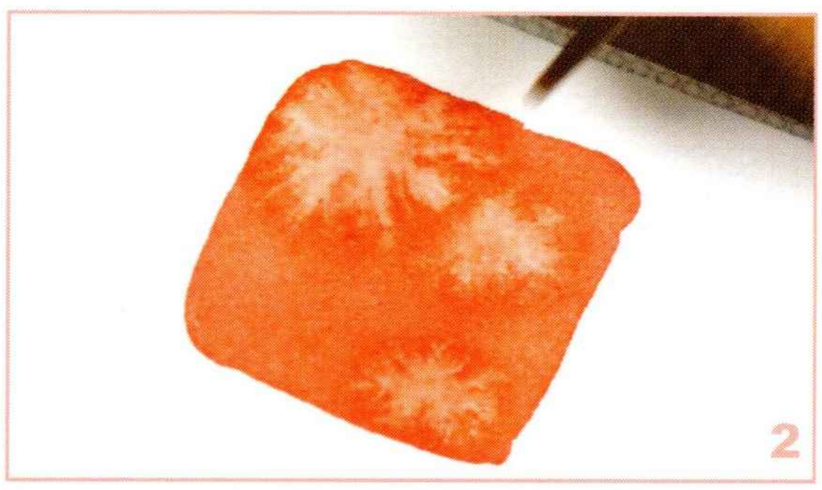
「水筆」で全体をさわったため、色にムラが出来てしまった。輪郭は綺麗にぼけず、色のフチが残っている。

応用編 エッジのきいたにじみ

応用編として、友風子さんのにじみテクニックを紹介。「水筆」は色をのばすだけではなく、色の上から水を垂らすことで、模様のようなにじみを作ることも出来ます。



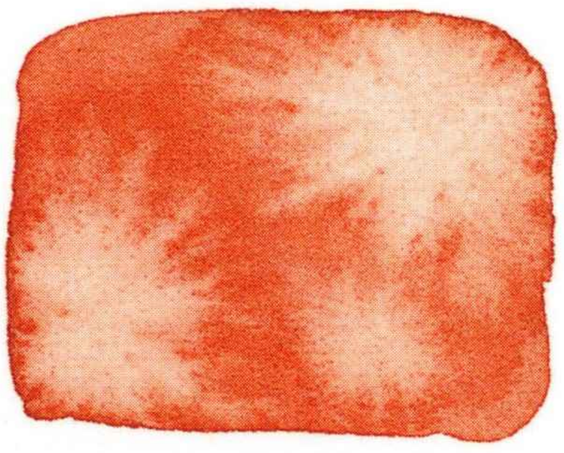
まずは、ベースになる朱色を四角く塗った。いったん、この朱色を少し乾かす。表面の光沢が消えるくらいまで。



「水筆」に持ち替えて、朱色が完全に乾く前に、水をぽつぽつと垂らす。すると、水が朱色をはじいて白いにじみができる。ここでまた少し乾かす。

完全に乾く前のタイミングで、再び水筆で３カ所に水を垂らして、にじみを作った。紙を少し乾かしてから水を垂らすのは、にじみのエッジをたたせるため。

［にじみが完成］



３の塗りを繰り返し、同じ場所に何度も水を垂らすと、朱色がじわっとよけていく。好みのにじみが生まれたら完成。朱色との境界がくっきりしているエッジのたったにじみになった。

Chapter 02

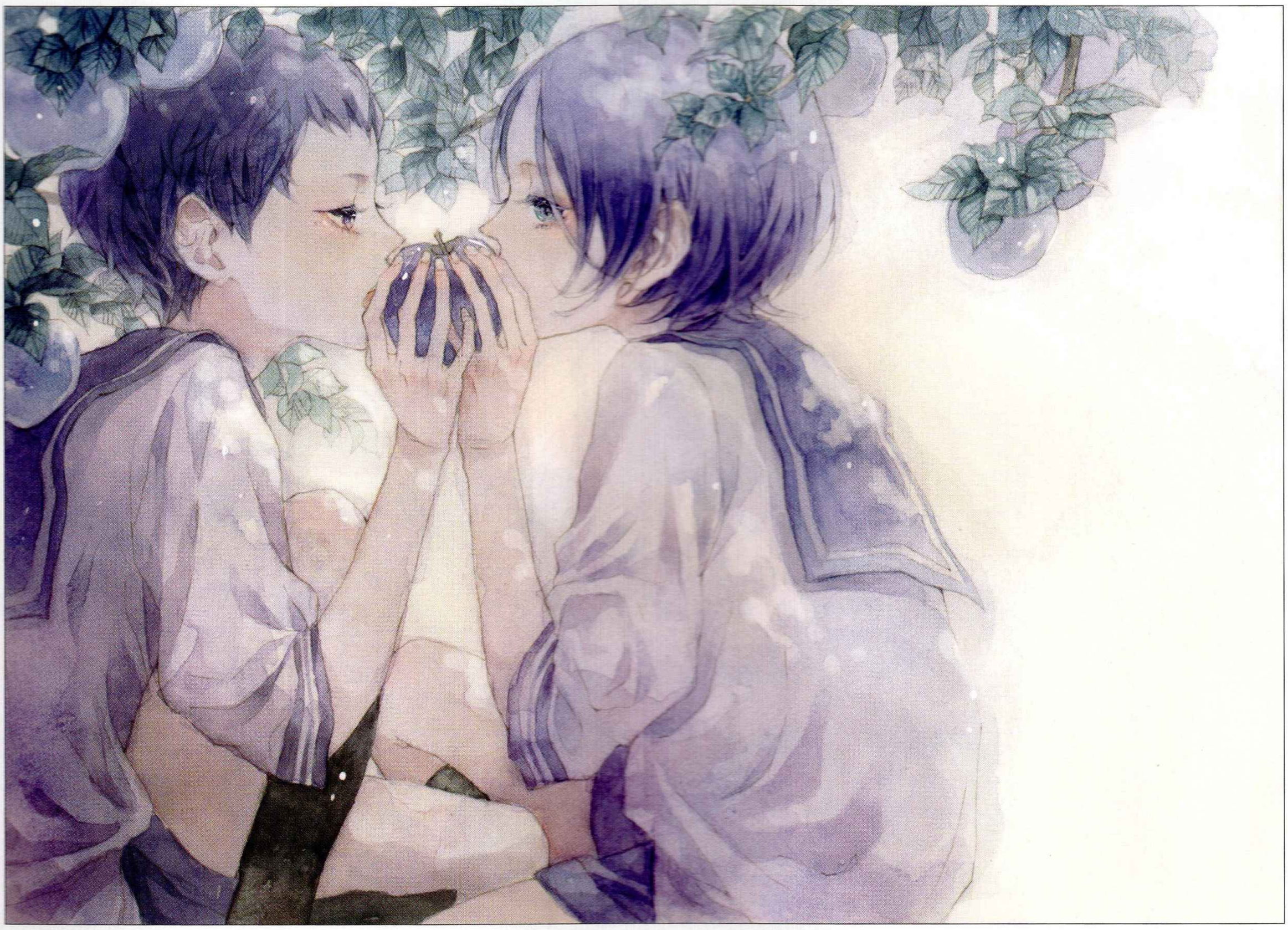
ましき

Profile

ましき／京都府出身

主な活動……「ＳＳ３２号」巻頭見開きイラスト／「ＳＳ３４号」透明水彩メイキングなど。

淡く透き通った色づかいで少年少女を繊細に描き出す。ドキッとするような艶っぽい表情やシチュエーションで描かれた人物が魅力的。きらきらした光の演出や、にじみを生かしたやわらかな画面作りを得意とする。同系色でまとめたり、色数を押さえた構成も、透き通った色彩が美しい。



上図［青い実］
右ページ［風船少年］

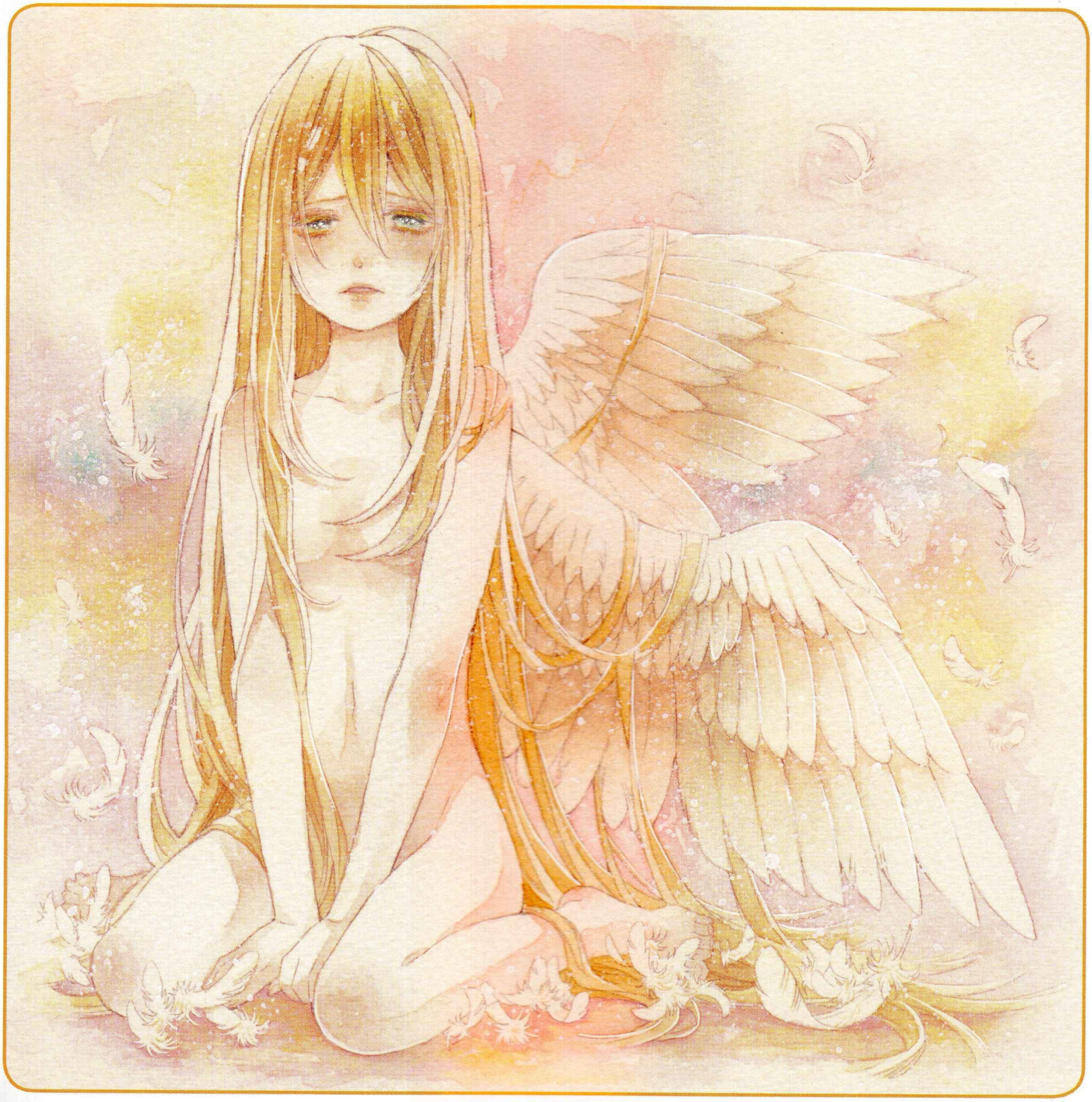
左ページ上段［桜と少年］

左ページ下段［呼吸］

右ページ［メインディッシュ］

The Making of ましき

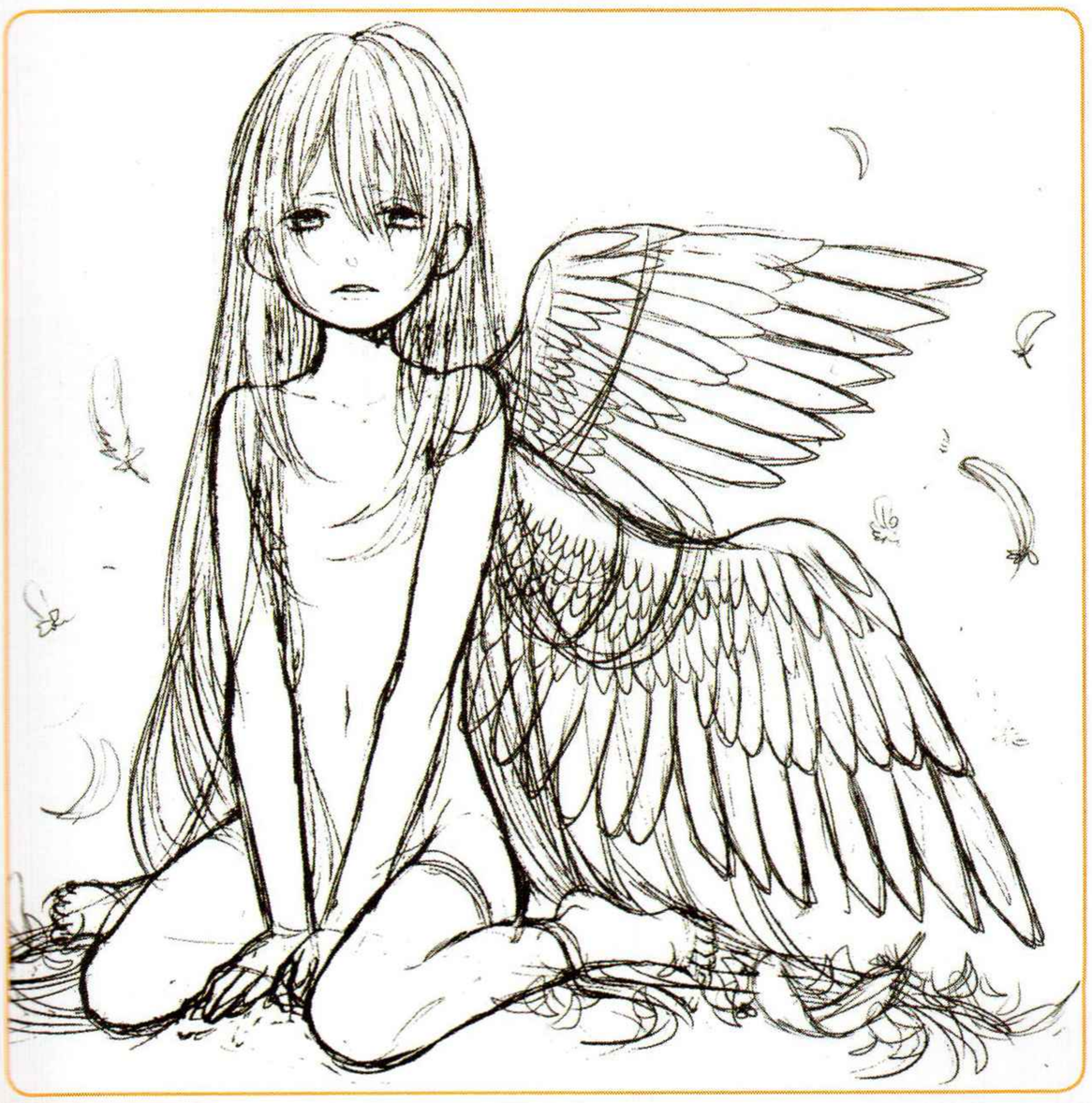
透明水彩のふんわりとしたにじみが美しい、中性的な天使のイラストをメイキング！　透き通るような肌の塗りや、さらっとした髪、柔らかな天使の翼など、透明度の高いましきさんの塗り方を紹介します。



画材：ホルベイン透明水彩絵具

用紙：ウォーターフォード

The Making of ましき

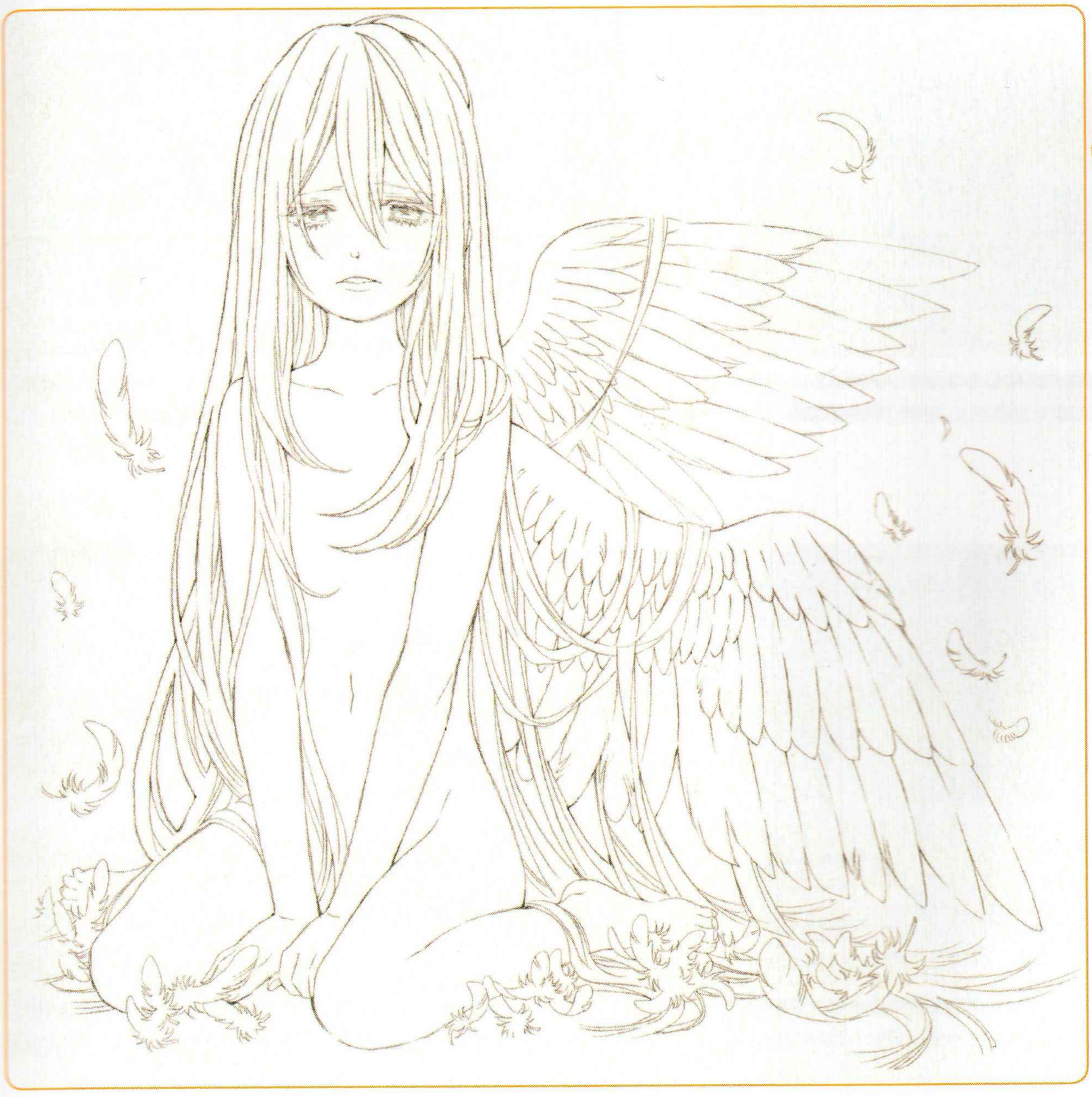


下絵

シャープペンで描いたラフをスキャンして、コミックスタジオで描き加えている。それを出力してトレースしながら線画を描く。顔の輪郭や体は線が太くなっていて、調整しながら描いていることが分かる。

パレットと筆

ましきさんは、小学校で買った絵具セットのパレットを使っている。メイキングの彩色は、細めの筆2本で行った。



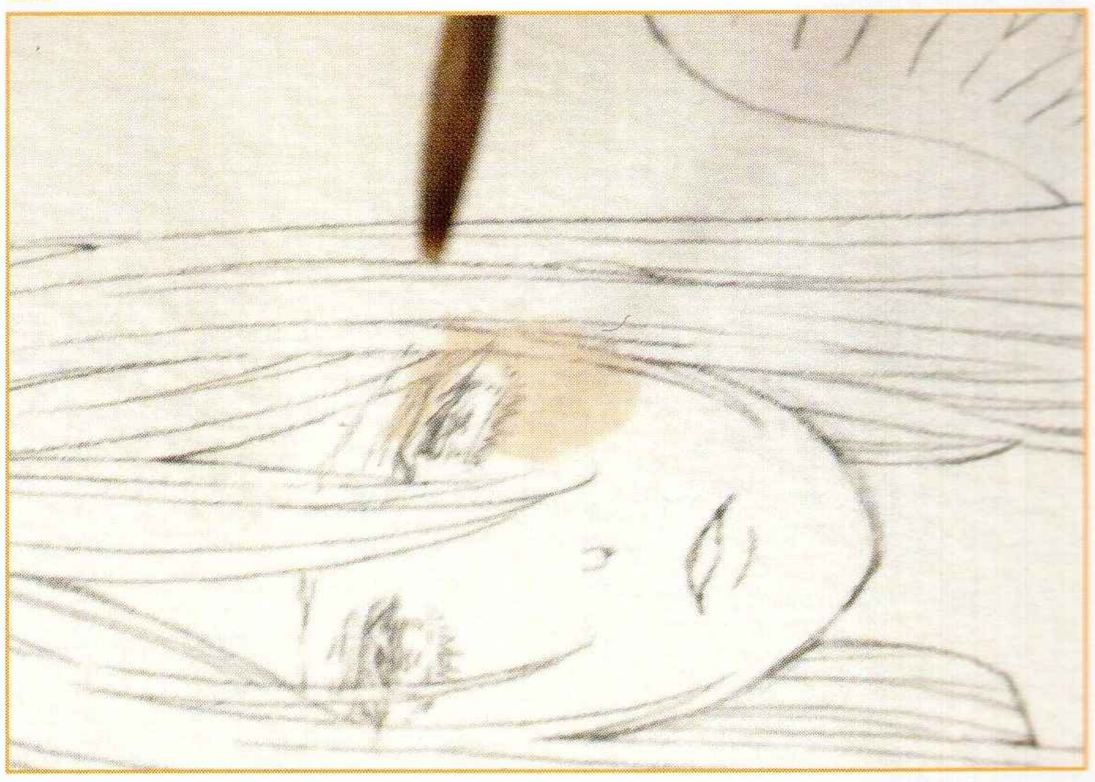
線画

輪郭線は、シャープペンの0.5の芯で描いて、その他は少し細い0.3の芯で描いている。イラストは、恋をした天使が中性的な存在から女の子へと変わっていく、という設定で描いたのだそう。

肌を塗る

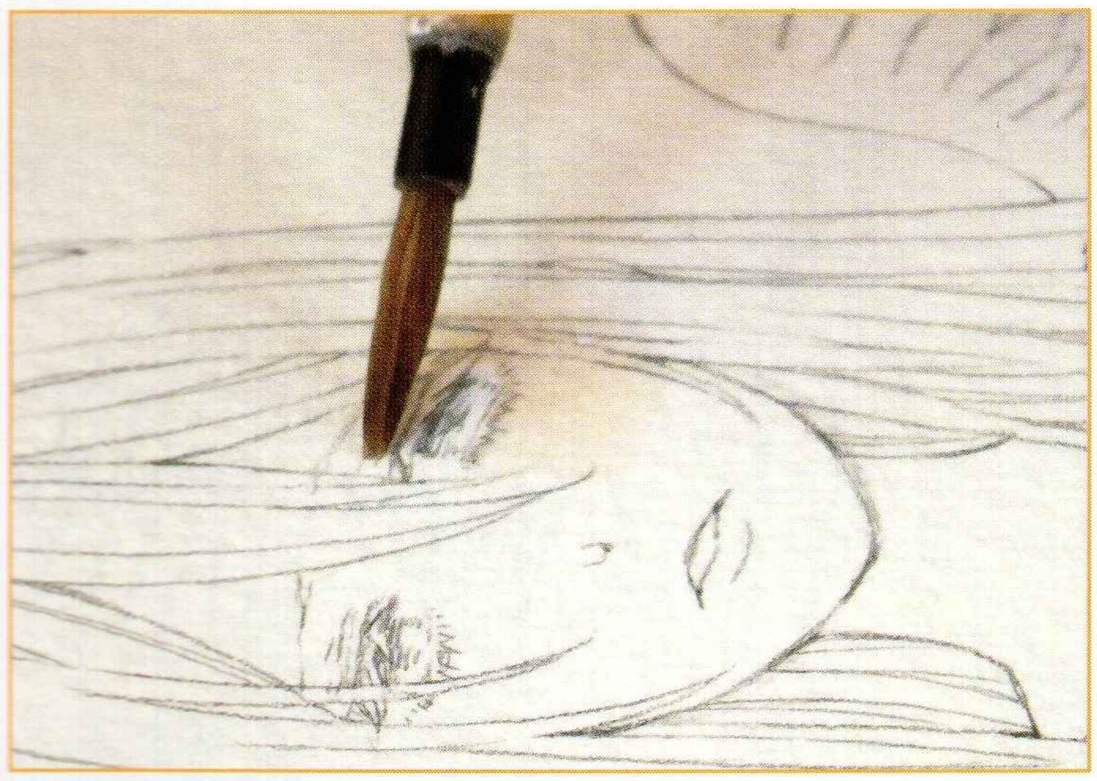
肌は赤みが入るところに色をおいて、水筆でのばす
というシンプルな工程で透明感を出していきます。

1



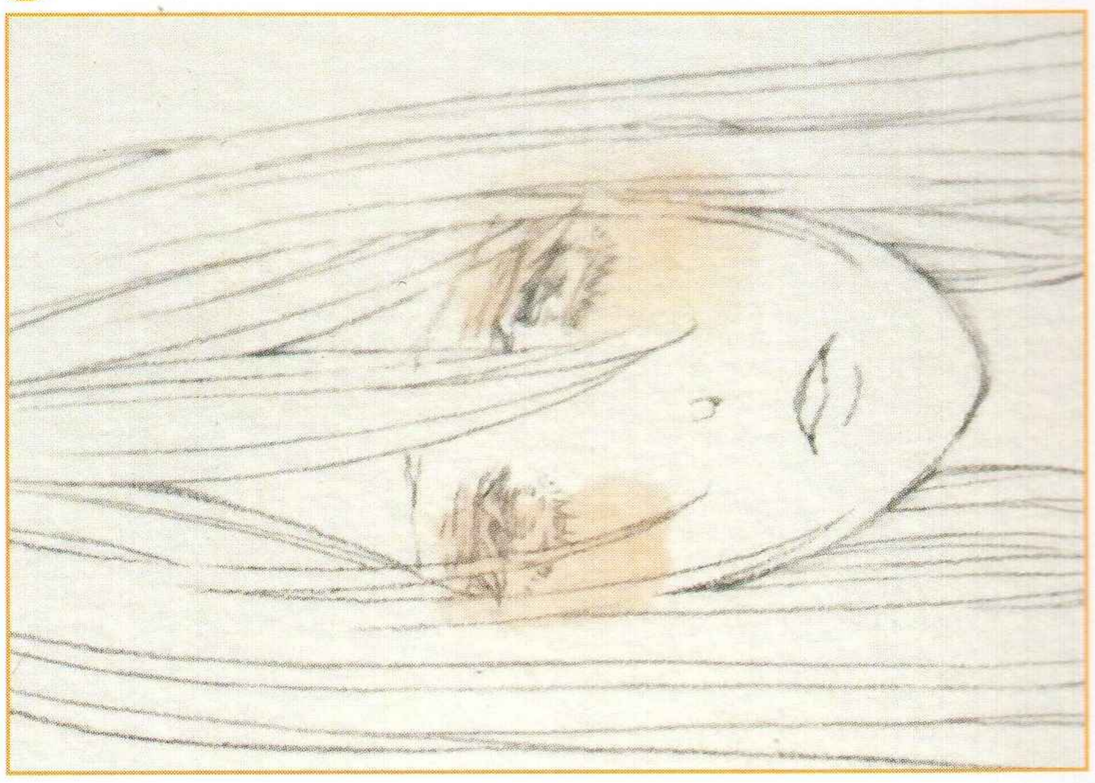
ジョーンブリヤン No.2 とシェルピンクを混ぜて肌色を作る。それを頬に塗り、目を囲むように広げる。

2



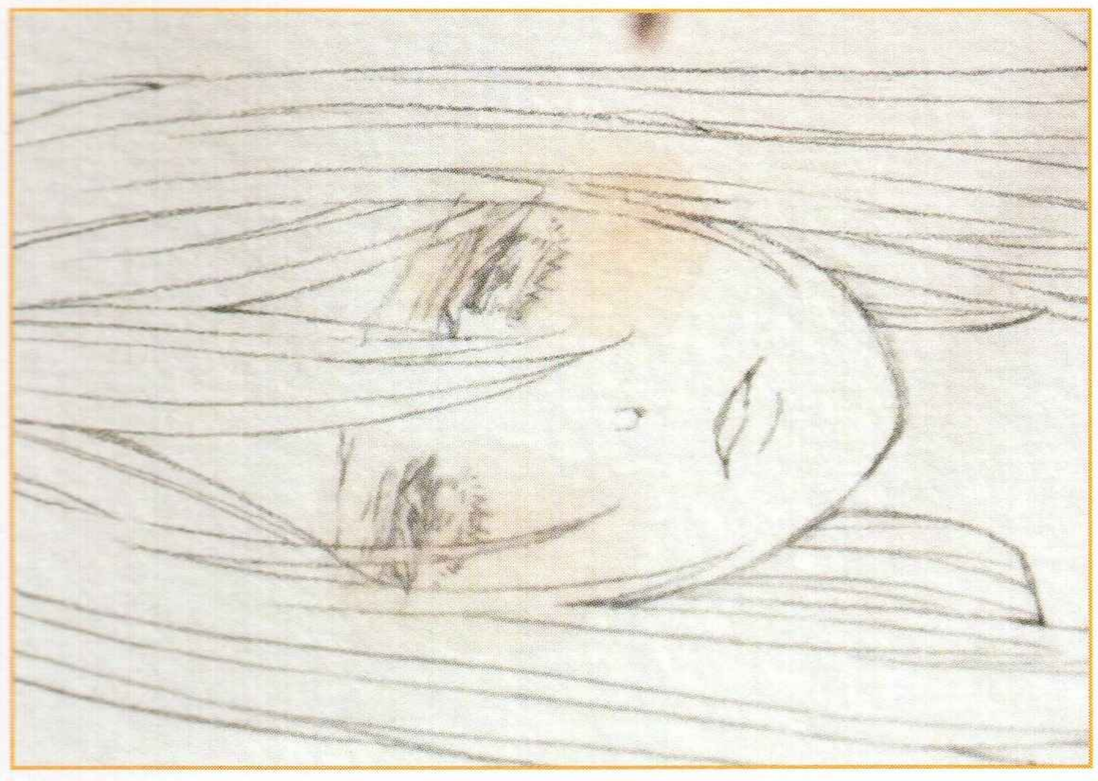
1 で塗った肌色を水筆でなじませる。ふんわりとやわらかく色づいた。このとき、ましきさんは髪にもはみだしながら色を塗っていた。水筆でなじませるときに淡くなるので、気にしないのだそう。

3



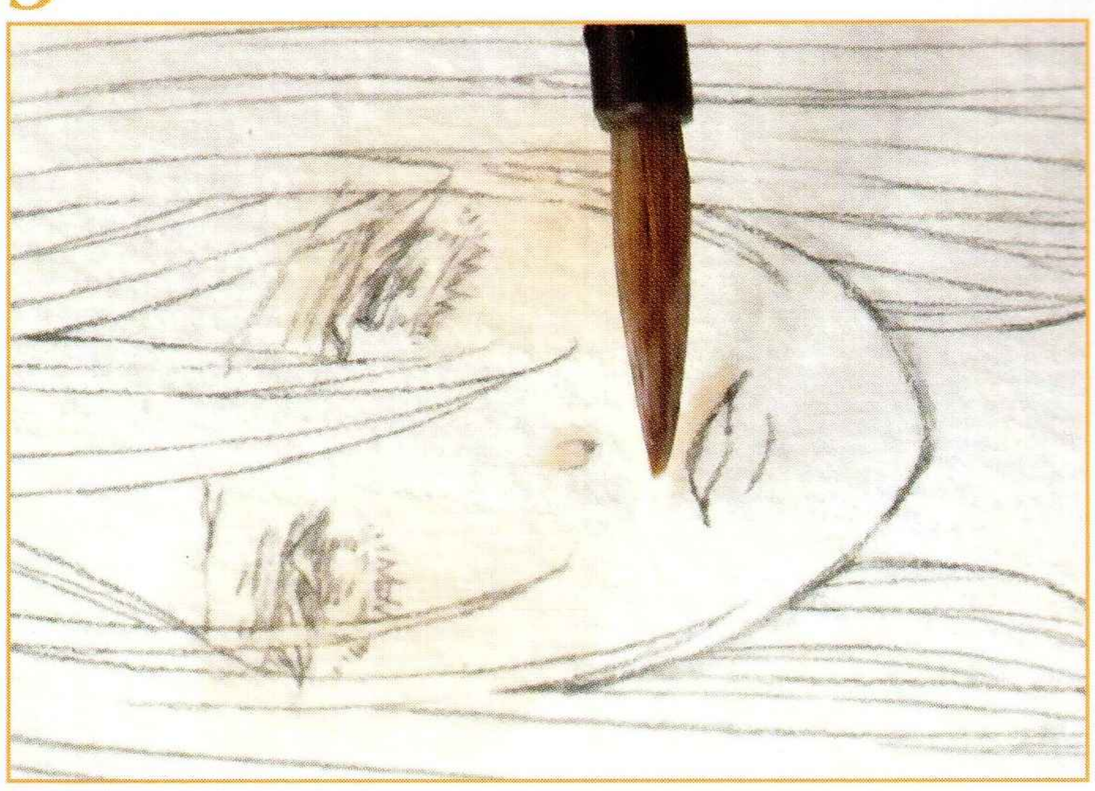
もう片方の頬も同様に肌色を塗る。目の中にもはみ出しながら塗っていく。水筆でなじませる前の頬と、なじませた頬では、肌色の色みが違うことがわかる。

4



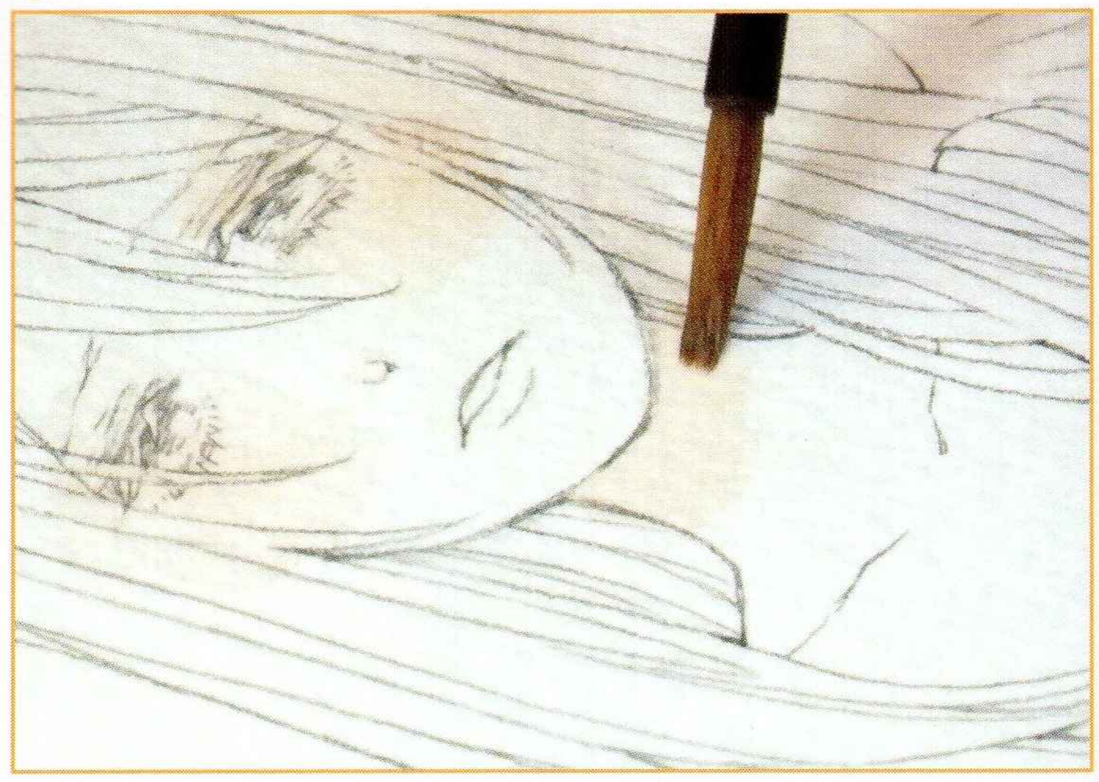
乾く前に水筆でフチをなじませて、ふんわりとした印象にする。両頬がほんのり色づいて愛らしい。

5



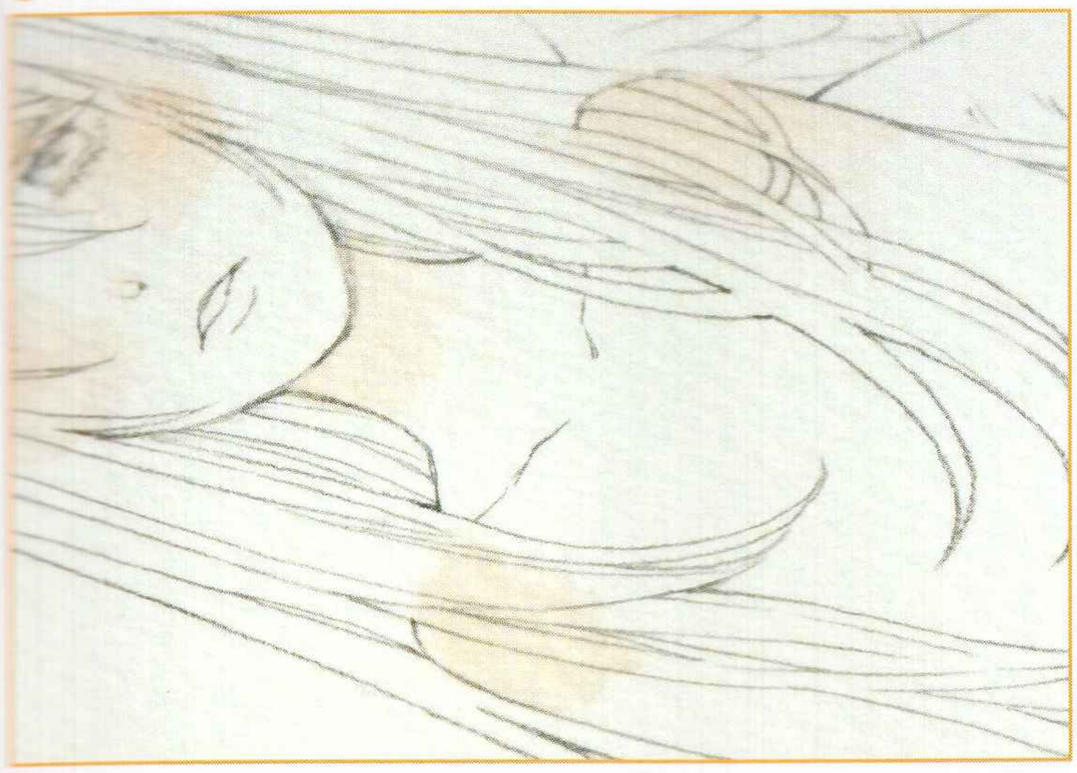
鼻と唇にも肌色をのせる。上唇は、輪郭にそって細く塗って、下唇は色をおいてから水筆でなじませる。

6



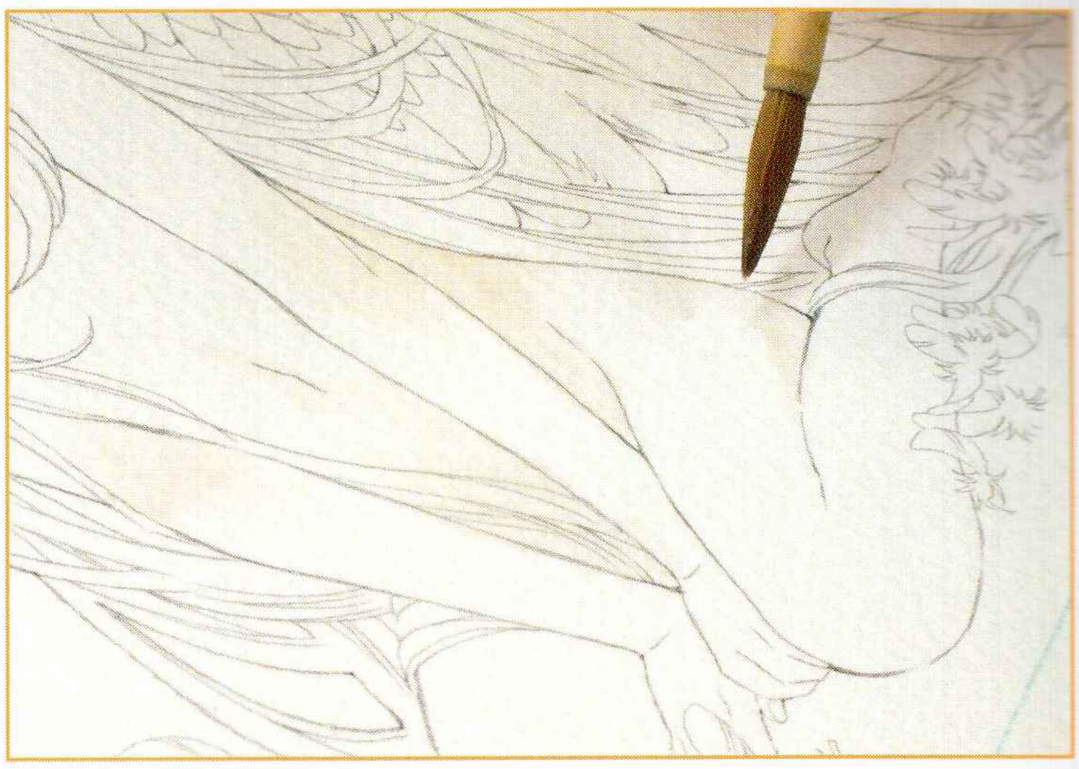
首のカゲにも肌色を塗る。顔同様に、色を塗ったら水筆でなじませていく。ましきさんは、全体を一通り淡く着彩して、濃くしたい部分に色を重ねて調整していく。

7



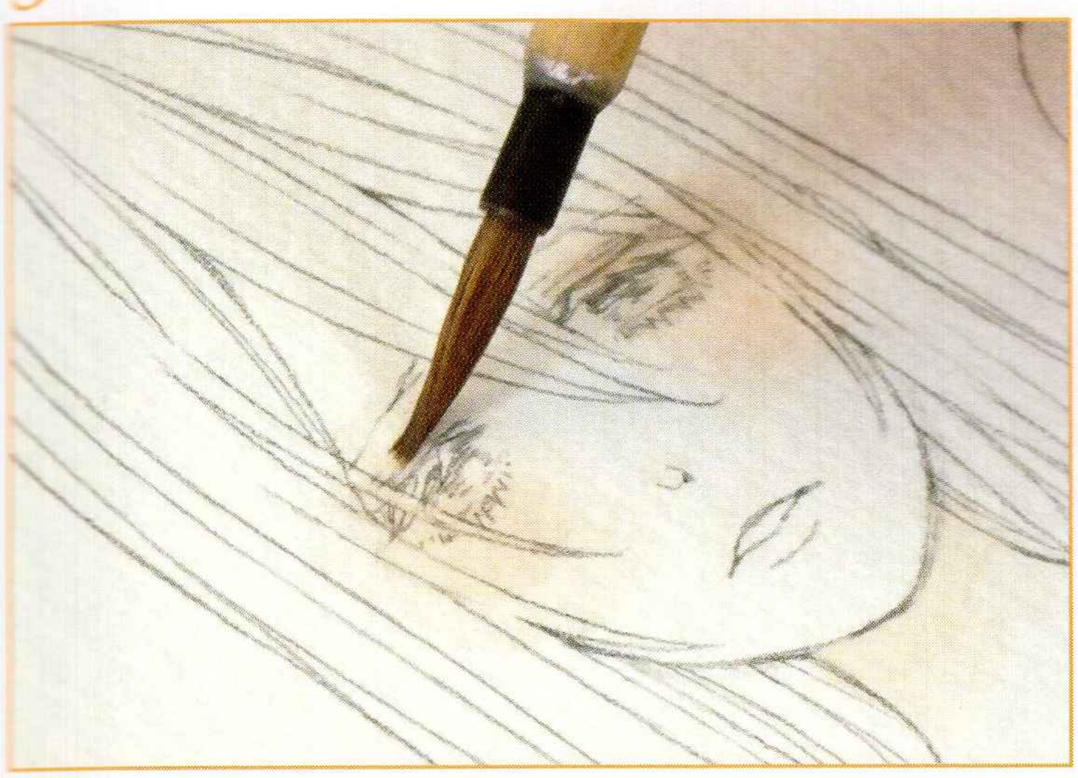
両肩にも肌色を塗り、水筆でなじませる。肩の肌色も、髪にかかったりはみ出して塗られている。

8



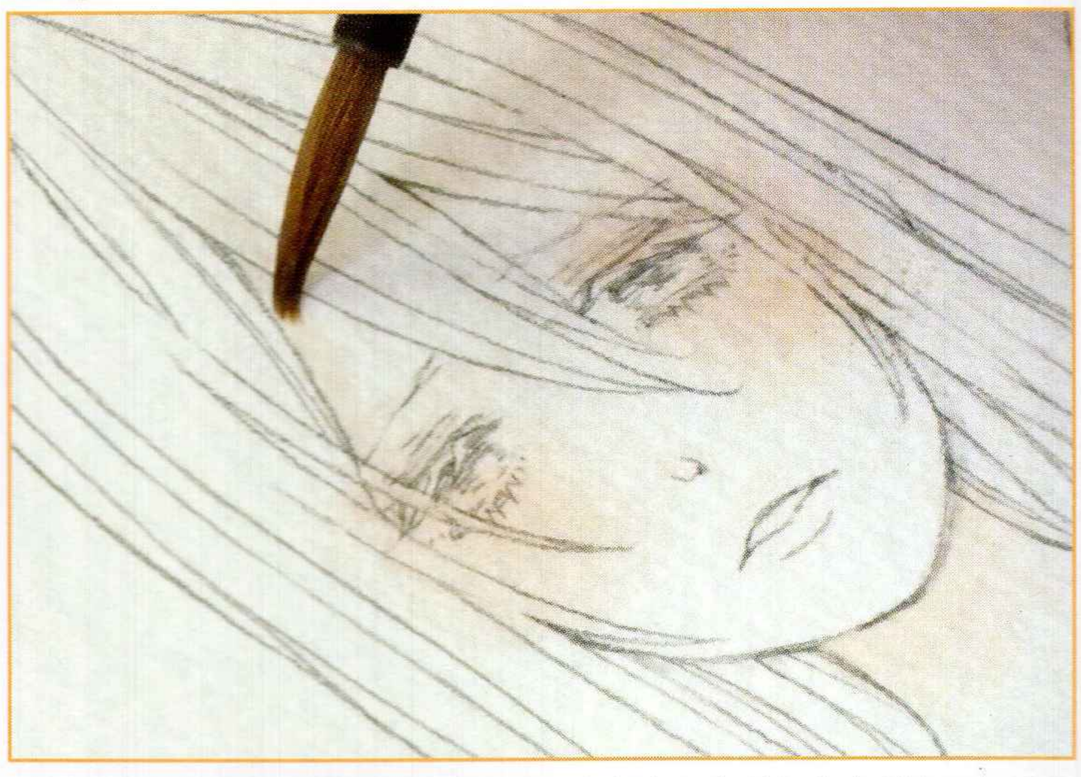
体のカゲになる部分や、ひじなど赤みが欲しい部分に肌色をのせていき、水筆でなじませる。肌は全体的に塗らずにポイントで色をつけていく。

9



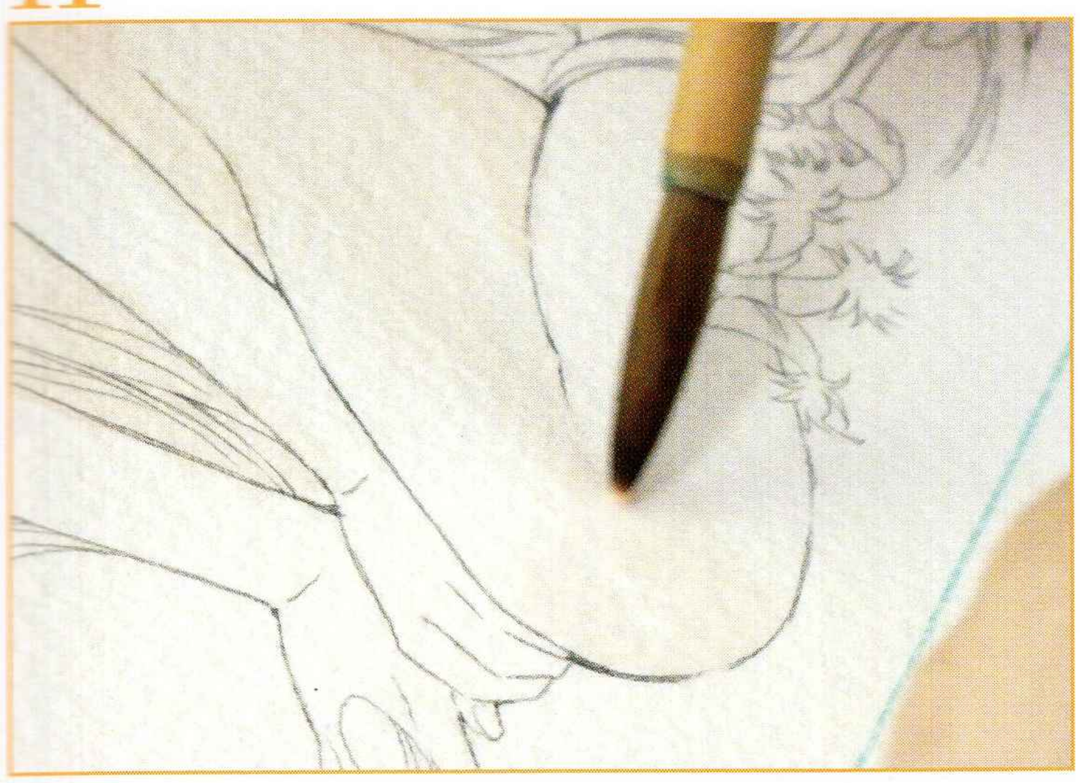
もう一度、頬に肌色を重ねて水筆でなじませる。体の色みと合わせながら少しずつ濃くなるように調整していく。

10



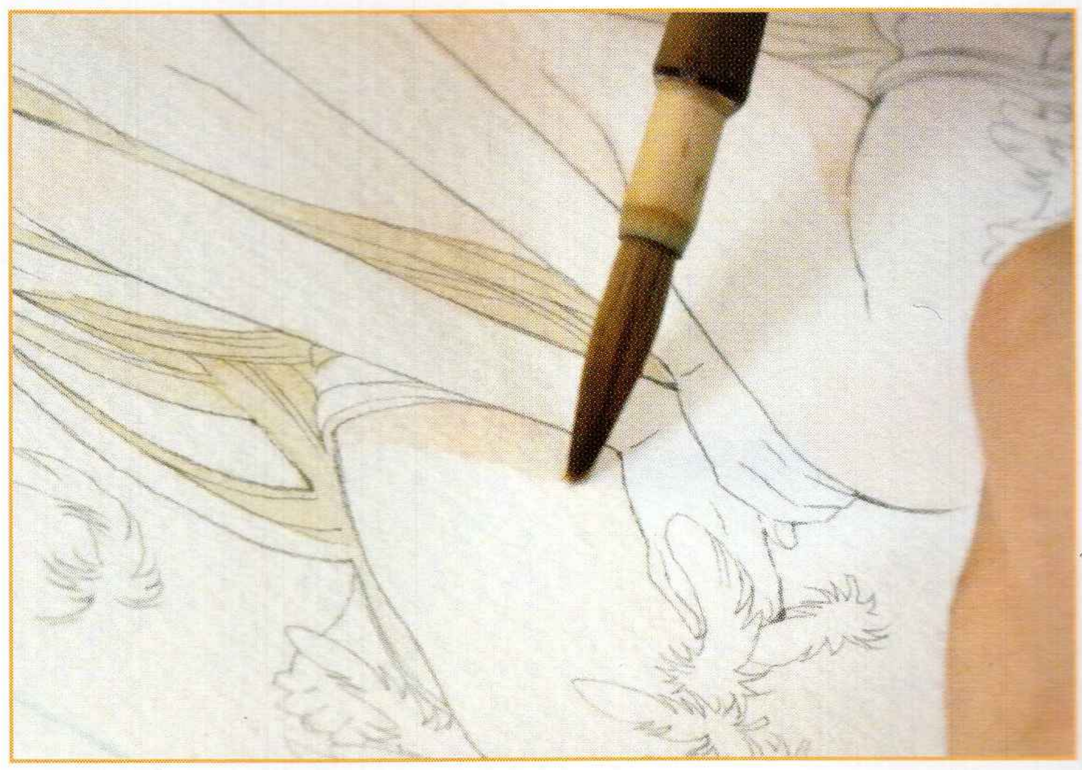
前髪のカゲにも肌色を塗る。こういった細かい部分にもカゲを入れることで、顔に立体感が出る。

11



ひざにも肌色を塗って、水筆でふわっとなじませた。ここも最初は淡く塗っておき、後々濃さを調整する。

12

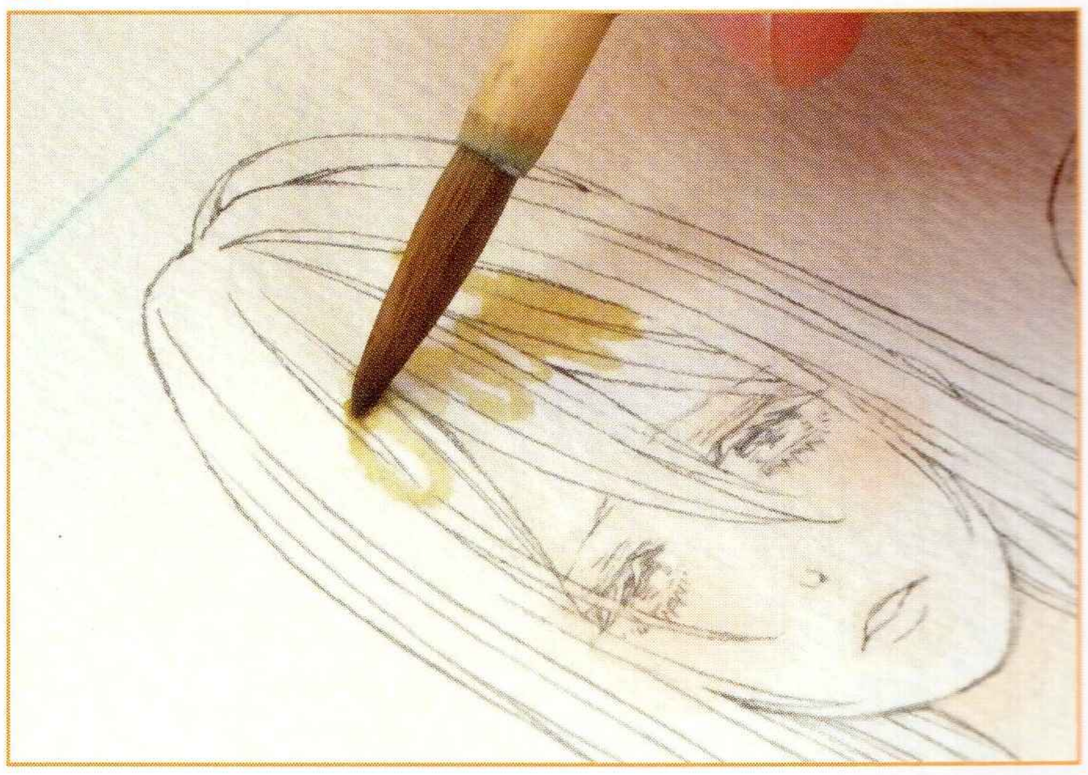


体のカゲや赤みに再び肌色を重ねて、色をくっきりさせていく。ここで重ねるときは、フチをぼかさずに残して、境界にほんのり線をつくる。

髪を塗る

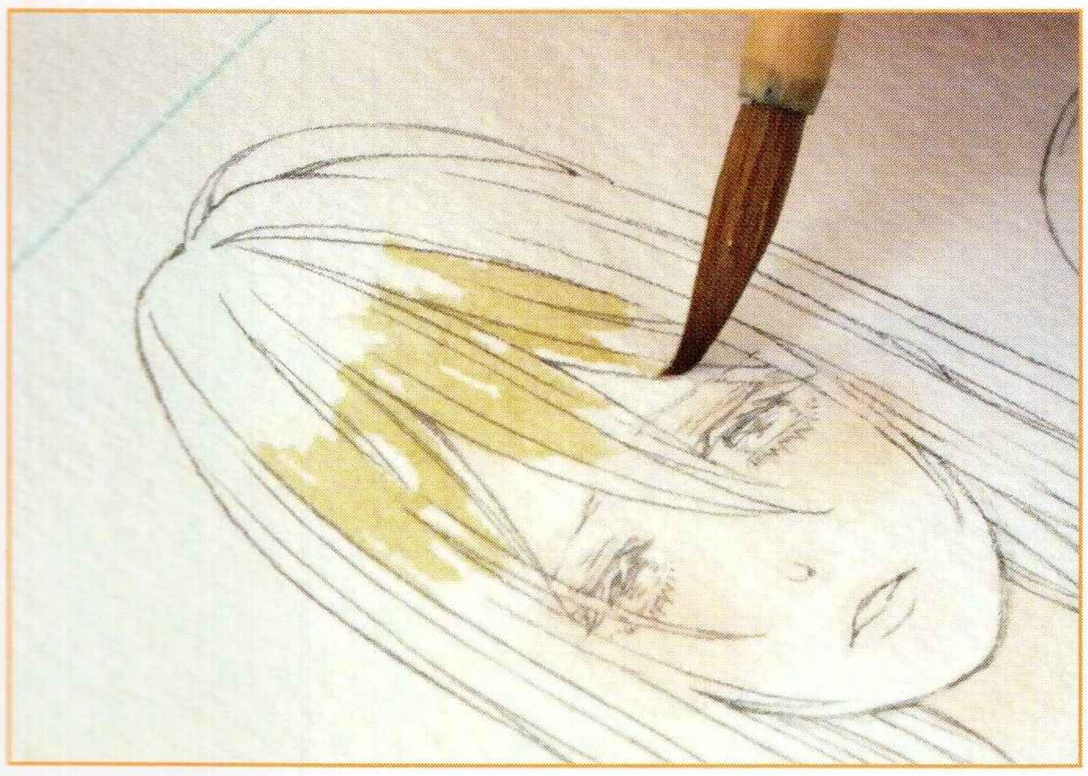
前髪は、ハイライトを残してまわりの色をふわっと広げていきます。
サイドの髪も、白いスジを残して淡く透き通った印象に。

1



イエローグレイとバーントシェンナを混ぜて黄土色を作る。その黄土色を、前髪の真ん中あたりに塗っていく。この時に、くるくると筆を動かして小さい縦長の丸に塗り残す。これを前髪のツヤにする。

2

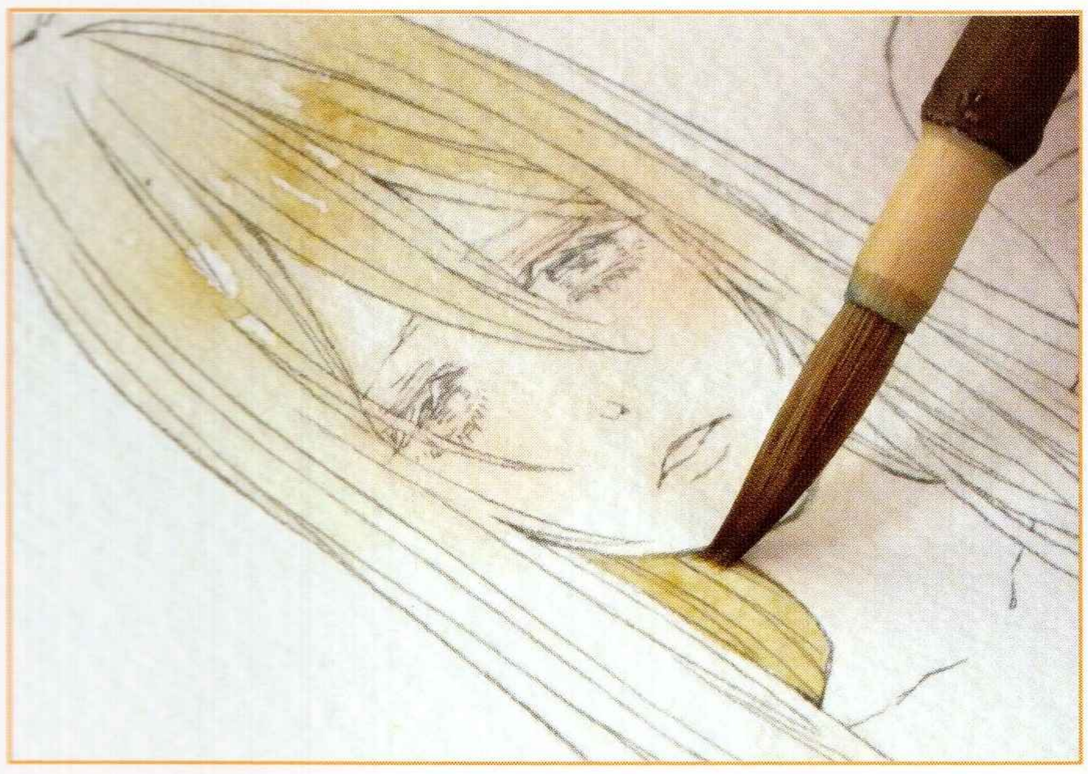


続いて、白抜きをランダムに残しながら前髪の中間あたりに色をつけていく。先ほど塗り残した縦長の丸は少し細くなった。

3

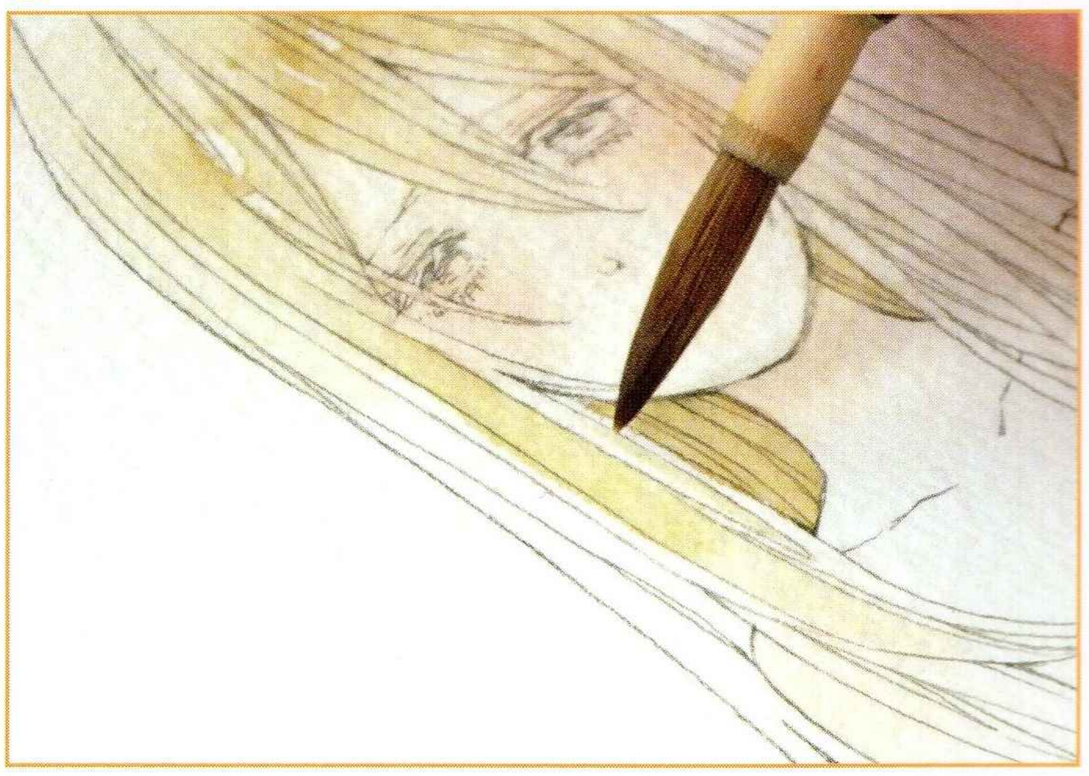
2で塗った色が乾かないうちに水筆でのばしていく。白抜きの周りの色を少し濃くすると、コントラストによりツヤが強調される。

4



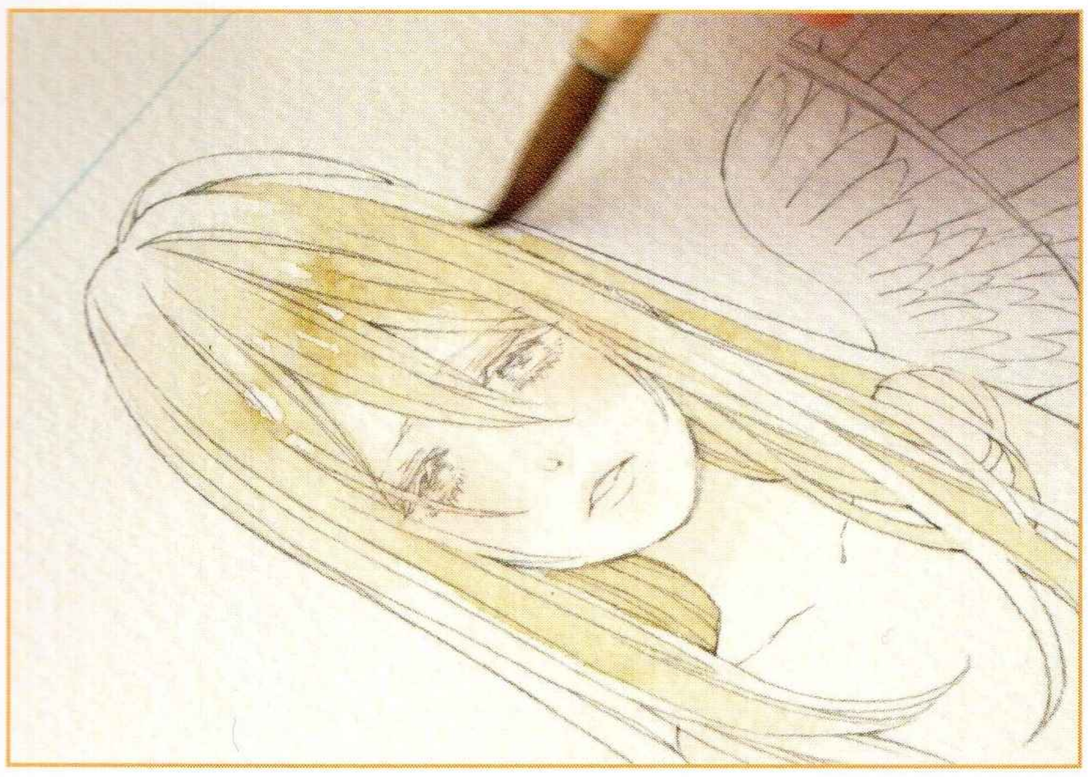
続いて首の後ろの髪を塗る。ここは、髪の着彩で一番濃くする部分。濃い色をおくことで奥行きが表現できる。

5



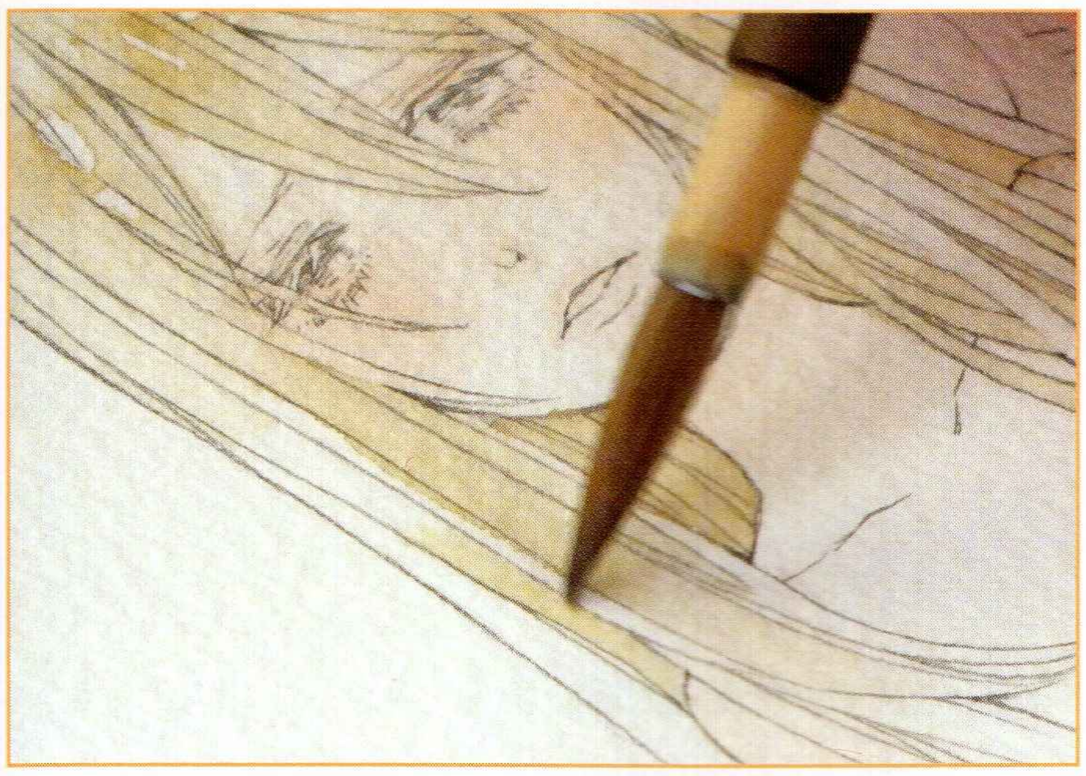
顔の横に垂れている髪は、4よりも淡い色をグラデーションにして塗る。「首の後ろの髪」と「顔の横の髪」の色差で遠近感を出す。

6



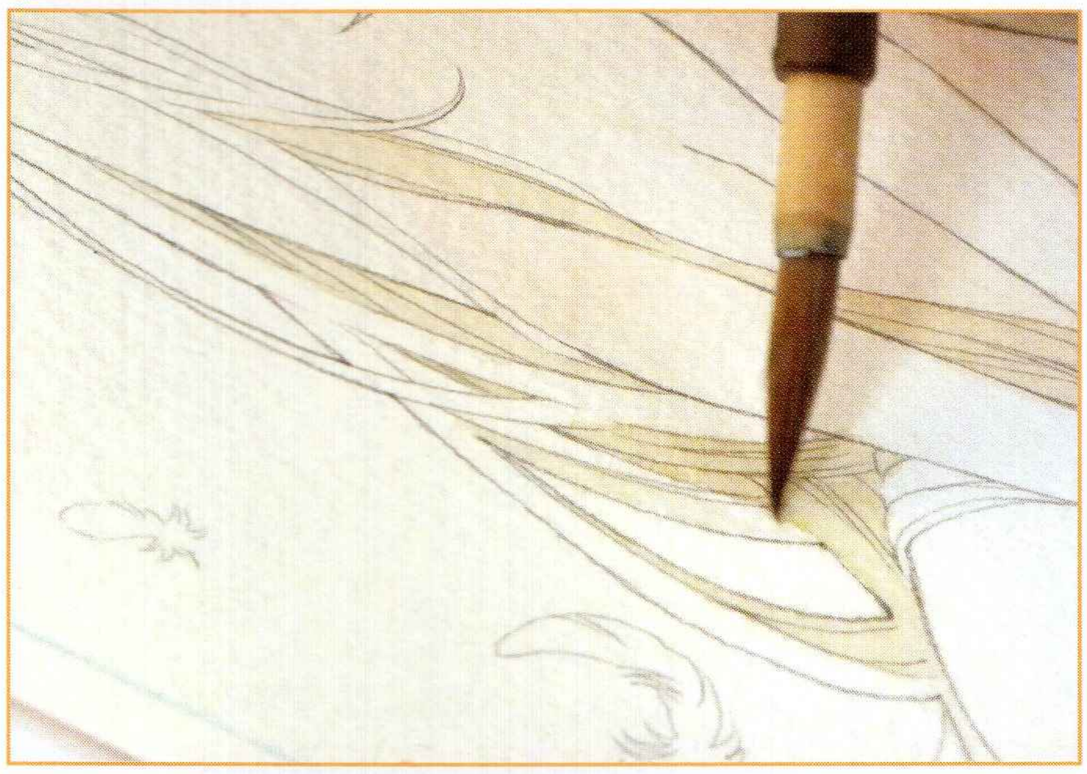
一番外側の髪は、光があたっているイメージで白く塗り残す。長い髪は丁寧に一束ずつ塗っていく。

7



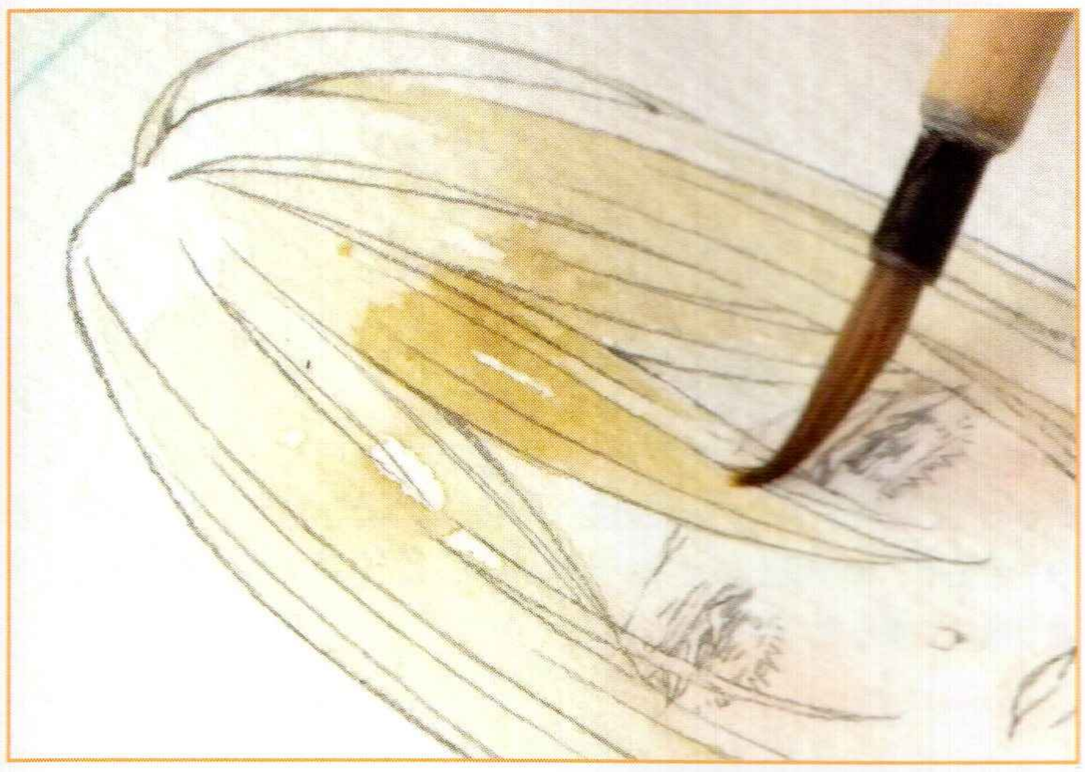
5で塗った髪の横に、ひとすじ白抜きを残して塗り進める。サイドの長い髪は、バランスを見ながら白いスジを残すのがポイント。

8



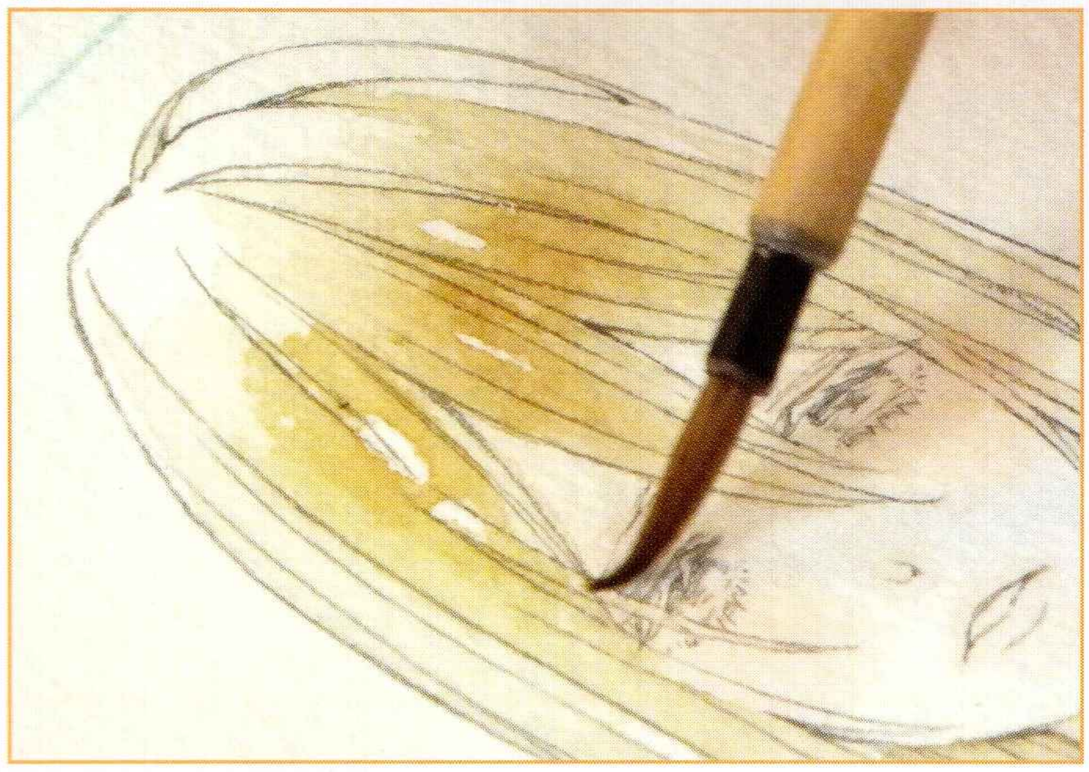
腰の周囲の髪も一番外側は白く残す。体のラインを際立たせるため、腕や足に接している髪はできるだけ塗っていく。

9



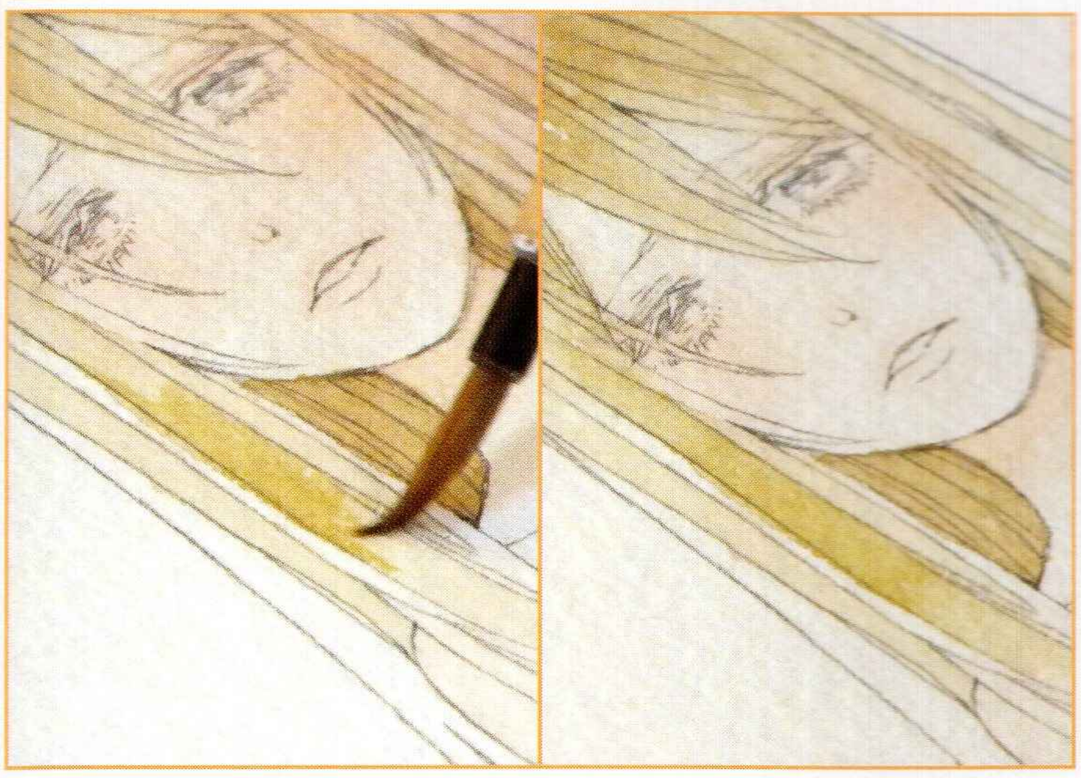
前髪に再び黄土色を重ねる。白抜きの周りを濃くしていくイメージで、「白抜き」と「その周りの黄土色」のコントラストを強めていく。

10



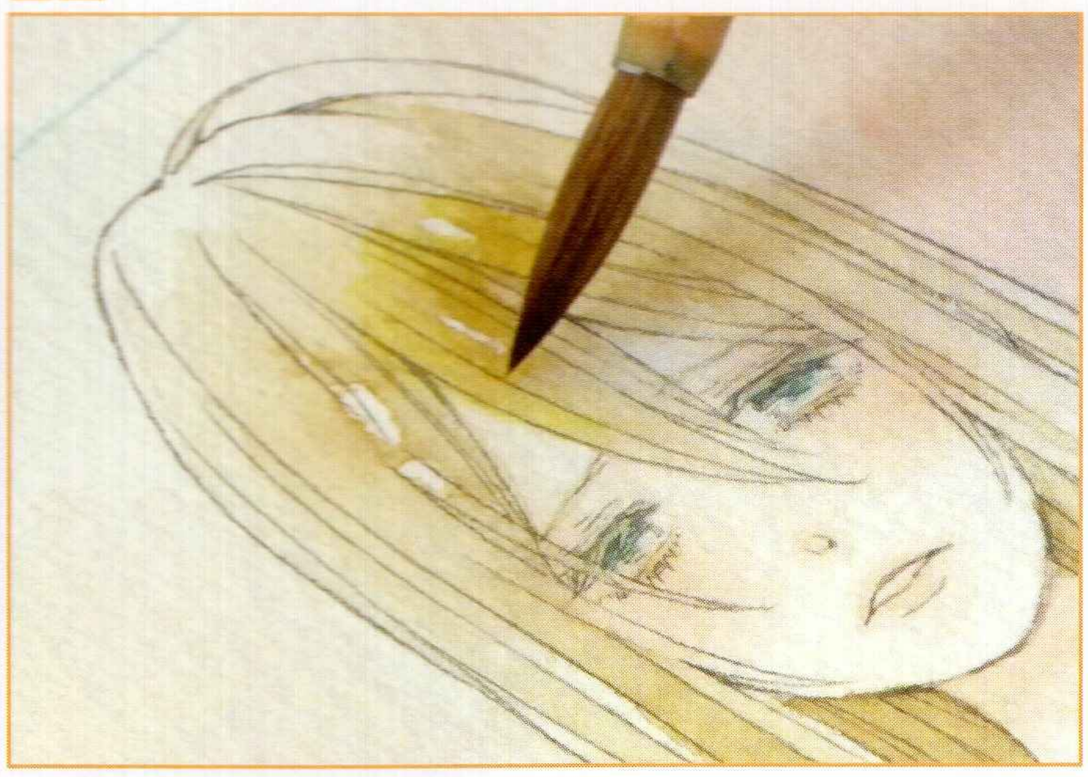
9で塗った黄土色が乾かないうちに水筆でのばして、最初に前髪に塗った色となじませる。ツヤッとした光が強調された。

11



サイドの長い髪にも一束ずつ色を重ねる。まずは髪の中間あたりに色をおく。それを水筆で上下にのばしてグラデーションに。この手順で髪に色を重ねて少しずつ濃くしていく。

12

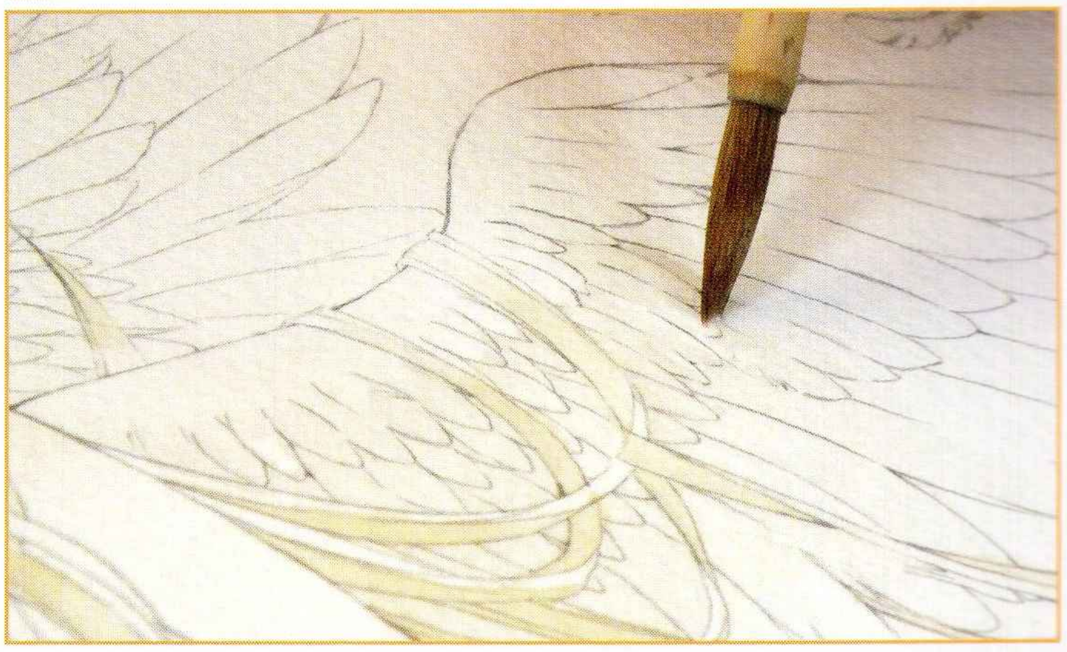


前髪には、さらにパーマネントイエローレモンを重ねる。より艶やかな印象に仕上げていく。

翼を塗る

翼のふんわりとした質感は、淡いカゲ色で表現します。
付け根から先端に向けて明るくなるグラデーションに。

1

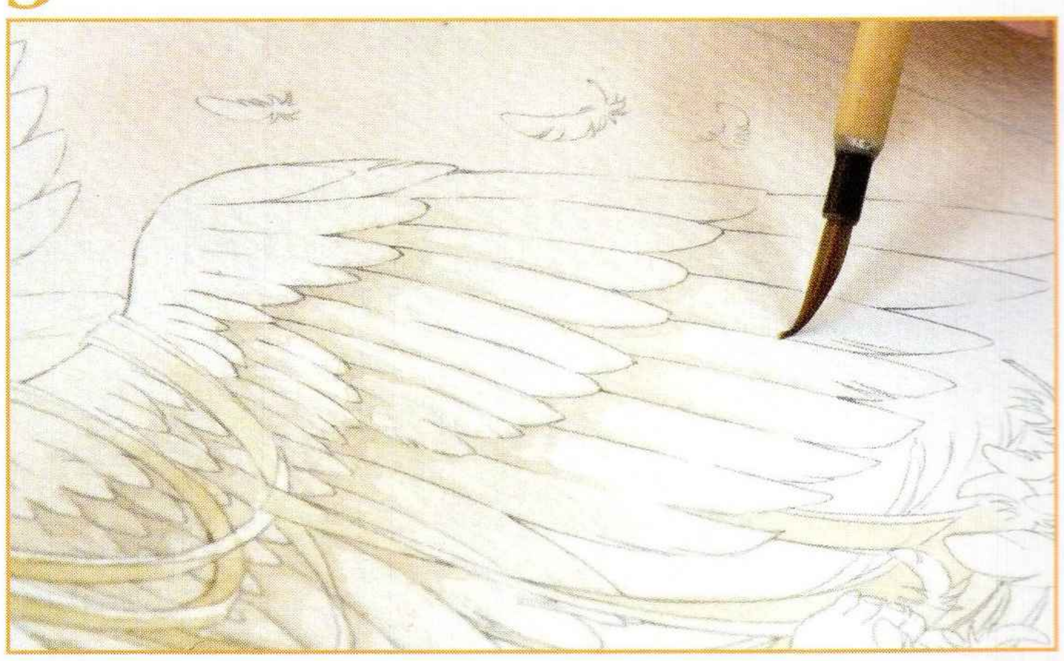


グレイオブグレイとバーントシェンナを混色して、茶色みがかった淡いグレイを作る。それを翼の内側のカゲに塗っていく。翼の上部は白く残す。

2

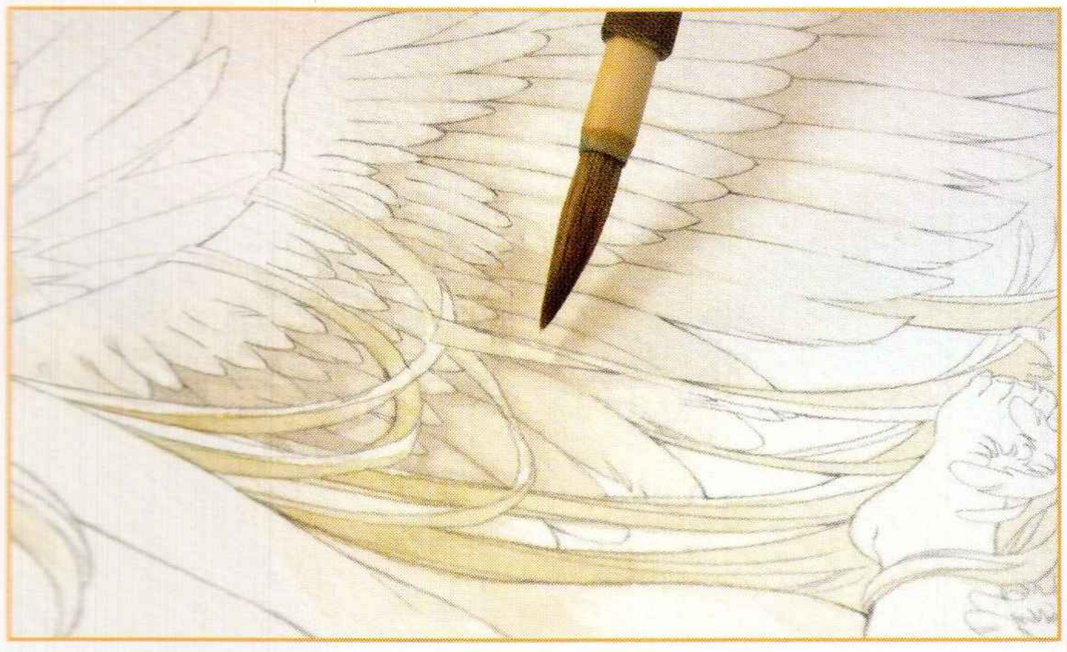
羽根の重なり 1 枚ずつにカゲを描いていく。重なっている根元を少し濃くするように。

3



淡く塗り重ねて、翼の付け根から先端に向けて明るくなるグラデーションにする。羽根が重なっているカゲも 1 枚ずつ濃くする。

4

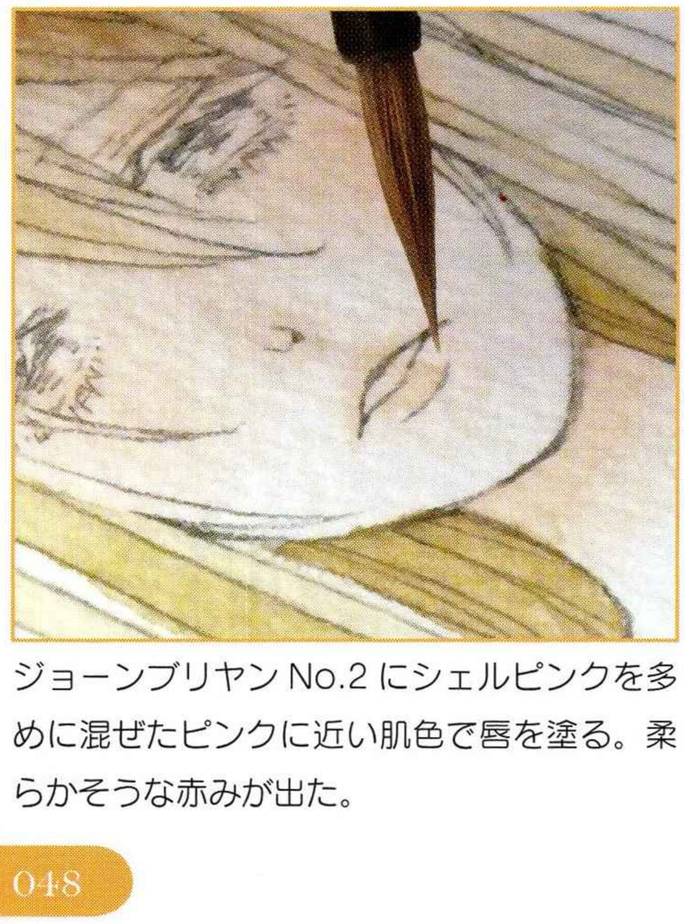


さらに塗り込んでいく。内側のカゲが濃くなった。あまりカゲが強くなりすぎると、翼が重たいイメージになってしまうので注意が必要。淡く塗り重ねて柔らかい印象に仕上げる。

唇と目を塗る

唇はナチュラルな色で中性的な雰囲気に。
青緑の瞳と金色のまつ毛で、透き通った印象を強調します。

1



ジョーンブリヤン No.2 にシェルピンクを多めに混ぜたピンクに近い肌色で唇を塗る。柔らかそうな赤みが出た。

2

コバルトグリーンとコバルトターコイズライトを混ぜた青緑で瞳を塗る。瞳の上部を少し濃くする。

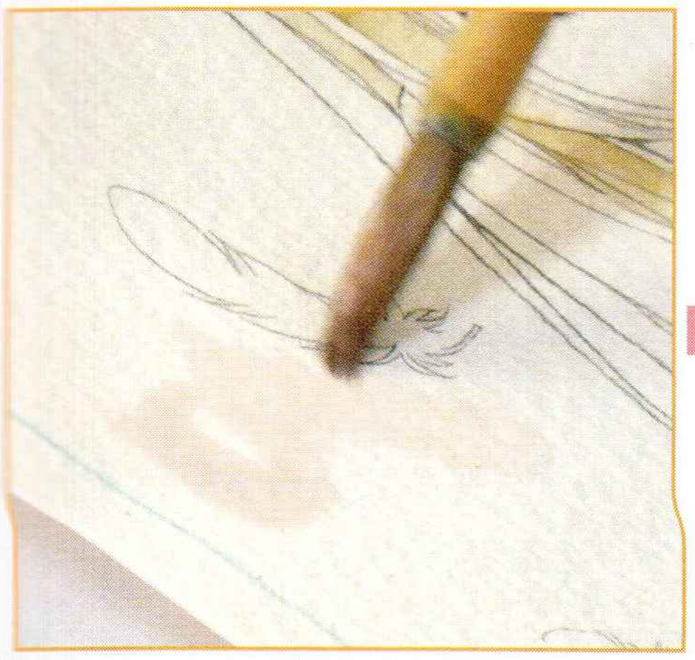
3

髪を塗った黄土色で上下のまつ毛を塗る。

背景を塗る

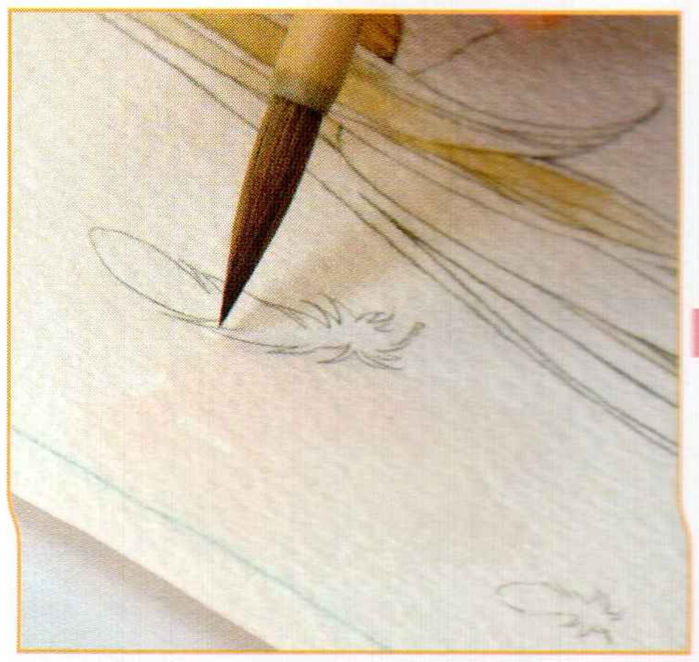
背景に淡いピンクとオレンジをふわっとにじませていきます。
最初に白抜きをつくってから色を広げるのがポイントです。

1



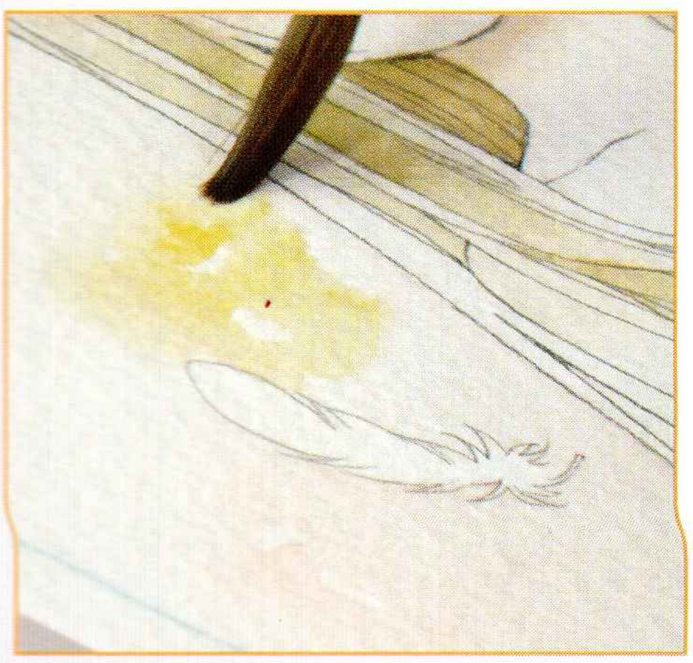
小さい白抜きを作りながら、シェルピンクを背景に塗る。

2



白抜きを残しながら、色の周りを水筆でふんわり広げる。

3

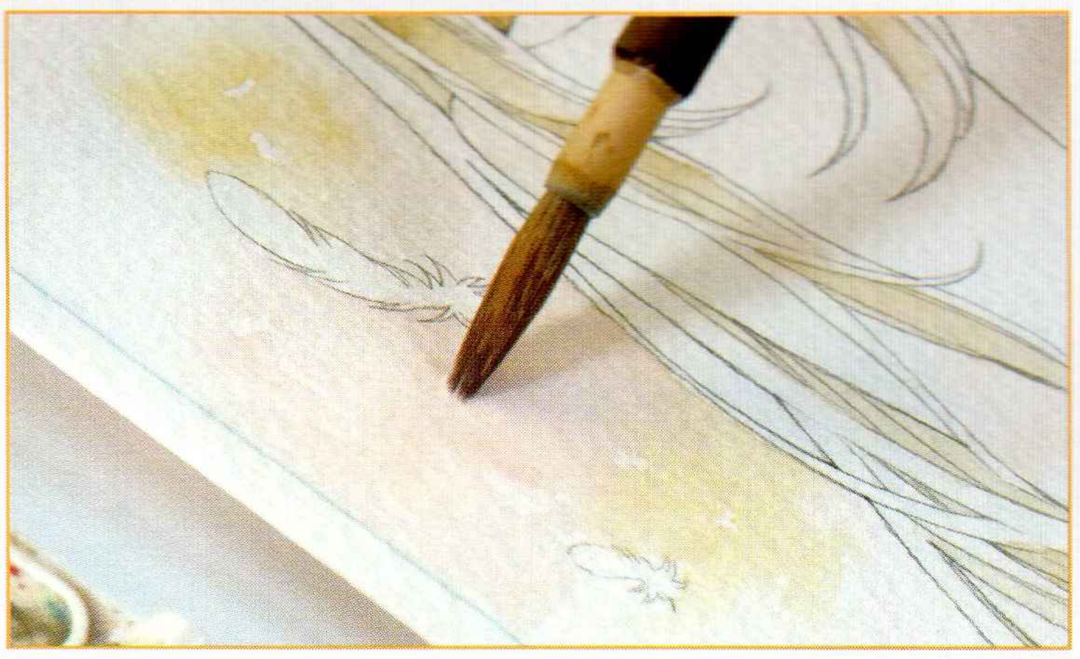


続いて、パーマネントオレンジも同じように小さく白抜きを残しながら塗る。

4

オレンジを水筆でのばしてピンクとなじませた。白抜きを残すことで、キラッと光っているような印象に。

5



最後に再びシェルピンクを重ねて、オレンジとの境界をふんわりなじませて完成。

髪の仕上げ

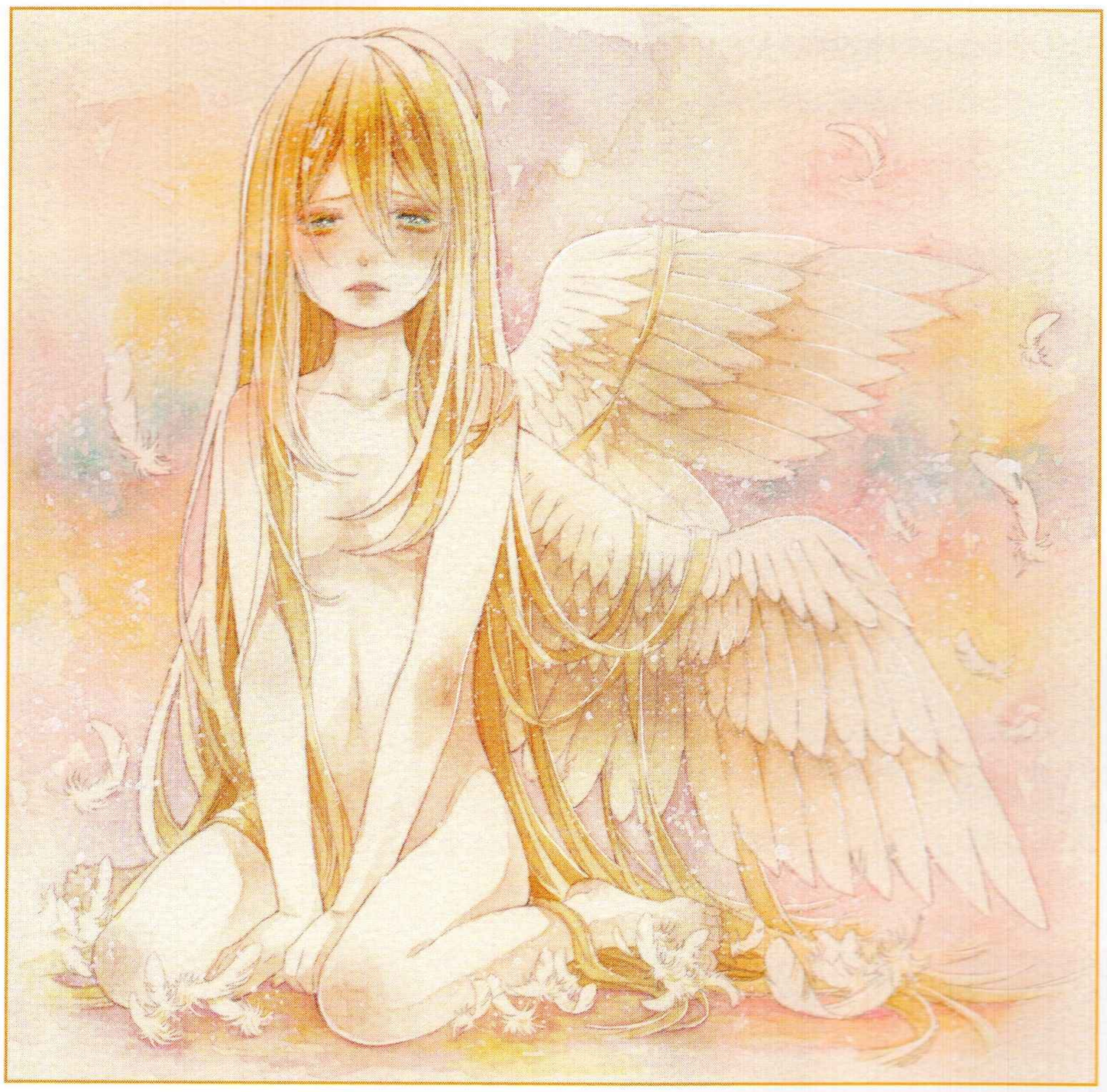
体と髪の境界に、濃い黄土色を重ねてメリハリを。
前髪は、白抜きの周りに色を重ねていきます。

1

腕の横に濃い黄土色を塗って、腕のラインを浮き立たせる。体との境界にポイントで濃い色を入れることで、髪の淡い印象は残しながら、絵にメリハリをつけることができる。

2

前髪にも再び濃い黄土色を重ねた。一般的に天使の輪のように光を残す部分に、濃い色をおくのが、ましきさんの前髪の塗りの特徴。そこにポイントで白抜きを残すという方法でツヤを演出している。



完成！

切ない表情を浮かべた恋する天使のイラストが完成。ましきさんの着彩は、色数が少なめでとてもシンプル。髪の塗りでは、じっくりと色をおく場所を考えてから、一束ずつ塗り進めていく姿が印象的でした。翼もカゲが強くなりすぎないように淡く重ねていき、やわらかい質感に仕上げていました。また、完成イラストは、透明水彩を塗り終えた後に、コミックスタジオで色調補正をして仕上げています。「焼き込みカラー」やピンクの「オーバーレイ」を使って全体的に色みを調整し、髪や瞳、肌などにホワイトを加えて光を際立たせました。みなさんも、一筆ずつ丁寧に色を塗って美しいイラストを描いてください。

Q&A

Q1 透明水彩を使うようになったキッカケを教えてください。

覚えていません、すみません…。多分好きな作家さんが透明水彩を使っていて、それに憧れたのだと思います。

Q2 透明水彩の好きなところを教えてください。

透明水彩の色の重なりや滲み。

Q3 好きな色を教えてください。

「ウィンザー & ニュートン」のコバルトターコイズライト
「ホルベイン」のシェルピンクとジョーンブリヤン No.2 の混色。
他、いいなと思う色は何でも好きです。

Q4 描くのが好きなモチーフを教えてください。

15～18歳くらいの少年少女です。

Q5 透明水彩を使い始めた時に難しいと感じたことや困ったことは？

ちょうど良い水の分量が分からなかったことです。

Q6 難しいと感じたことや困ったことを改善するために、気づいたことや工夫したことがあれば教えてください。

ひたすら数をこなしました。

Q7 一枚の絵を仕上げるために、かかる時間を教えてください。

アイデア…ぱっと出て数時間、出ないときは2、3日
ラフ…数時間～3日くらい
線画…絵のサイズや描き込み具合によります。B4 で大体5、6時間
着彩…2日くらい

Q8 絵を描く上で、資料・参考にするものはありますか？

特にありません。

Q9 透明水彩を塗る際の紙の選び方で、どんなことを重視していますか？

重ね塗りに向いているかどうか、絵の雰囲気に合う色かどうかです。

Q10 ましきさんが描く少年少女は、どこか儚げで艶っぽい雰囲気が魅力的です。人物を塗るときに意識していることやポイントがあれば教えてください。

少年ならオレンジぽい色、少女ならピンクぽい色を、目元や唇・指先などにポイントとして置くと、ちょっと色っぽくなるような気がします…。（色っぽく、色っぽく…）と頭の中で呪文を唱えつつ描いています。意識して描くと、それが絵に宿ると思います。

Chapter 03

七神マナ

Profile

七神マナ／1992年生まれ、鳥取県出身

pixiv ID = 456242

Twitter = h654r1

主な活動……「SS19号」透明水彩メイキング／「SS22号」鉛筆メイキング／「SS23号」七神マナ×万翔葉対談インタビュー／「SS40号」イラストでストーリーを綴る絵物語を掲載／「季刊S 35号」擬人化イラスト描き下ろし＆メイキングなど／大阪を中心にイベントにも参加。

フリルやリボンなど華やかな装飾で描かれた、デザイン性の高いキャラクターが魅力。日常で見る様々なモノを女の子として描く擬人化イラストなども手掛ける。擬人化では、古くなって痛んだモノや、使われなくなったモノなど、ちょっぴり切ない存在感を掘り下げて描くことが多く、物語を内包したイラストの作り込みが特徴的。

［お風呂でしんだ女の子］2015年

上：「チョコレートアソート箱の擬人化」2015 年
下：「似た色だけどメーカーが違う口紅の擬人化」2015 年

取り扱い説明書

○根栓途、水に触れるとう種の膨まで連れ去ることが可能です。
検討すること厳禁。

○頬、額
速やかに

○根栓途の臭

○定格害捨五案

○痛子を近え
傾向をひかえ

100W

[台所家電] 季刊エス 35 号描き下ろし　2011 年
（左から、換気扇、ガステーブル、レンジ、炊飯器、ミトン、ケトルの擬人化）

▲ 4 点全て［少女商店モーリス］2014 年より抜粋
（上段左・右／炊き枕・白杖、下段左・右／造花・黒電話の擬人化）

The Making of 七神マナ

七神マナさんは、黒電話を擬人化した着物姿の女の子をメイキング！　頬の淡い色づけ、着物のにじみと柄の描き方、艶やかな髪の着彩方法などを紹介します。

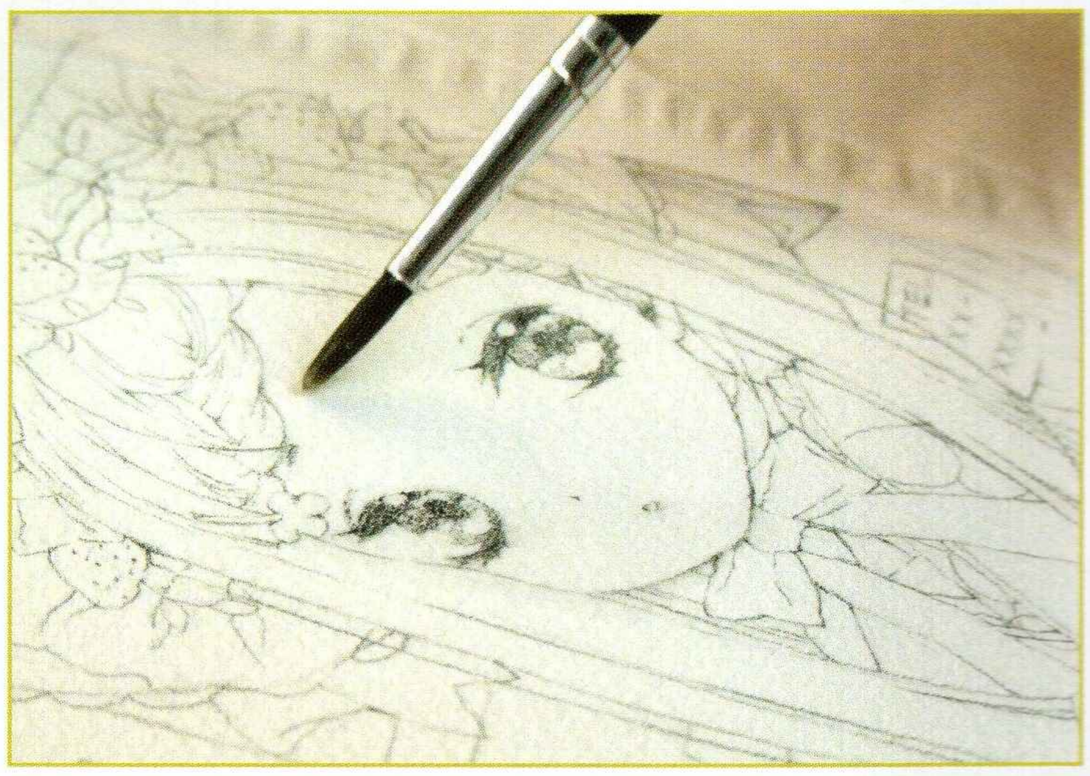
画材：透明水彩絵具（ホルベイン、ウィンザー＆ニュートン）
※本文中では、ホルベインは（H）、ウィンザー＆ニュートンを（W）と表記

用紙：アルシュ水彩紙

肌を塗る

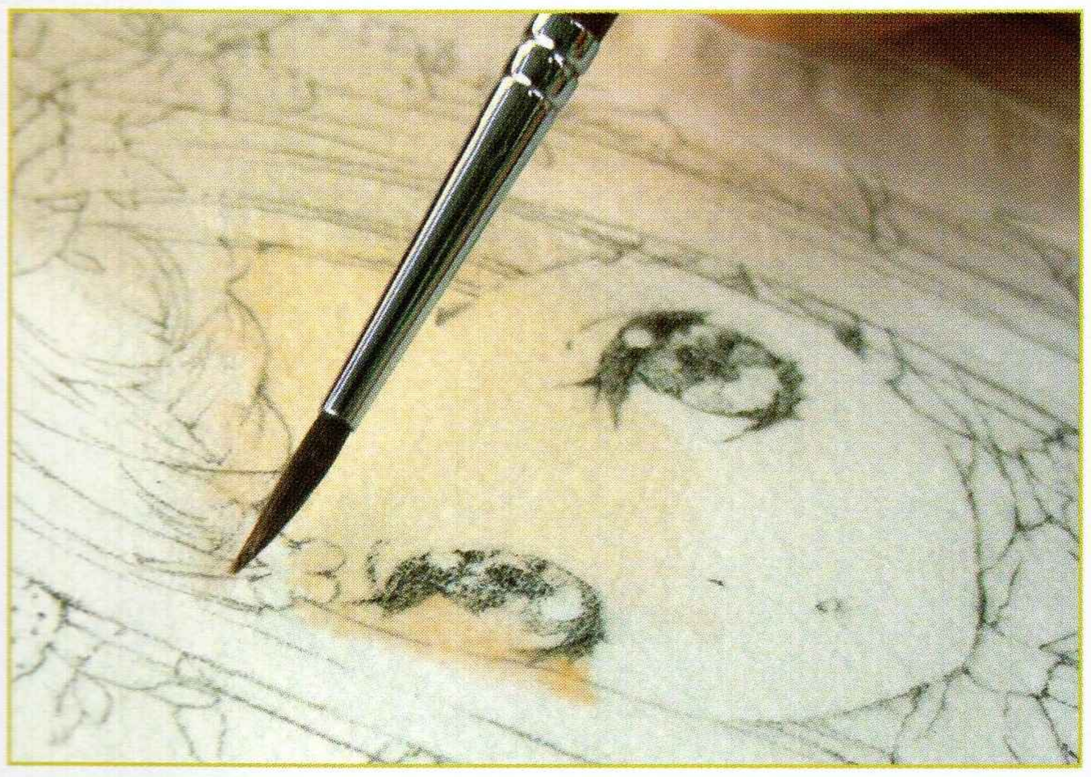
肌色の上に朱色を重ねて、ふわっと水筆で広げていきます。
目のキワは、さらに朱色を重ねて頬とグラデーションに。

1



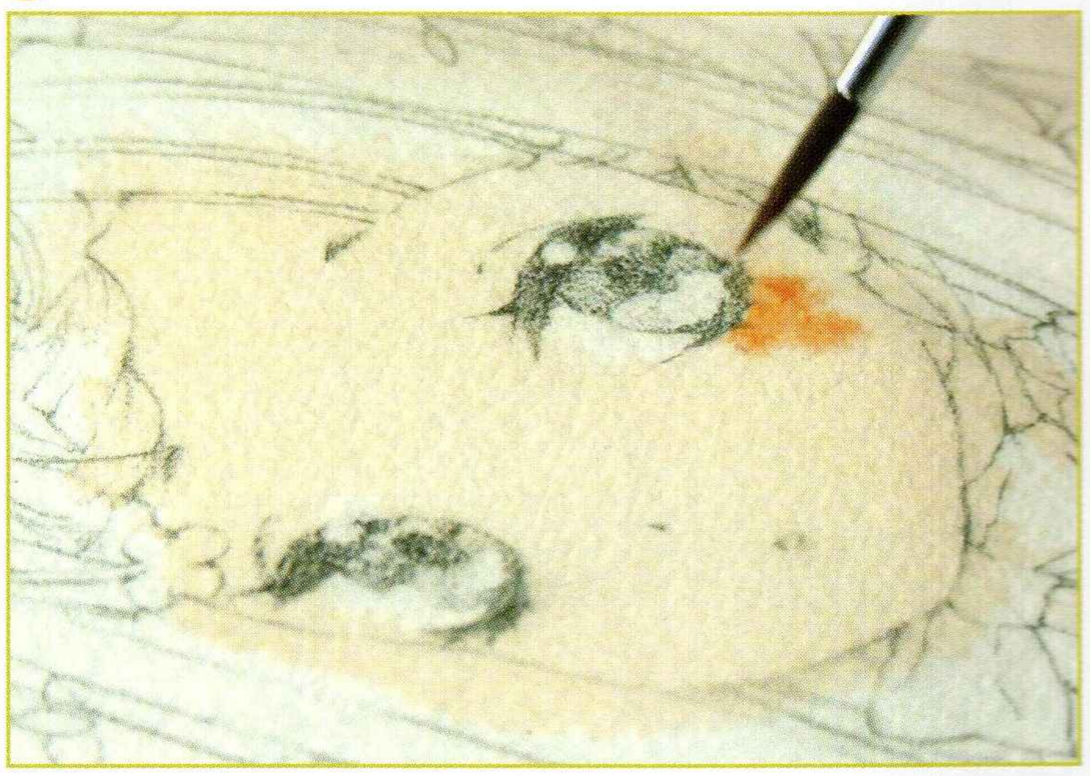
最初に顔に水をしく。髪や首のあたりまで水をのばして、紙の表面が薄く光るまで少し待ってから 2 の塗りへ進む。

2



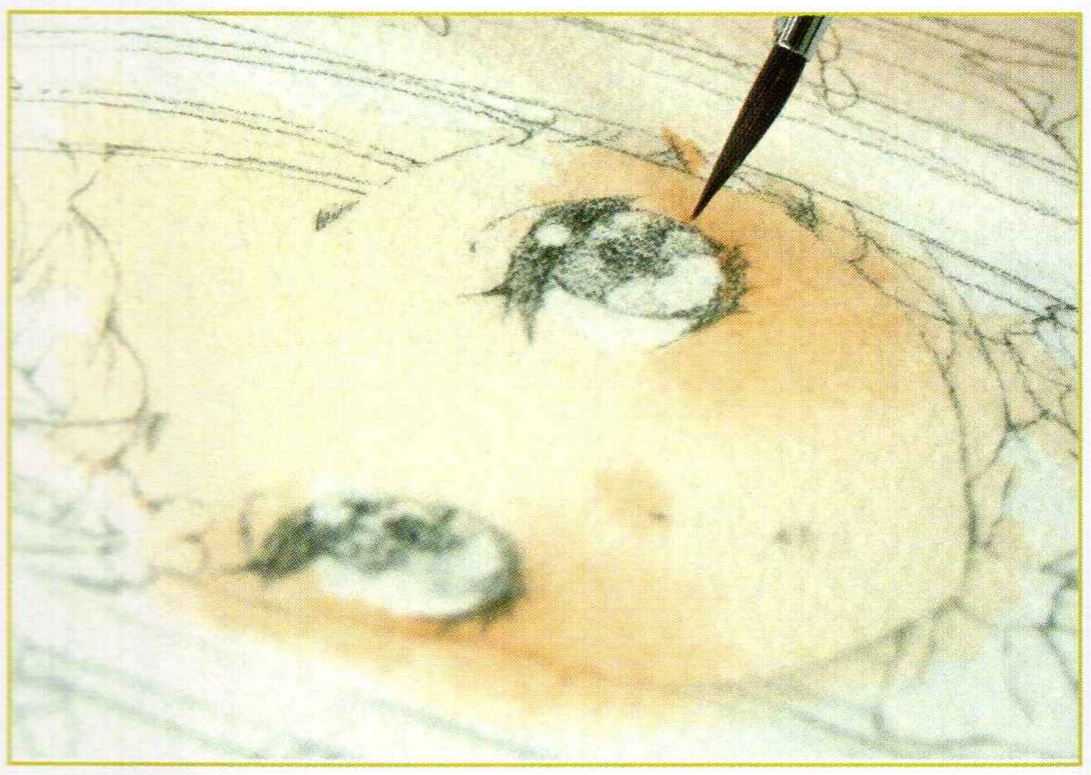
シェルピンク（H）とジョーンブリヤン No.2（H）で肌色をつくり、顔にまんべんなく塗り広げる。七神さんは、目に重ねたり、顔からはみだしたりしながら塗っていた。

3



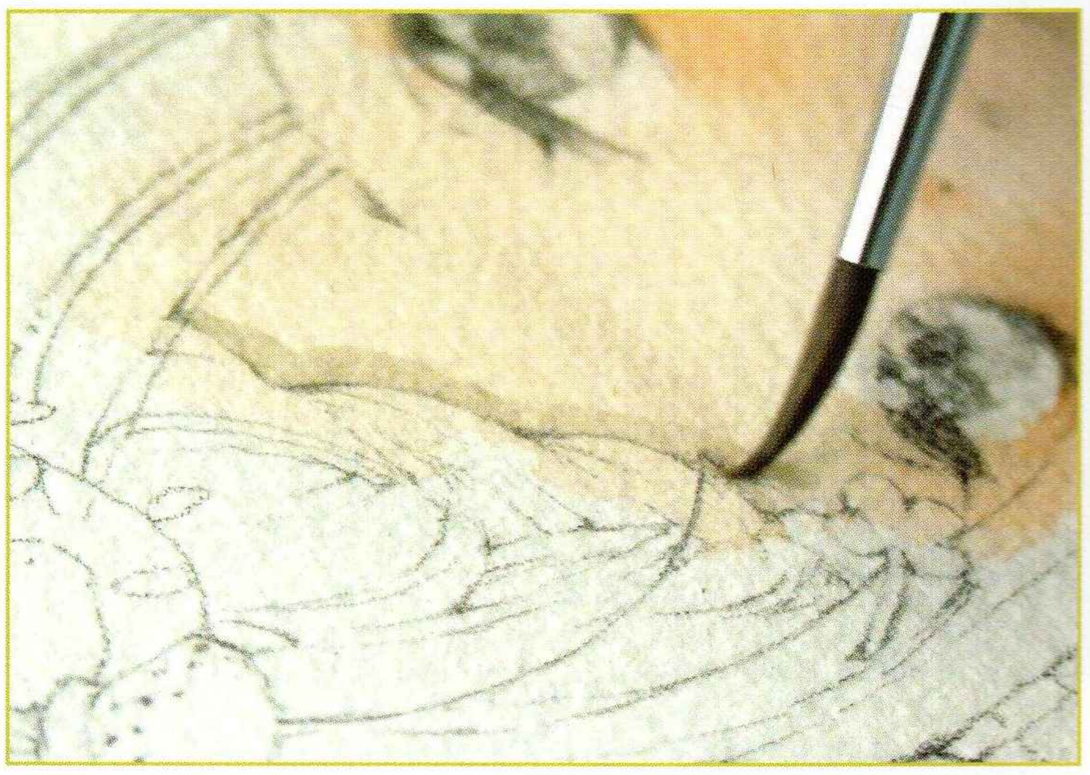
カドミウムイエローオレンジ（H）とカドミウムレッドディープ（W）を混ぜた朱色を頬にちょんちょんとのせる。

4



水筆で朱色を少しずつのばして、頬から目の横までなめらかになじませる。さらに、目のキワに朱色を重ねて頬の色とグラデーションにする。

5



2 で作った肌色にウィンザーブルー（W）を混ぜて青味のグレーをつくる。そして、前髪のラインに沿って、おでこにカゲを塗る。鼻、口、首のカゲにも塗っていく。

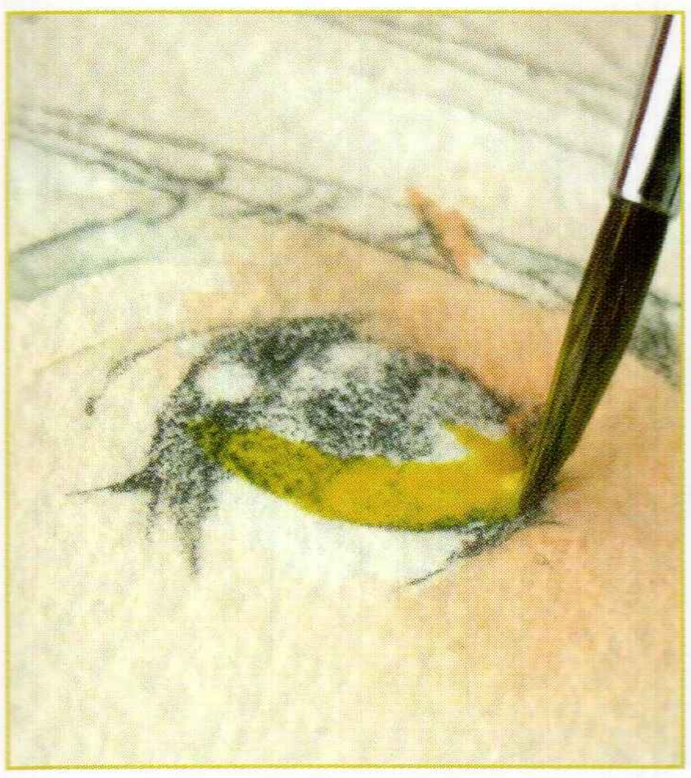
着彩計画

七神さんは、メイキングの着彩前に、別紙に描いた 15 センチほどのキャラクターを塗ってみて、配色を決めていました。本番では、それを参考にして色を塗り進めていきます。

目を塗る

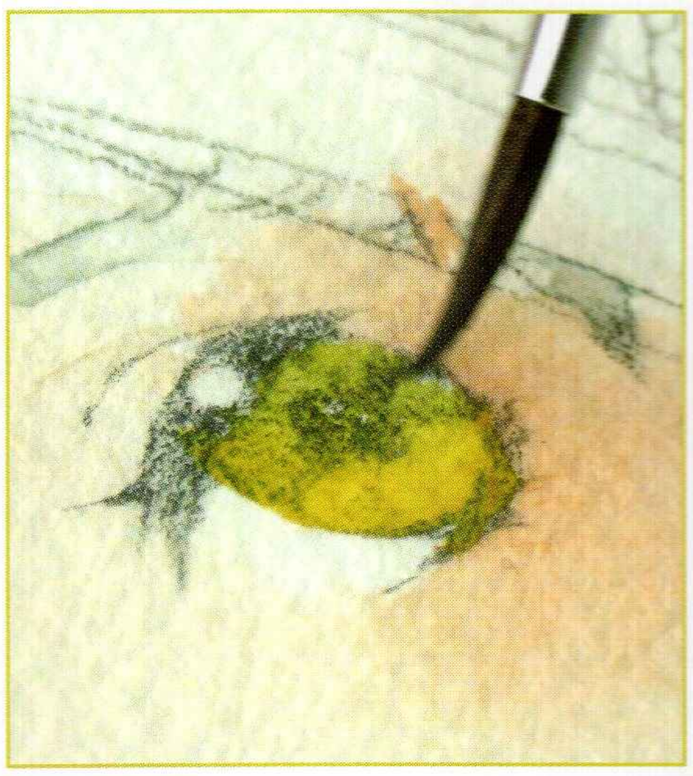
透き通った深いグリーンの瞳。
濡れているうちに塗り重ると綺麗に色が混ざります。

1



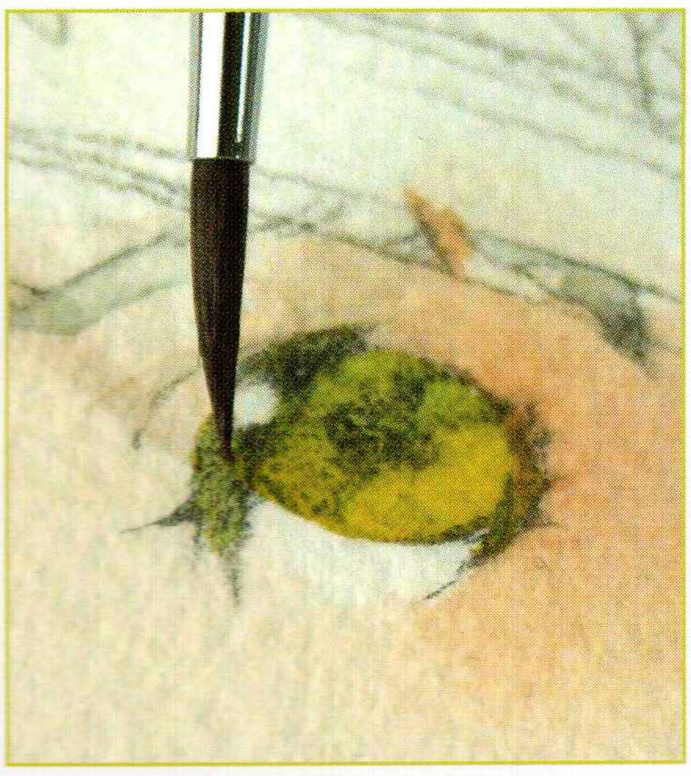
トランスパレントイエロー (W) とオーレオリン（H）を混ぜて黄金色をつくり、瞳の左側に塗る。

2



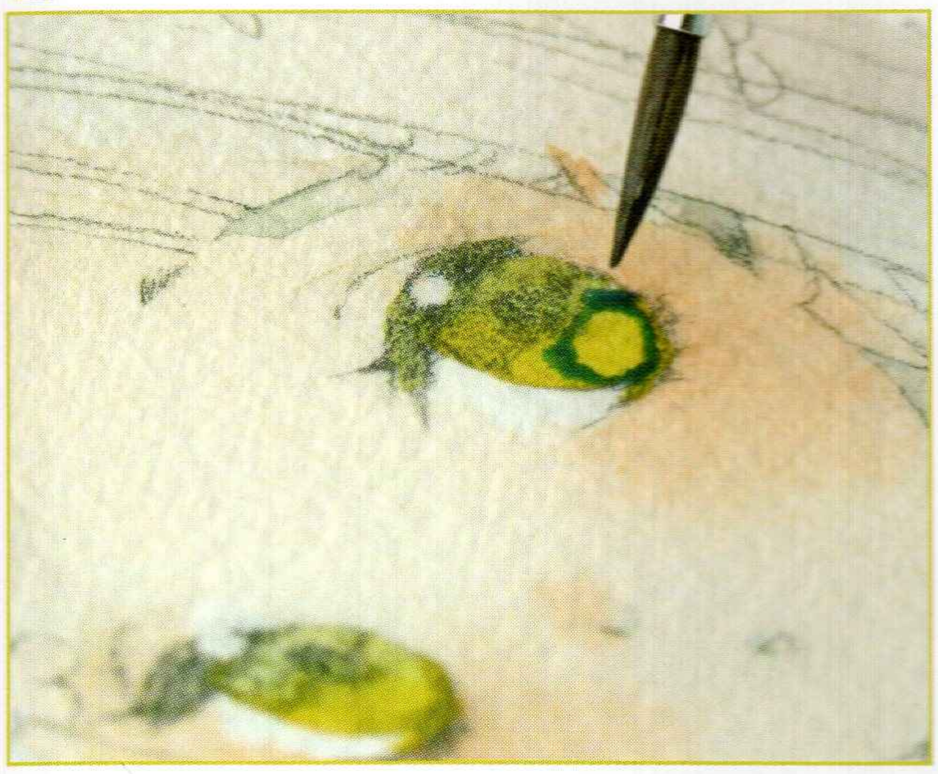
黄金色を水筆で瞳全体にのばしていく。そうすると色が少し淡くなり、透き通った印象になる。

3



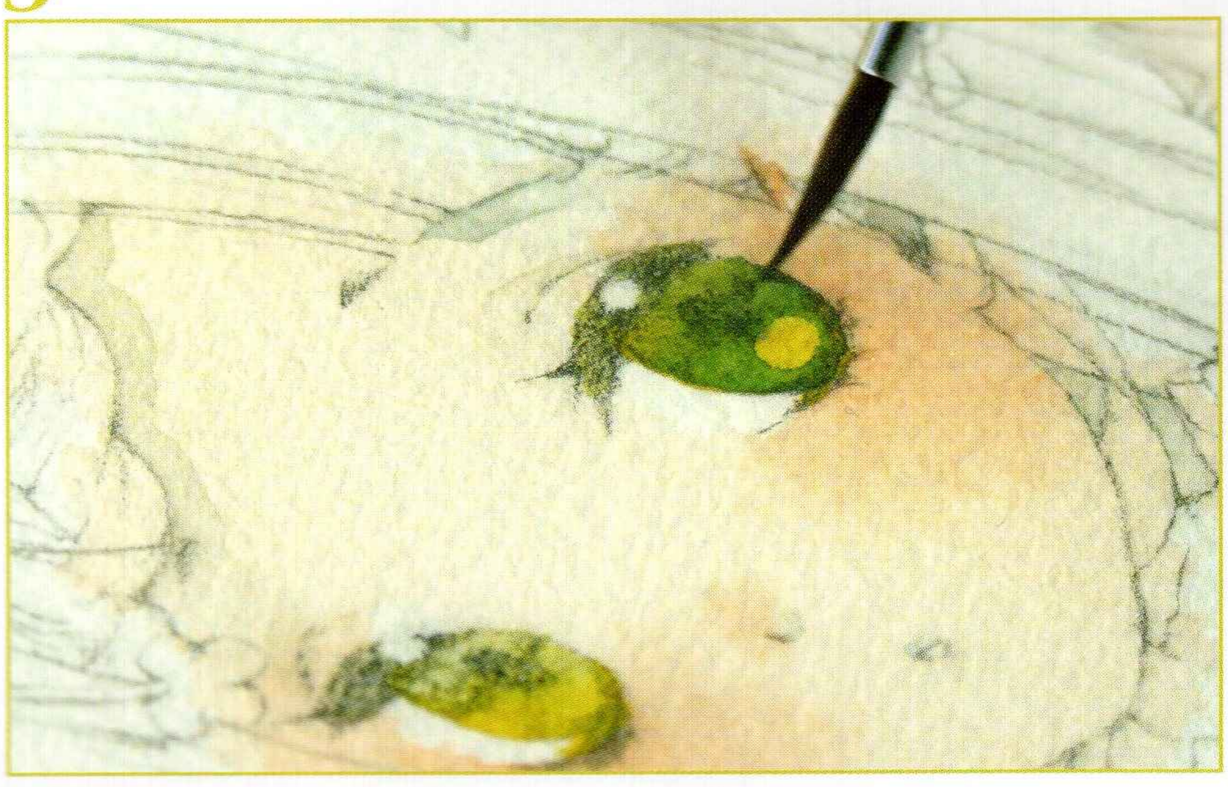
上まつげにも黄金色を塗って、瞳となじませる。上まつげのハイライトは白く塗り残す。

4



ウィンザーレッドディープ（W）とウィンザーブルー（W）を混ぜた青紫色で、瞳の下部分に丸を描く。

5

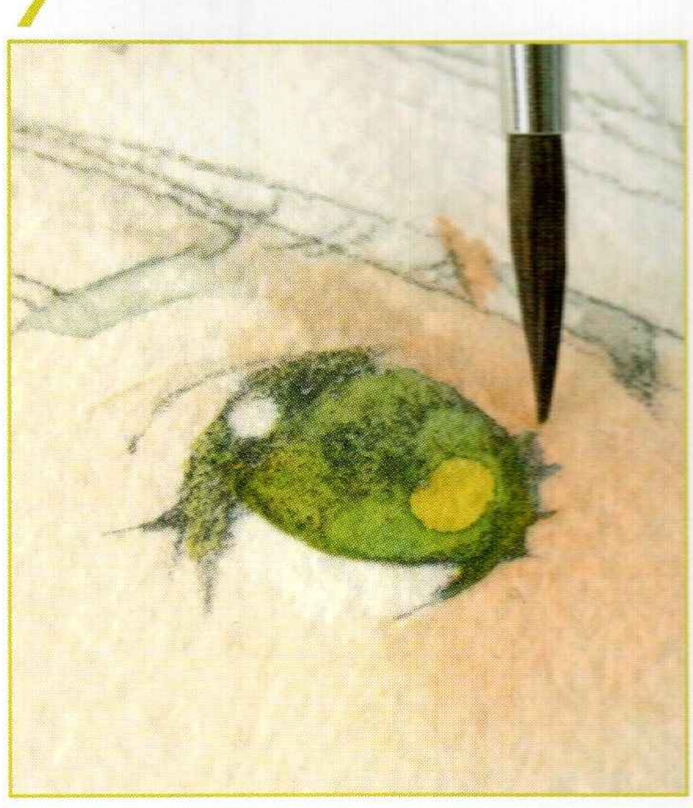


先ほど描いた丸の中に黄金色を残しつつ、瞳全体に青紫色を薄く広げる。黄金色と青紫色が重なって、青緑色になった。

6

青緑色をティッシュで軽く押さえて、下の黄金色を少し浮かせる。下の色を浮かせることで瞳に透明感が増す。

7



青紫色で下まつげを濃いめに描く。まつ毛を描くと目の印象が強くなる。

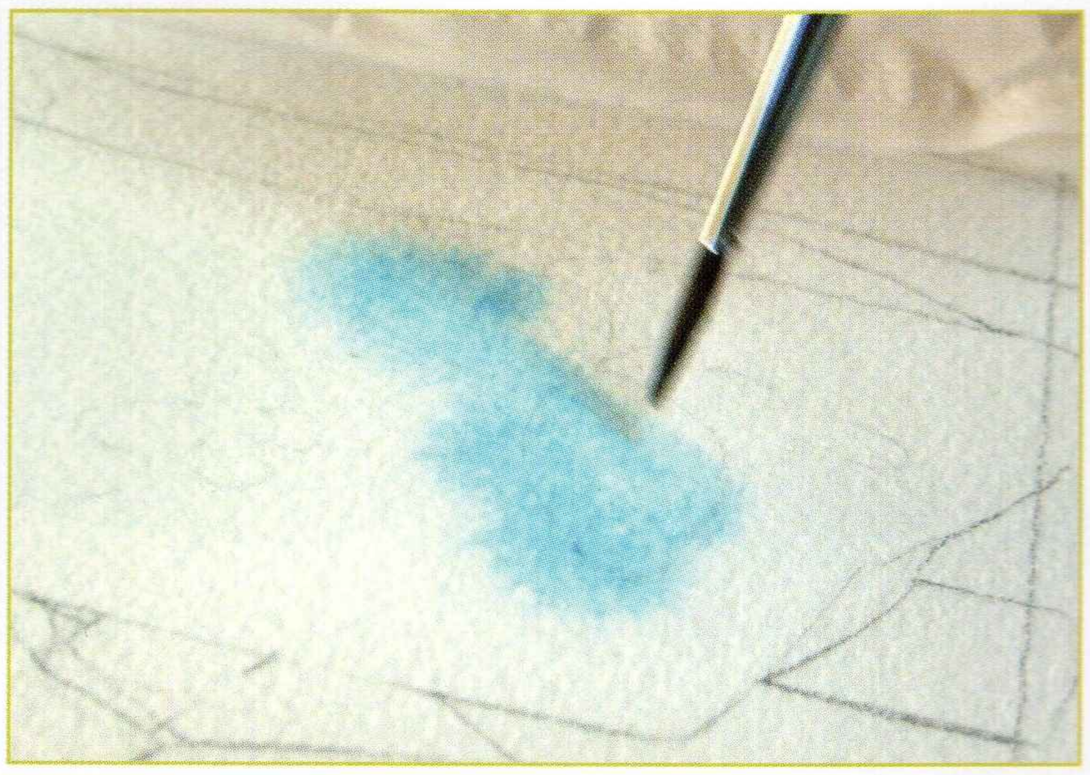
8

青紫色を薄めたグレー系の色みで、まつげのカゲをアーモンド型に描く。瞳の上にも重ねて塗った。

着物を塗る

着物に、淡くにじんだ蝶の柄を描いていきます。
柄のにじみを作ってから、着物の色を塗るという手順が大切です！

1

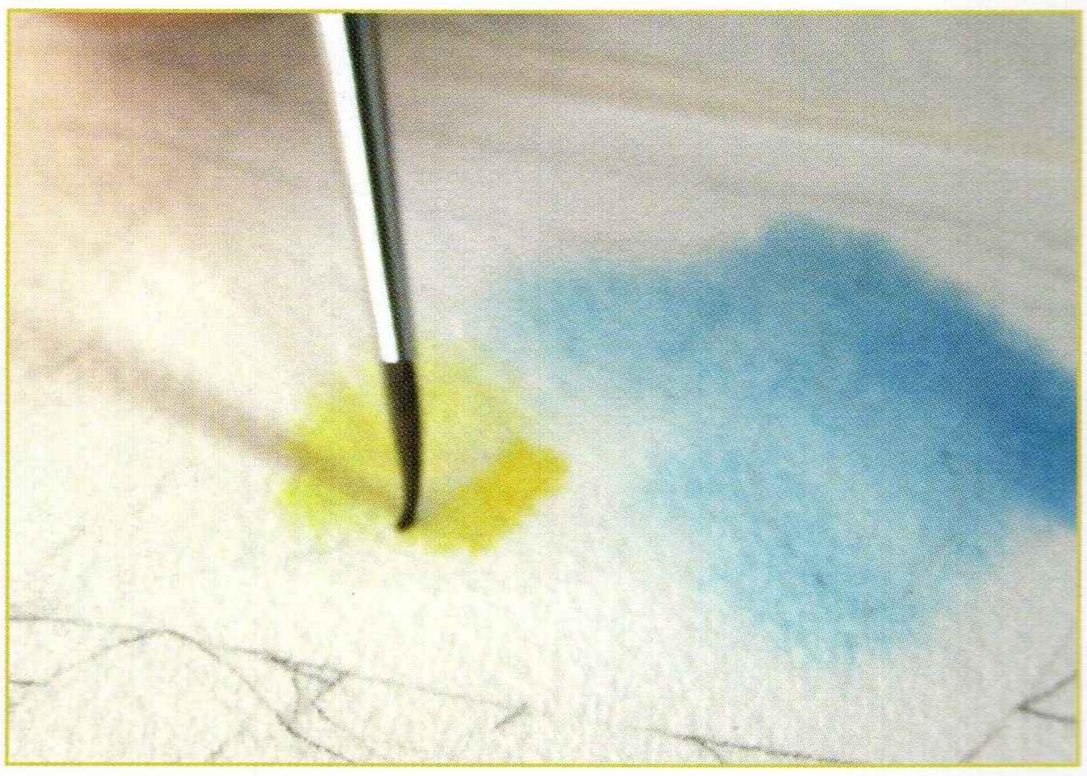


まずは、薄く描かれている蝶の下絵に、はみだすくらい広めに水をしく。その水が乾かないうちに、水色のコバルトターコイズライト（H）を蝶の上 2/3 くらいまでにじませる。

2

青色のマリンブルー（H）を下 1/3 に塗ってグラデーションにする。ここでは蝶の下絵からはみ出るように塗る。

3

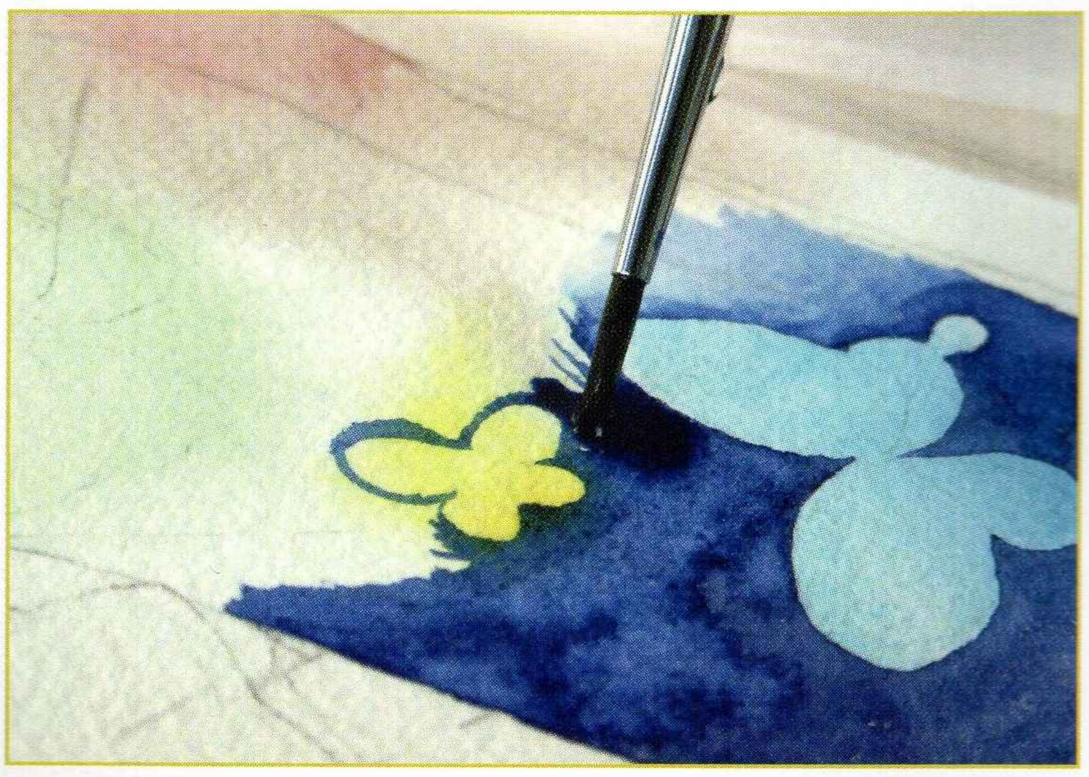


小さい蝶は、黄色のオーレオリン（H）1 色でグラデーションをつくる。他の蝶の模様にも、同様にピンクや緑でグラデーションをつくっておく。蝶の模様をひと通り塗り終わったら、ここでいったん乾かす。

4

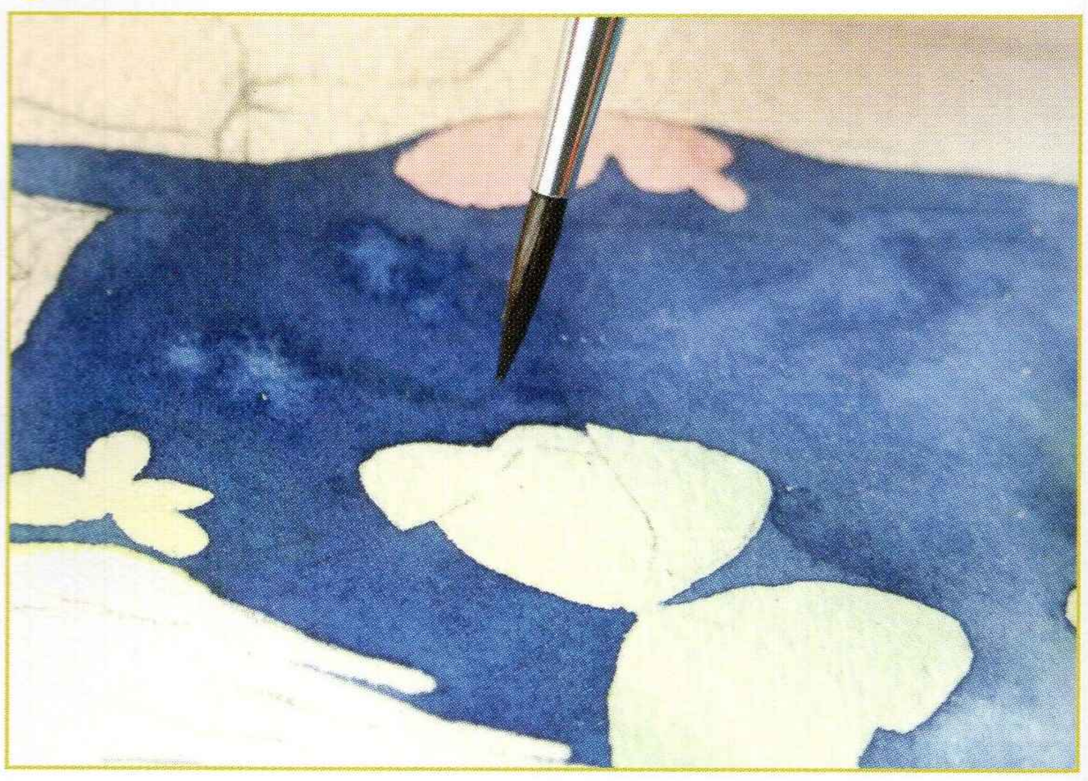
ウィンザーブルー（W）と赤色のローズマダー（H）を混ぜて濃い青をつくる。その青で、蝶の形を囲みながら着物を塗っていく。3 までの塗りが乾いていないと、くっきりした線が引けないので注意が必要。

5



広い範囲をムラなく塗るのは難しいので、水たっぷりめの青をのせて、わざとにじみを作りながら塗っていく。

6



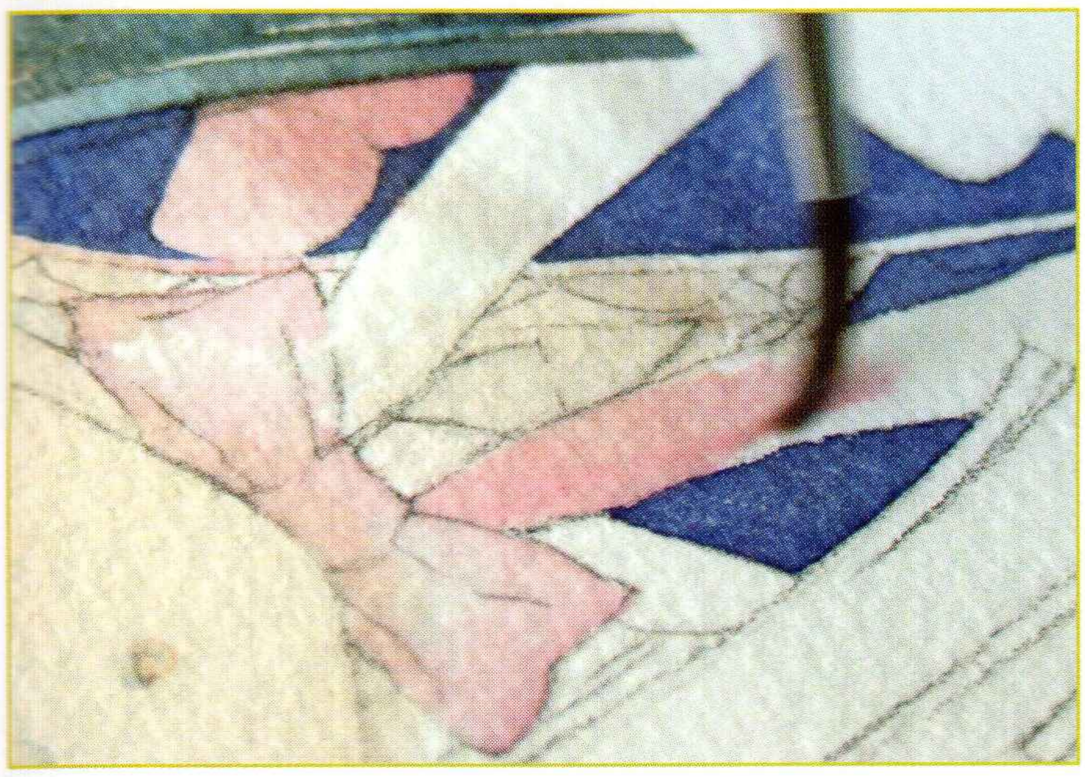
水筆の先でちょこちょこと着物の青をさわって色を落とすと、白っぽく、小さなにじみができる。これを複数つくるとキラキラとした印象に。

The Making of 七神マナ

リボンを塗る

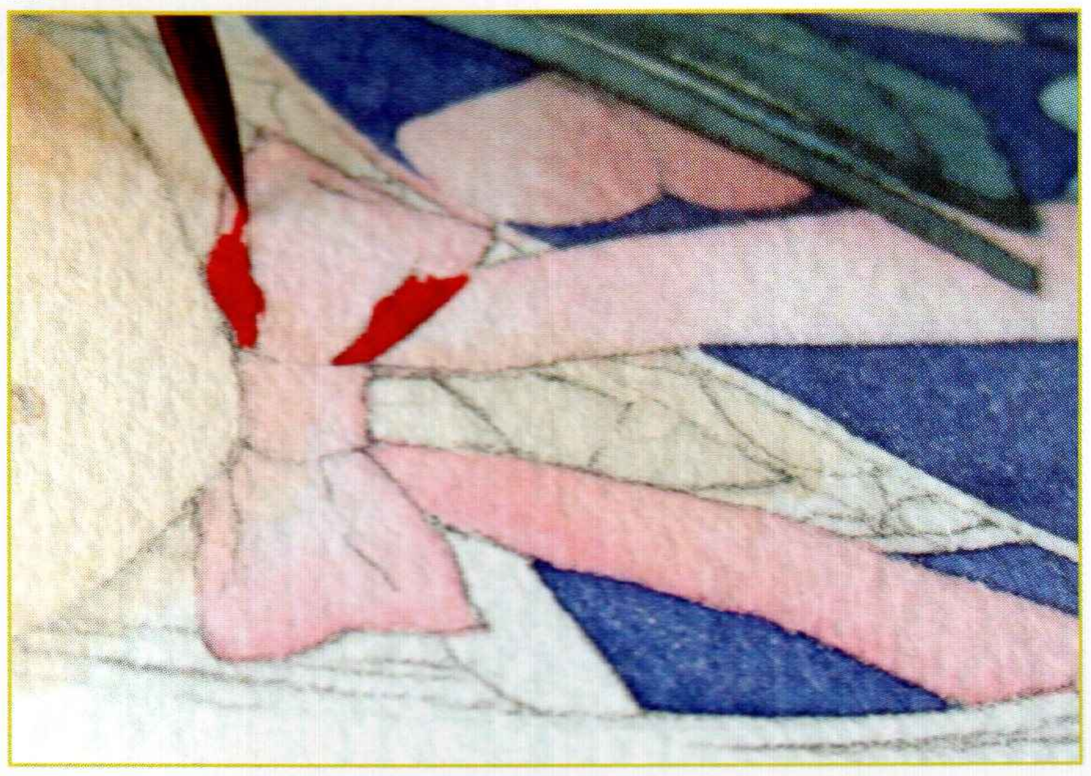
あごで結んでいるヘッドドレスのリボン。
濃い赤をおく場所と、水筆で色をのばす場所に注目してみて。

1



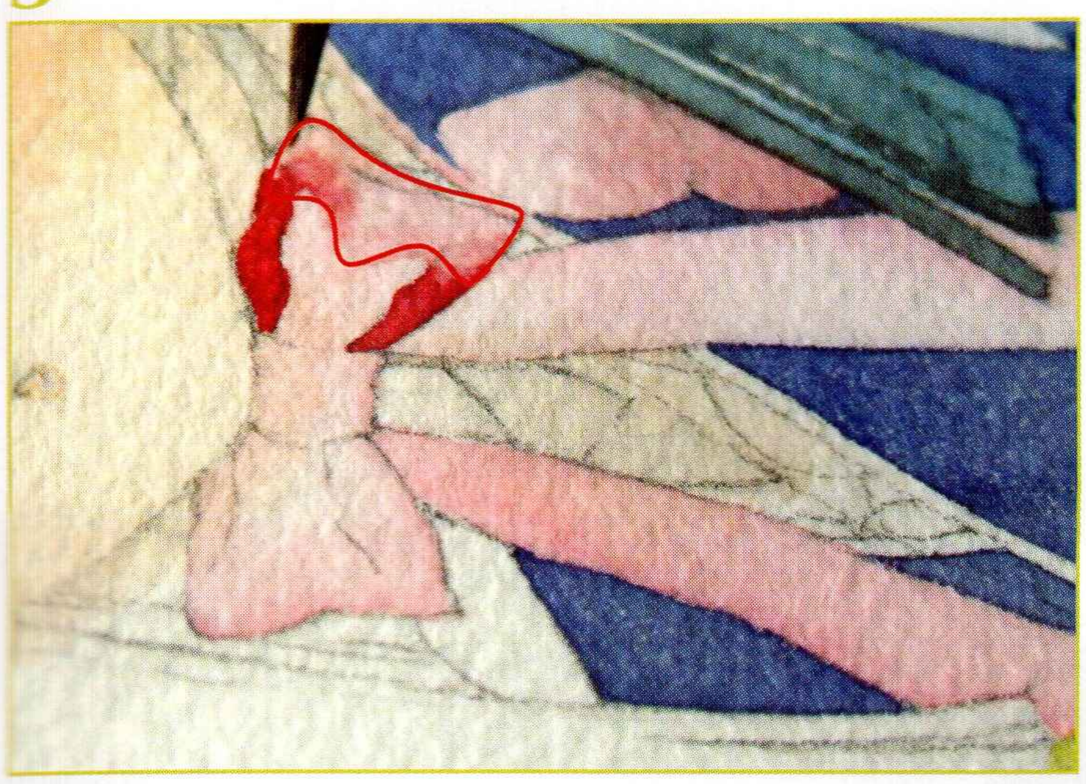
最初にリボンに水をしく。そして、水が乾かないうちに、ブリリアントピンク（H）を全体に薄く塗る。

2



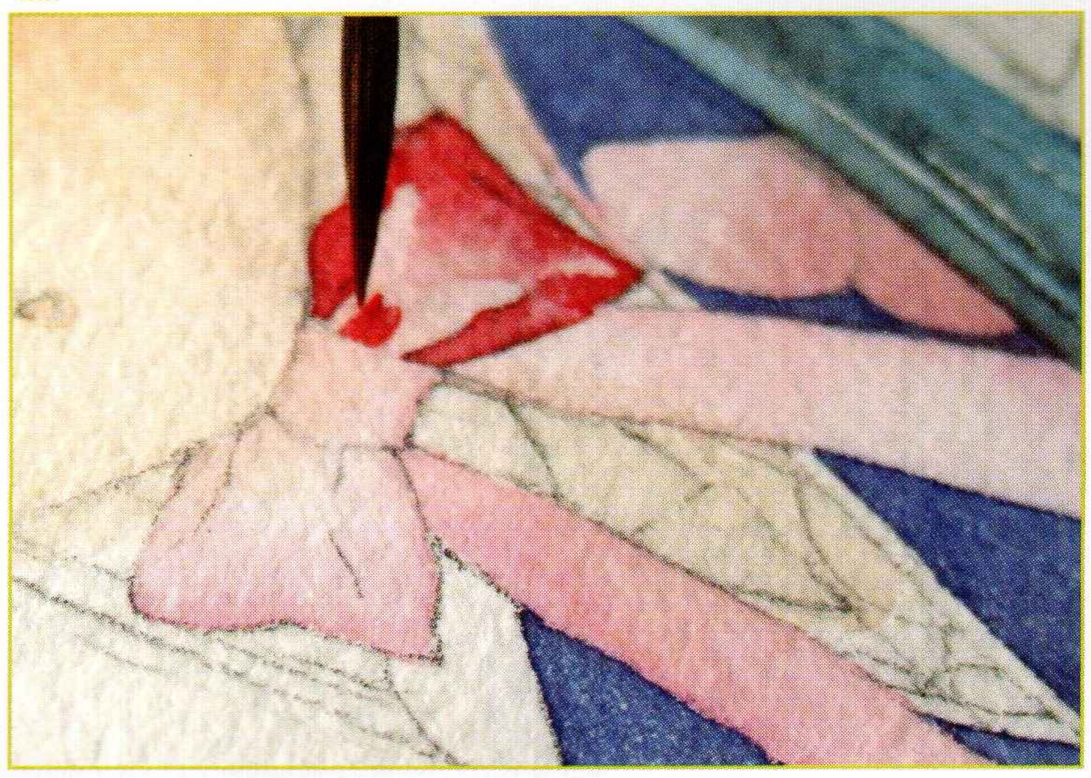
カドミウムレッド（W）とブリリアントピンク（H）を混ぜて濃い赤をつくる。その赤を上図のようにリボンの上下に塗る。

3



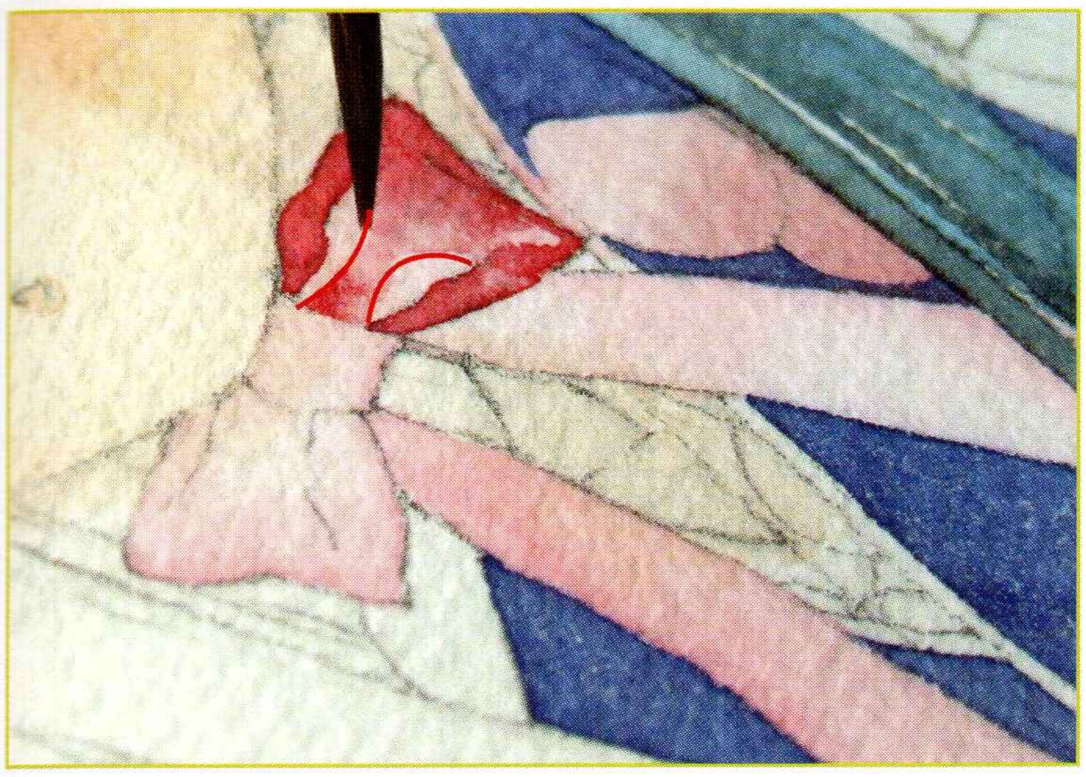
水筆で上下の赤をのばしてリボンの膨らみを表現する。そのままリボンの端まで塗り広げていく。

4



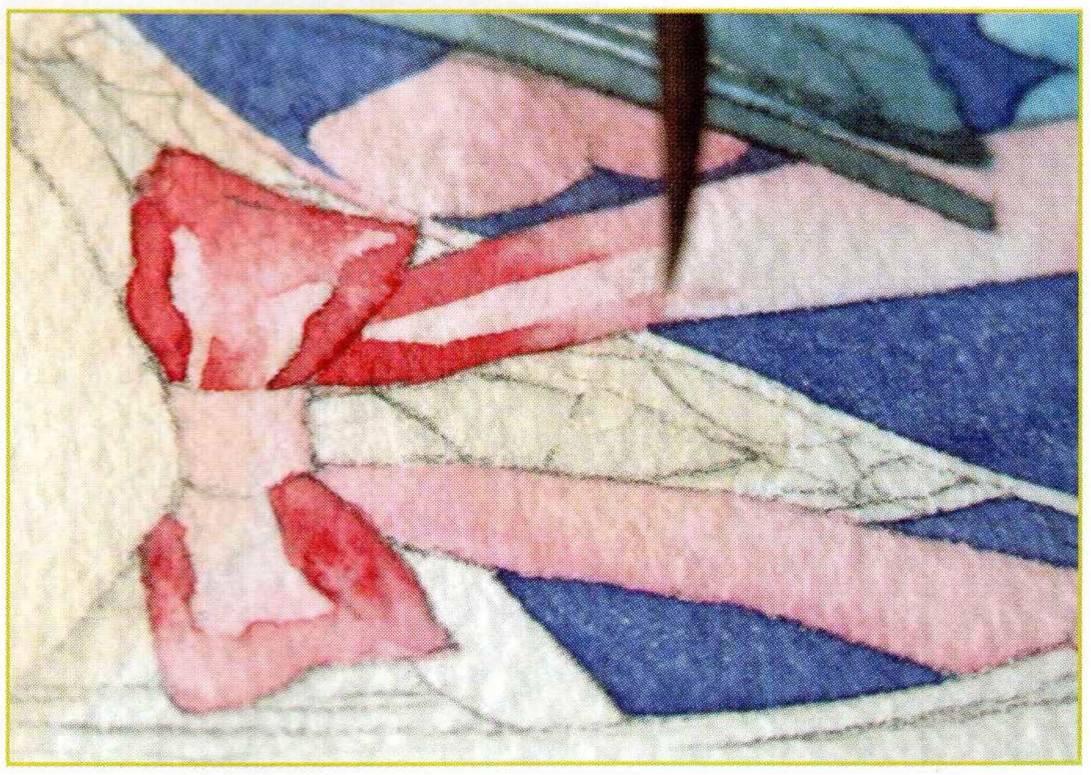
リボンの結び目の横に入るしわを、ちょこんと赤で描く。

5



4で描いた赤を水筆でのばして、3で塗った膨らみとつなげる。真ん中は淡いグラデーションになる。

6

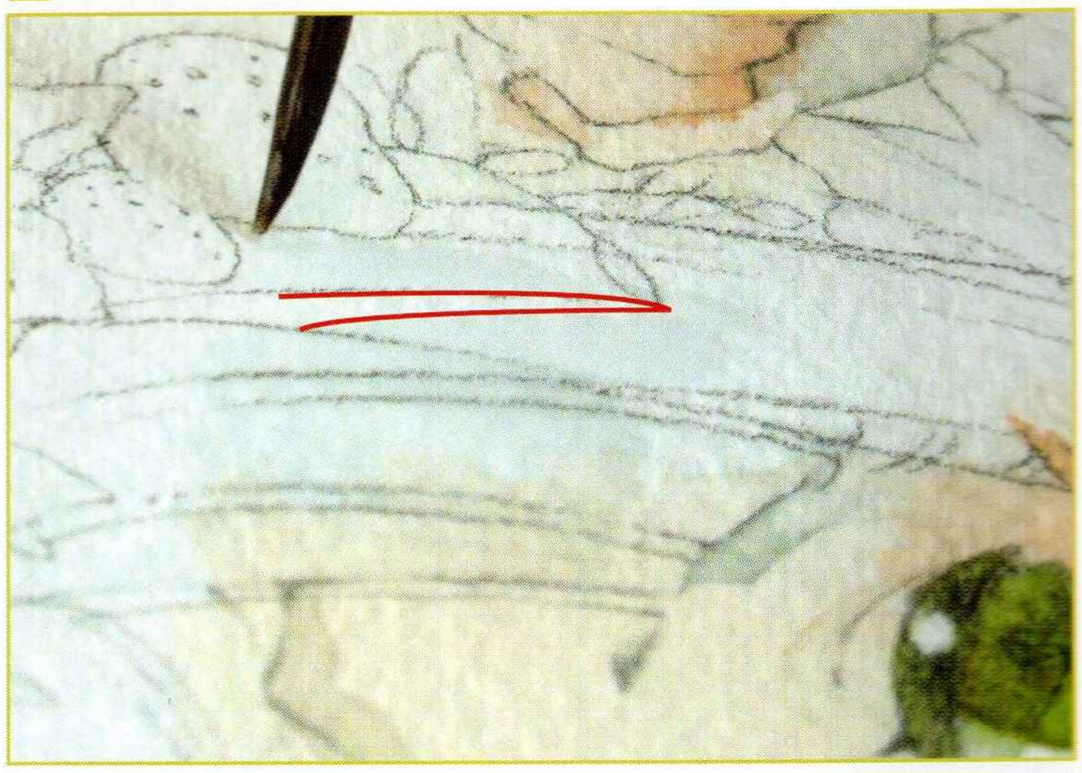


垂れているリボンも同じように、根元部分の左右に赤を塗って、それを水筆でのばしてグラデーションにしていく。

髪を塗る

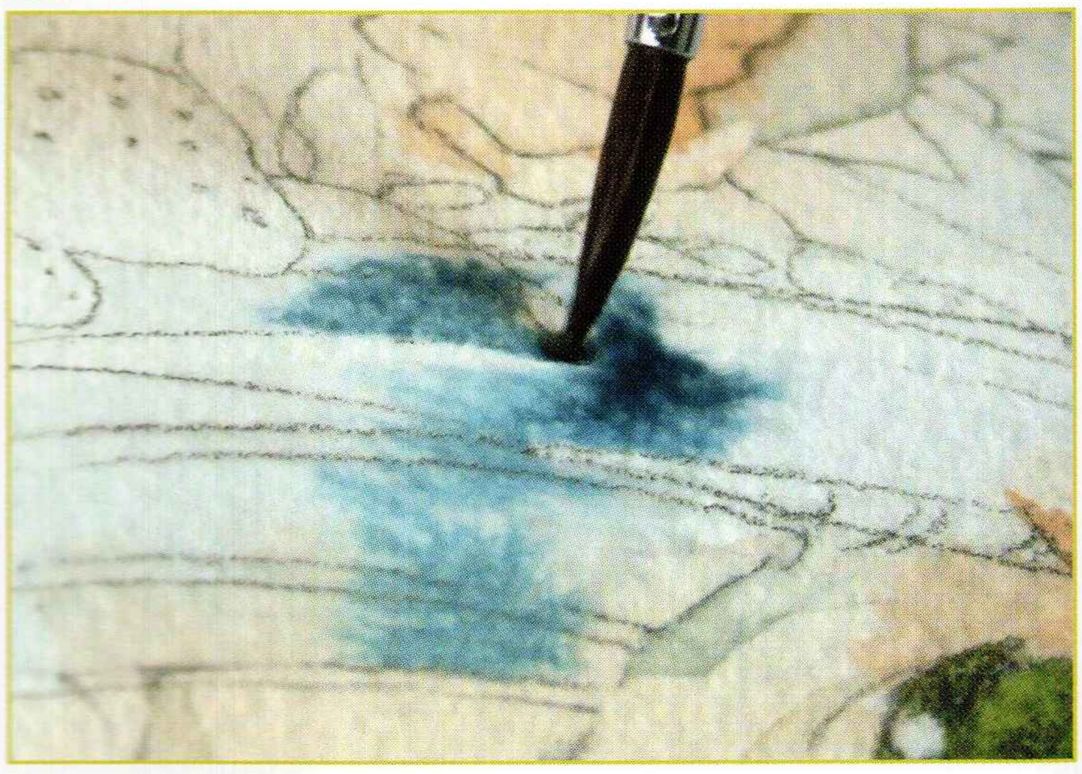
ツヤッと光る青い髪も、にじみを多様して描いていきます。
水筆を使った繊細な白抜きと、濃い色のメリハリがポイントです。

1



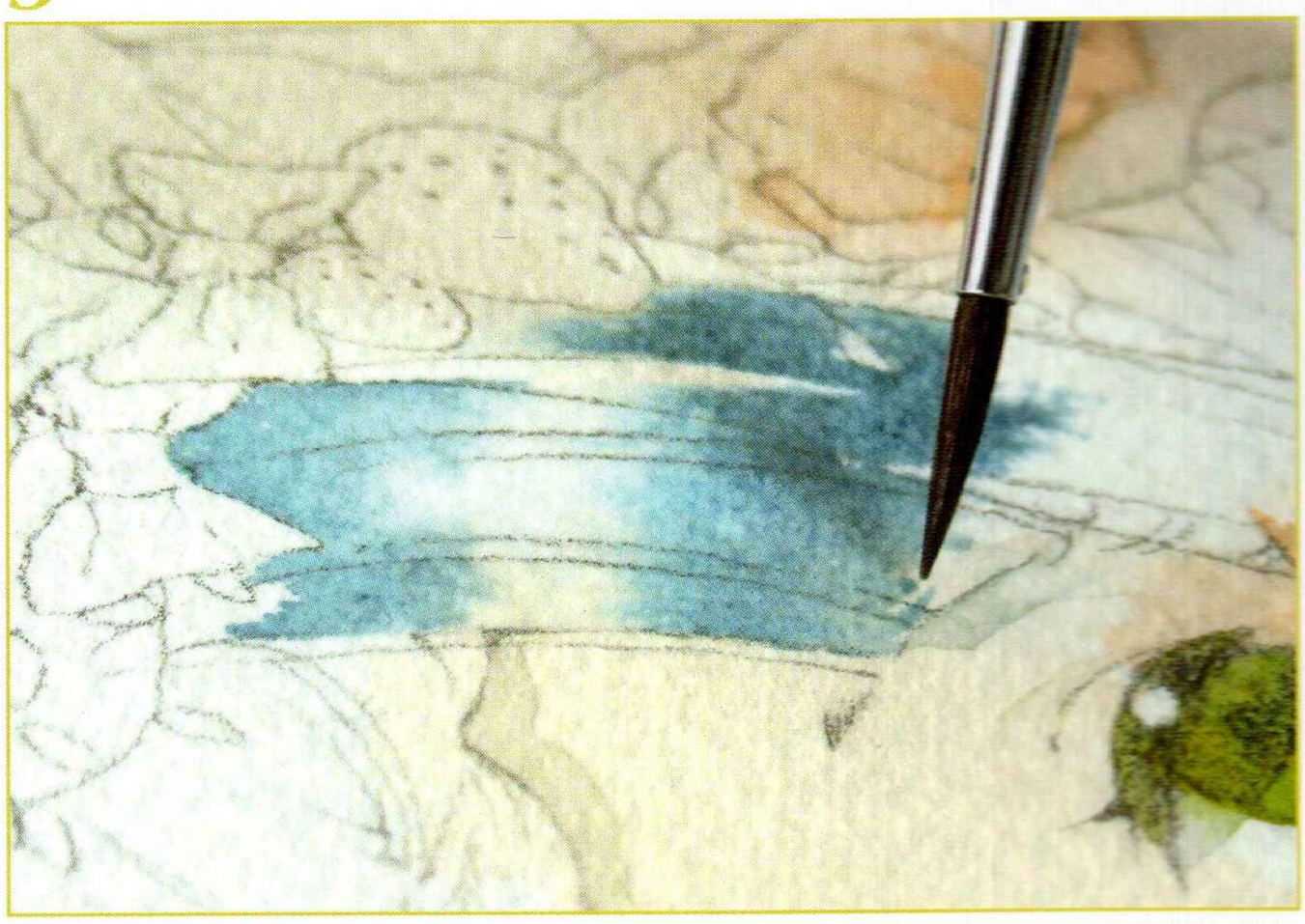
最初に髪に水をしく。髪のスジを白く残したいところは、水をしかないで残しておく。上図の赤で囲んでいる部分が水気のない部分。

2



ピーチブラック（H）とマリンブルー（H）を混ぜて深い青をつくる。1の水が乾かないうちに、色をちょんちょんとおくように塗っていくと、水をしかなかった部分は色が広がらないので「細い白抜き」になって残る。

3



前髪は中間を白く塗り残してツヤ感を出す。ここも水をしいてから色をのせるという工程で塗り進める。ツヤの上下は、にじみでグラデーションにする。

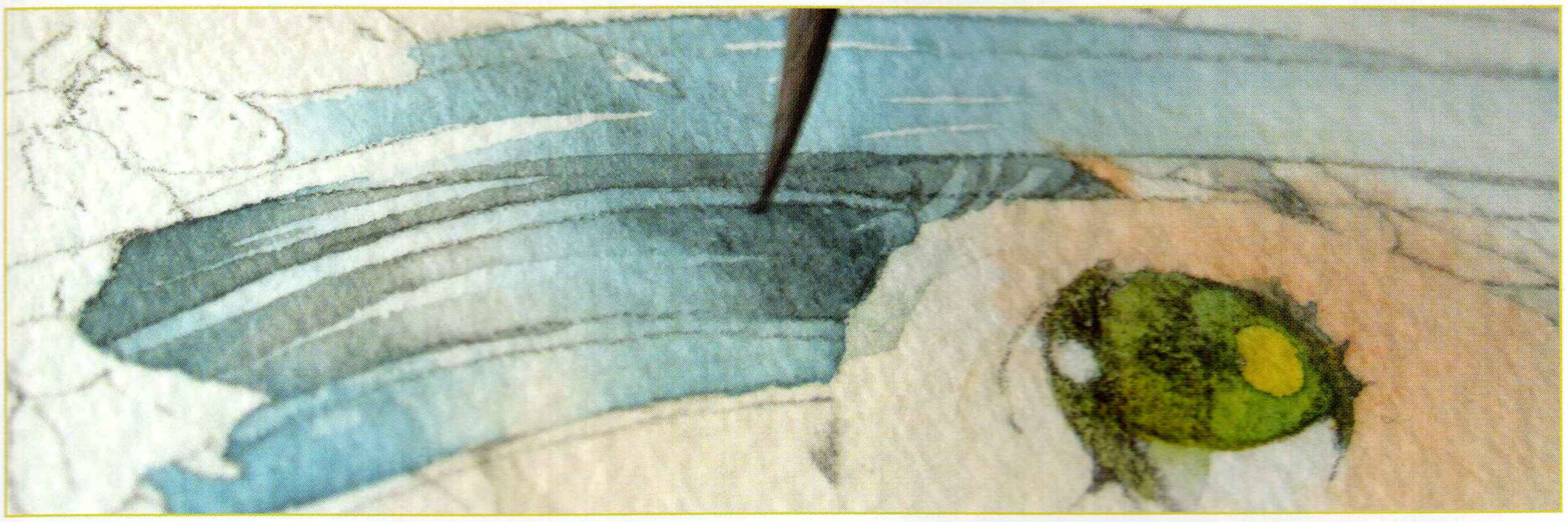
4

髪のラインをはっきり描きたいところは、水をしかないで直接描いていく。上図の白いスペースは水をしかずに残した。

5

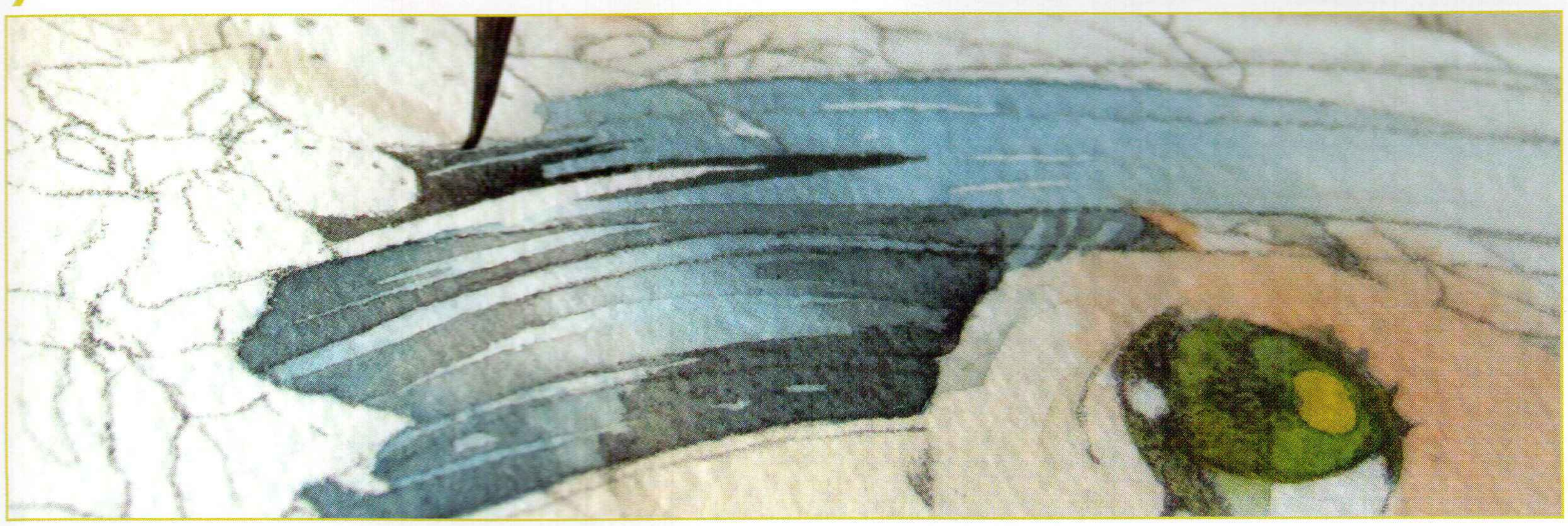
４で水をしかずに残したスペースに髪のラインを描く。水をしいていない部分は、くっきりと色がのる。

6



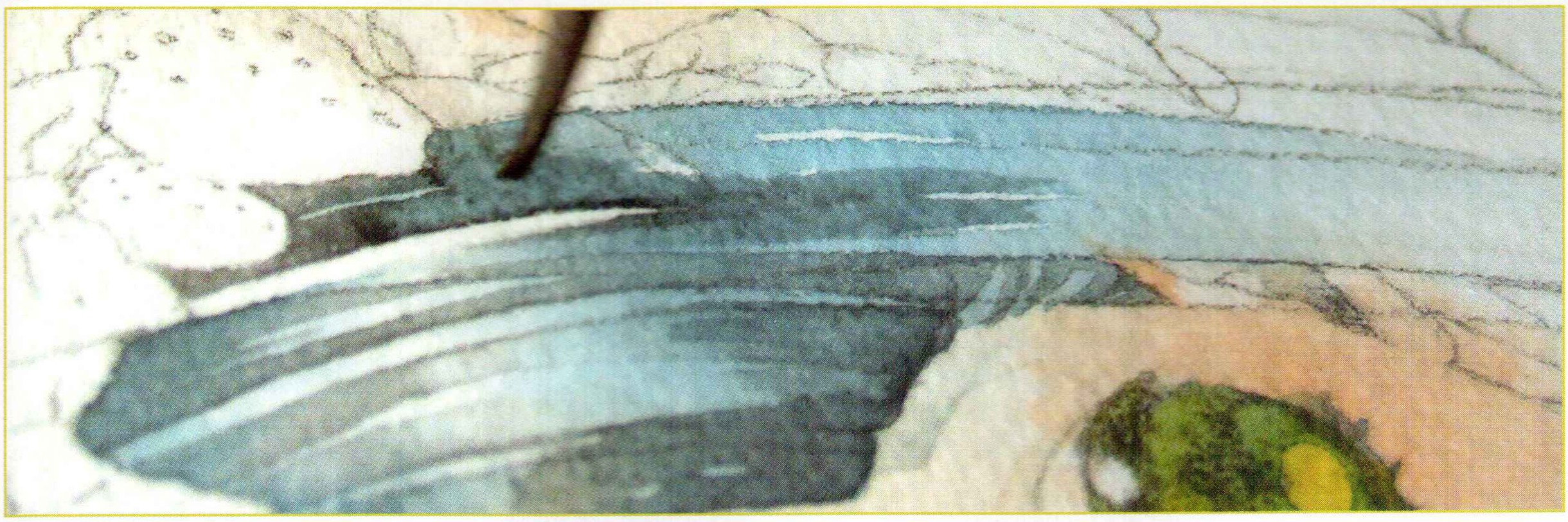
ピーチブラック（H）を薄く重ねてツヤを強調していく。最初に、2で塗り残した「細い白抜き」のまわりを囲うように塗った。そして、3で前髪の上下に作ったグラデーションにも薄く重ねていく。

7



濃いピーチブラックを部分的に入れて、髪のラインにメリハリをつけていく。まずは、2で塗り残した「細い白抜き」のまわりを囲んだ。濃いピーチブラックとのコントラストで、白抜きが強調された。

8



それを水筆でぼかしていく。「細い白抜き」を囲うように濃い境界が残った。ツヤを強調したい部分は、この手法で塗っていく。

完成！

レースやリボンでアレンジした愛らしい着物姿の女の子が完成。七神さんに、髪ツヤを入れるポイントについて聞くと、「正確な光源は気にしないで、感覚的に気持ちの良い部分にツヤを入れたり、にじませたりしています」と話されていました。また、完成イラストで着物の袖にぽつぽつと飛んでいる白い粒は、スパッタリングでのせています。アクリル絵具の白を水で溶かして、茶こしと歯ブラシを使って仕上げたそうです。また、スパッタリングをする時は、飛ばしたくない場所をあらかじめ保護しておくことも大切。七神さんは、節約術としてトーンの切れ端をつなぎ合わせてマスキングに使っているとのこと。みなさんも自由な発想で、イラストを楽しんで描いてみてください！

Q&A

Q1　透明水彩を使うようになったキッカケを教えてください。

家から、車で 40 分くらいかけないと画材屋さんが無いド田舎で…。それに加え、ある程度の色数が揃っているのが、透明水彩のみのド田舎で。選択肢がありませんでした (笑)。

Q2　透明水彩の好きなところを教えてください。

透明水彩をはじめて買った時から、6年間くらい、それ以外の絵具がほぼ売ってなくて、数も集まっていたので、今更変えれなくなっていました…。

Q3　好きな色を教えてください。

Payne's Gray(W&N)
Cadmium Red Deep(W&N)

Q4　描くのが好きなモチーフを教えてください。

リボン、背の高いヒール。
これを描くために絵を描いているかもしれないです。

Q5　透明水彩を使い始めた時に難しいと感じたことや困ったことは？

透明水彩には、いくら濃くしても、透き通っている、クリアなものと、不透明っぽい、ミルキーな感じの色の2種類に別れると感じていました。混色の際に、クリアとミルキーを混ぜると汚くて、相性がわからなくて、困りました！

Q6　難しいと感じたことや困ったことを改善するために、気づいたことや工夫したことがあれば教えてください。

使っていくうちに覚えていきましたが、色図鑑を自分で作って確認していた時もありました。「クリア」「ミルキー」の2冊を、同じ色でも濃淡をつけながらつくっていました。なぜかクリアのほうが、乾いたときの水彩境界線が強くて、ずっと不思議に思っています。

Q7　一枚の絵を仕上げるために、かかる時間を教えてください。

ぶっ通しで描けるなら、アイディア出し含めて3日くらいです。
ズボラなので、毎日少しずつができなくて、徹夜してしまいます。

Q8　絵を描く上で、資料・参考にするものはありますか？

ウエディングなどの非日常なファッション誌、フェイクスイーツやドールハウスのような、職人技が光るものが創作意欲を掻き立てます。

Q9　透明水彩を塗る際の紙の選び方で、どんなことを重視していますか？

色のオールドなもの。
真っ白より、黄みがかった色が好きです。

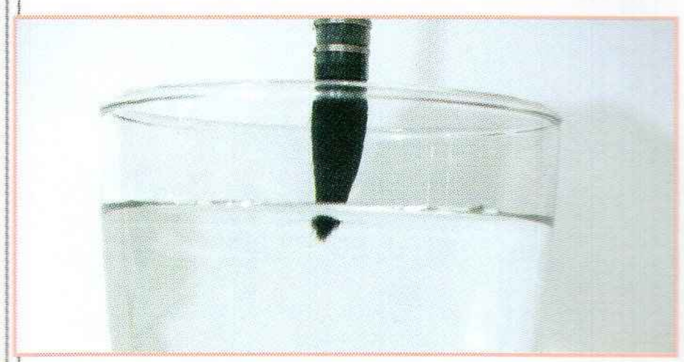
Q10　七神さんの作品は、繊細な塗りや線画がとても魅力的だと思います。初期の頃のイラストをさかのぼって見ても、透明水彩の塗りを輪郭線の中で正確に収めよう（※はみださずに塗る）というところがずっと変わっていないと感じるのですが、綺麗に収まるように塗りたいと思った理由や、効果として感じることがあれば教えてください。

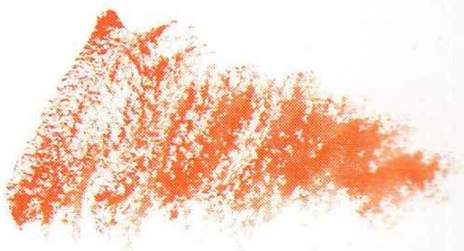
わたしの絵には、正確なアタリとか、画材の知識が無くて、勝負できることといったら、細かさだなと (笑)。絵がうまくなりたい、綺麗に見せたいと思うなら、とにかく、丁寧に、髪の１本だって、一切の手を抜かず !!　これさえ守れば、誰だって、上達出来るので、出来る出来る！　諦めるな！　ネバーギブアップ！

水の量を変えて塗ってみよう

透明水彩は、水の量によって色の濃さが変わります。
ここでは、筆に含ませる水分量を変えて絵具を溶いて、
色みやタッチにどのような違いが出るのか実験してみました。

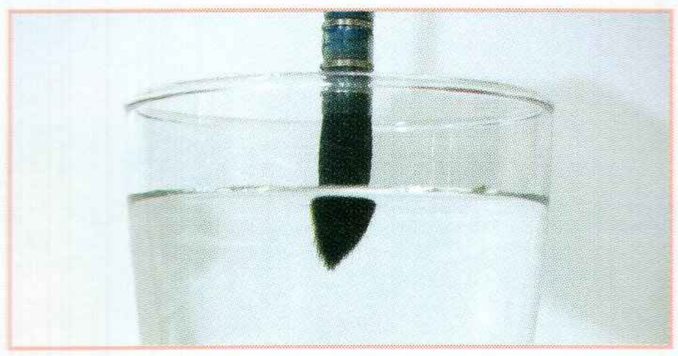
筆先を浸けた

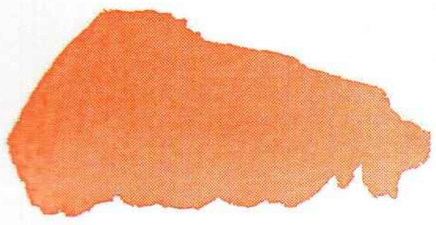




水分量が少なく、絵具がかすれた。
ざらっとした紙目が出た。

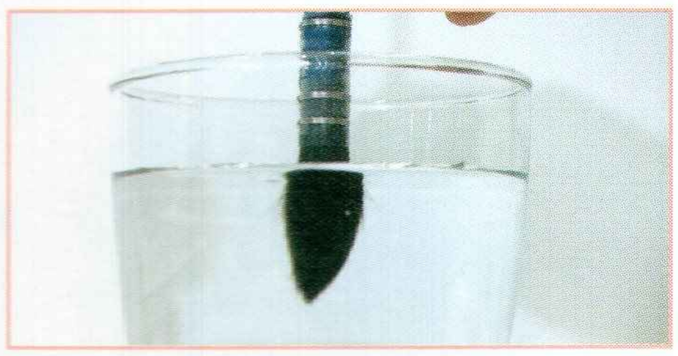
筆半分まで浸けた

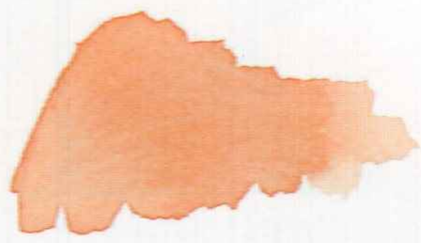




絵具がなめらかにのびた。
色も濃いめで均一に塗れた。

筆全体を浸けた





水分量が多いため、色が淡くなった。
にじみのような色ムラも生まれた。

※色の濃さやタッチは、お使いの筆や紙によって異なります。

さまざまな画材メーカーの12色セット

透明水彩絵具はさまざまメーカーから発売されています。巻頭で紹介した「ホルベイン」の他にも、本書の中では「月光荘」「ウィンザー&ニュートン」「クサカベ」の絵具が使われていました。それぞれのメーカーの12色セットを、塗り試した色と一緒に紹介します！

※印刷のため実際の色みとは多少異なります。 ※価格は目安であり、販売店舗によって異なります。

月光荘　透明水彩絵の具
基本12色セット（5号チューブ）
◎価格：5,276円＋税　◎発売元：（株）月光荘画材店
※チタンホワイトは印刷時見えないため、割愛しています。

イエローライト
イエローオレンジ
イエローオーカー
クロームレッド
カーマイン
グリーンライト
クロームグリーンディープ
コバルトブルー
ブルシャンブルー
バンダイキブラウン
アイボリーブラック

ウィンザー&ニュートン　アーチスト・ウォーターカラー
12色セット（2号チューブ・5ml）
◎価格：5,300円＋税　◎発売元：バニーコルアート（株）
※チタニウムホワイトは印刷時見えないため、割愛しています。

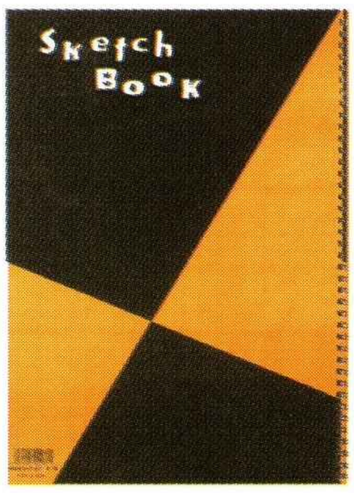
ニューガンボージ
スカーレットレーキ
アリザリンクリムソン
ウィンザーバイオレットディオキサジン
ウィンザーブルーレッドシェード
ウィンザーブルーグリーンシェード
ウィンザーグリーンイエローシェード
パーマネントサップグリーン
イエローオーカー
バーントシェンナ
ランプブラック

クサカベ　　専門家用透明水彩絵具
12色セット（2号チューブ・5ml）
◎価格：1,900円＋税　◎発売元：（株）クサカベ
※チャイニーズホワイトは印刷時見えないため、割愛しています。

ウルトラマリンライト
ブルシャンブルー
ビリジャン（ネオ）
サップグリーン
パーマネントイエローライト
イエローオーカー
バーミリオンヒュー
ローズマダー
バーントシェンナ
バーントアンバー
アイボリーブラック

用紙
を塗りためそう！

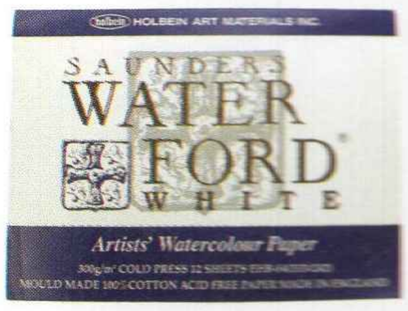
「水彩紙」は、絵具ののりが良く、綺麗に発色する水彩画に適した紙。水濡れに強く、乾燥後に表面の波打ちが少ないのも特徴です。国産や海外製など種類が豊富で、それぞれ紙肌や発色に個性があります。紙は、主に、スタンダードな「スケッチブック」タイプ、側面がのり付けされた「ブロック」タイプ、手軽な「ハガキサイズ」、または、大きめのサイズで1枚ずつ販売されているバラ売り、などがあります。ここでは、画用紙と、4種類の水彩紙を塗り試して、紙による違いをレポートします！



マルマン（S120）
B4（257 × 364）／24 枚綴り

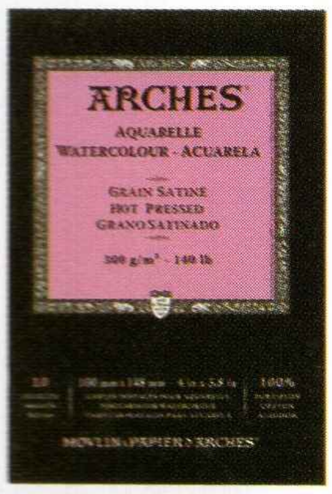
◎価格：400 円＋税
◎発売：マルマン（株）

マルマンから出ているスプリングタイプのスケッチブック。紙は白画用紙で、紙の表面に少し凹凸がある。厚みがあまりなく吸い込みが少ない。大きさの種類が豊富で、価格がリーズナブル。



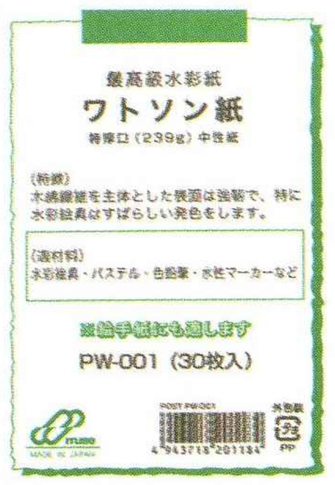
ウォーターフォード・
ホワイト・ブロック 中目
F4（333 × 242）
300g　中厚口
12 枚とじ
◎価格：2,300 円＋税
◎発売：ホルベイン画材（株）
◎紙色：ナチュラル（中目）
ホワイト（細目、中目、荒目）

コットン 100%の原料でつくられたイギリス製の水彩紙。発色が鮮やかで、マスキングなどにも耐える表面強度がある。色の定着が良く、重ね塗りにも適している。



アルシュ水彩紙
（100 × 148）※ハガキサイズ
極細目　300g
10 枚入り
◎価格：850 円＋税
◎発売：（株）ミューズ
◎紙目：極細目、細目、荒目

フランス製の高級水彩紙。やや黄色みがかったナチュラルな紙色。塗った色に深みがでる。表面が強く、さまざまな技法に耐える。極細目は、水彩紙の中でも特に表面がなめらか。

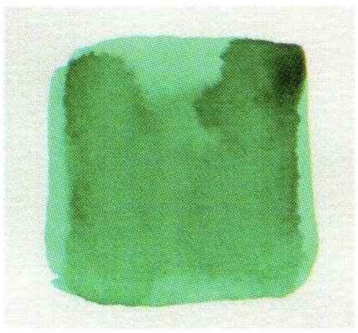


ワトソン紙
（100 × 148）※ハガキサイズ
特厚口 239g 中性紙
30 枚入り
◎価格：469 円＋税
◎発売：（株）ミューズ

国産のポピュラーな水彩紙。黄色みが強く、塗った後マットな色合いになる。紙の厚みに、「厚口」と「特厚口」があり、紙肌に少し違いがある。トレースするとシャープペンの跡が残る少し柔らかい紙。

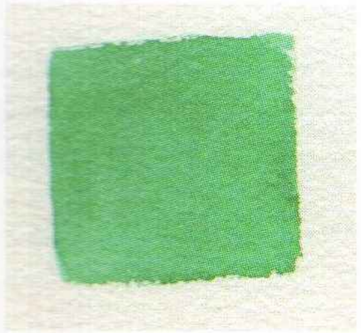
「紙目」は紙表面の質感をあらわす。荒目はざらざら感が強く細目は比較的なめらか。荒目の方が水彩表現に強いが、線画を描く際に表面の凹凸にひっかかる事もある。

ベタ塗り

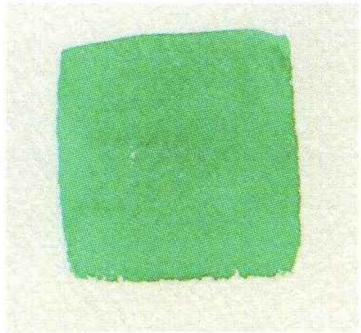


吸い込みが少ないため、表面に絵具がたまりムラになりがち。

吸い込みが良くムラなく塗れた。表面に少しざらつきあり。

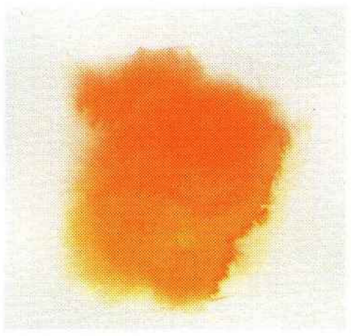


吸い込みがよく
絵具が濃くのる



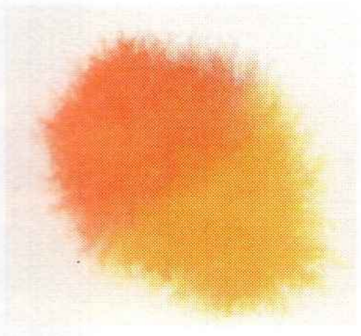
少し黄色みがかった発色になる。綺麗に絵具がのびたが、ざらつきあり。

にじみ

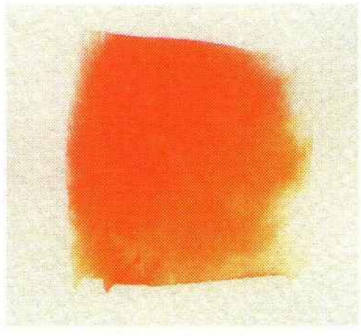


あまり色が広がらない。吸い込みが少ないのでフチが出来ることも。

ふわっと広がった。発色も鮮やか。



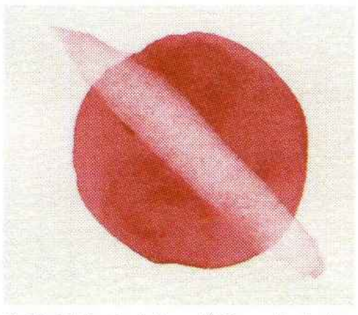
絵具ののびが良く
輪郭がじわっと広がった。



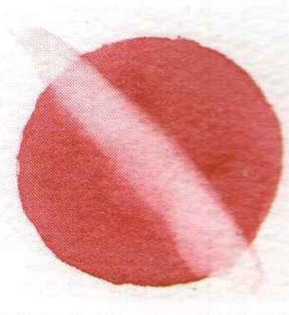
鮮やかな発色。
やわらかくにじんだ。

洗い出し

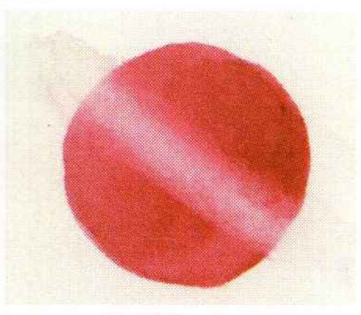
※水筆で色をこすり取る技法。修正がききやすいかの目安にもなる。



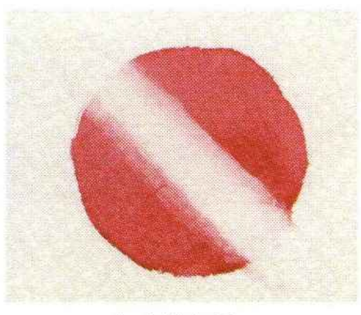
やや落ちたが、ざらっとした粒子が残った。



比較的落ちたが、少し粒子が残る。



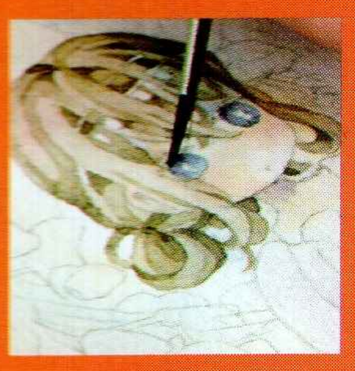
色が残った。
洗い出しには適さないようだ。



よく落ちる。
ほぼ白い状態まで洗い出せた。

Chapter 04

うめつぼみ



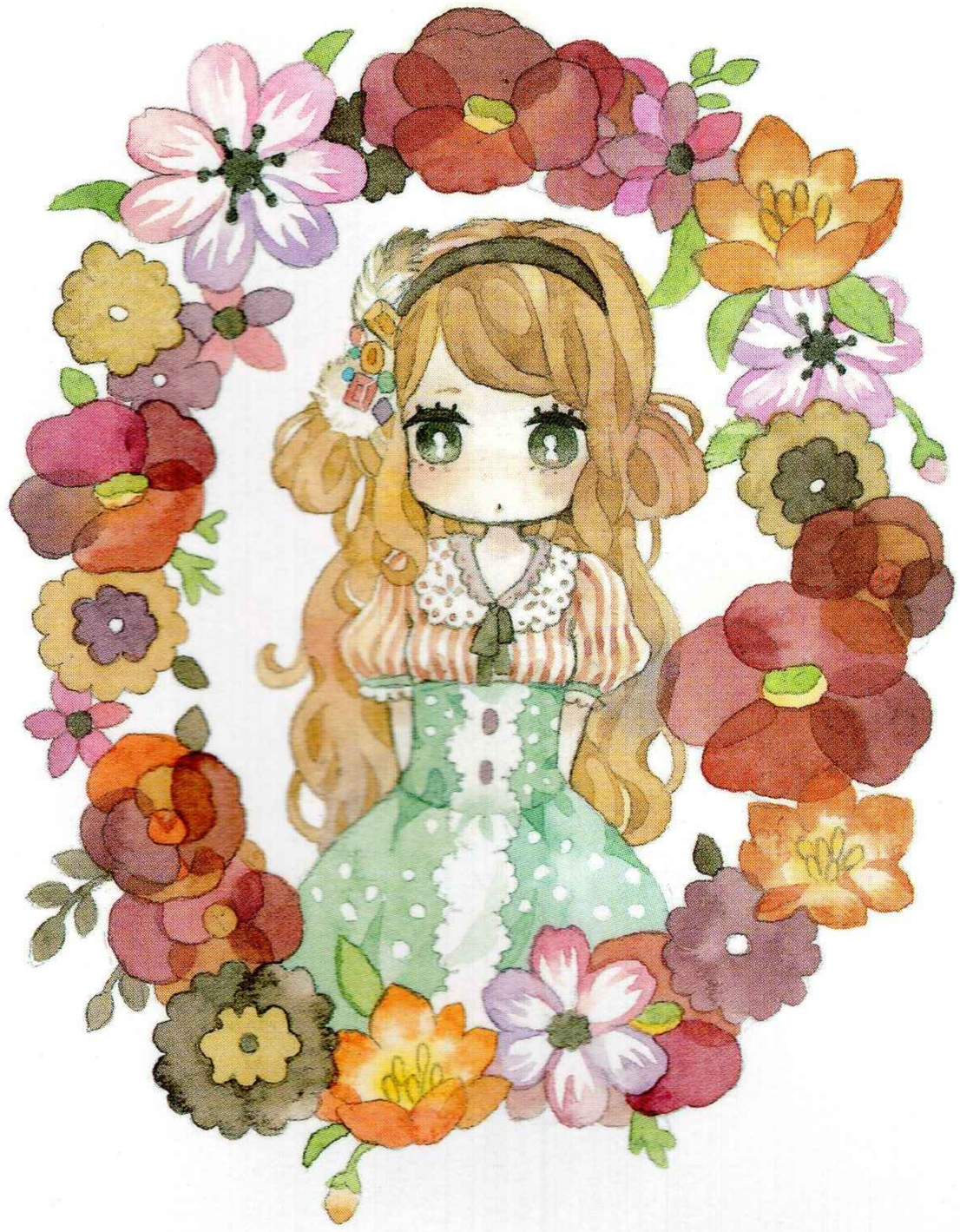
Profile

うめつぼみ／愛知県出身

主な活動……「SS23号」スペシャルステージ描き下ろし／「SS23号」透明水彩メイキングなど。

愛らしいフォルムで描かれたキャラクターと、花、フラミンゴ、熱帯魚など鮮やかなモチーフを合わせた、カラフルな画面づくりが魅力。色の重なりがレイヤーになった透明感のある着彩を得意とする。ふんわり可愛い世界観や、みずみずしく透き通った色彩が目に楽しい。

［フラミンゴ］



［花屋のこどもたち］

「SS23 号」スペシャルステージ描き下ろし 2010 年

[夏の巫女]

[水中遊泳]

上段左［3 人のランプの魔人］

上段右［ぼくの！］2012 年

下段左［雪うさぎ］2011 年

下段右［星守の少年］2013 年

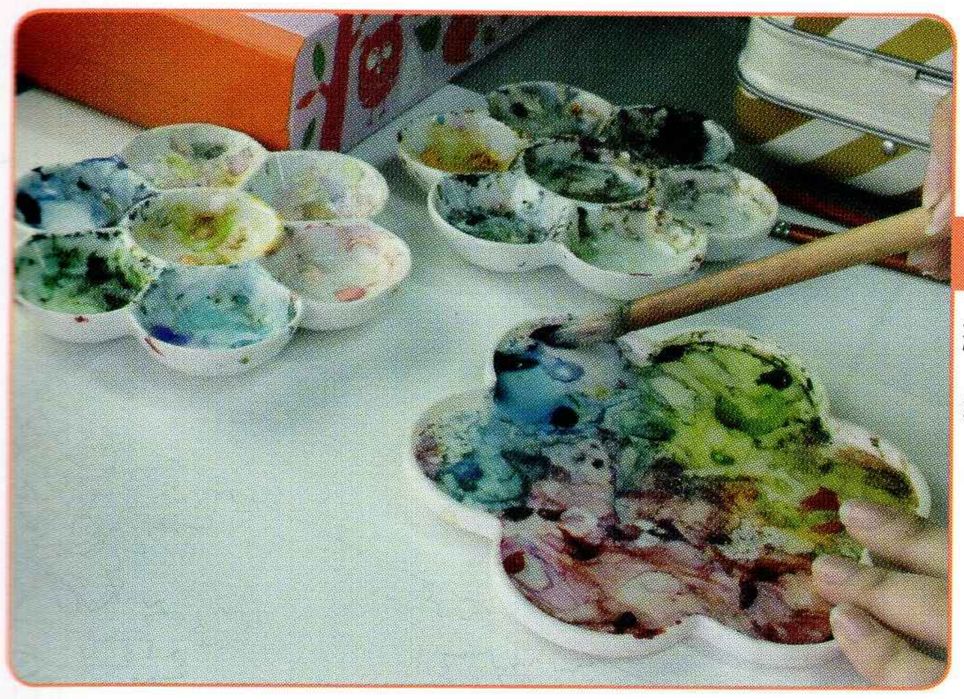
The Making of うめつぼみ

うめつぼみさんは、羽衣を着た女の子をメインに、透明感のある色の重なりで提灯や植物を描いた、華やかなイラストをメイキング！　下塗りをはじめ、肝になるグラデーションのつくり方、ふんわりとした髪のカゲの入れ方などを紹介します。

画材：透明水彩絵具（ホルベイン、クサカベ）

用紙：ホワイトワトソン

The Making of うめつぼみ

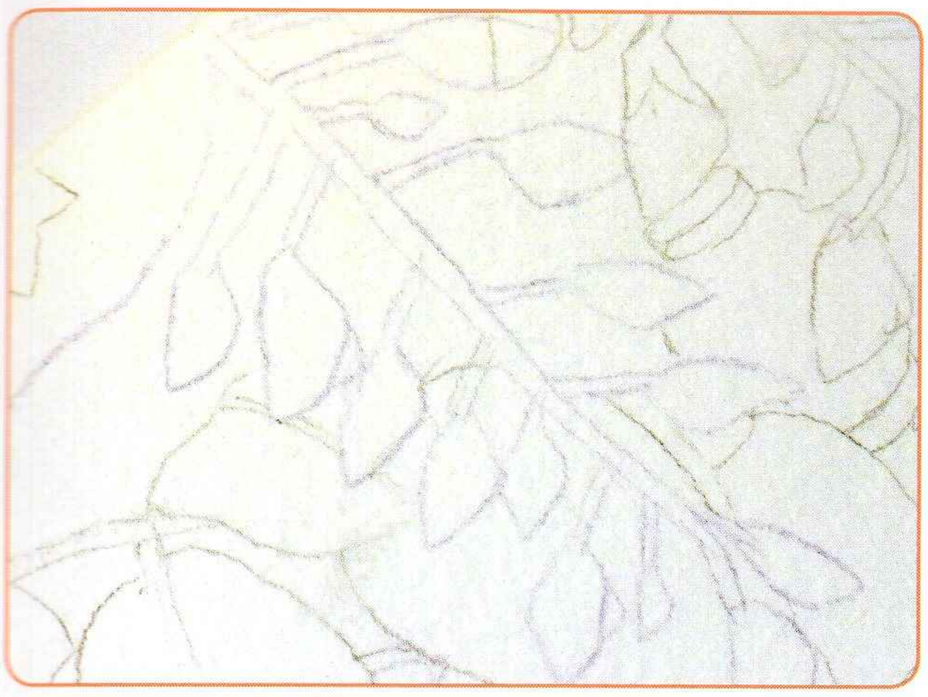


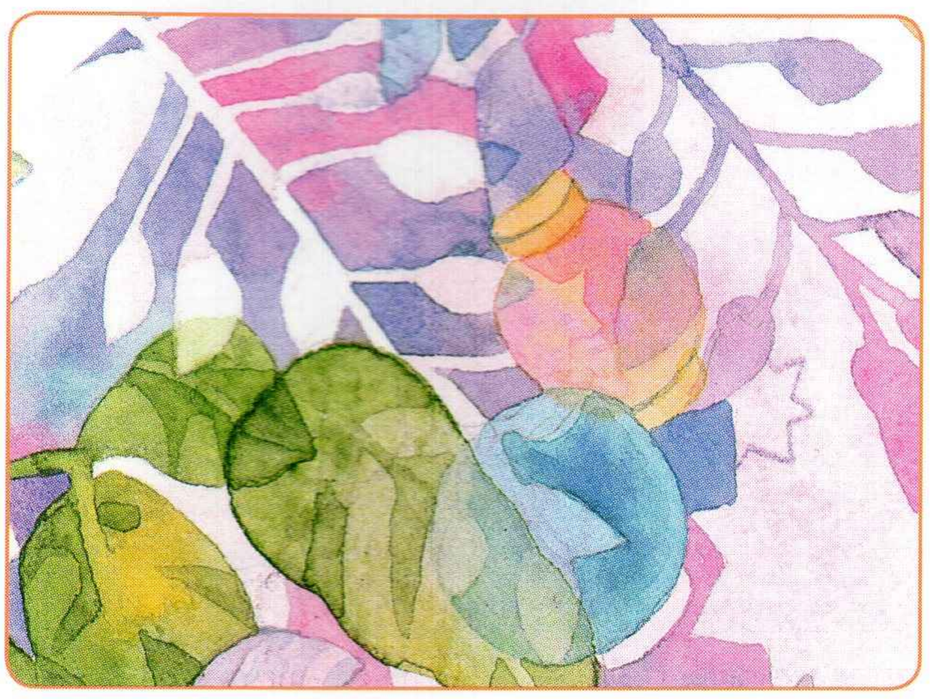
絵皿

絵具を溶くために陶器の絵皿を使用。
また、絵皿の蓋も混色するパレットとして使っていた。

線画

下絵はシャープペンの0.3mmで薄めに描いてある。背景の植物の中で、最終的に白抜きにしたい部分のみ、紫色の色鉛筆で描かれている。

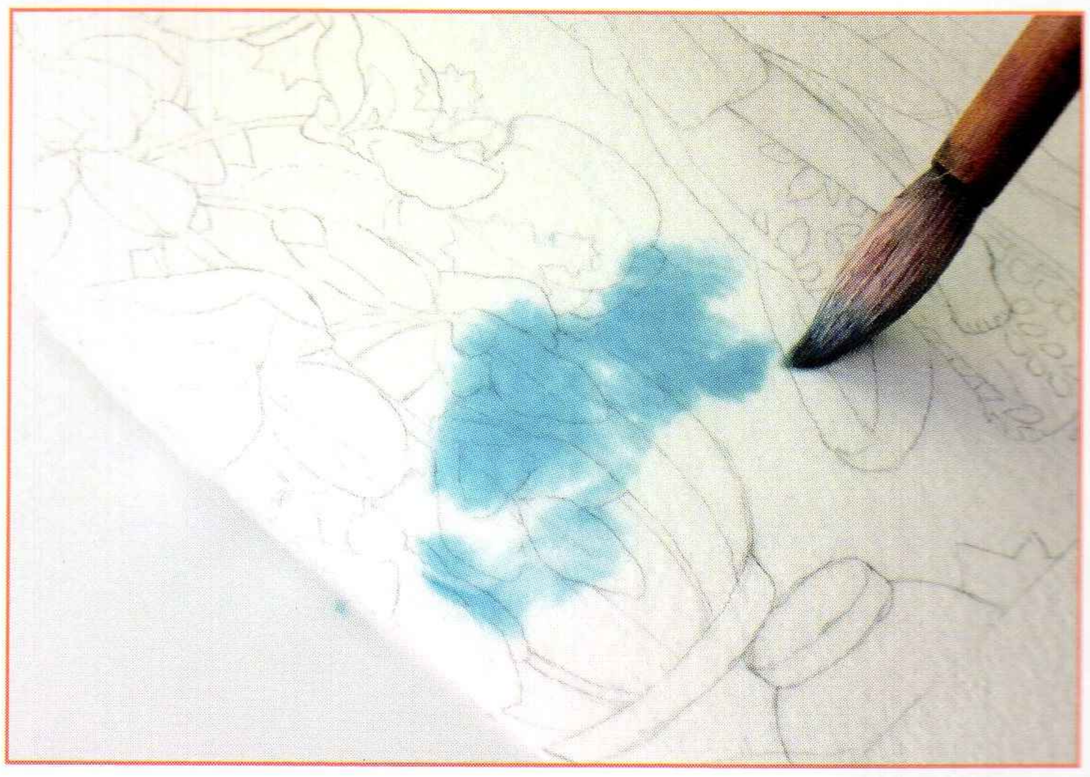




下塗り

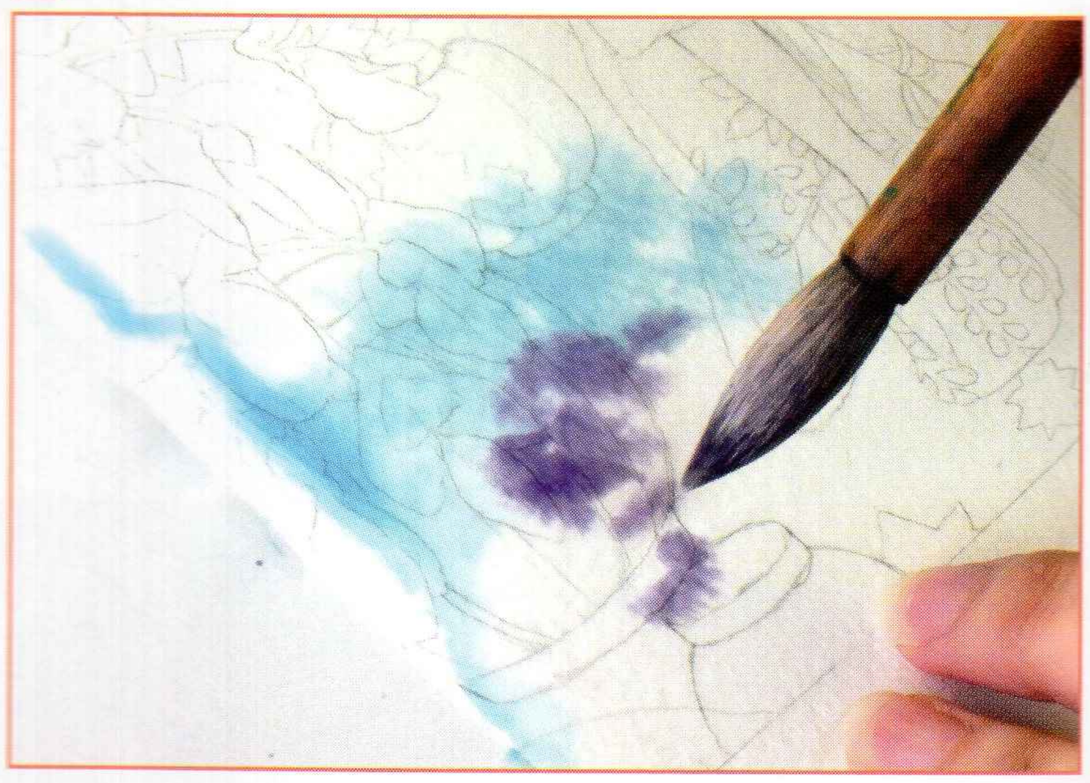
紙に水をたっぷりしいてから、青、紫、ピンク、黄色を
ランダムにおいて、ふんわりにじませます。

1



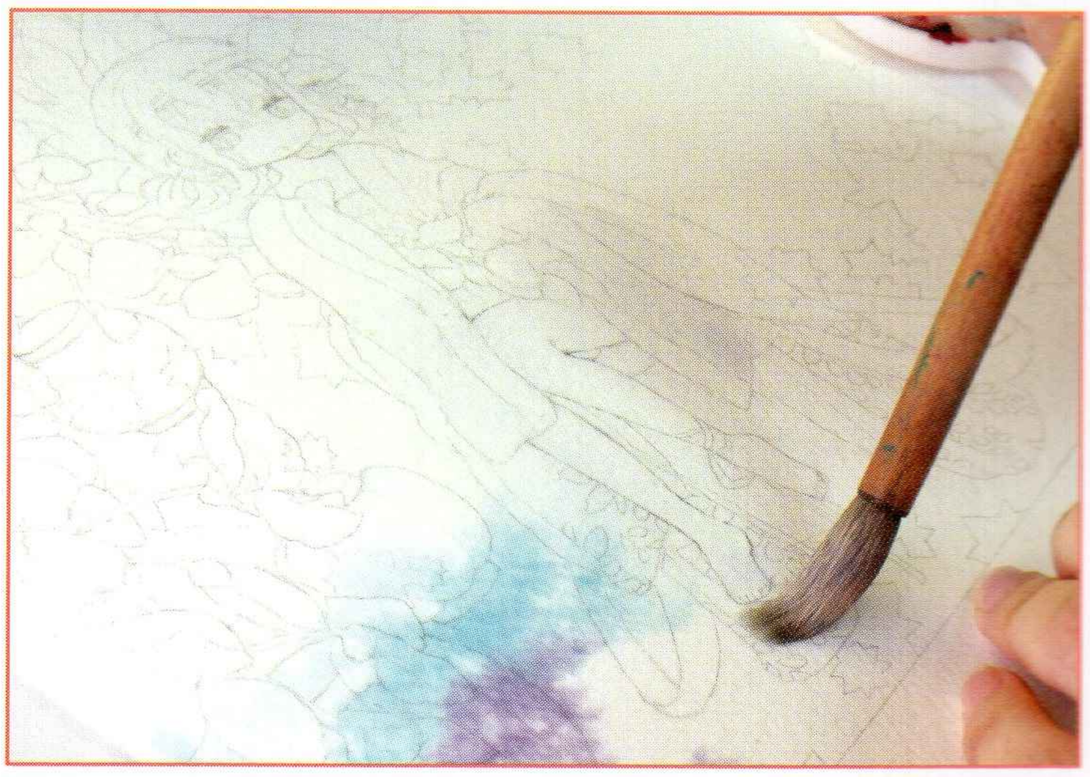
背景の下塗り。色をのせる部分にたっぷりと水をしき、鮮やかな青マリンブルーをおく。筆にもたっぷり水を含ませて。

2



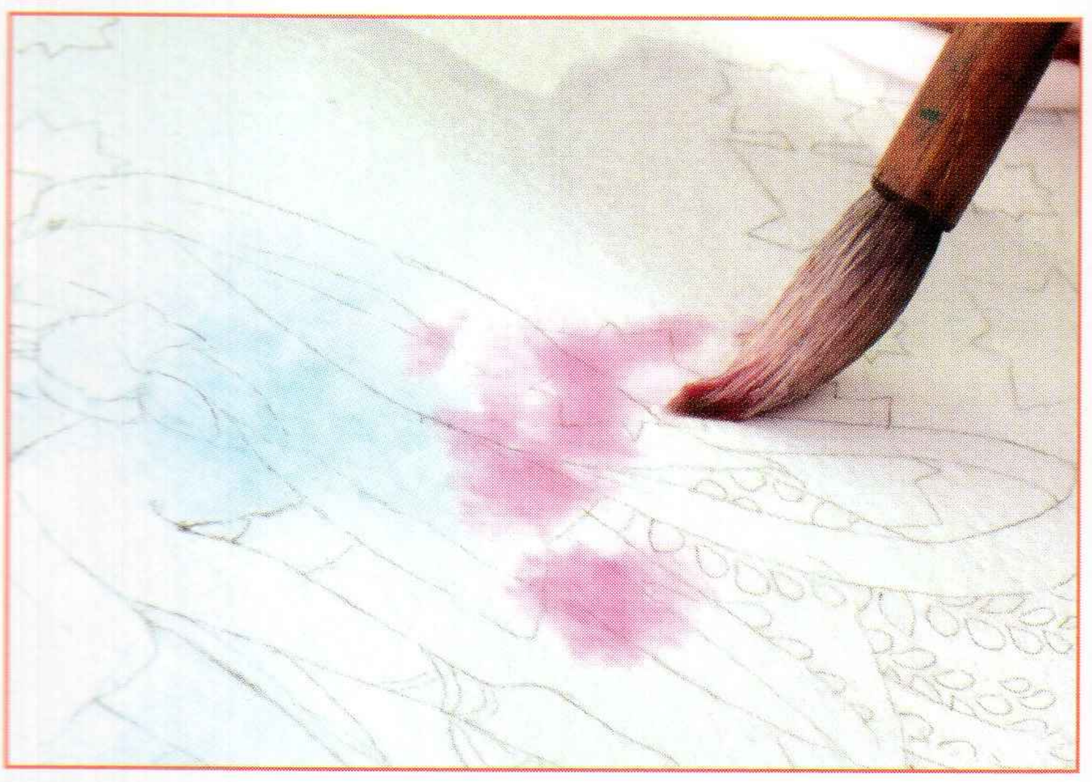
同様に、少しくすんだ紫ミネラルバイオレットを塗る。筆でポンポンと色をおき、それを少し周りに広げるような感じで。

3



人物の上にも色をのせていくので、再びたっぷりと水をしいた。下塗りで色をのせるところは、常に水をしくようにする。

4

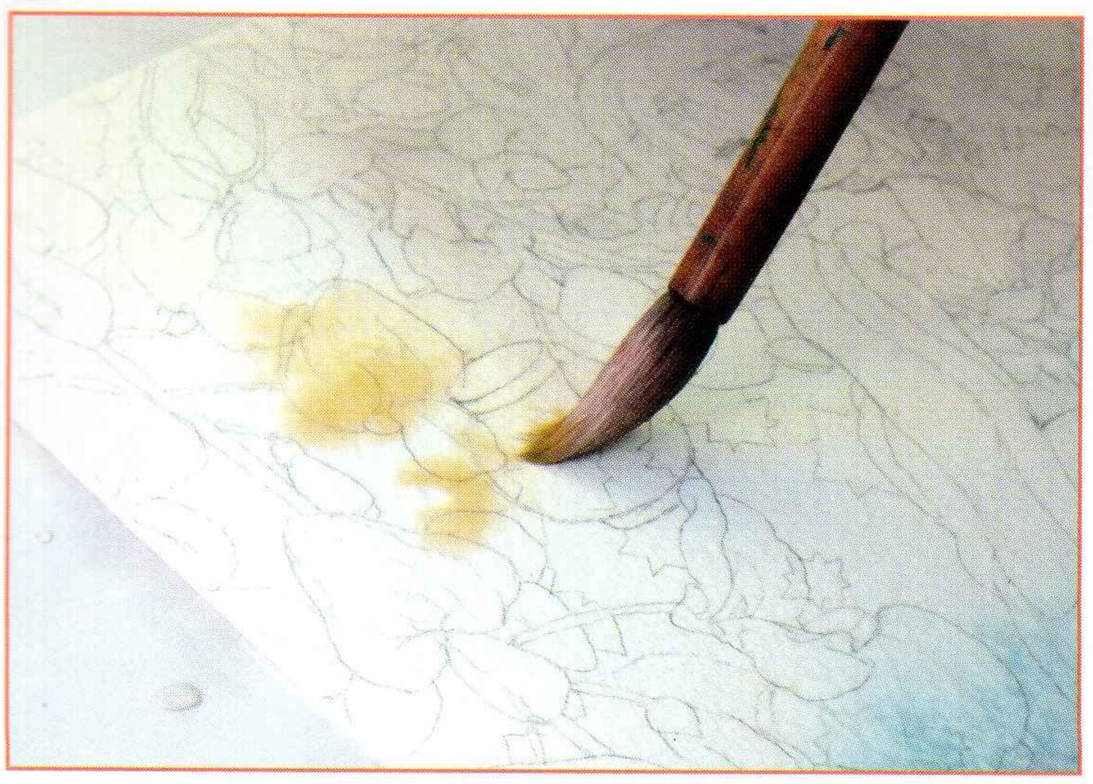


次は、鮮やかな濃いピンク色、オペラ。それぞれの色をおく場所は、「バランスを見ながらランダムに」だそう。

5

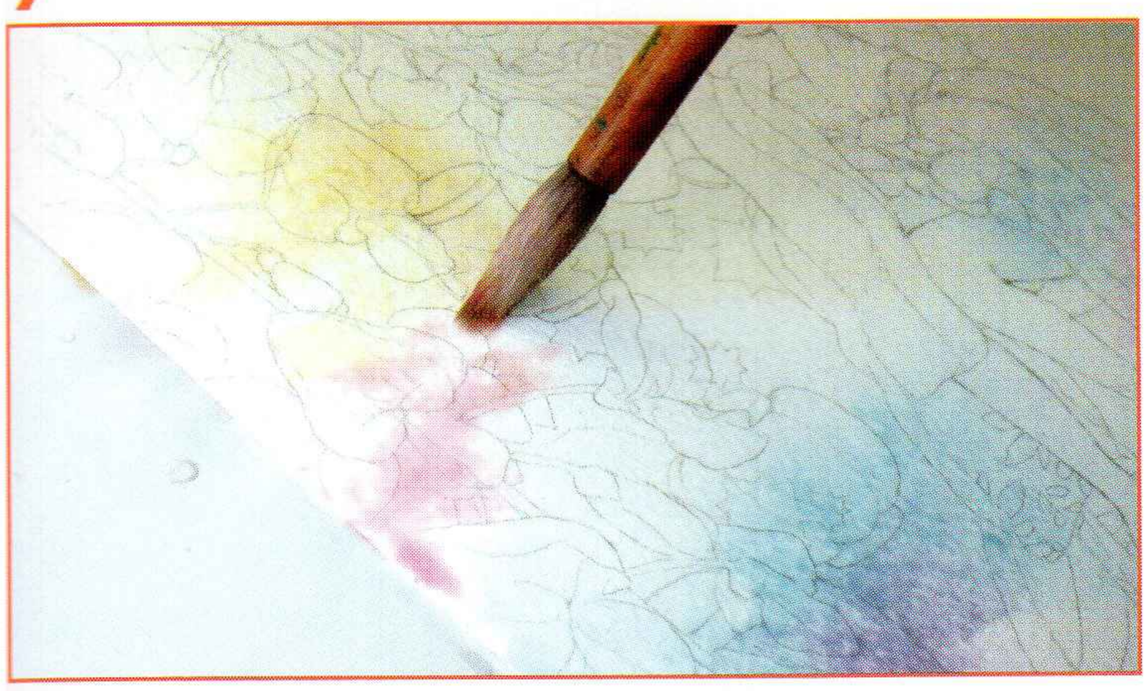
そして、明るい黄色パーマネントイエローと、それよりも少し濃い黄色カドミウムイエローディープの2色を同様においていく。

6



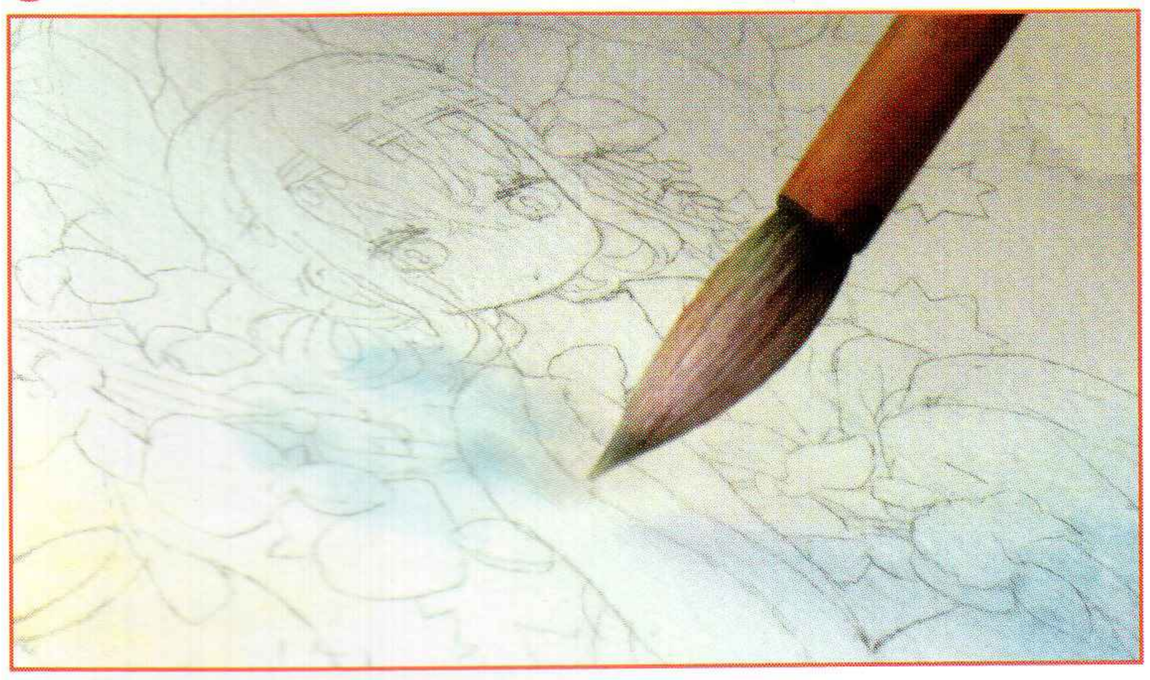
背景にも再び水をたっぷりしいてから、明るい黄色と少し濃い黄色をおいていく。じわっと色がにじんで広がった。

7



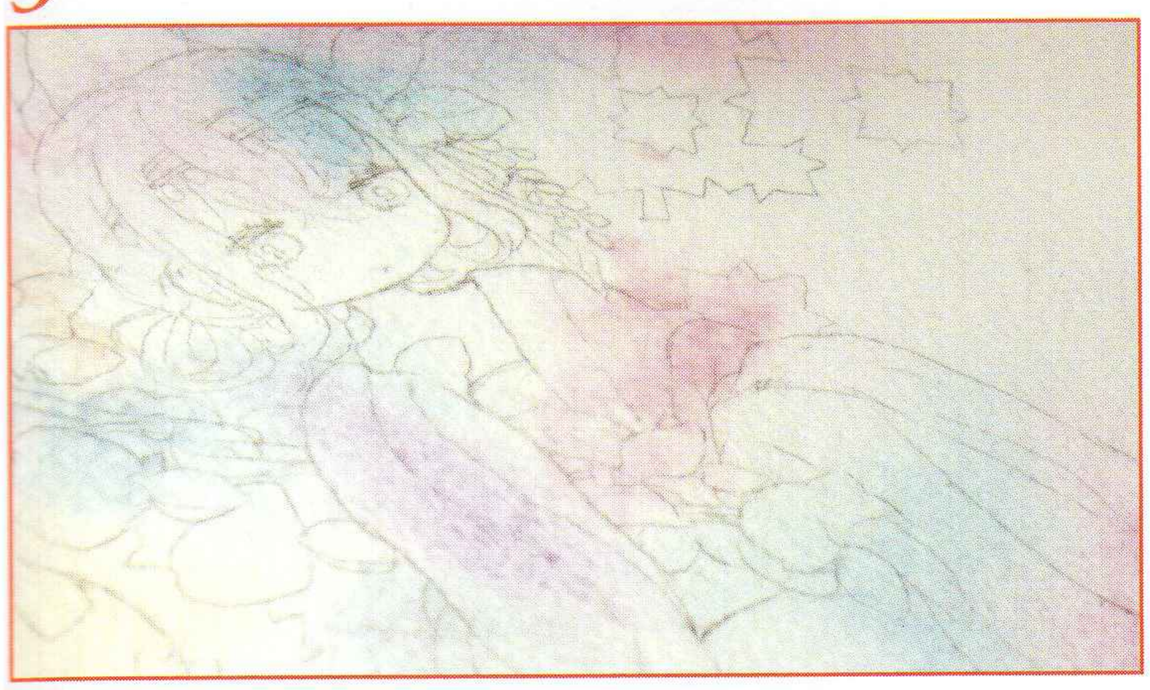
さらに、先ほども塗った、ピンク、青、紫ものせて、ふんわりとなじませる。

8



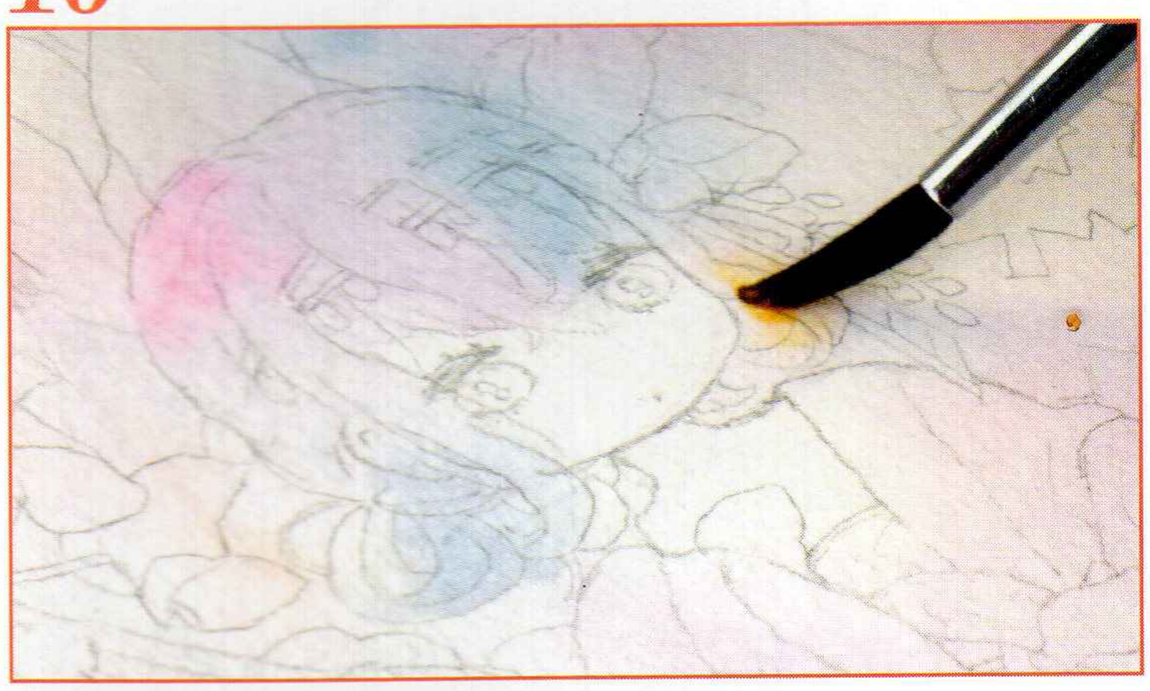
人物の肩のあたりにも青を塗った。顔はさけて色をおくようにする。

9



これを繰り返してバランスを見つつ、青、ピンク、黄色を所々に塗っていく。

10



一旦乾かしてから全体のバランスを見て、少し色が足りないと思ったので、髪の毛の部分に 3 色を追加。これでまた乾かして、下塗り終了。

11

下塗り完成
人物と、背景の植物や星の部分を中心に色をおいた。右側の余白と顔には色をおかない。

なぜ下塗りをするの？

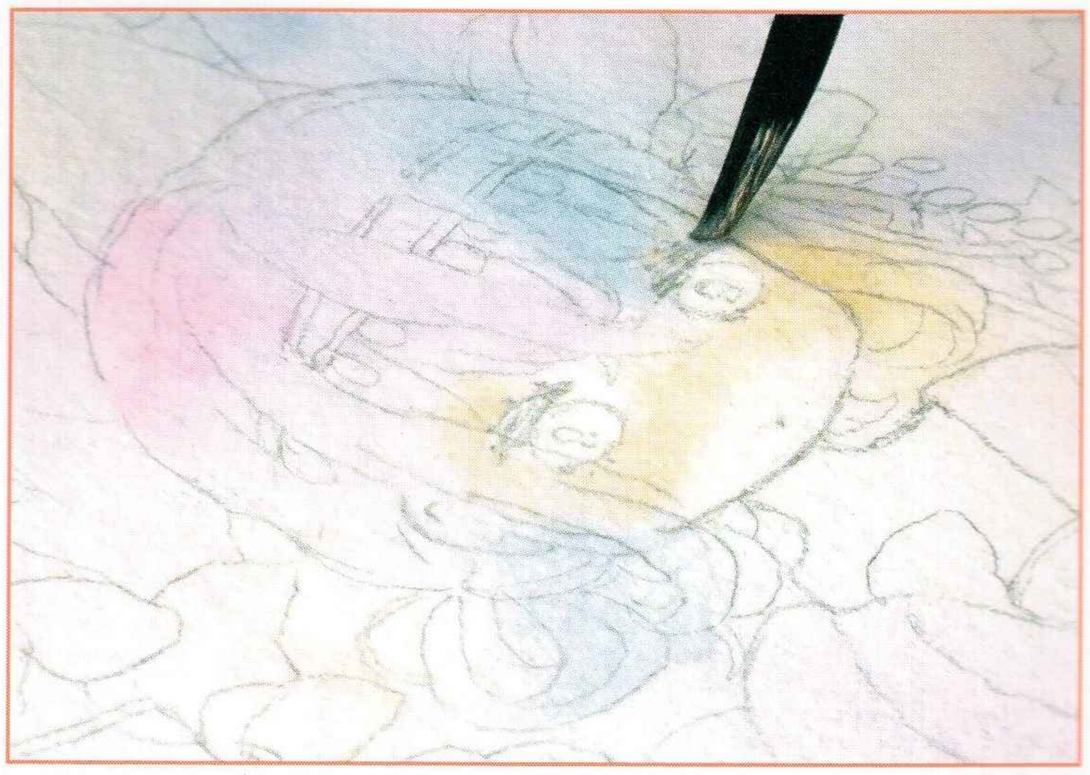
描きたいイメージによって下塗りの目的や塗り方も様々。
主に以下のような画面効果があります！

◎にじみや色ムラが質感になり、絵に味わいが出る。
◎全体を下塗りすることで画面に統一感が出る。（下塗りをしない場合、パーツごとに塗っていくと色の境界がくっきりと出るが、下塗りをしておくと色と色がにじんで混ざり合うため、色の境界が自然になじむ）また、塗り残しが目立たなくなる。
◎絵の配色が決まっていない場合は、薄い色で下塗りをしながらパーツごとの色を決めることもある。

顔・髪を塗る

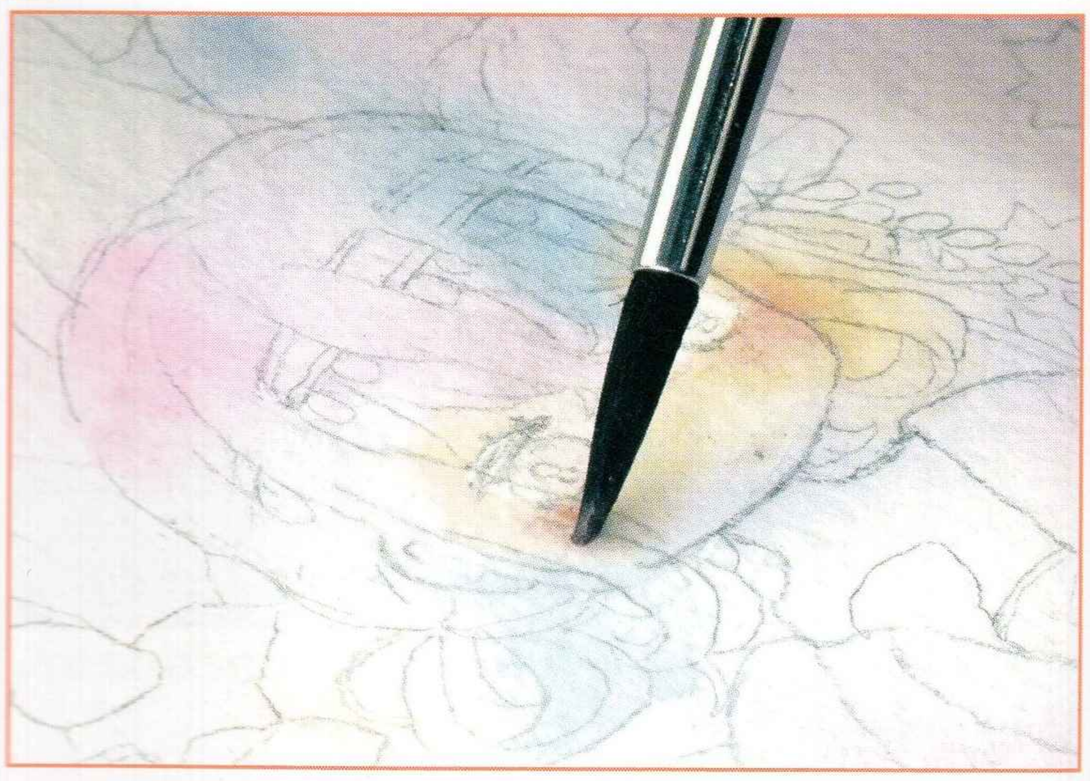
顔の肌色は、水をしいてからふんわり広げます。
髪のカゲ色は、いったん塗りを乾かしてくっきりと。

1



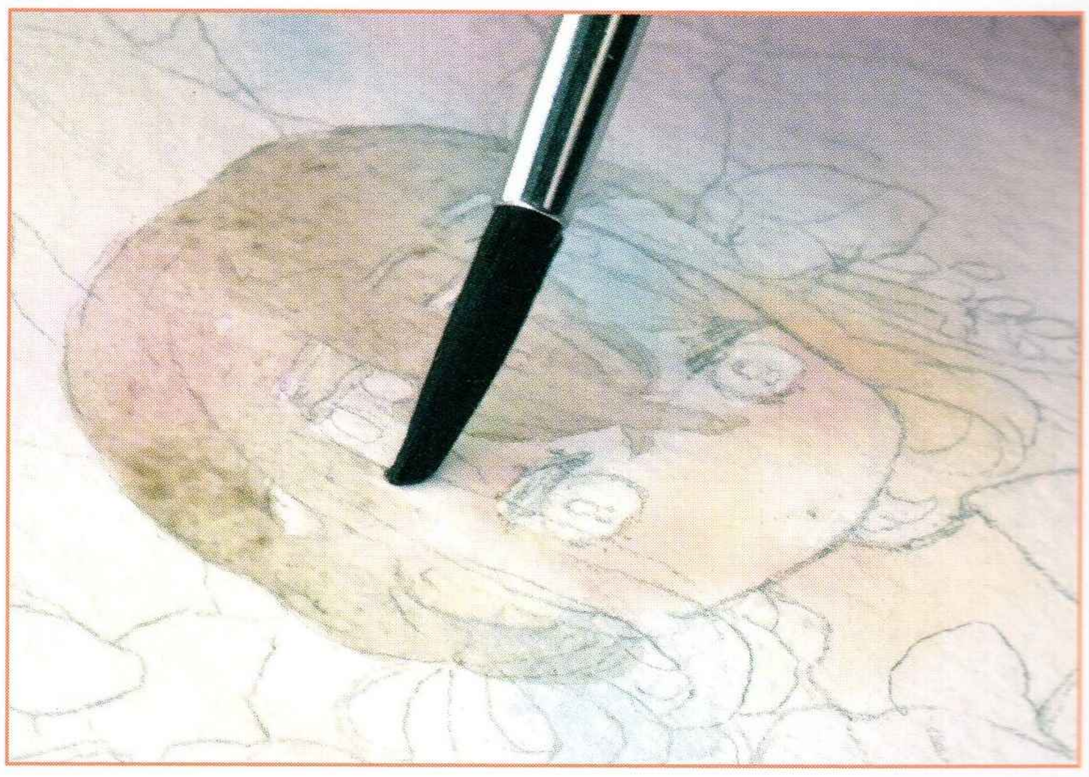
顔部分に水をしき、濃いめの肌色ジョーンブリヤン No.2 と薄桃色ブリリアントピンクを混ぜ、頬あたりに塗る。そしてぼかすように周りに塗り広げる。

2



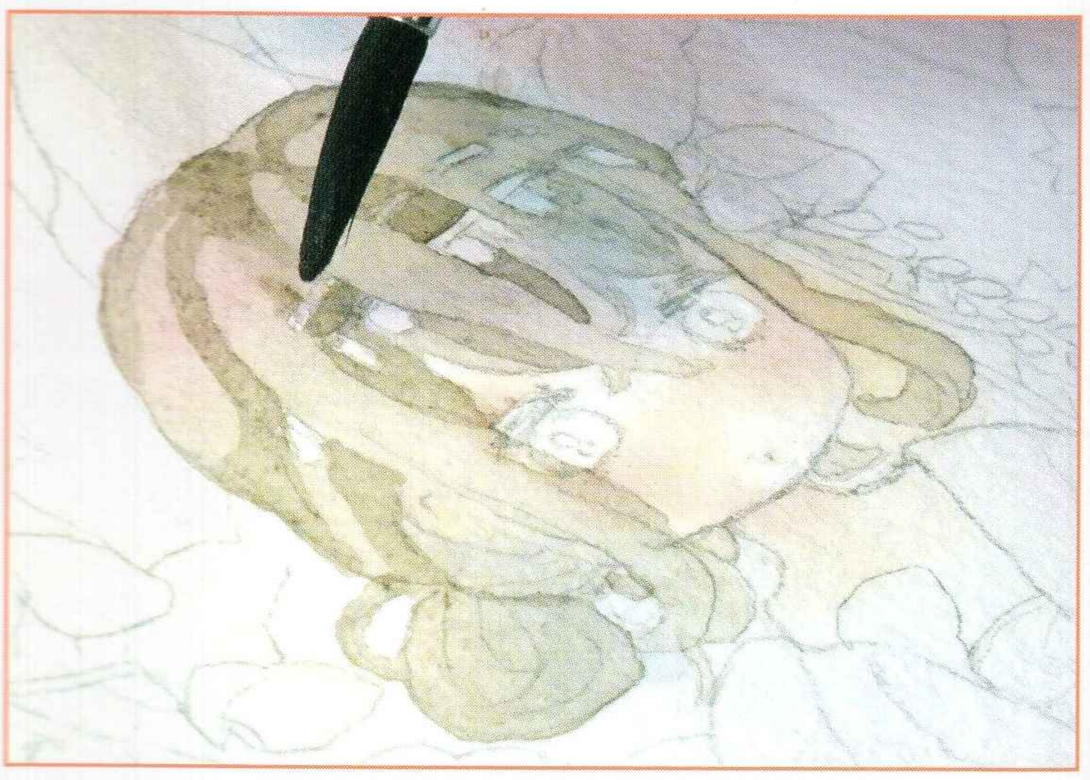
1 の色に、さらにブリリアントピンクを加えた色で、頬の赤みを入れる。水はたっぷりめで、ぼかすように。

3



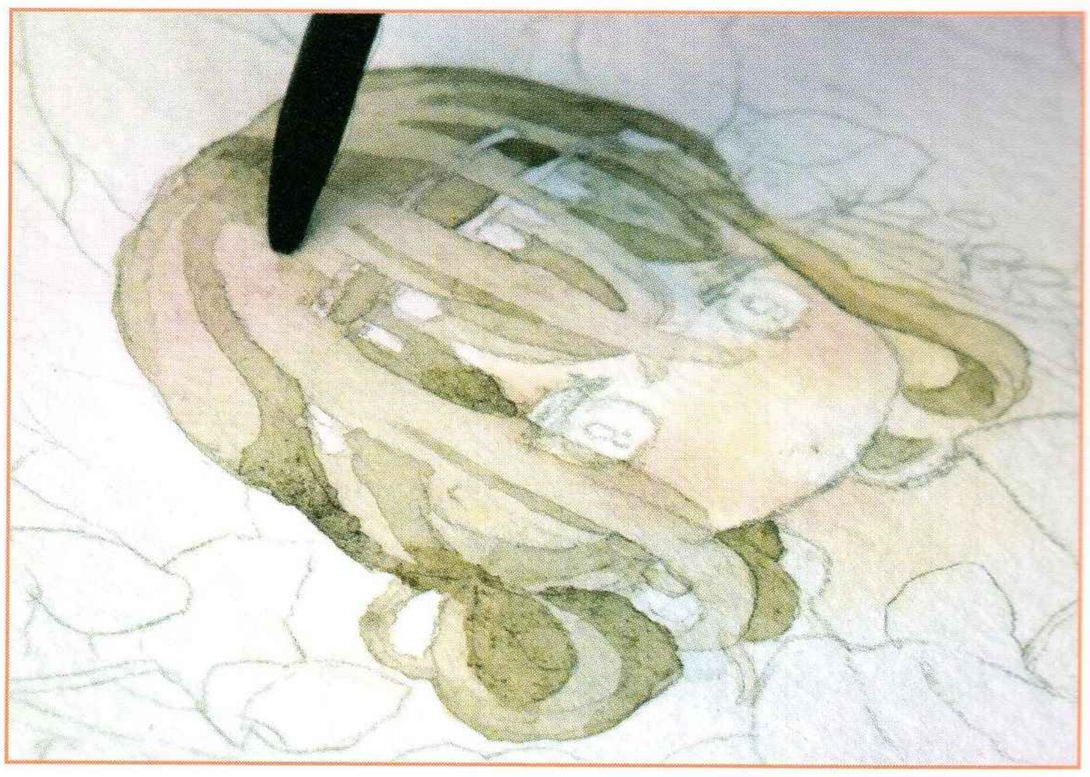
髪を塗っていく。セピアに、パーマネントイエローライトとオペラを少々混ぜた茶色で、まず髪のベース。水多めで、うすく色をのせる。

4



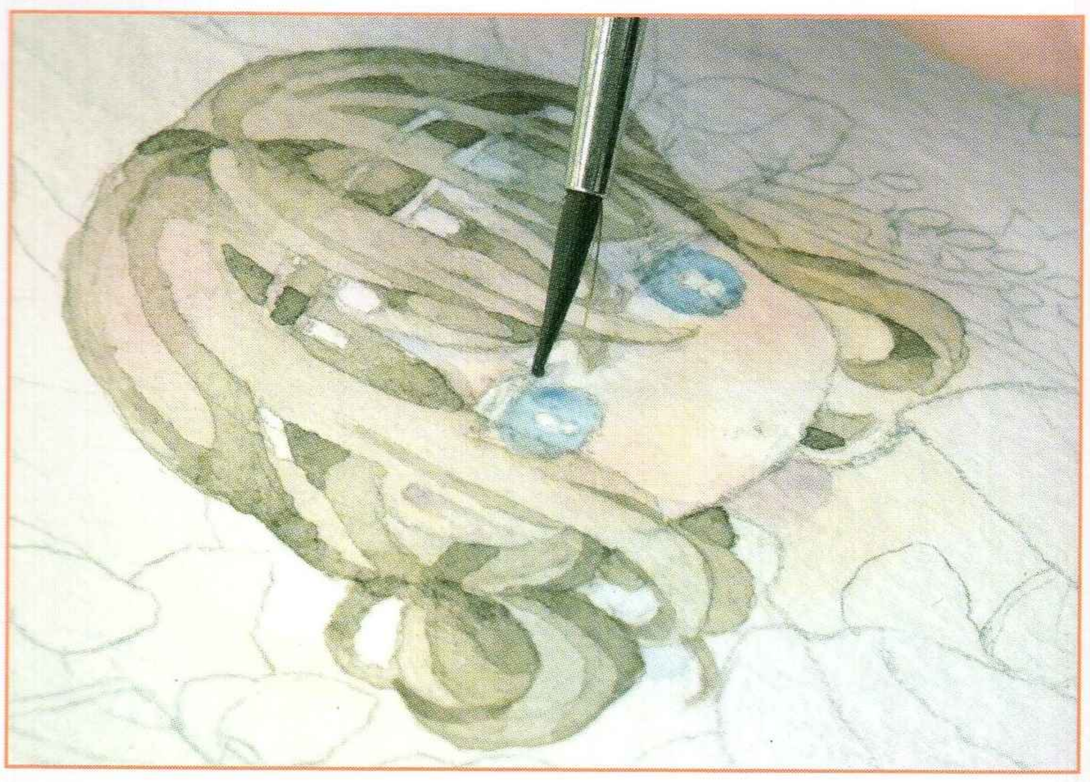
3 が乾いたら、カゲを塗る。ベースと同色だが、水分量を調節して一段階濃い色に。髪の流れを意識して、くっきり塗っていく。

5



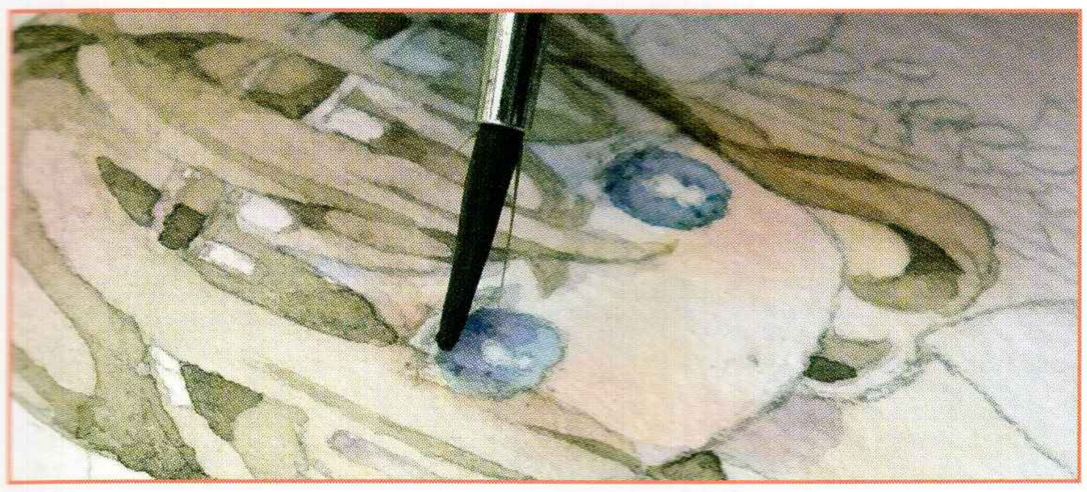
水を減らした濃い色で、さらに濃いカゲを入れる。もっとも濃くしたい部分にちょんと絵具をのせ、それをぼかすように広げる。

6



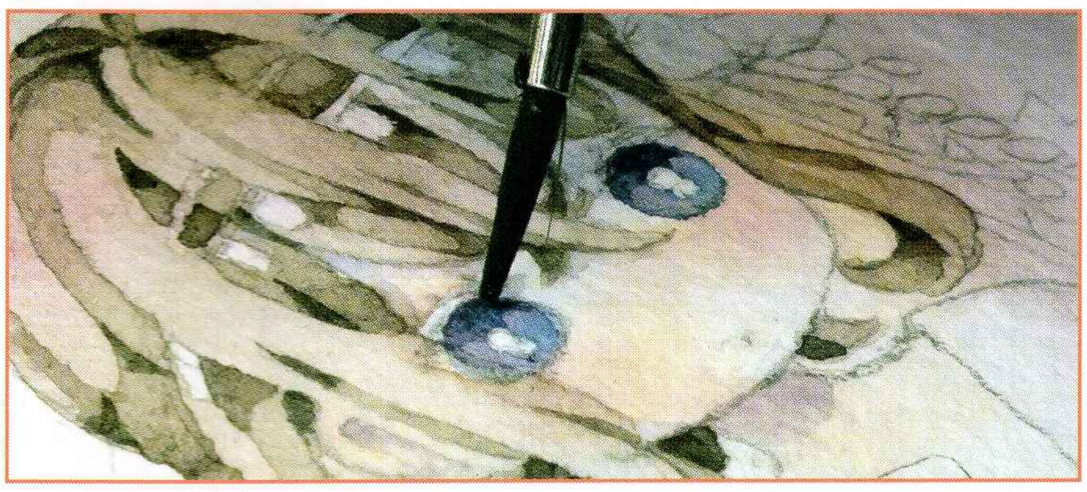
目を塗る。最初にマリンブルーでハイライトを残して目の中を塗る。

7



目の上部から 2/3 くらいまでミネラルバイオレットを重ねる。上から下に色を広げるように。

8



セピアにブラックとマリンブルーを少々混ぜた色で、まぶたから落ちるカゲを塗り重ねる。だいたい 1/3 くらいまで。

9

セピアで、まつげと目の輪郭を塗る。そして下まつげもちょんちょんと点を打つように描く。

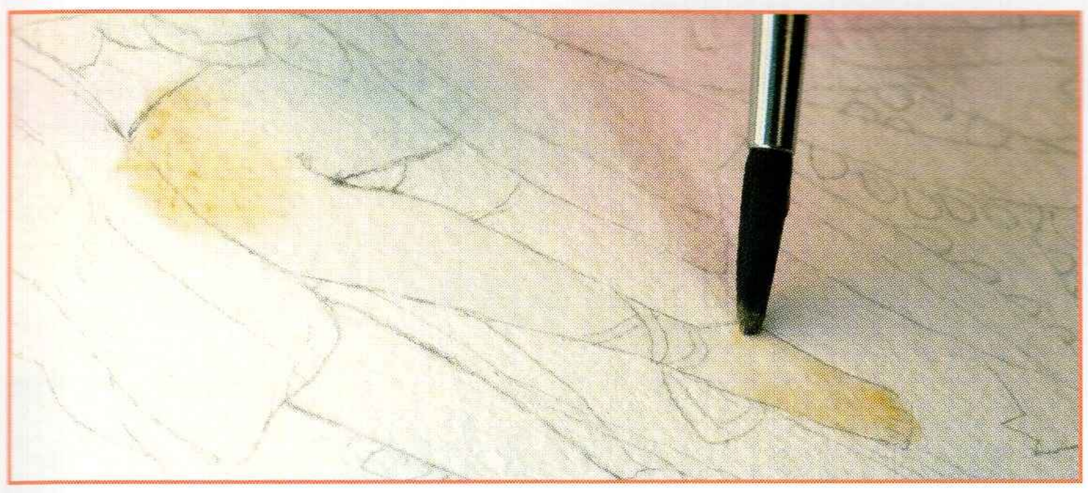
10

髪を仕上げる。水分量を調節し、ブラックを少し加えた色で、最も濃いカゲを塗る。全体の濃淡のバランスを見ながら、細い筆で丁寧に。

足を塗る

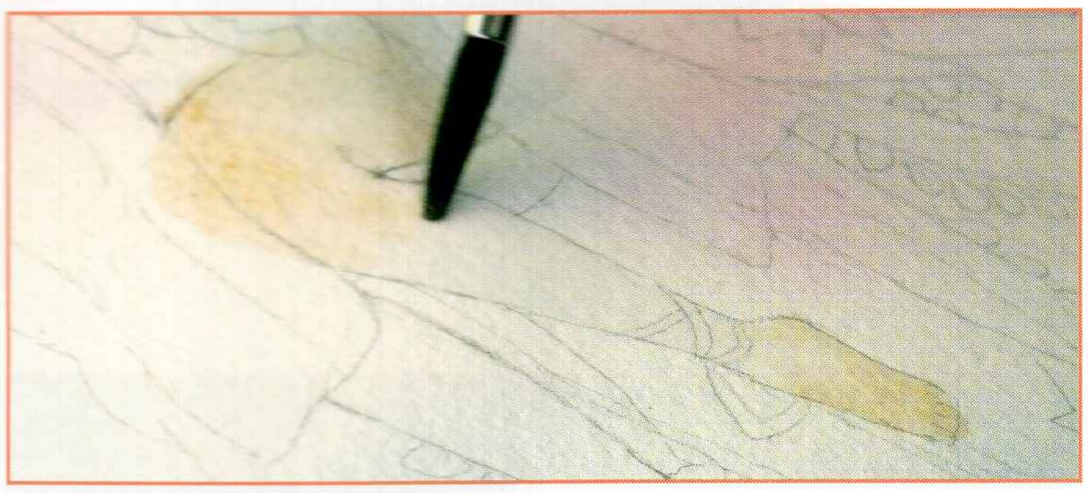
足の色は「ひざ」「つま先」「かかと」にポイントでのせます。
水をしいてから、肌色と赤みをふわっと広げるように。

1



足に水をしき、顔に塗った肌色をひざ、つま先、かかとに塗る。

2

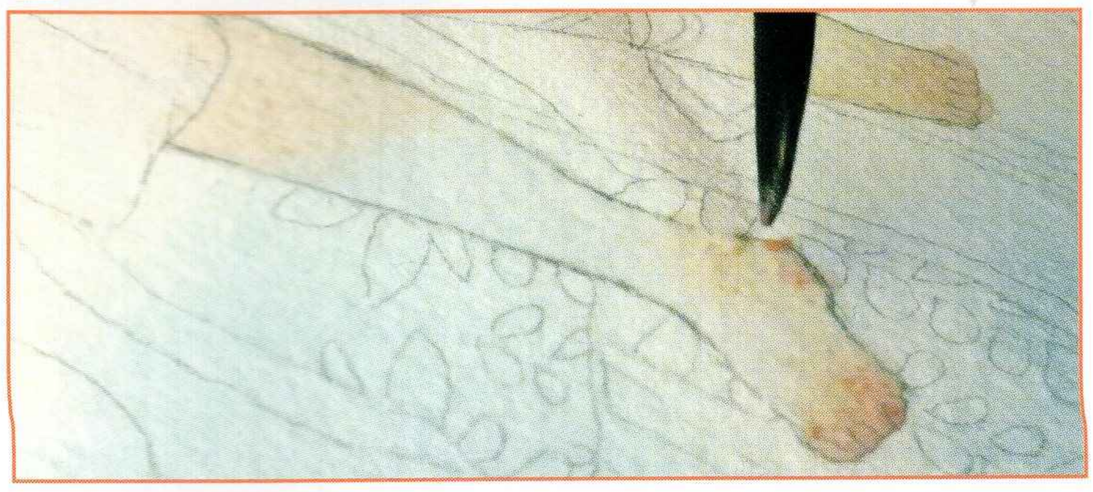


ひざの色を、ふとももとひざ下へ淡く塗り広げていく。

3

頬の赤みに使った色をひざにおいて、ふんわりと色を広げる。関節などをポイントで赤くすると女の子らしい柔らかな印象の肌に。

4

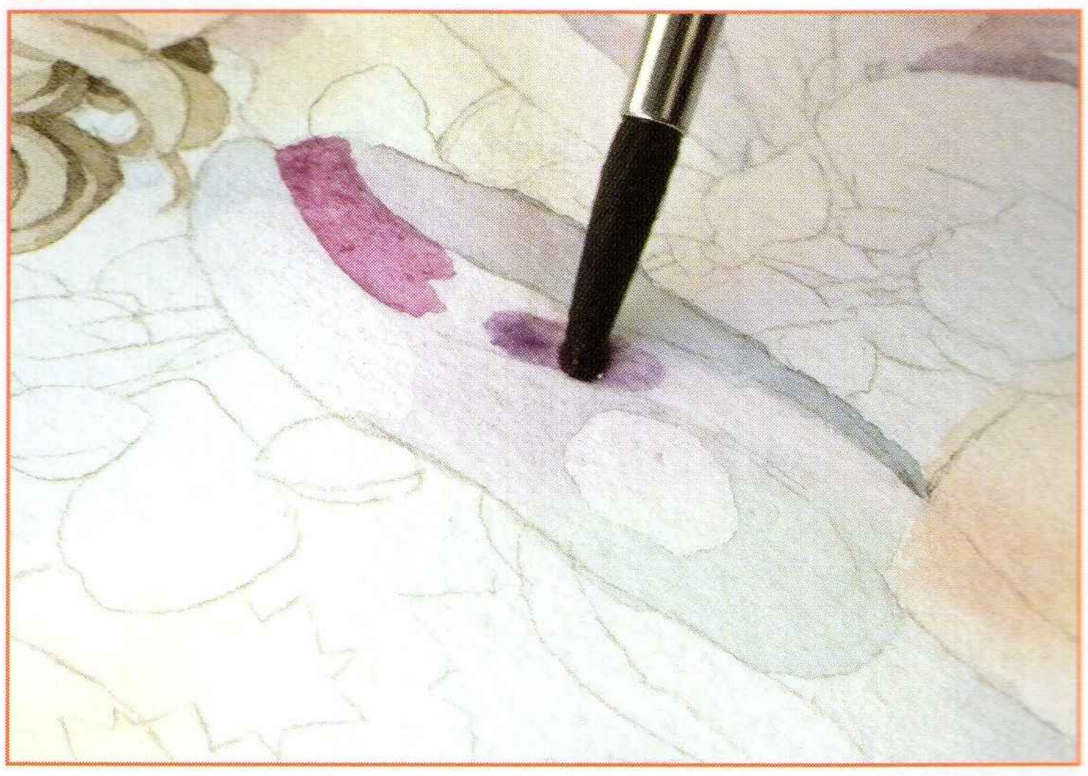


もう片方の足も同様に塗る。足先は、つま先とかかとに赤みをつける。

着物を塗る

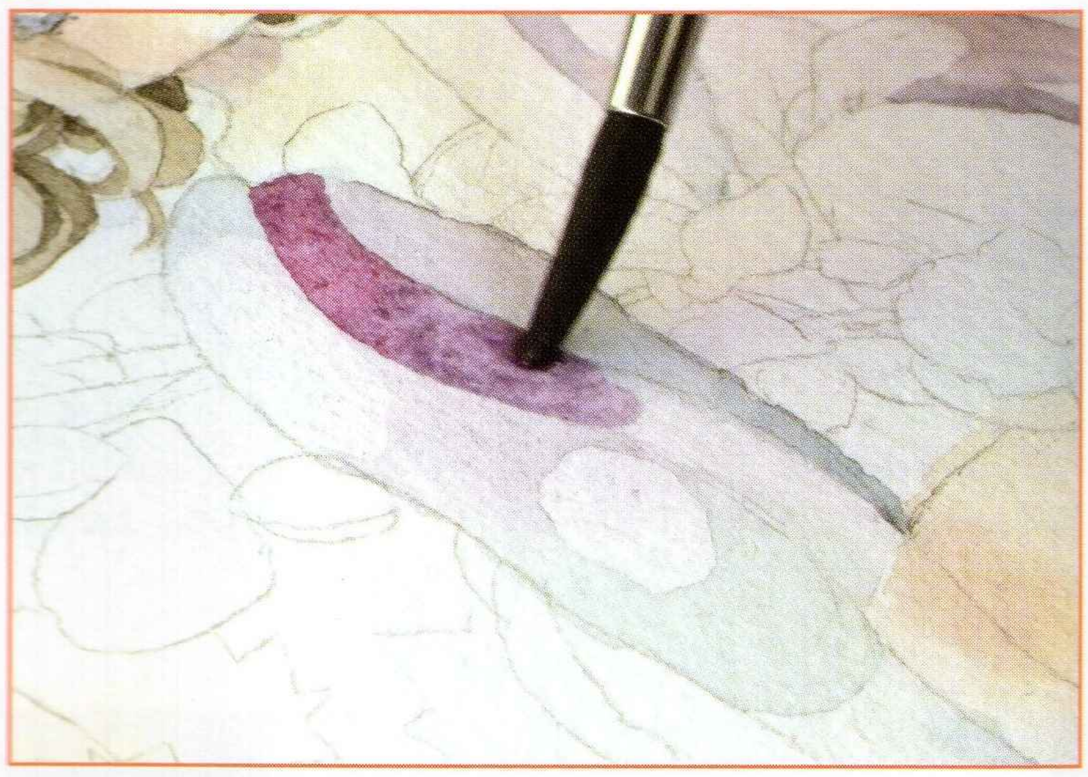
着物は、少しずつ色みの違う青と紫のグラデーションを多用して塗ります。
色はすべてマリンブルーとミネラルバイオレットを混ぜたもの。
混色のバランスで色みを変えて塗っていきます。

1



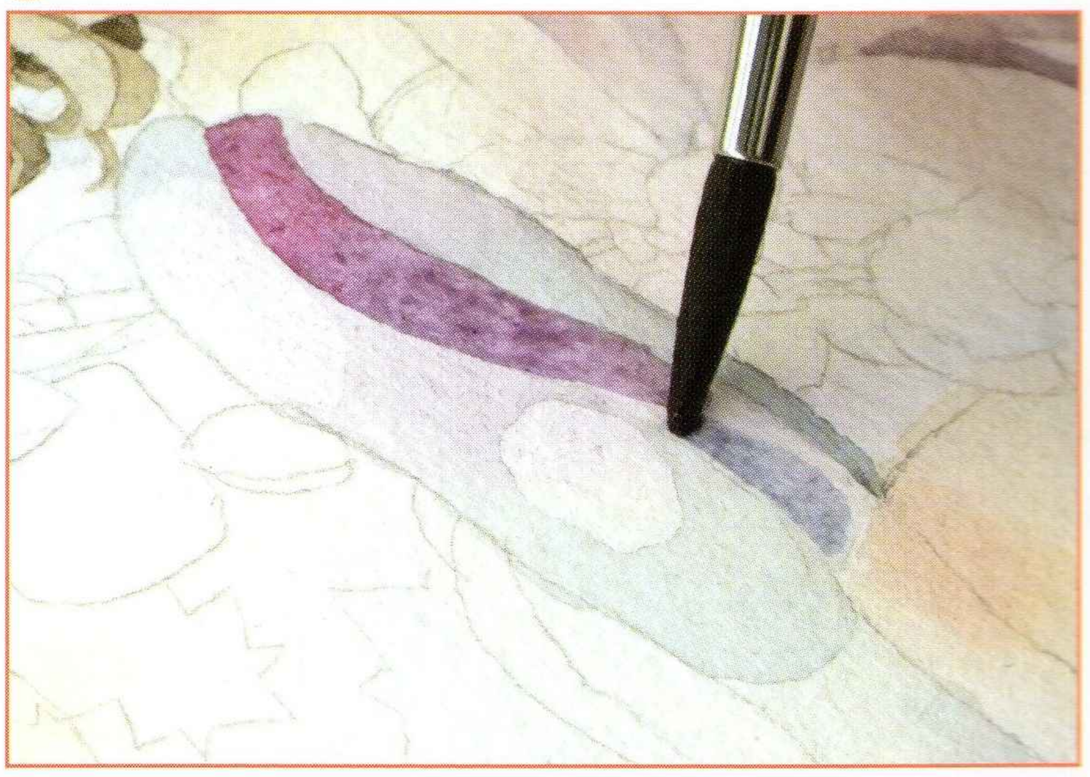
まず、混色して作った赤みがかった紫を塗り、その少し下に青みの強い紫をおく。水はたっぷりめに。

2



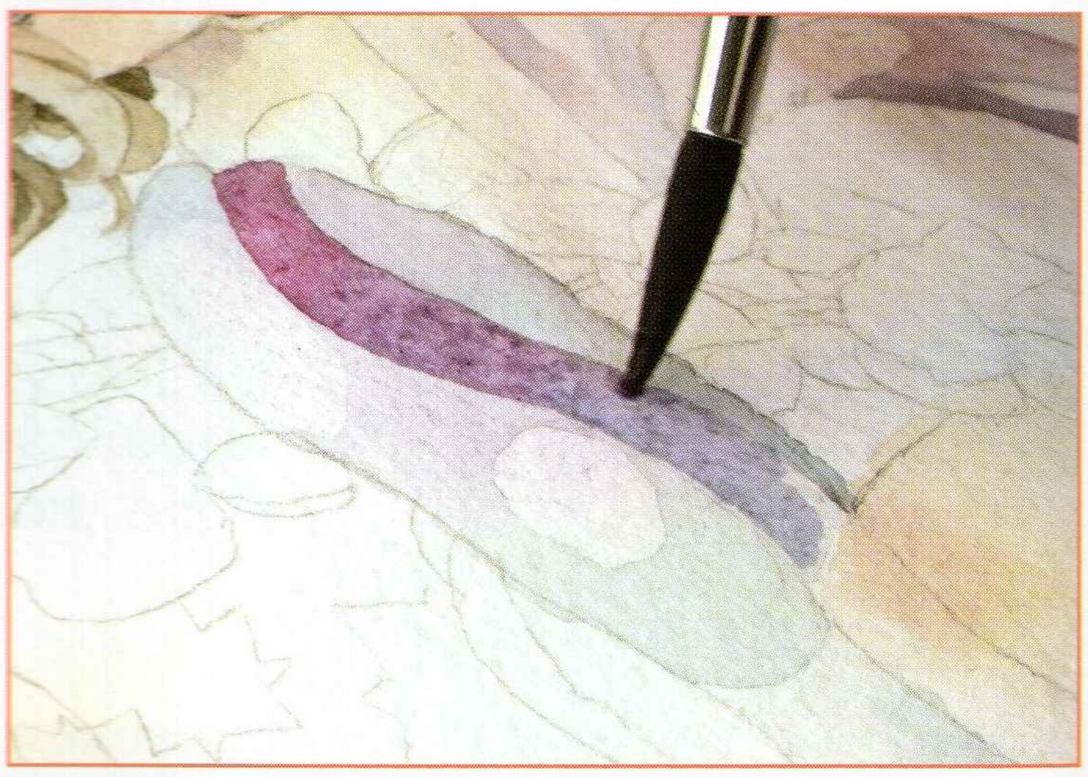
1で塗った青みの強い紫を、赤みがかった紫に少しかぶるくらいまで広げ、境界をぼかすようになじませる。

3



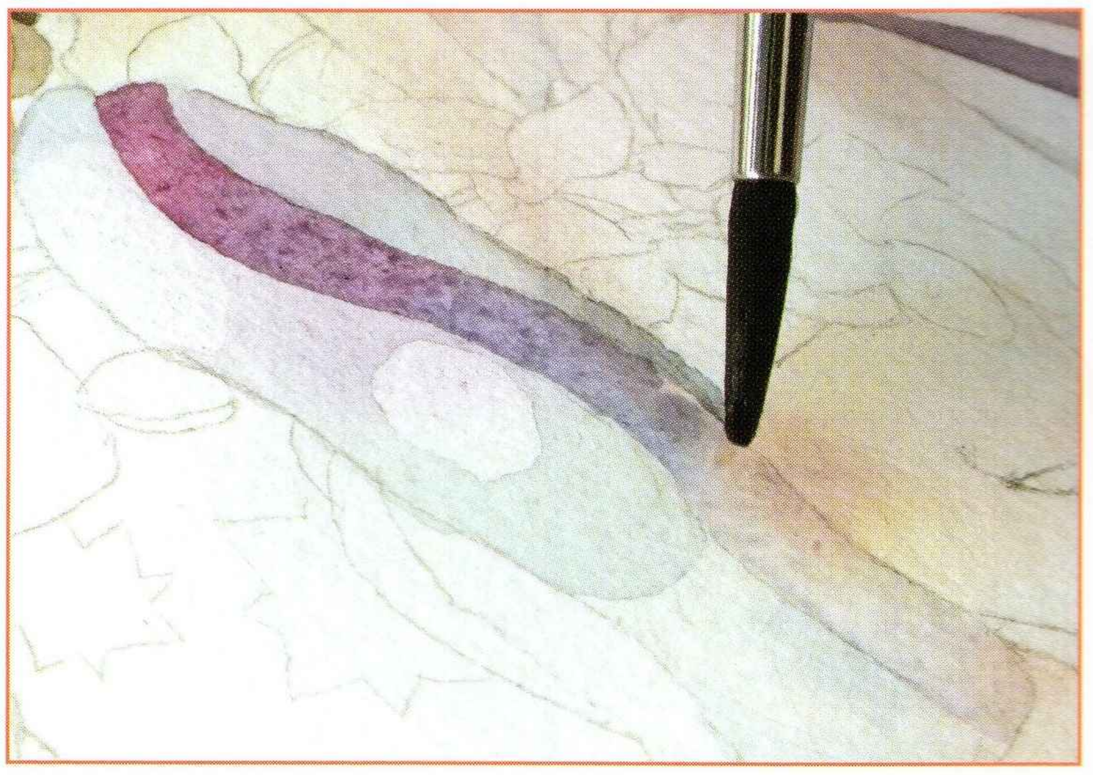
その下にまた別の青色をおいて、塗り広げるようになじませていく。

4



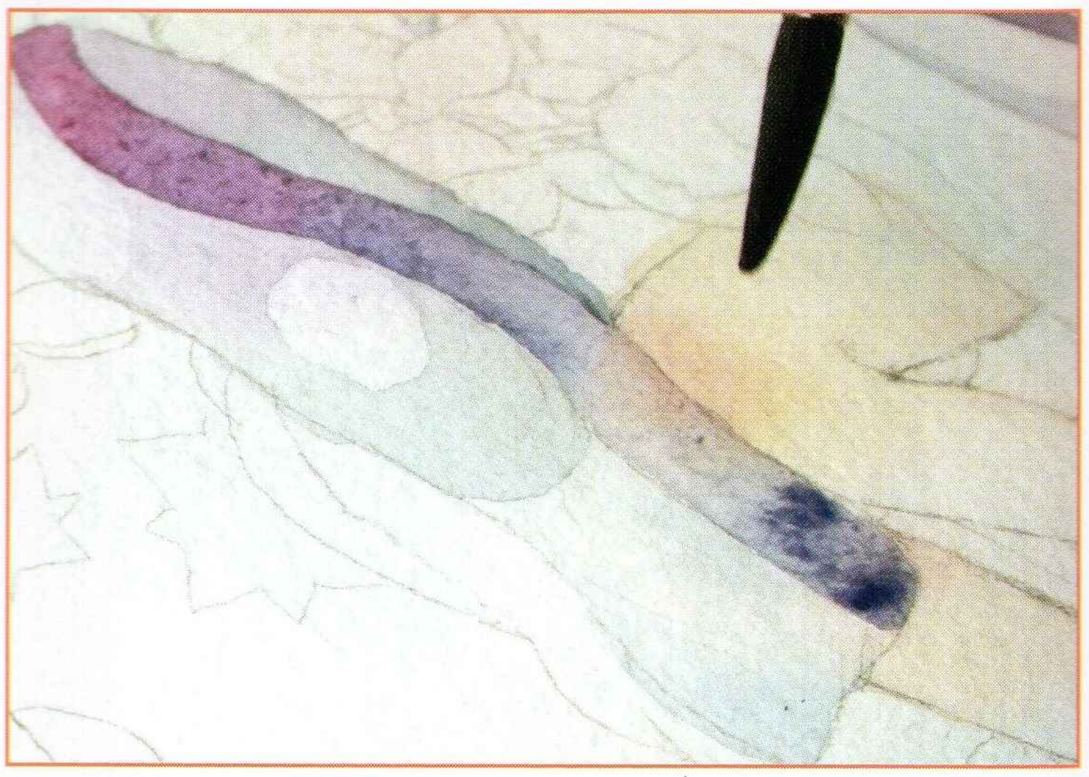
青がなじんだ状態。赤みがかった紫→青みの強い紫→青のグラデーションになった。

5



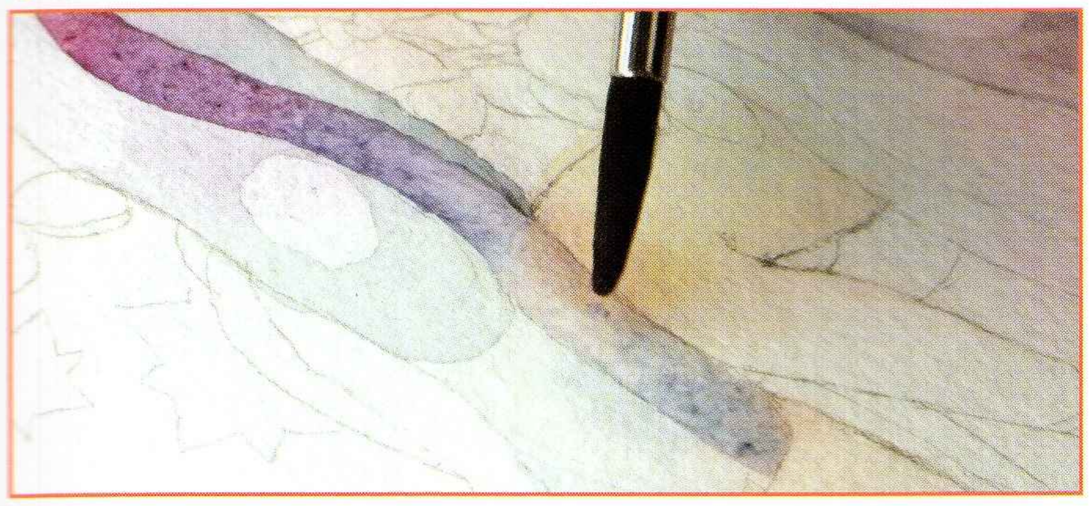
そしてその色を、水筆で下の方まで塗りのばす。うっすら色づく程度に。

6



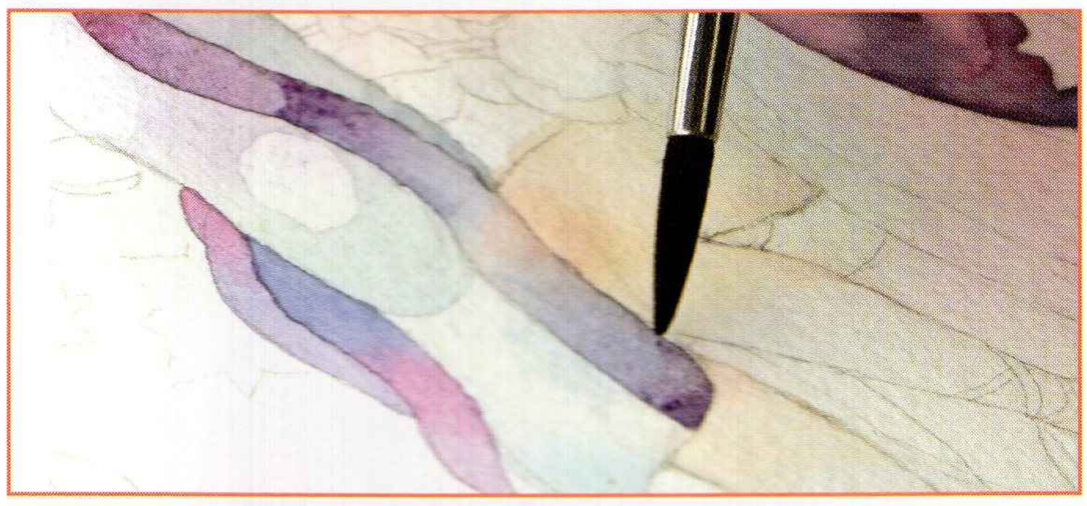
今度は下の方から青を塗る。上に向かって淡くなるように、水筆でぼかしていく。

7



水筆でぼかしてなじませた状態。上下のグラデーションの間は淡い色になる。そこから、ひざの赤みが少し透けて見えている。

8



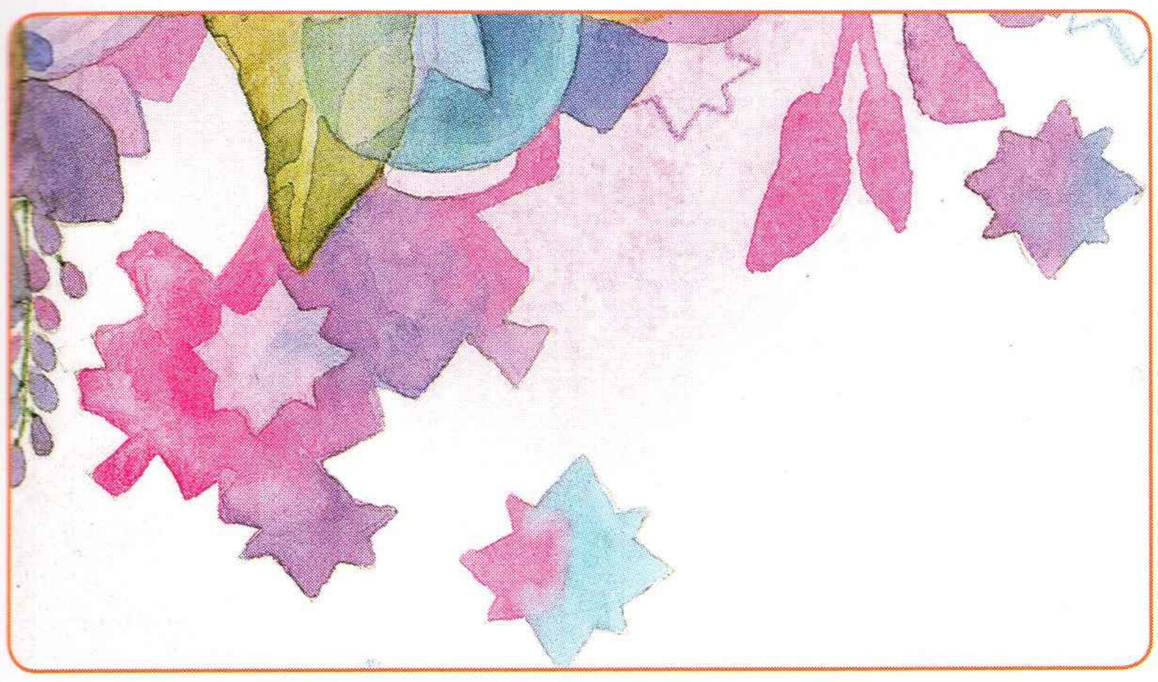
濃い紫を、水多めで下の端に少しだけおき、キワをぼかすように塗り広げてなじませる。

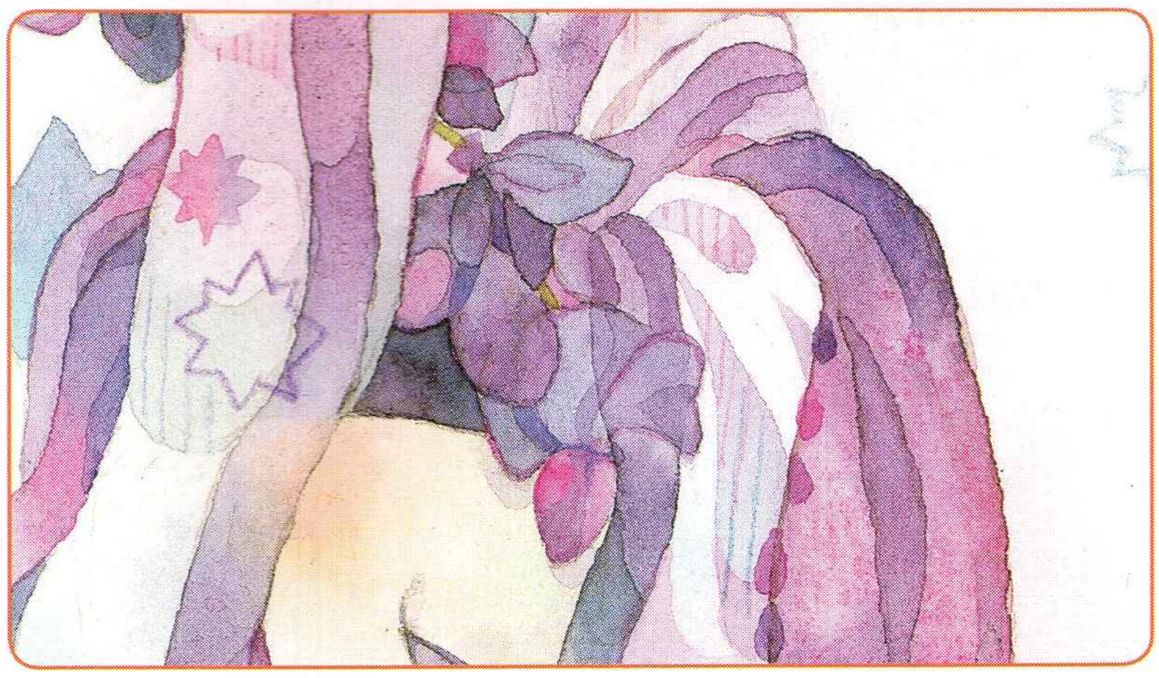
9

人物の塗りが進んだ状態
下塗りの上に色を重ねていった。髪や着物には下塗りの青やピンクが淡くのっていることがわかる。下塗りの色が少し見えることで、ふんわりとしたやわらかな印象になっている。

仕上げ

全体を塗り終わって乾かしたら、色鉛筆で仕上げ。背景の星や、着物のシワのカゲを斜線で描き加えていきます。また、画面右下の星の固まりは、色をさらに濃くしたり、なじませたりするために色鉛筆で塗り重ねました。





完成！

透き通った色の重なりが美しい植物と、うめつぼみさんならではのかわいらしい少女。水彩特有のきれいなにじみやグラデーションを効果的に多用しつつも、くっきり塗り分ける部分や輪郭線によって、メリハリのある絵になっています。また完成を見てみると、下塗りでふわっと塗った青、ピンク、黄色も、しっかり効いていることが分かります。透明水彩の魅力を存分に生かした彩色を、ぜひ、みなさんも参考にしてみてください。

Q&A

Q1　透明水彩を使うようになったキッカケを教えてください。

絵を描き始めたのが中学生の頃で、水彩は画材屋で気軽に手に入るし学校の授業でも使うことがあり、すごく身近な画材のひとつでした。チューブも小さくて可愛いので、ちまちま色を集めていくのも楽しくて、それからずっと透明水彩を愛用しています。

Q2　透明水彩の好きなところを教えてください。

パレットに絵具が余っても、後から何度も使えるところがズボラな私にとってはすごく便利に感じます。また、透明感のある色と、絵具が水に溶けて広がっていくところが綺麗ですし、塗っていて楽しいです。水で伸ばしていくので、すいすい塗れるところも好きです。

Q3　好きな色を教えてください。

ホルベインのマリンブルーとミネラルバイオレットです！　ほとんどの絵で使っているスタメンです。

Q4　描くのが好きなモチーフを教えてください。

植物と動物と魚と少女が好きです。最近は特に熱帯魚やヘンテコな水の生物が多い気がします。何描くか悩んだときはとりあえず花ばっかり描いてます。

Q5　透明水彩を使い始めた時に難しいと感じたことや困ったことは？

広い面塗るときにムラができる！　なんか綺麗なグラデーションができない！　水の量がどのくらいかわからない！　上手く重ねて塗れない！　色が汚くなっちゃう！　大雑把ですが最初の頃はこんな感じでうまくいかず、なぜだー！　となっていました。今もたまになります。

Q6　難しいと感じたことや困ったことを改善するために、気づいたことや工夫したことがあれば教えてください。

広い面を塗るときは先に水をたっぷり画面に広げておいたり、のせた絵具が乾くまえに水を足したり。色を重ねるときは下の色が完全に乾いた後で、上から強く塗らずゆっくりふわりと置いてみたり、柔らかい筆にかえてみたり。とにかくいろいろ紙に描いて試してみました。

Q7　一枚の絵を仕上げるために、かかる時間を教えてください。

紙サイズは A4 以内のものが多くて、アイディアからラフにかけて 30 分から 1 時間くらい。線画は約 1 ～ 2 時間、着彩は 3 ～ 6 時間くらい？だと思います。途中でお菓子食べたりゲームしたりネット見たり、脱線しながらゆったり描いて 1 日 1 枚仕上げることが多いです。

Q8　絵を描く上で、資料・参考にするものはありますか？

思いつきで適当に描いていくことが多いですが、旅行とかお出かけしたときに良いなと思ったものを覚えておいて絵の中に持ち帰ったり、和風な絵が描きたいなと思ったらネットで色々着物やお祭りの画像をいっぱい漁って参考にしています。あと自分の昔の絵とかクロッキー帳を見直してそこからアイディアを引っ張ってきたりも多いです。

Q9　透明水彩を塗る際の紙の選び方で、どんなことを重視していますか？

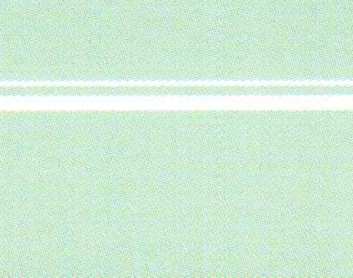
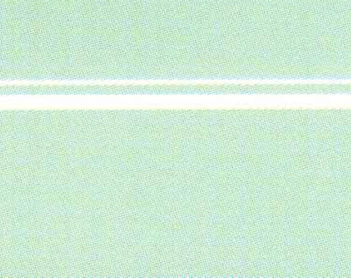
紙を買いに行くとき色々あっていつも悩むんですけど、初めて使ってみるものは紙の色と表面のでこぼこ感とサイズをみて選んでます。描く絵の雰囲気にもよりますけど、比較的早く乾いて発色が良くて、凹凸が少なめでなめらかに塗れる B5 くらいの紙が好みです。

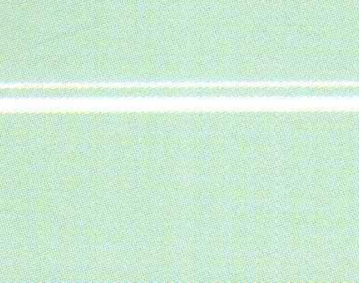
Q10　うめつぼみさんは、デフォルメのきいた可愛いキャラクターを透明感のあるカラフルな塗りで仕上げているのが特徴的だと感じます。キャラクターと透明水彩の合わせ方で意識していることがあれば教えてください。

自分が描く人物は少女が多いので、透明水彩の持つ、透き通ってキラキラした表現をいかせるような、柔らかい色づかいを意識しています。特に髪と目の色のバランスは人物の印象が大きく変わるので、色の組み合わせを色々考えます。瞳はキャンディとかビー玉っぽいイメージで塗ってます。

Chapter 05

にび



Profile

にび／新潟県出身

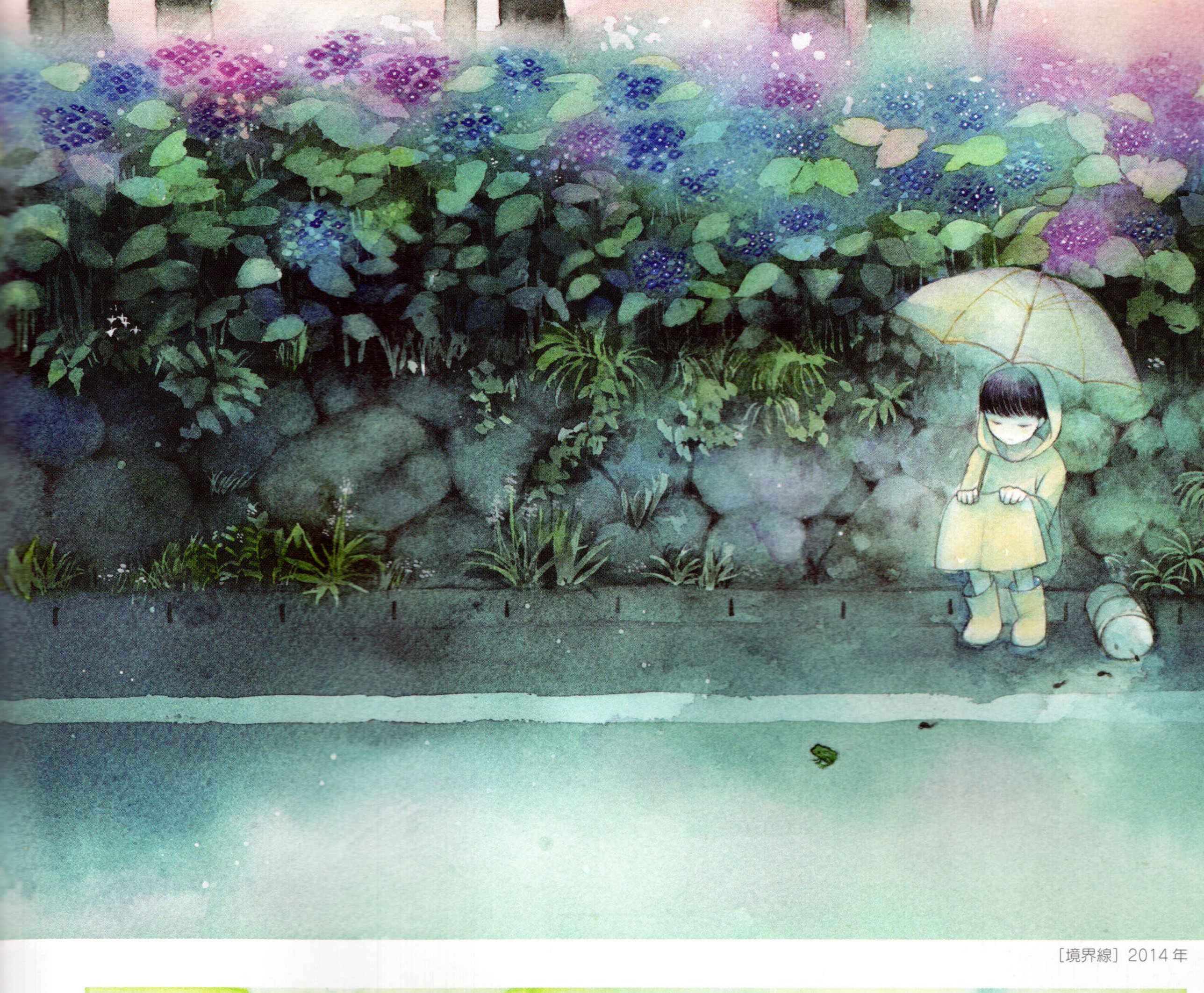
pixiv ID = 1212466　　Twitter = nibixx

「空枯らす」http://sorakarasu.web.fc2.com/

主な活動…「SS23 号」透明水彩メイキング／『水彩画を描くきほん 人物からキャラクターイラストまで』水彩メイキング掲載（ホビージャパン）／CDジャケットイラストを多数手がける／デザインフェスタやコミティアなどのイベントにも参加。

透明水彩のにじみを使って、日常風景からファンタジックな情景までを多彩に描き出す。空間を彩ることで、白抜きのように人物を浮き立たせる手法も特徴的。イラストには、傘やレインコートの少年など雨のモチーフ、ふわりと浮遊する女の子などがよく登場する。

[月と少女] 2012 年



［境界線］2014年

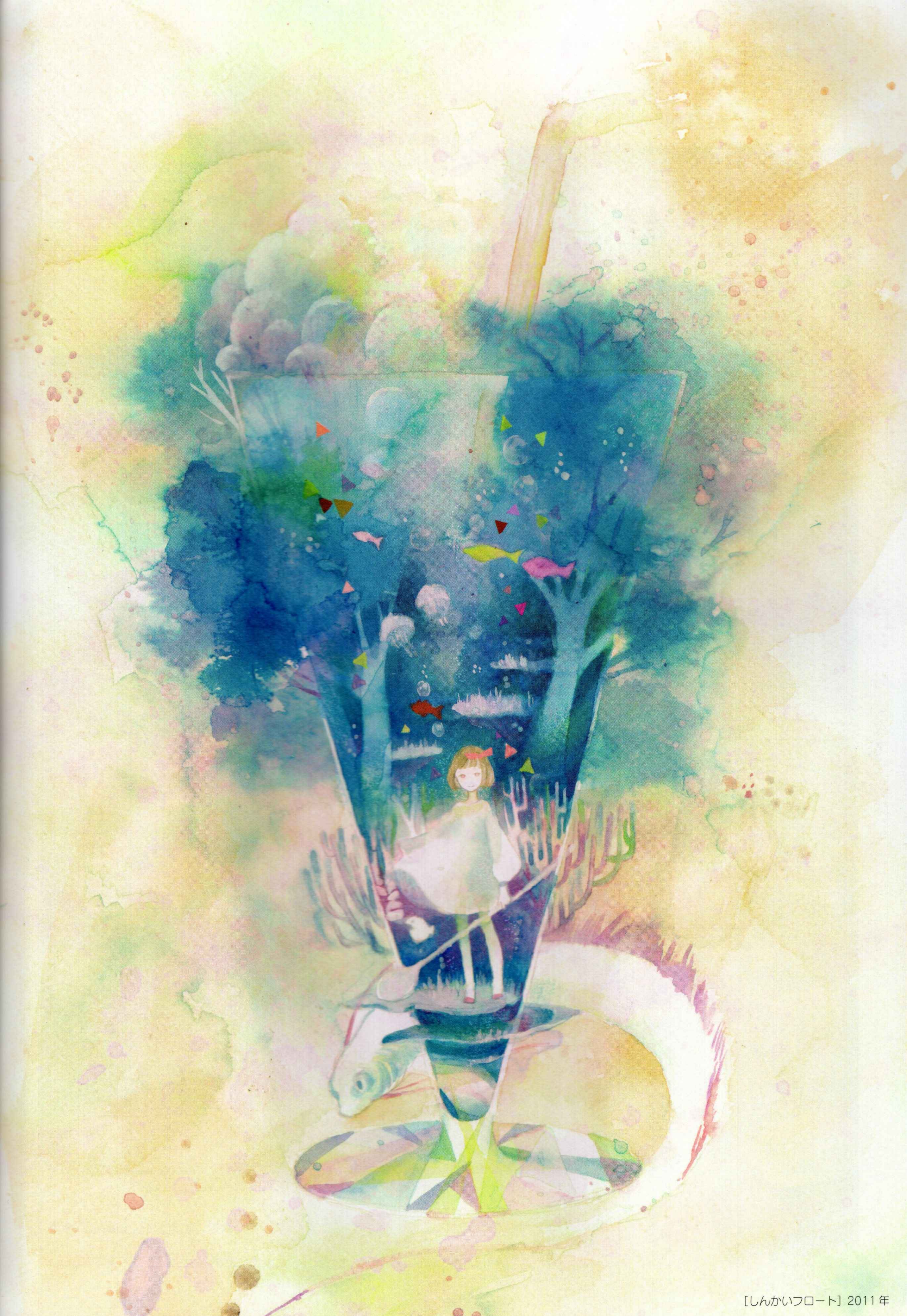
［雨］2014年

[傘の中はひとりの世界] 2014 年

[カルミア] 2011 年

[巡り巡る] 2013 年

[ふるふる] 2014 年



［しんかいフロート］2011 年

The Making of にび

独特の色彩で空間を描き出すにびさんは、ホオズキとキノコの灯りがふわっと広がる絵本のような温かみあるイラストをメイキング。透明水彩のにじみやグラデーションを存分に生かした空間表現を紹介していきます。

画材：ホルベイン透明水彩絵具

用紙：ホワイトワトソン

ラフ

デジタルでざっくりと色をつけたイメージラフ。

にび「秋なので、ホオズキとたくさんのキノコを描き、全体的に光っているようなイメージにしようと考えました」

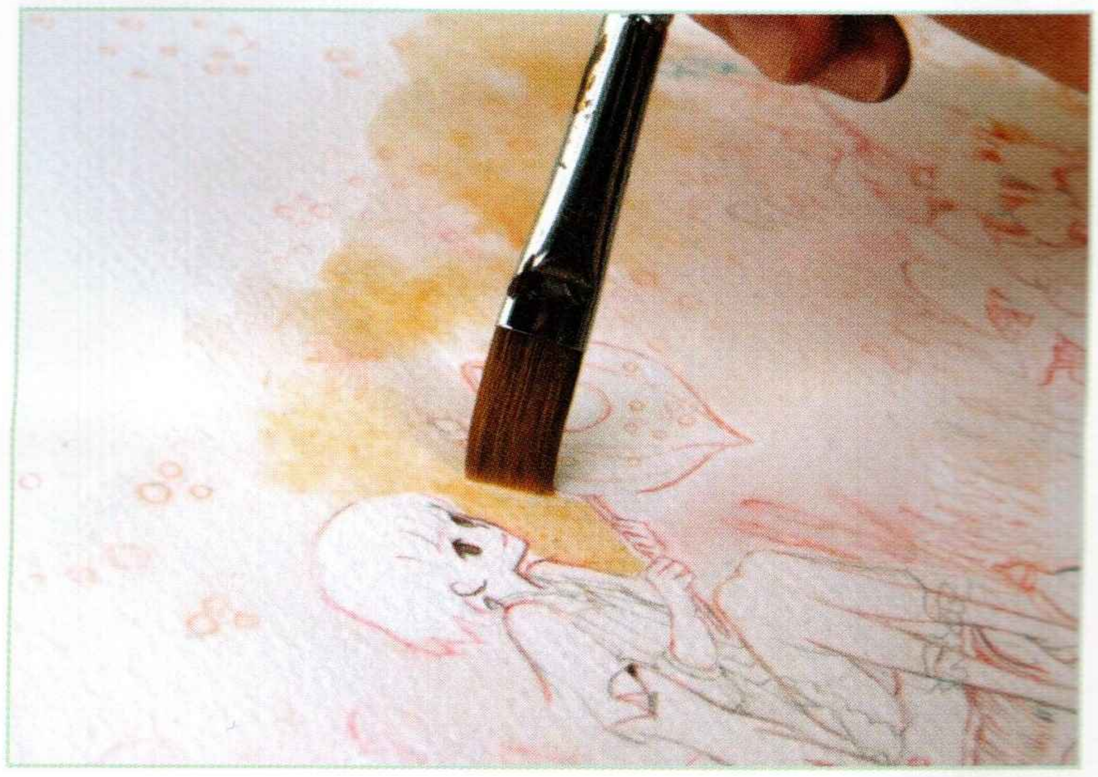
線画

シャープペンで全体を描き、消しゴムをかけて薄くする。そしてそれを部分ごとに消しながらシャープペンのカラー芯（オレンジ）や、水彩色鉛筆（赤、青）で描き直していく。後々、絵具を塗ると溶けて主線がほぼ無くなる。

下塗り

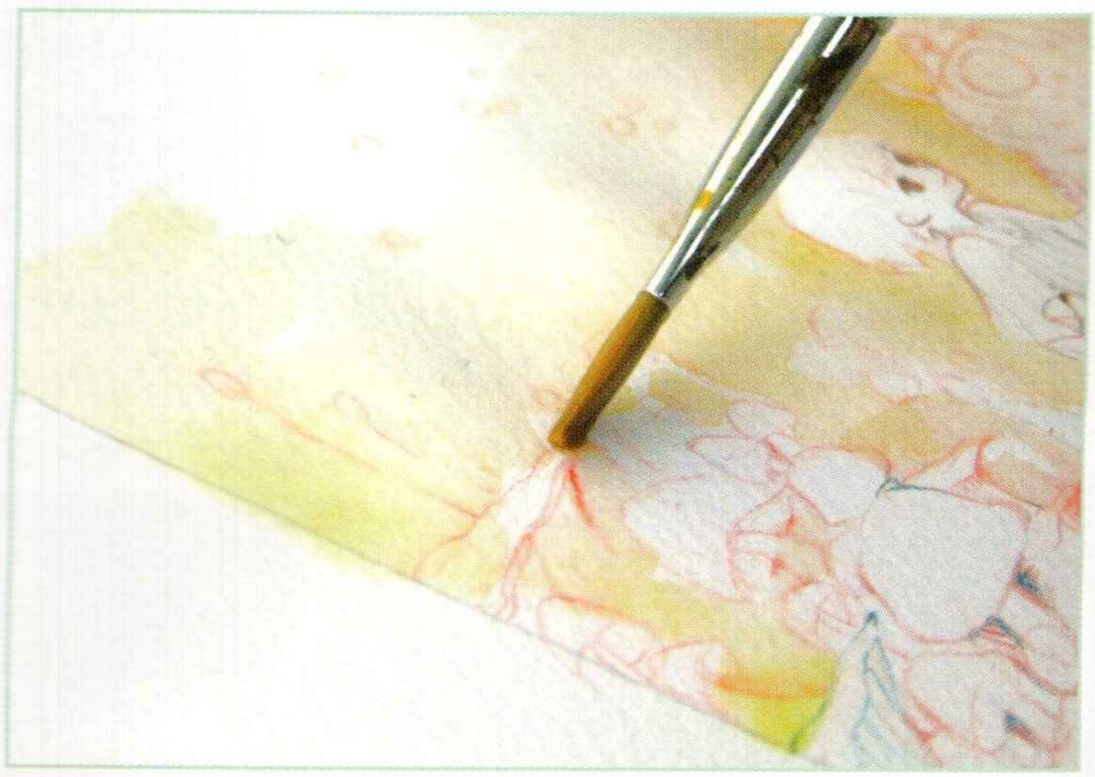
はじめに背景を下塗りしていきます。ホオズキやキノコが光っているイメージで、まわりに黄土色や黄緑色をおいて、人物やキノコは塗り残します。

1



背景部分に水をしき、まず濃く鮮やかな黄色パーマネントイエローディープと、黄土色イエローオーカーを混ぜた色を、背景全体に薄く塗る。

2

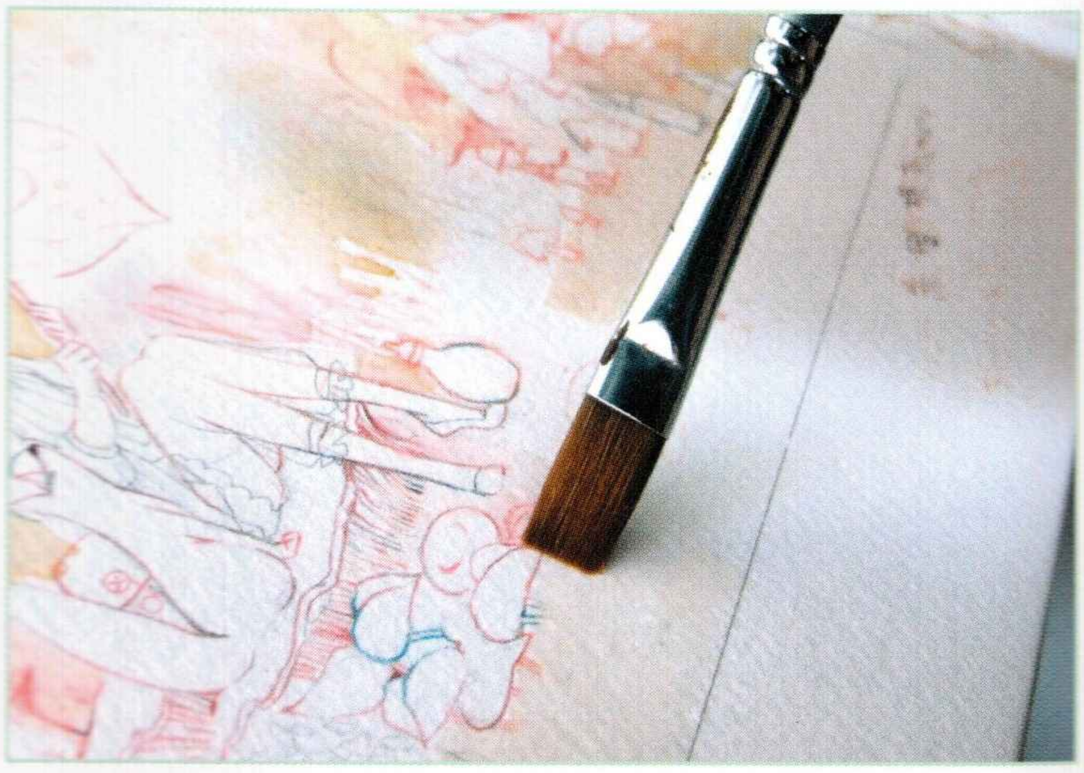


鮮やかな黄緑色リーフグリーンを所々に塗り重ねる。水彩色鉛筆の赤が溶け出して混ざり、オレンジっぽい発色になっている。

3

背景上部にさらにリーフグリーンを薄く塗り、所々にイエローオーカーを水多めでおく。ジワッとにじむのを利用しつつキワを水筆でぼかし、同様に淡い桜色シェルピンクもおいていく。

4

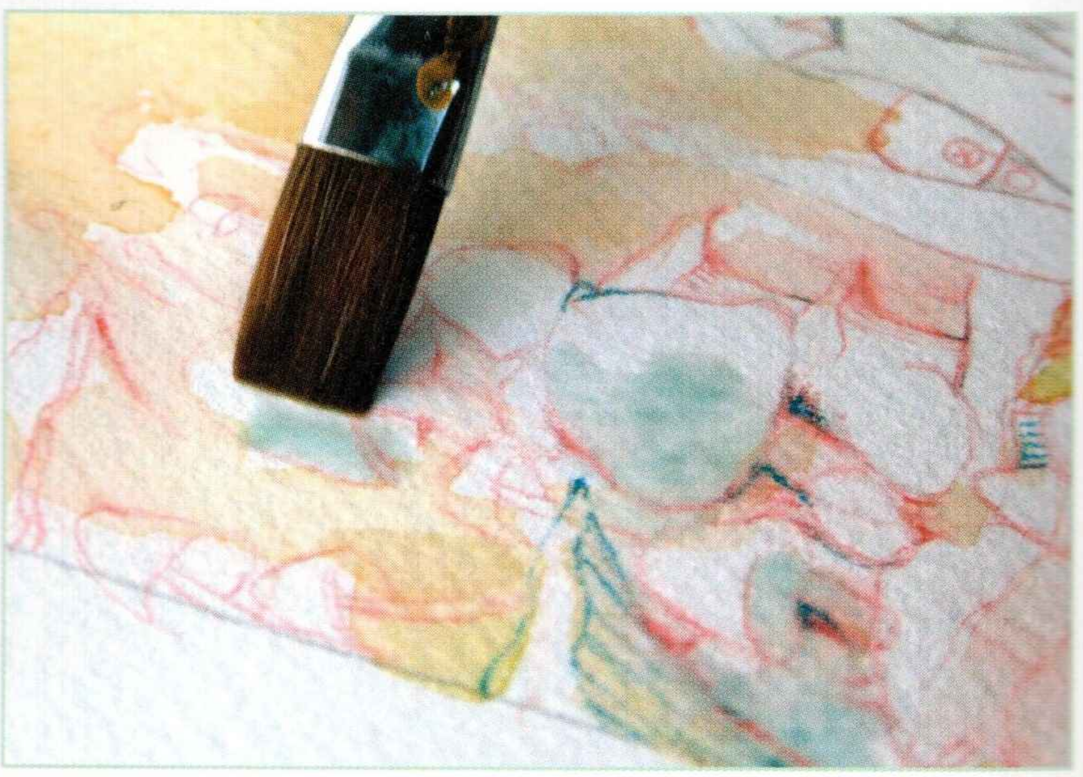


地面の方に肌色ジョーンブリヤン No.2 やリーフグリーンを薄く塗る。

5

背景中程を中心にリーフグリーンを所々塗り重ねていく。水でキワをぼかしながら、周囲に塗り広げるように。

6



鮮やかな青コバルトブルーで、キノコ群のカゲになる所を中心に薄く塗る。

7

地面のカゲになる所にイエローオーカーを塗る。絵具をたっぷりめにおき、水筆でキワをぼかすように塗り広げる。

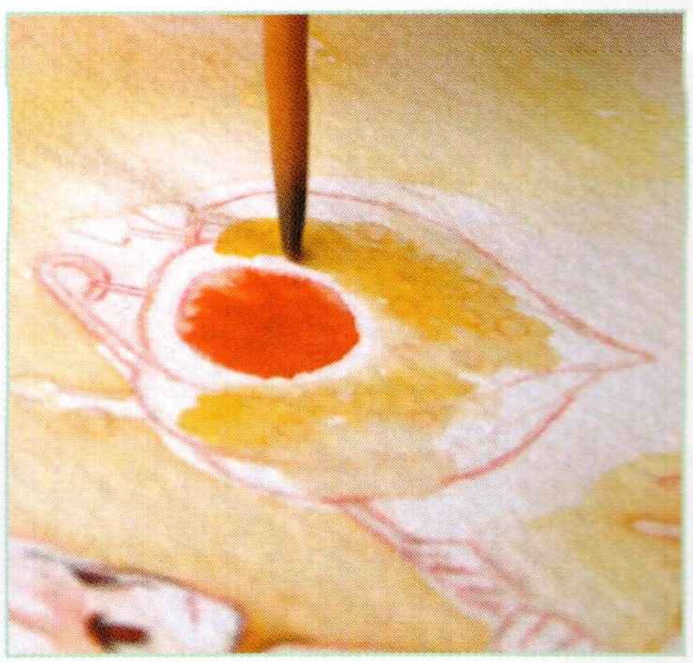
8

下塗り完成
背景や地面に黄緑色や黄色をふわっと広げた。人物やキノコは塗り残している。

ホオズキを塗る

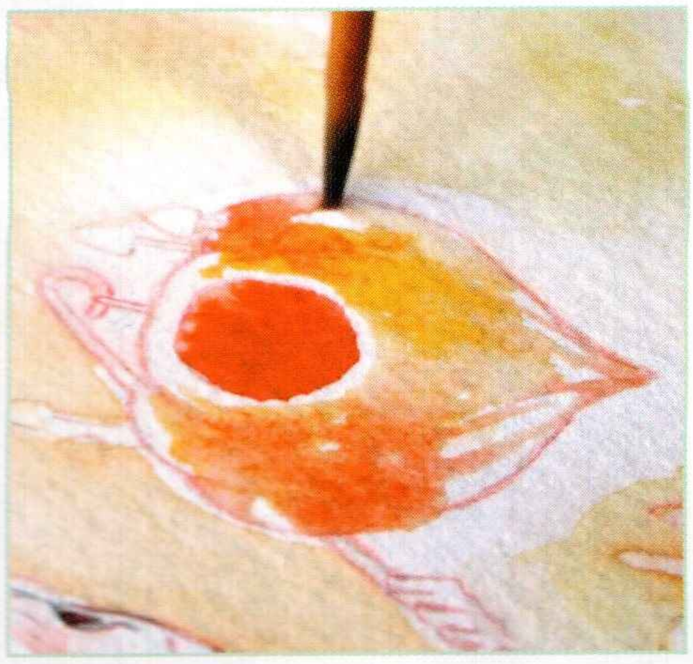
朱色と黄色を水筆でぼかしながら、やわらかい灯りを表現していきます。
真ん中の丸い部分は、まわりに細く白を残します。

1



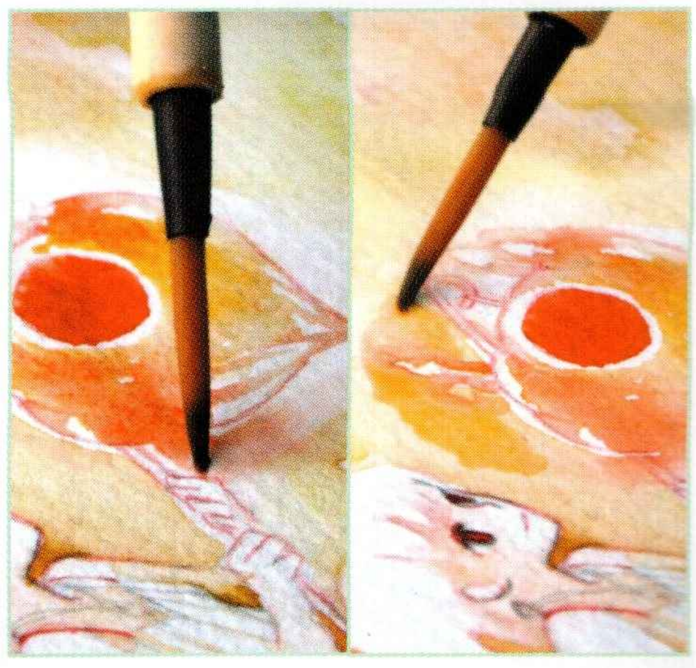
朱色バーミリオンヒューで中の丸い部分を塗り、パーマネントイエローディープで周りを塗る。ベタッと全体を塗り潰すのではなく、水筆でぼかすようにしながらハイライトを残して塗っていく。

2



バーミリオンヒューをその上に重ねていく。水をたっぷり含ませて色をおき、ジワッと周りがにじむのを利用する。そして下部のハイライトの部分に、うっすらとスジを描き込む。

3

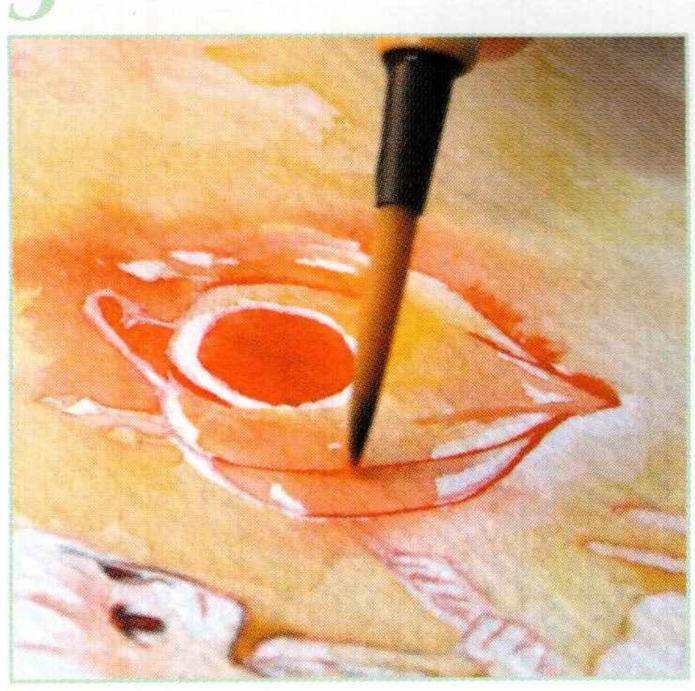


バーミリオンヒューを水で薄めた色で、ホオズキの周りを所々うっすらと縁取るように塗る。そしてパーマネントイエローディープをさらに広い範囲に塗り重ねて、水でぼかす。

4

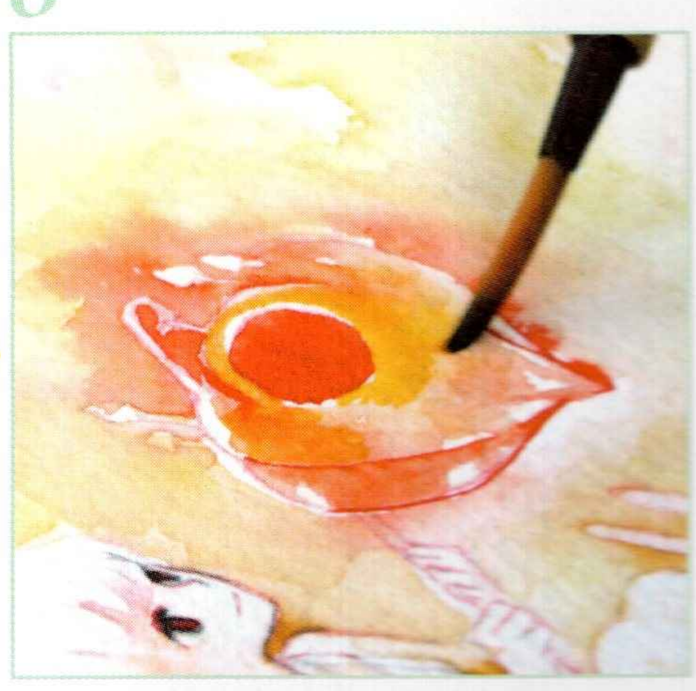
その上から、またバーミリオンヒューを部分的に塗り重ね、水でぼかすように広げる。ホオズキの提灯に、ぼんやりと灯りがともっている様子が表現された。

5



バーミリオンヒューで、くっきりとホオズキのスジと輪郭の一部を描く。絵具はたっぷりめ。そして、描いた線を水筆でなぞるようにして、ジワリとにじませる。

6

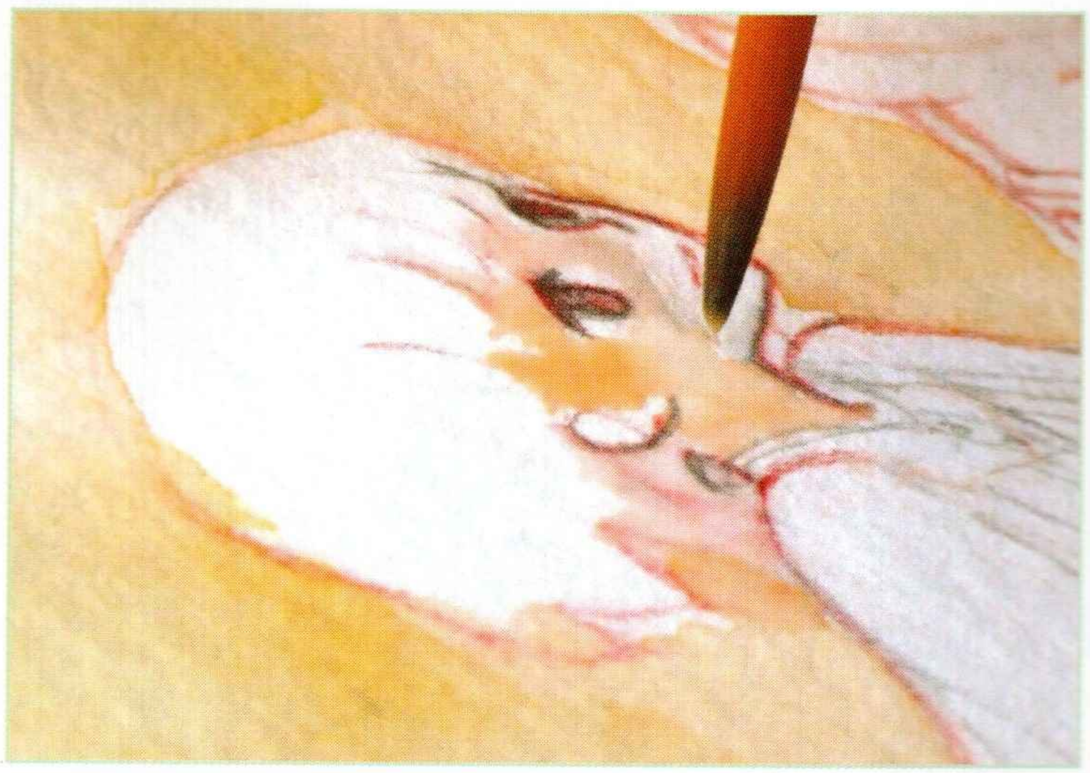


パーマネントイエローディープで、朱色の丸の周りをぐるっと囲うように塗る。そして、水筆でぼかしながら、周りとなじませるように色をのばしていく。

人物を塗る

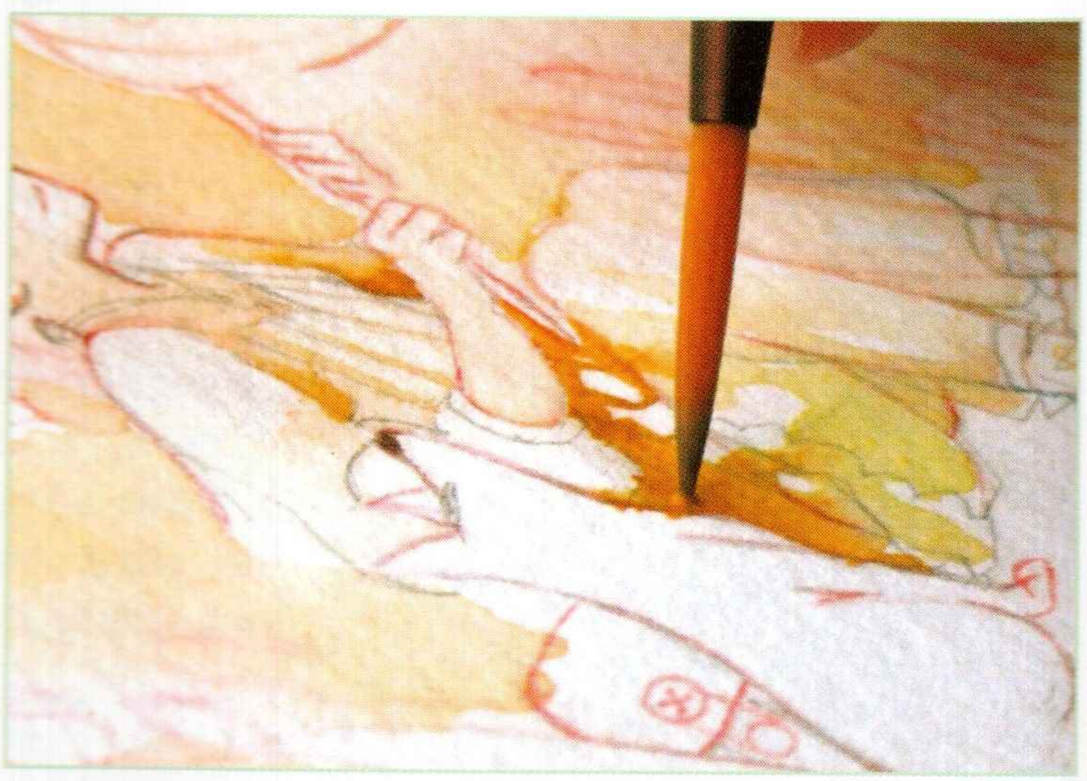
人物は白のまま残すイメージなので、塗り込まずに
まわりを黄土色で塗ってシルエットを浮き立たせます。

1



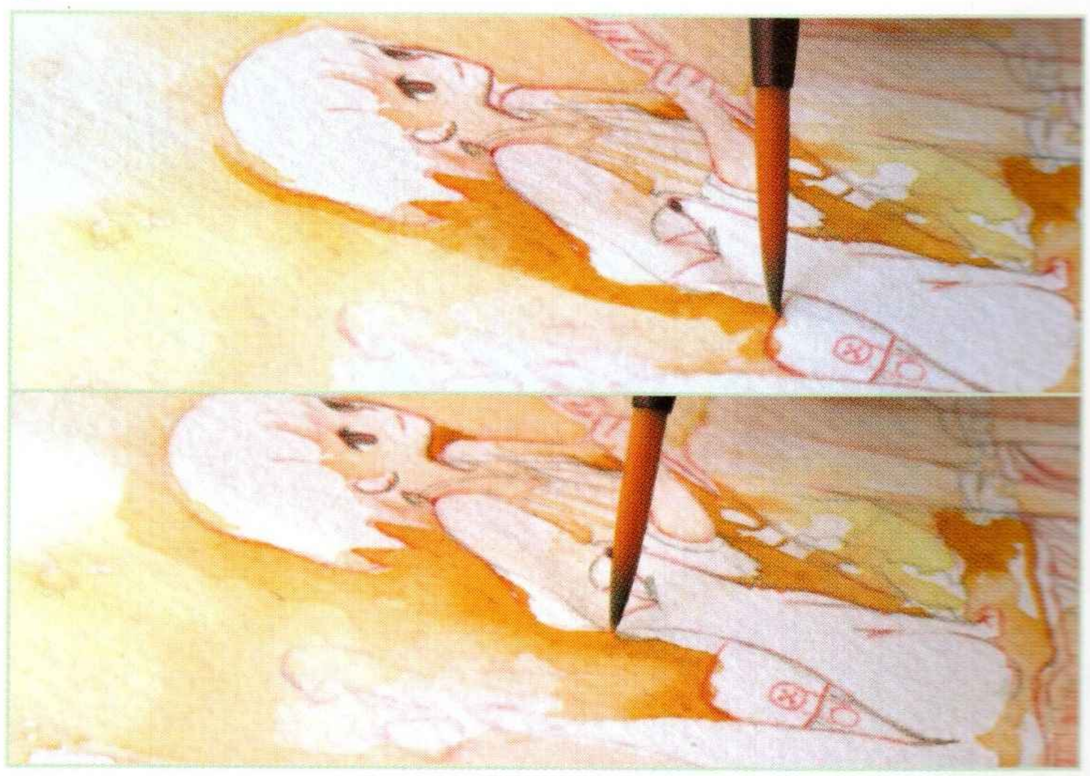
肌色ジョーンブリヤン No.2 を肌のカゲになる所におき、水筆で薄めるように塗り広げる。

2



パンツはリーフグリーン、ブラウスはイエローオーカーでそれぞれ塗る。全体に色を塗り広げるのではなく、カゲになる部分のみに色をつける。

3

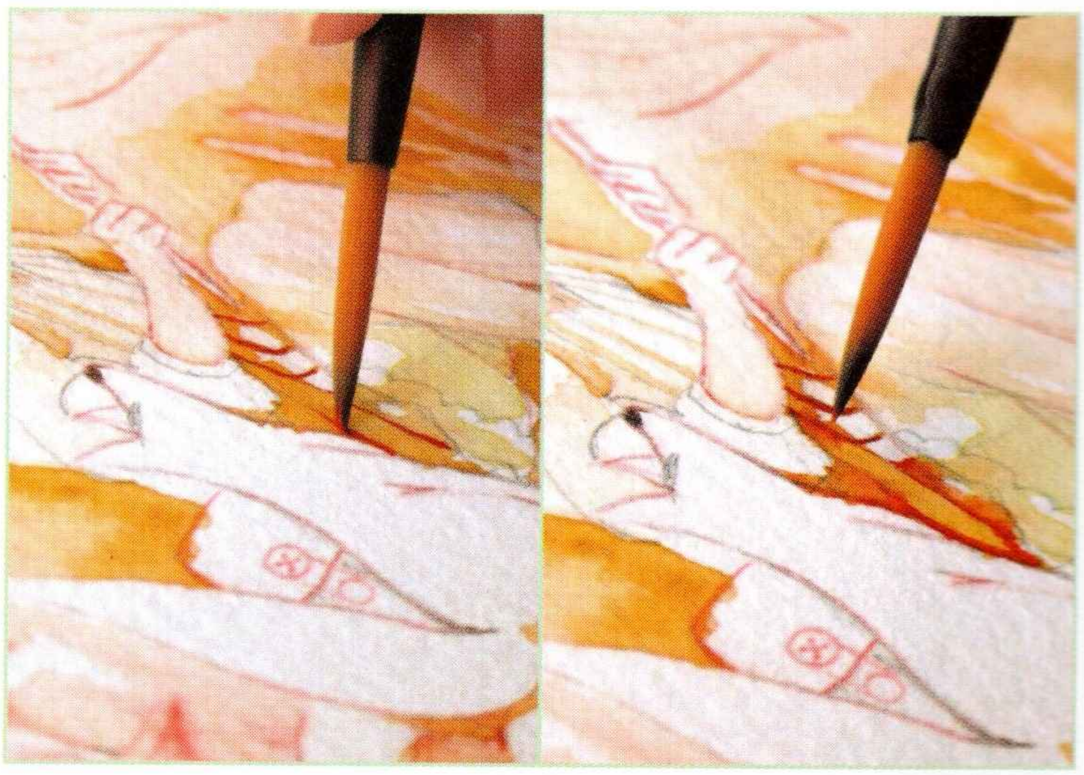


イエローオーカーを人物の左側にワクを描くように塗り、水でぼかす。人物の大部分は、ほぼ白抜きのような状態になるので、しっかり形を浮き立たせる。

4

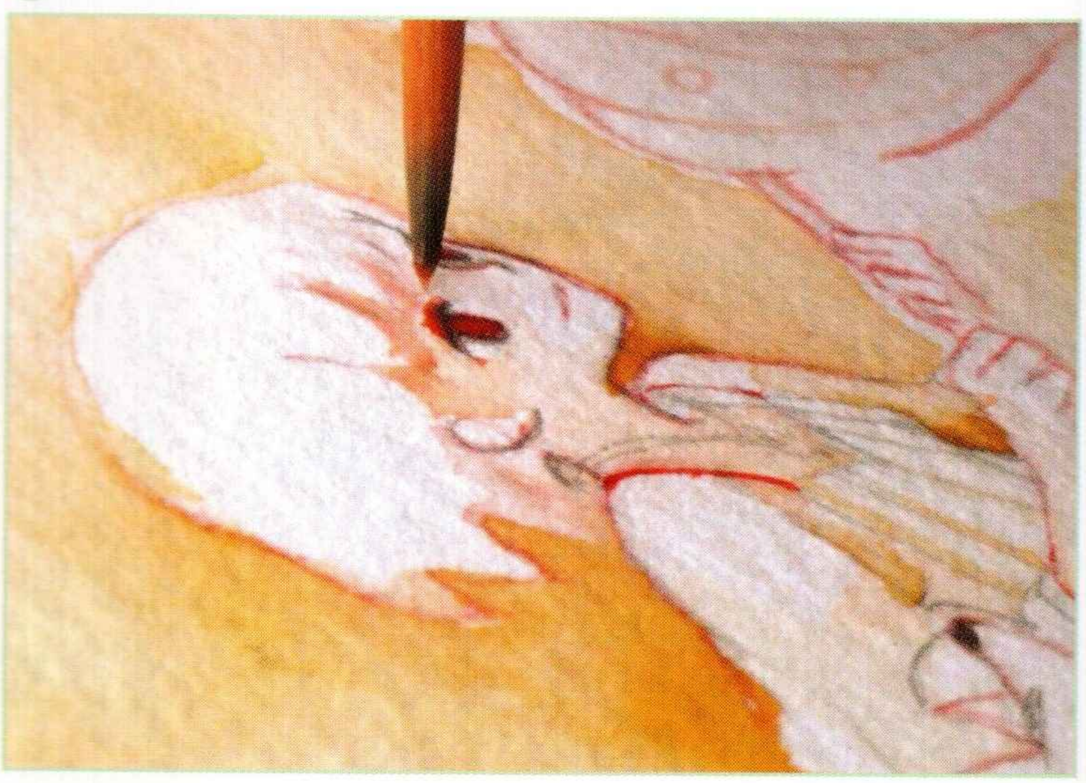
人物周辺に生えている植物も、3と同様にまわりを塗っていく。縁取るように塗って、水でぼかす、の繰り返し。細い筆で丁寧に塗っていく。

5



鮮やかな赤パーマネントレッドで、ブラウスのカゲになる部分のシワをまずくっきりと描く。そして、水筆でその色をのばすように塗り広げる。

6

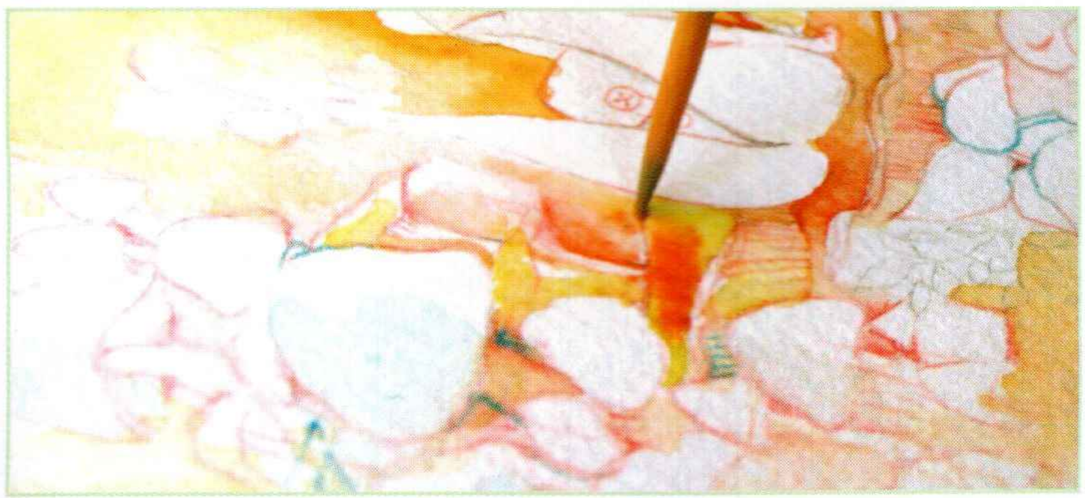


パーマネントレッドで目を塗る。そして水でごく薄めた淡い桜色シェルピンクで、顔上部のカゲを塗り重ね、水でぼかす。

キノコを塗る

キノコも周りに濃い朱色を塗ってシルエットをはっきりさせます。
その後に、カサに青緑や黄色をのせていきます。

1

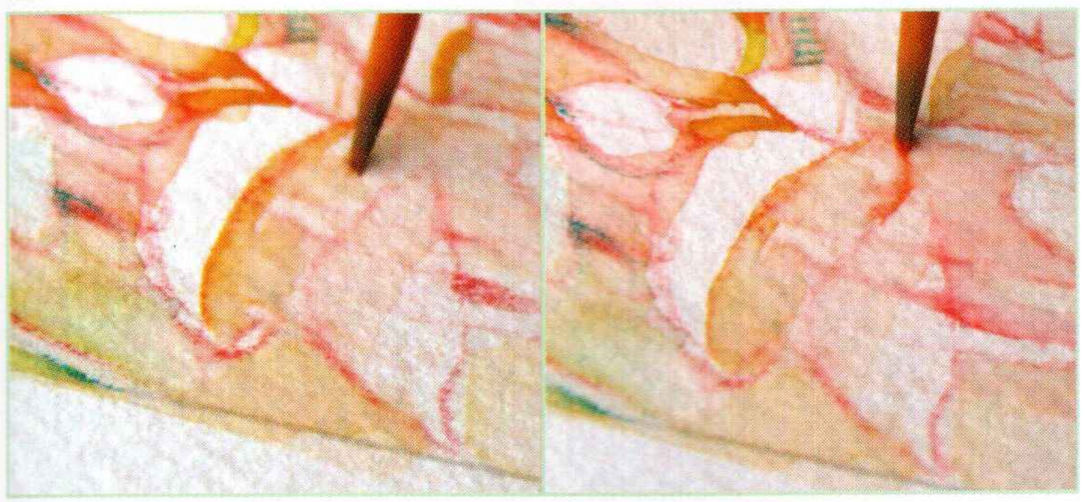


黄緑色リーフグリーンを一部のキノコ（人物の近辺）に塗り、上から朱色バーミリオンヒューを所々重ねて水でぼかす。

2

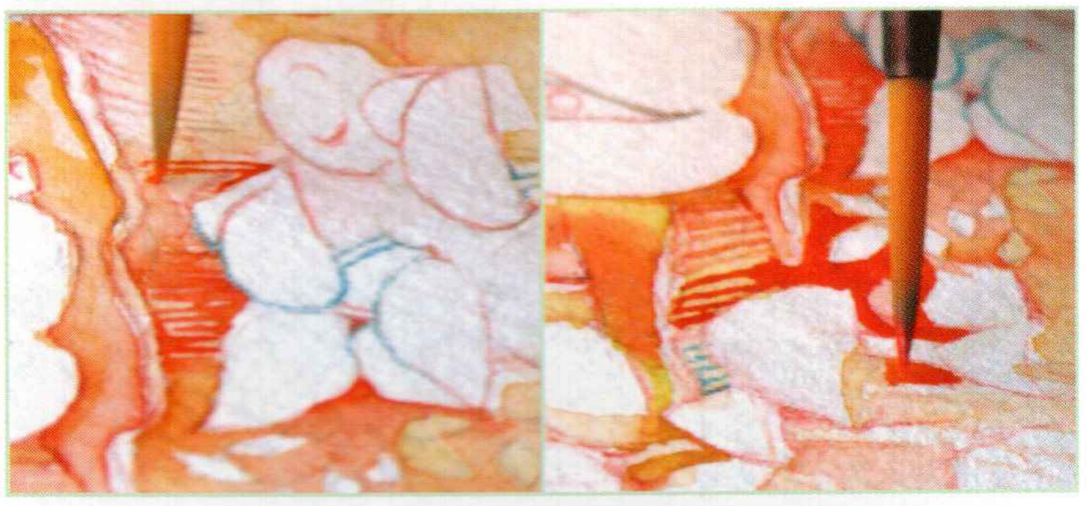
画面左端の方のキノコにリーフグリーンを塗っていく。

3



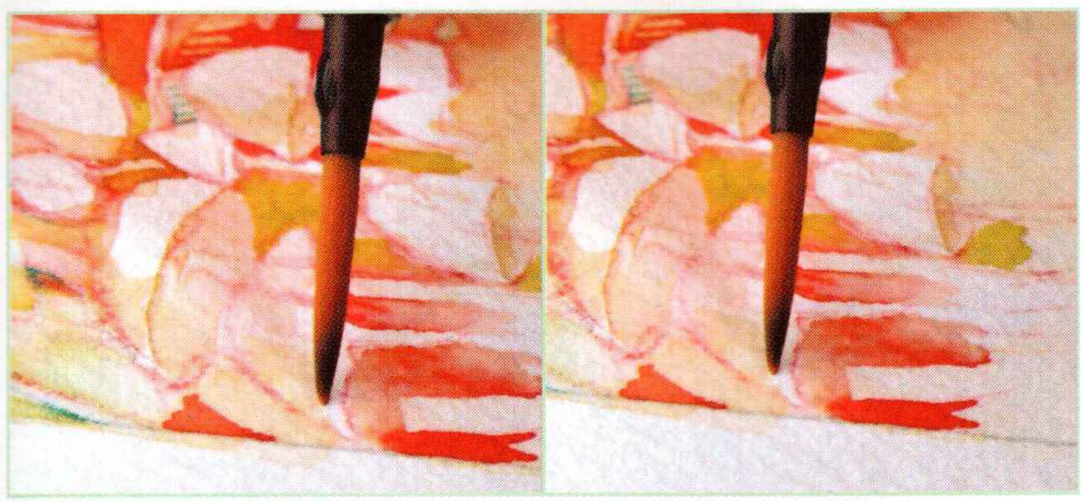
黄土色イエローオーカーで傘の内側をうっすらと塗る。そして、水でごく薄めたバーミリオンヒューで、下の方のキノコの主線をなぞりつつ、間を塗る。水彩色鉛筆で描いた主線が溶け出し、赤みが足された。

4



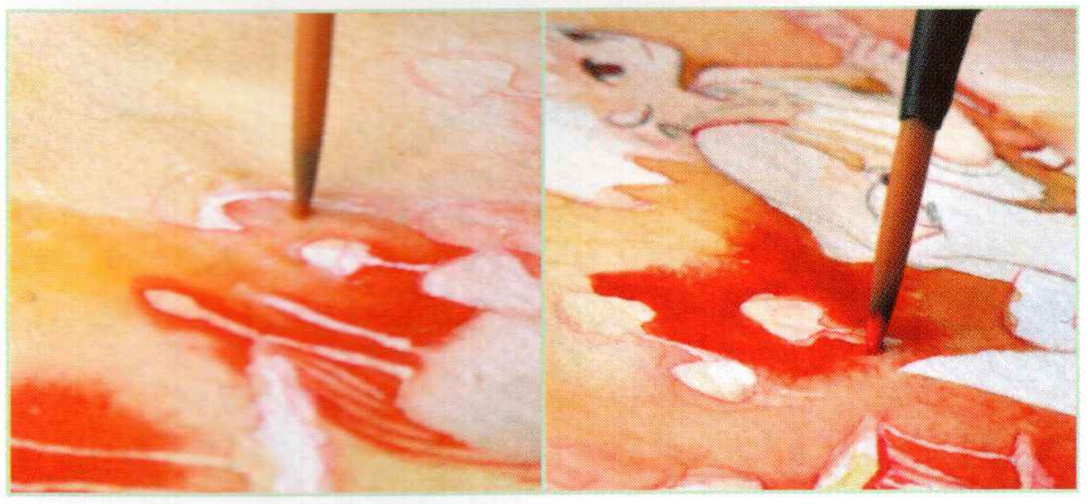
バーミリオンヒューで人物が座っている大きなキノコのヒダを細い線で描く。そして、そのまま同じ色で下の方のキノコのまわりを塗っていく。絵具たっぷりめで、キノコ同士の間を埋めるように。

5



差し色として、部分的にリーフグリーンを間に塗り、キノコの傘のカゲ部分にもうっすらと重ねる。そして再び、バーミリオンヒューでキノコ同士の間を埋めるように塗っていく。ヒダのある大きなキノコのカゲも塗る。

6



上の方のキノコも、周りをバーミリオンヒューで塗る。そして、水で薄めたパーマネントイエローディープを、赤色のキワをぼかすように重ねて背景となじませる。人物近くのキノコも、同様に塗っていく。

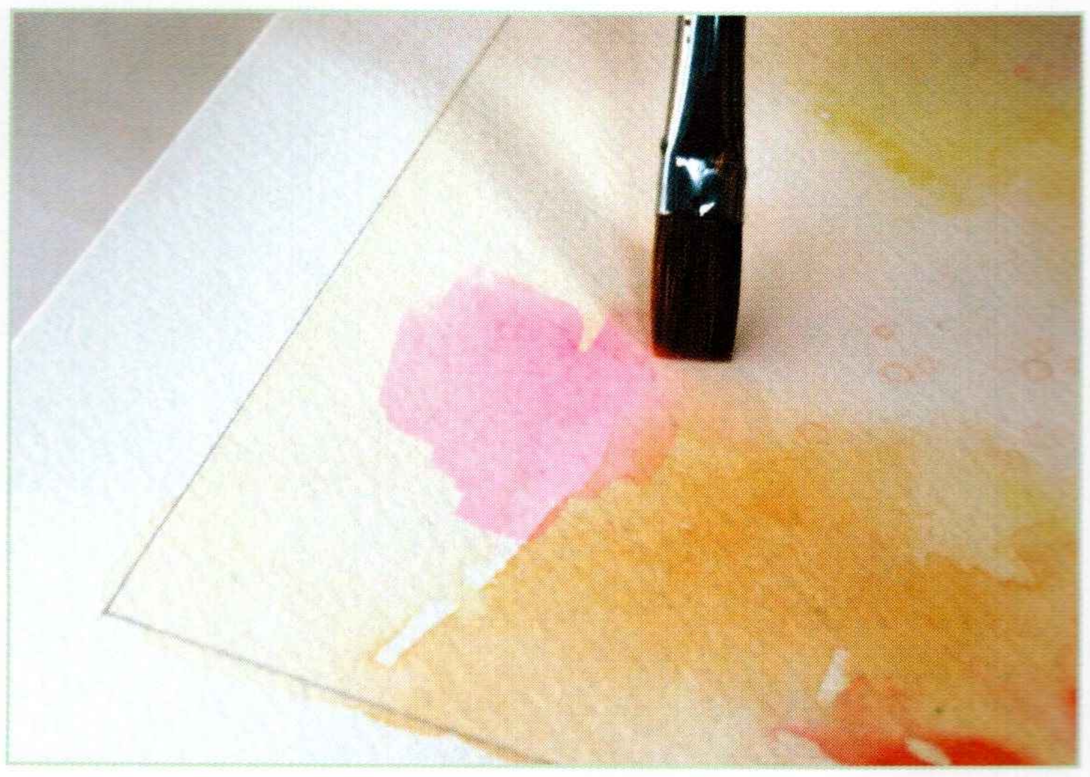
7

緑がかった青コバルトグリーンを大きなキノコのカサに塗り、小さなキノコはパーマネントイエローディープで塗る。ハイライトは残して色をおく。緑がかった青のキノコに、少しパーマネントイエローディープを塗った。

背景を塗る

背景のベースを塗った上に、小さな丸い光を描いていきます。
ふわっとにじませて幻想的なムードに。

1

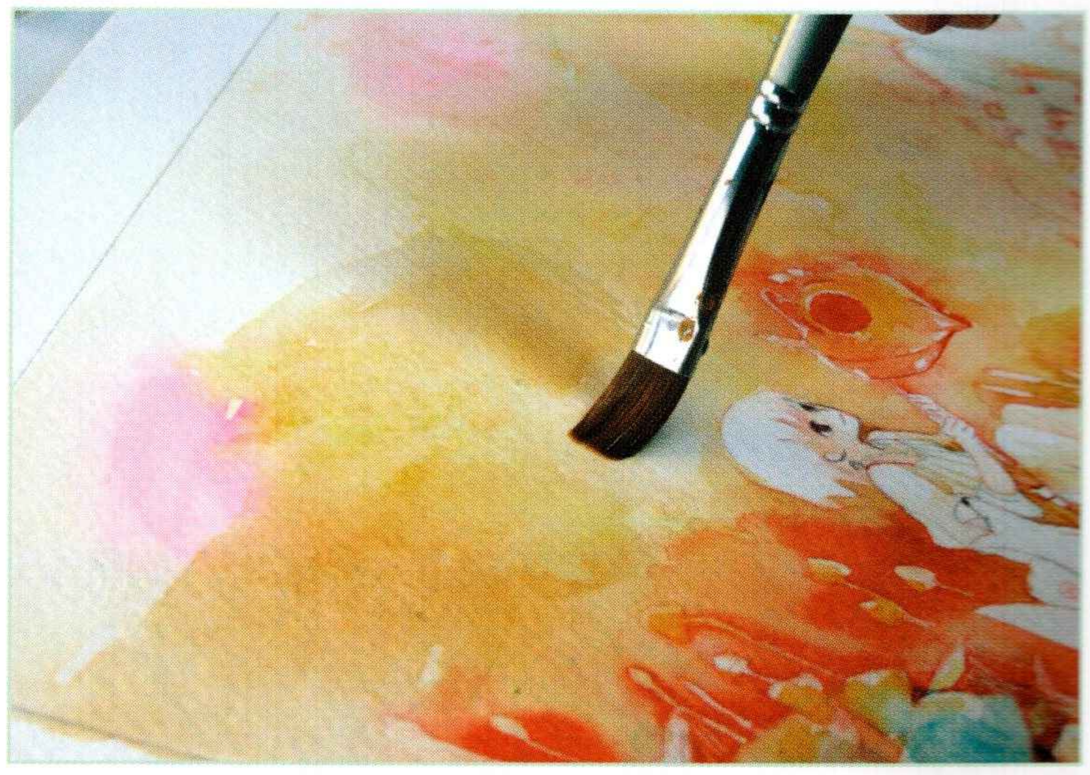


紫みを帯びた鮮やかなピンクのオペラを水で薄めて、背景上部の数カ所にざっくりとおく。

2

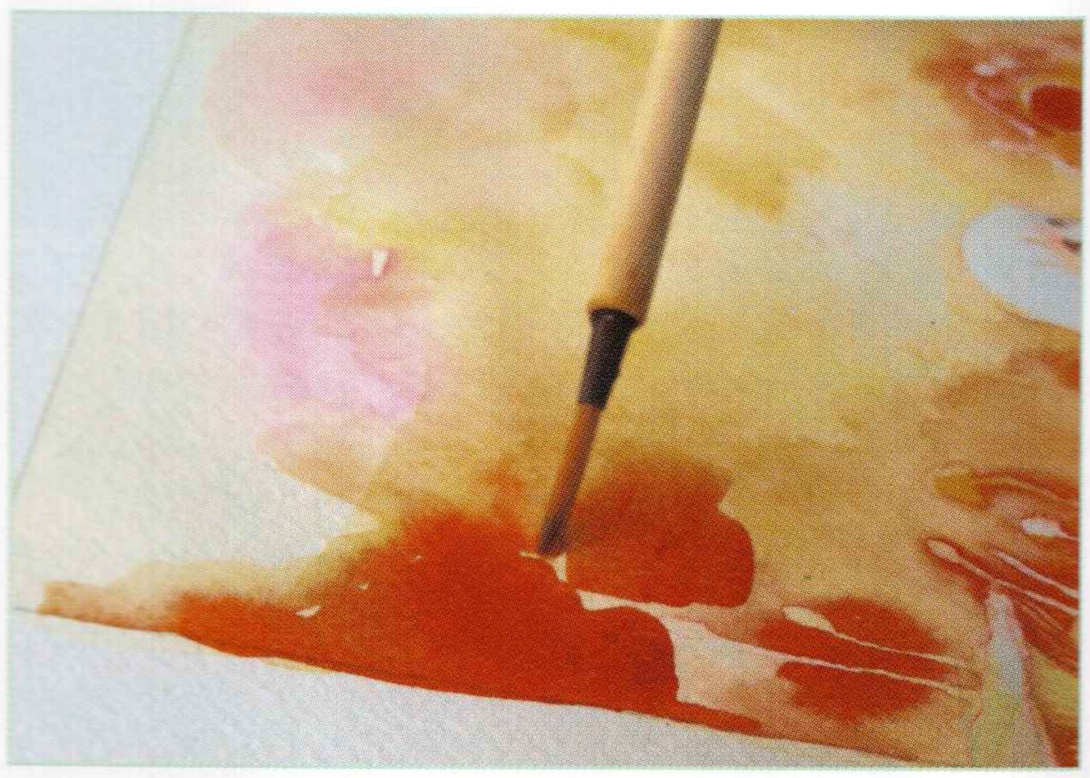
色をおいた部分を丸で囲うように水筆でなぞり、ぼかす。

3



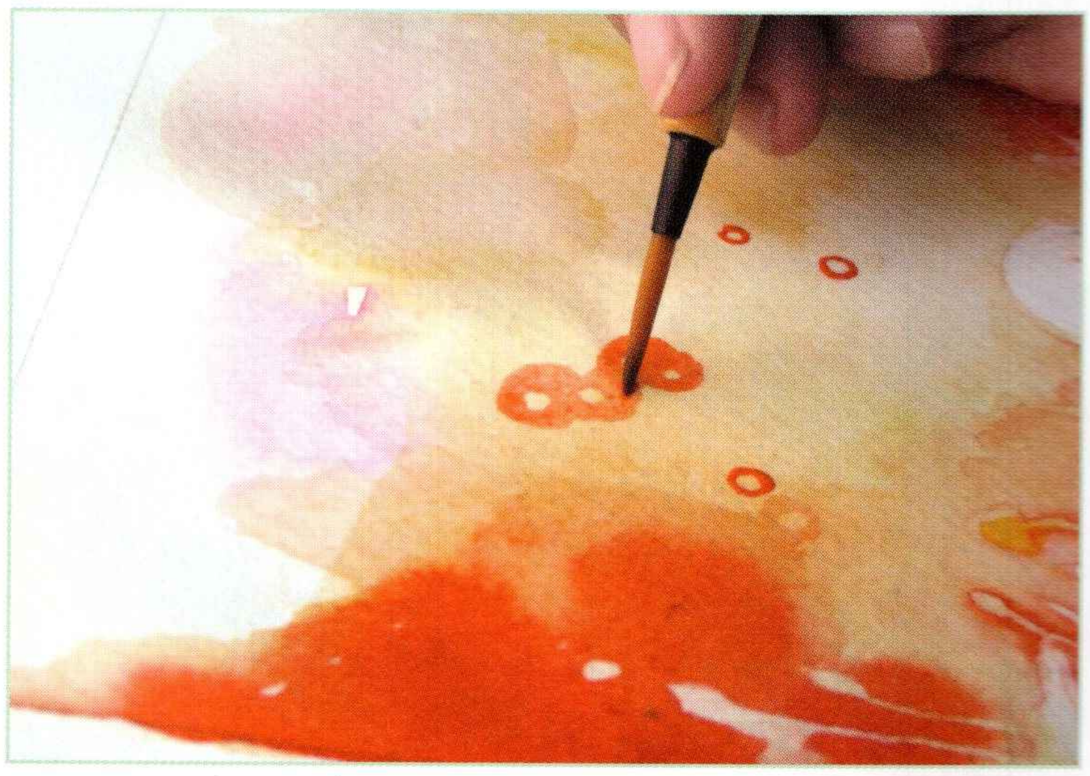
リーフグリーンやイエローオーカーを水で薄めた色も、背景上部においていく。水でぼかしながら、白く残っている部分を埋めるように塗る。

4



バーミリオンヒューを画面左の方にざっくりと塗る。そして、キワを水で薄めたパーマネントイエローディープでぼかして、なじませる。

5

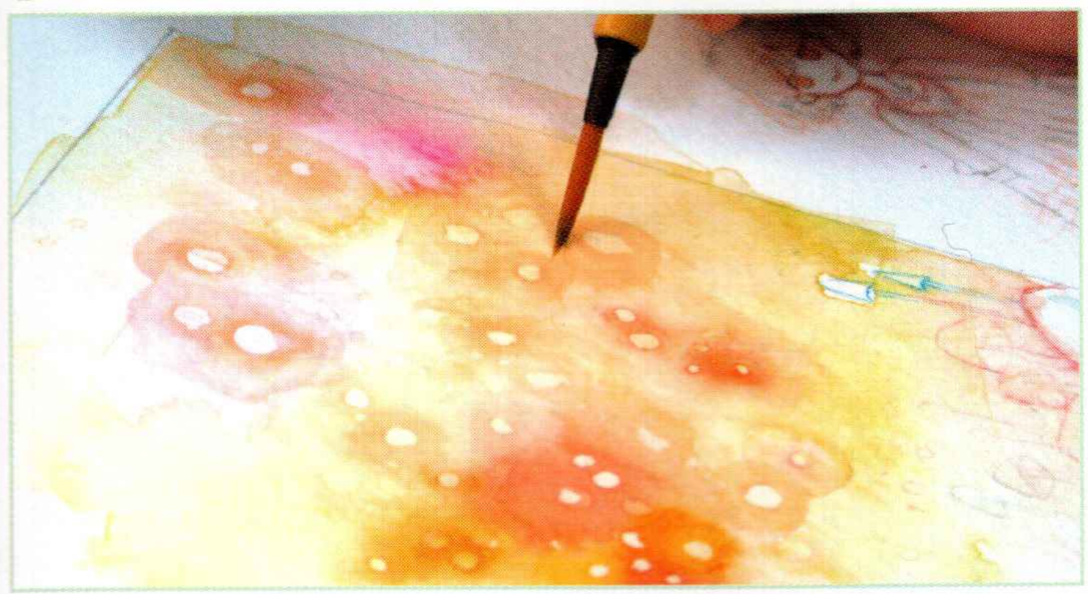


バーミリオンヒューで小さな丸を何個も描く。大きさをランダムに変えながら。

6

丸の周りを、水で薄めたパーマネントイエローディープでぼかす。同様にして、数カ所に小さな丸の固まりを描いていく。

7



5、6と同様に、イエローオーカーとパーマネントイエローディープでも小さな丸の模様を描いてぼかす工程を繰り返していく。画面全体のバランスを見ながら。

8

3のときと同様に、画面右端や人物近くにバーミリオンヒューをざっくりと塗り、水で薄めたパーマネントイエローディープやリーフグリーンでぼかして馴染ませる。

9

背景を塗り進めた状態
空間を漂うような赤のにじみが印象的。キノコの輪郭を浮かび上がらせている赤のにじみも効いている。ホオズキはふわっと光っているイメージなので、周りを黄色や黄緑色で明るくしておく。

仕上げ

色鉛筆

背景をさらに塗り進めて上部を茶色系に仕上げたら、水彩色鉛筆で描き足しを行なう。背景上部に、茶色の色鉛筆を塗り重ね、小さな丸を描き足した。また、人物やキノコの主線を描き起こし、模様や力ゲなども加える。

デジタル

次に、Photoshopで仕上げ。人物の頭部分の形を整え、目を赤でくっきりと塗る。そして、人物付近の草の形も同様に整えてくっきりとさせるなど、白い部分の形を整えていく。

完成！

キラキラとした光が感じられる、幻想的なイラストが完成。水彩で全体を塗り終わった後に、水彩色鉛筆でキノコなどのディテールを描き加えた事で、一気にメリハリのある画面になりました。また全体の塗り方については、にびさん曰く「薄い色を繰り返し重ねる」という事が大事なのだそう。それによって綺麗なにじみやグラデーションが実現されるようです。

Q&A

Q1　透明水彩を使うようになったキッカケを教えてください。

イラストを描き始めた頃はコピックで塗っていたのですが、高校２年生くらいの時に携帯サイトで水彩イラストを見て、書店でたまたま手に取ったいわさきちひろさんの画集と永山裕子さんの透明水彩技法書を見たことがきっかけだったと思います。

Q2　透明水彩の好きなところを教えてください。

自分が描きたい絵に合っているからでしょうか。デジタルで描く事もあるんですが、水彩ブラシを作ったり、テクスチャを作ったりどうしても水彩風にしたくなります。まだまだ使いこなせていないので偶然できた滲みだとか、思いがけない色合いができたり使うたびに新しい発見があって楽しいです。

Q3　好きな色を教えてください。

・サップグリーン、ピーコックブルー、マンガニーズブルーノーバ、バーミリオン、コバルトグリーン（ホルベイン）
・コバルトブルーディープ、キナクリドンゴールド（W & N）
・トランスルーセントオレンジ、モーブ（シュミンケ）
黒はセピア、インジゴ（ホルベイン）を混色したものをよく使います。

Q4　描くのが好きなモチーフを教えてください。

最近よく描くのは植物（木）、電球、雨から連想したもの（傘）でしょうか…。あと果実の断面をイメージしたものだとか、きらきらしているものだとか。

Q5　透明水彩を使い始めた時に難しいと感じたことや困ったことは？

今でも難しいなと思う事が沢山あるんですが、使いはじめは滲ませたらそれっぽくなるかなという考えだったので、綺麗に滲みが作れなくてカビ？汚れのようになってしまう…。あと混色と色の組み合せも苦手でした。

Q6　難しいと感じたことや困ったことを改善するために、気づいたことや工夫したことがあれば教えてください。

滲みは今でも上手くないのですが、水分量、タイミング、紙の相性を覚えるしかないかなと。色の組み合せは色数を増やしたらごちゃごちゃしてどれがどんな色なのか分からなくなり絵具の色見本帳をつくりました。好きな組み合せやグラデーションにした時の感じなどメモしていたら段々とよく使う色が絞れてきました。

Q7　一枚の絵を仕上げるために、かかる時間を教えてください。

・アイディア（１時間～１週間）描きたいものが決まっている時は単語を書き出したり何個かラフを描いたりするんですが、大体一番最初に浮かんだもので描き進めて行きます。
・ラフ＋色見本（１～３時間）…アナログで描いたラフをスキャンして（または最初からデジタル）完成イメージに近くなるようにデジタルで作業。ここで細かくやっておくと本番の紙に線画をトレース、着色する時に迷わないで済むので、気が済むまで弄ります。
・線画（１時間）色見本を印刷して水彩紙にトレース+マスキング
・着彩（３時間～３日）サイズや画面の密度にもよりますが、塗るのが遅いのでA4なら３～６時間くらい、B4なら10時間くらいかかっている気がします。
あまり集中力が続かないので、時間をおいてから見るとおかしい部分が見えたりするので、集中力が切れたらとりあえず写真を撮って眺めてみたり。１日でラフ～完成は滅多にないです。

Q8　絵を描く上で、資料・参考にするものはありますか？

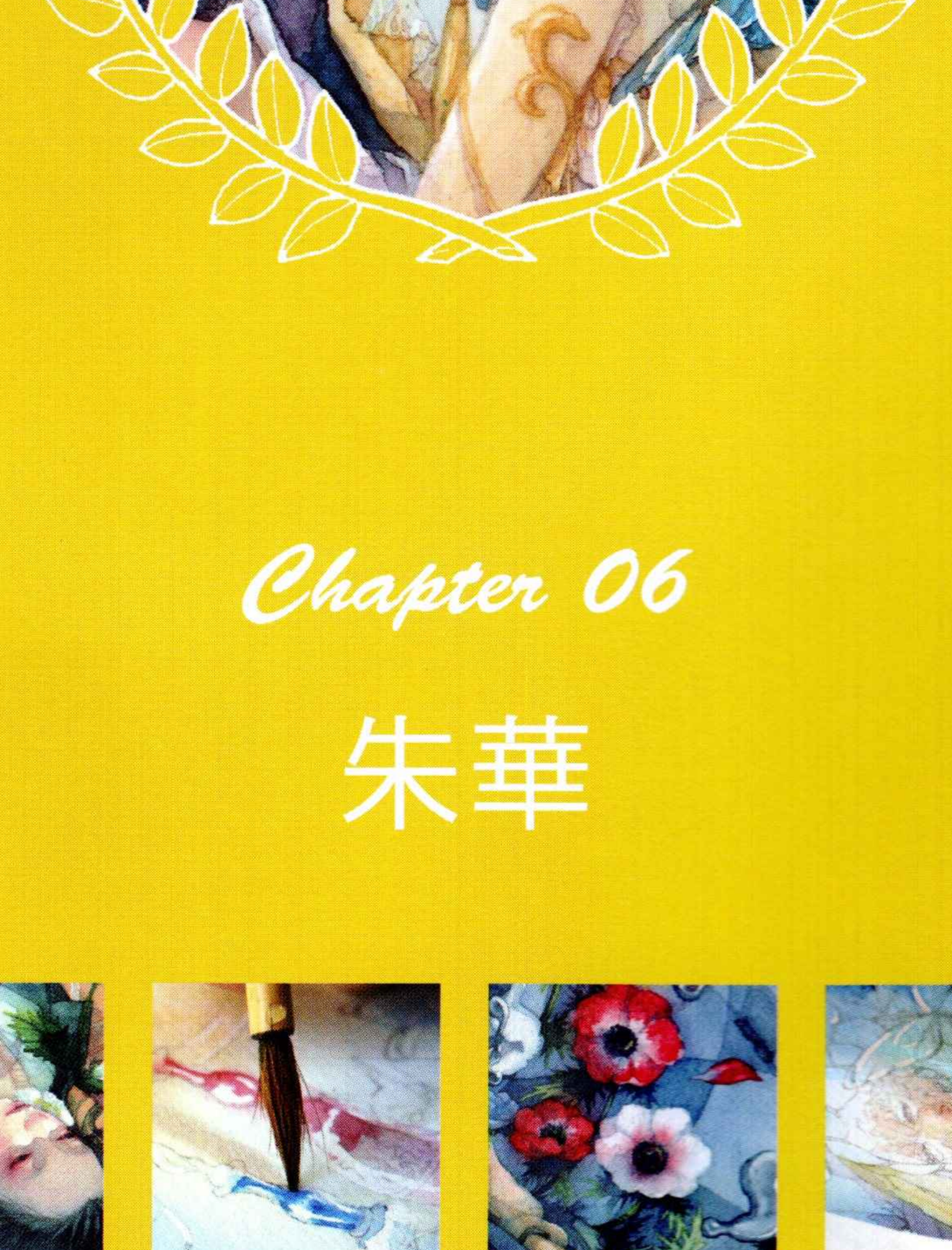
好きな作家さんの作品集、図鑑、写真集、近場で写真撮ったり。どんな雰囲気にしようかな？という時に参考にしてます。手元にないものはネットで画像検索する事が多いです。

Q9　透明水彩を塗る際の紙の選び方で、どんなことを重視していますか？

重ね塗りが多く、マスキング液をよく使うので、剥がす時に毛羽立たない強い表面で水をたっぷり吸い込んでくれる厚みのある紙。紙の色は白い方が好きです。一番使うのがウォーターフォードホワイト中目でグラデーションが綺麗にできるのでずっと愛用してます。この紙のお陰で水彩がさらに好きになりました。その他だと、さらっと塗りたい時、柔らかい雰囲気にしたい時はホワイトワトソン、ハーネミューレ。使いこなせていないけれどキレイな滲みが作りたい時はアルシュを使用しています。

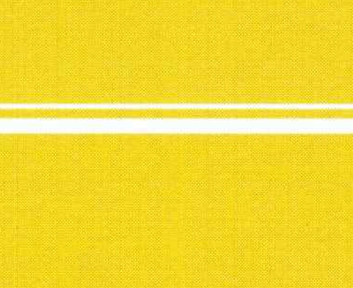
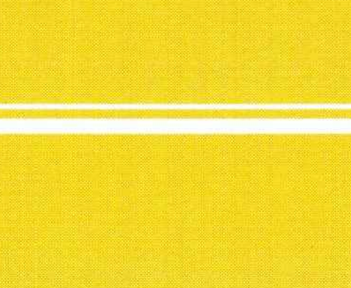
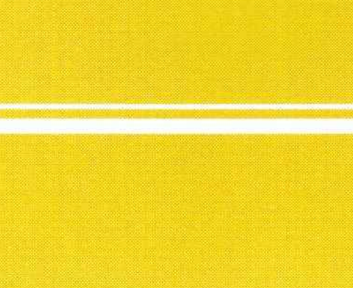
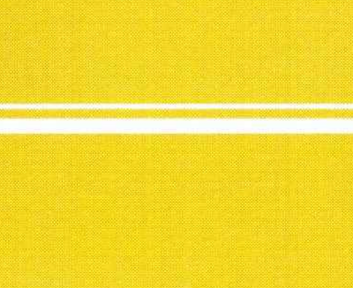
Q10　にびさんのイラストは、にじみで塗られた幻想的な背景がとても印象的です。背景のような広いスペースに、複数の色を混ぜながらにじみを作るときのポイントをお聞きしたいです。

広範囲に塗る時は大きいサイズの筆だとあまりムラにならずに塗れますし、私の場合は何度も重ね塗りをするので、乾いた絵具が動かない紙だとやりやすいです。下地に３～４色→広範囲に塗る色（青、黒、等）→ぼかしの繰り返しです。



Chapter 06

朱華

Profile

朱華（しゅか）／広島県出身

pixiv ID = 34865　　Twitter = taupesyuka

「Taupe」http://taupesyuka.sakura.ne.jp/

主な活動……「SS25 号」透明水彩メイキング／「季刊S 33 号」スパークル扉イラスト／『水彩画を描くきほん 人物からキャラクターイラストまで』水彩メイキング掲載（ホビージャパン）／笑四季酒造「モンスーン山田錦特別篇」ラベルイラスト／水彩原画を展示する企画展などにも多数参加。

深みのある色彩で描かれる幻想的な世界と有機的な動植物、そしてリアルな人物描写を融合させた、オリジナリティ溢れる画面構成が特徴的。立体感を作る繊細な塗り込みや、にじみを使った空間の演出を得意とする。蝶や花、ろうそくの灯りなどを配した夢の中のような情景が美しい。

上図［ベール］2014 年／右ページ［夢遊］2010 年

上段［まどろみ］2011 年 ／下段［眩惑］2013 年 ／ 右ページ［紅い華］2013 年

The Making of 朱華

水彩ならではのにじみやグラデーションを生かした深い色みで幻想的な世界を描く朱華さん。ここでは、下塗りの段階から順を追って、リアルな人物の描写や、瓶、蝶のモチーフなどが描かれていく工程を紹介します。

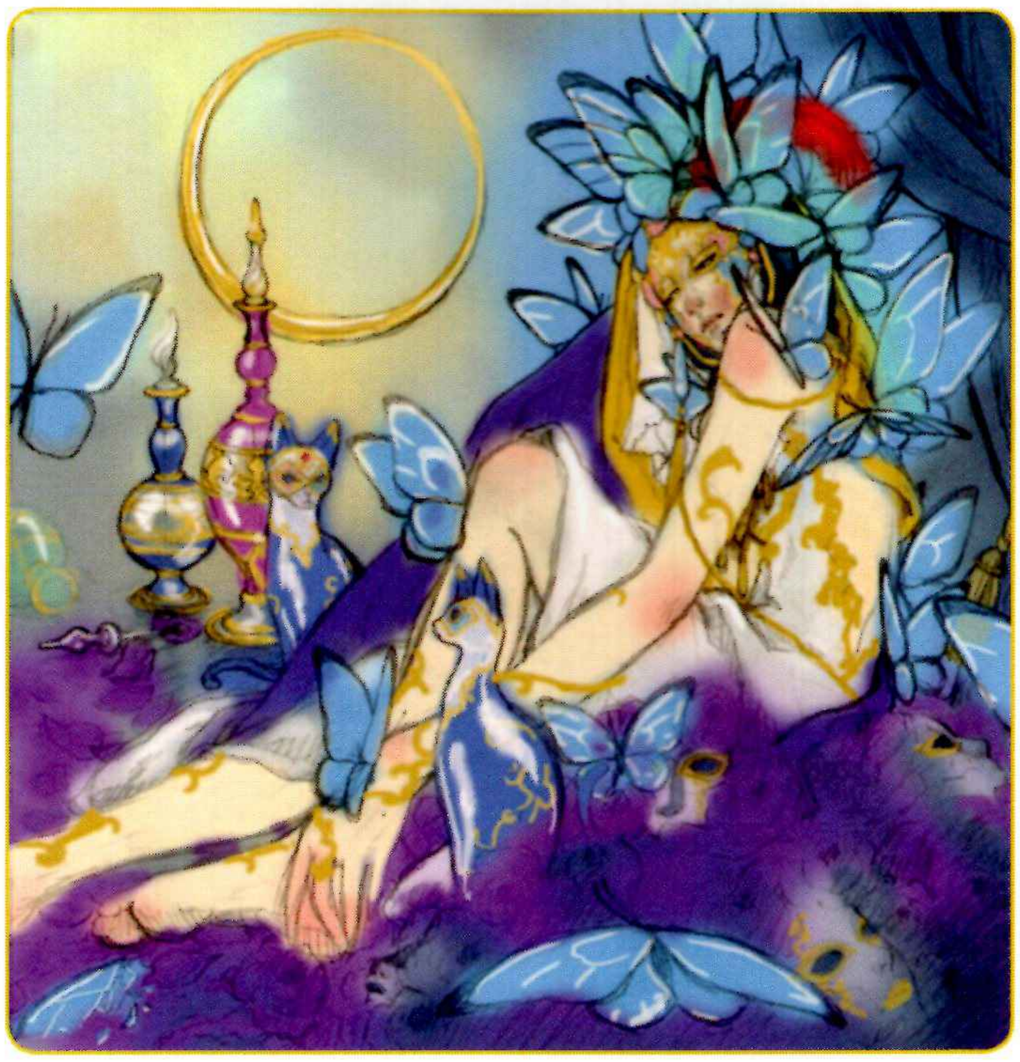
画材：透明水彩絵具（ホルベイン、ウィンザー＆ニュートン）、サクラマット水彩絵具
※本文中では、ホルベイン＝（H）、ウィンザー＆ニュートン＝（W）と表記

用紙：ホワイトワトソン

線画

0.3mmのシャープペンで描いた線画。これに着彩していく。上図のアップ画像を見ると、ハイライトで白くする部分は、あらかじめ絵具が乗らないようにマスキングインクが塗ってある。

色ラフ



ラフ画にデジタルでざっくりと色を置いた大まかな着彩計画。これを見ながら着彩を進めていく。

カゲ見本

ラフに鉛筆でカゲなどをつけたもの。こうやってあらかじめ明暗を設定しておくと、迷わずに塗っていけるのだそう。

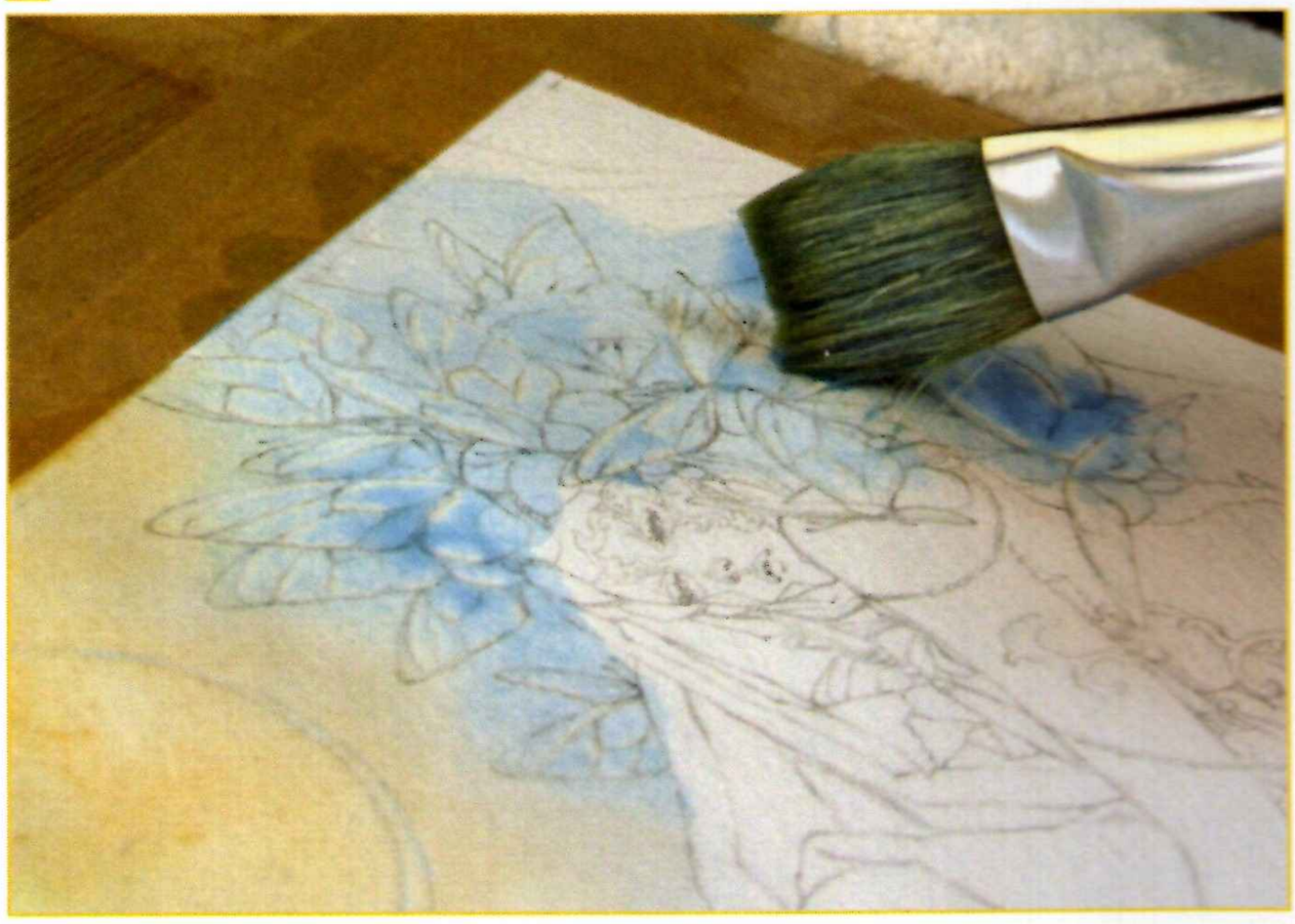
下塗り

最初に下塗りで、画面全体の色みを淡くおいていきます。
にじみや色ムラも意識的につくって、味わいを出すためのテクスチャーにします。

1

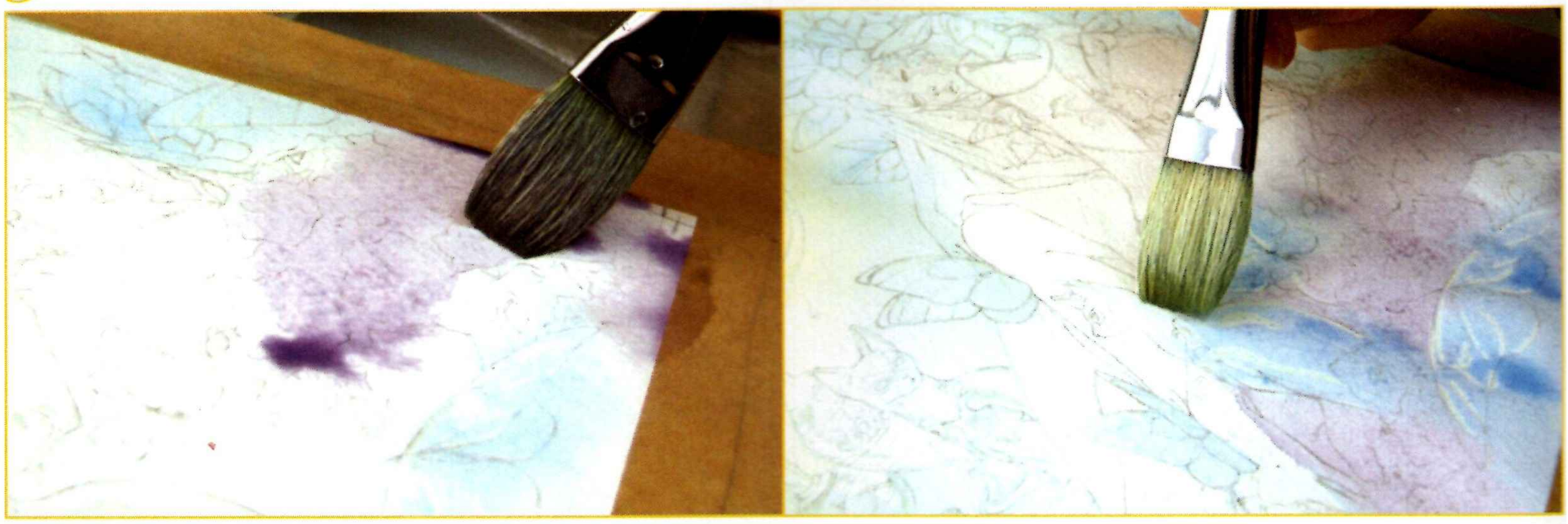
背景部分に水をしき、まず水で薄めたサクラマット水彩のレモン色と黄土色をおく。その２色に暗めの赤ローズマダー（H）を少し混ぜた色もおき、水筆で色をのばすようにしてなじませる。そして、緑がかった灰色デービスグレイ（H）も所々においてなじませる。

2



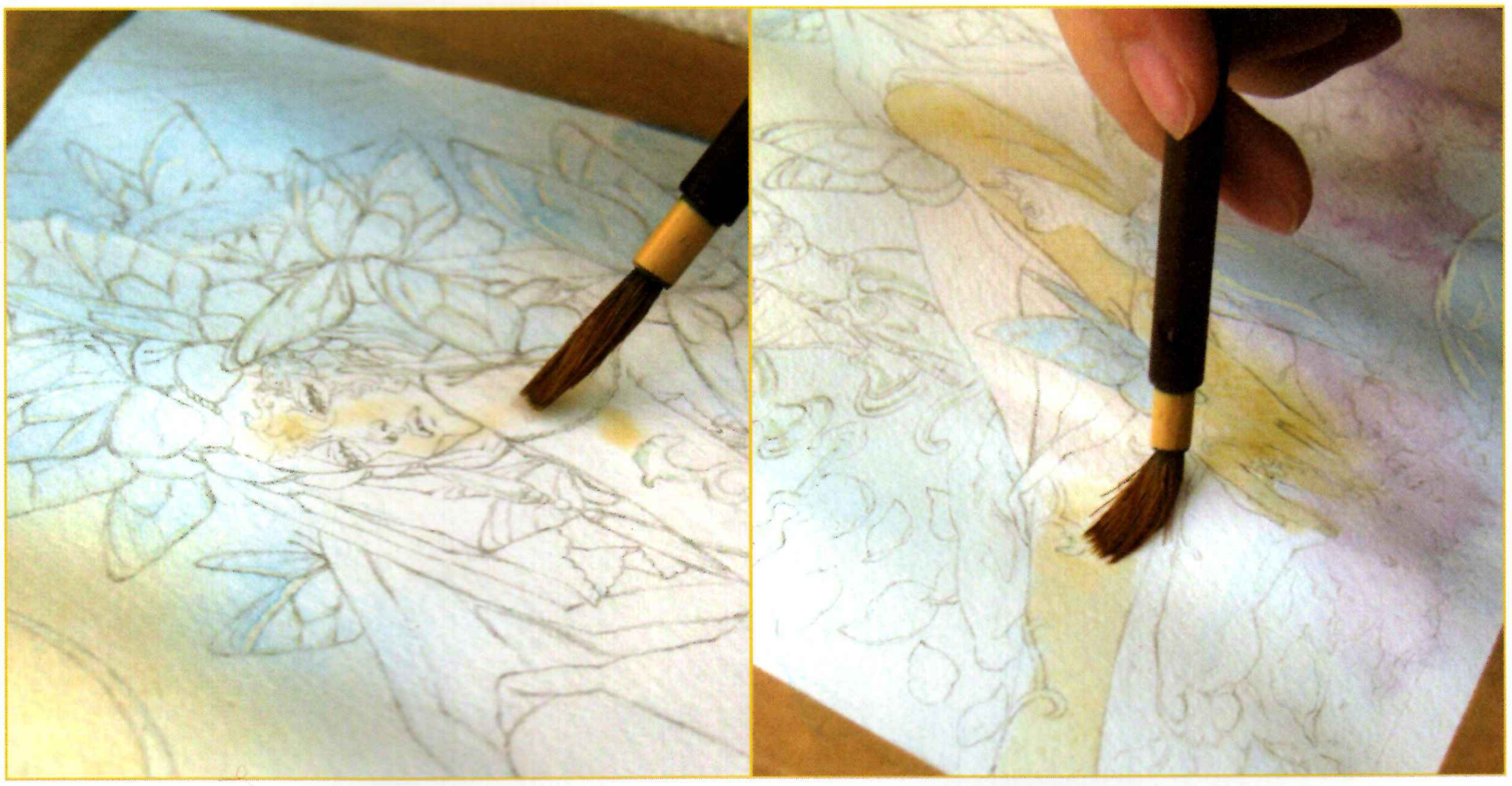
ウィンザーブルー（W）、コバルトブルーヒュー（H）、インジゴ（H）といった色みの違う青３色の混色に水をたっぷり混ぜ、人物のまわり（蝶の部分）を塗る。そして水筆でキワをぼかす。

3



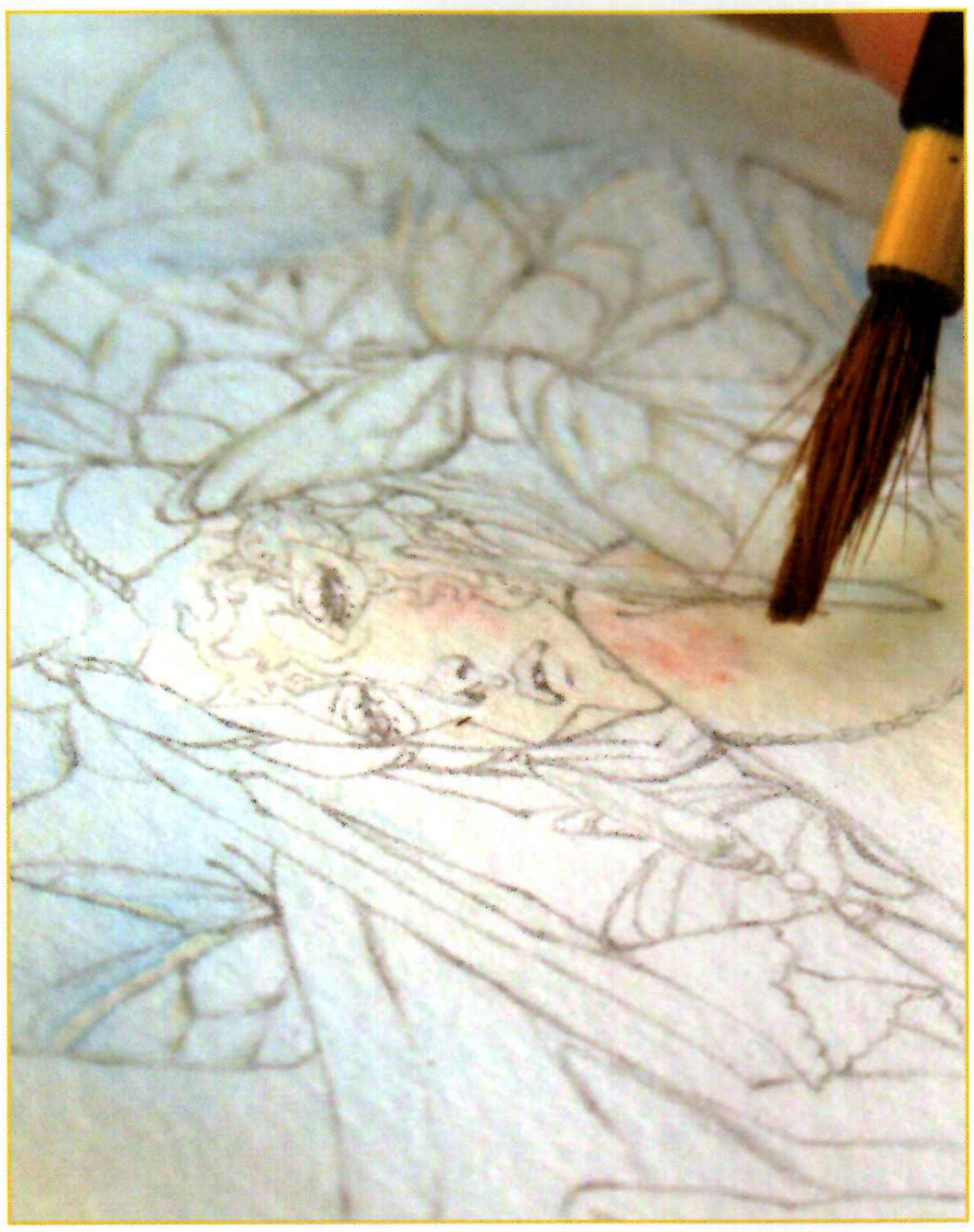
ローズマダーとコバルトブルーヒューを混ぜた紫色で、人物の下、花の部分を塗る。まず水多めで色をおき、まわりに薄く塗りのばすように。そして、２の色で下にある猫の置物や蝶を塗る。キワをボカしてグラデーションに。

4



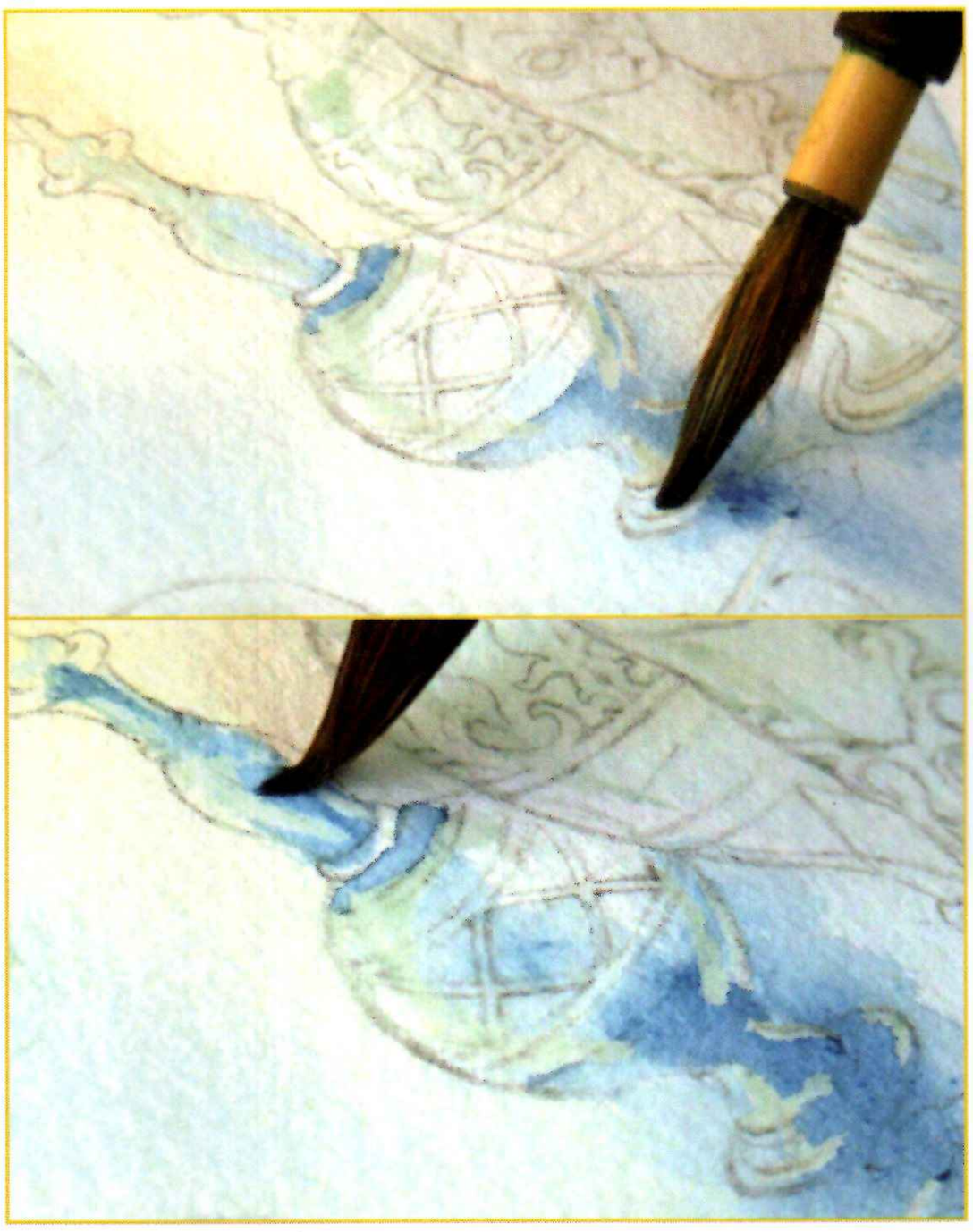
レモン色、黄土色、黄味がかった薄茶色マースイエロー（H）に多めの水を混ぜて肌色をつくる。人物の肌部分に水をしき、肌色を顔と腕から塗っていく。光が当たるところは塗り残す。そして、その肌色にローズマダーを少し加えた色で、今度は足や手も塗っていく。

5



肌色にローズマダーをたっぷり加えた色を水で薄め、頬や肩、肘や膝などに赤みを加えていく。色をおいたらすぐ、水でのばすようにぼかして周囲の肌色となじませる。

6

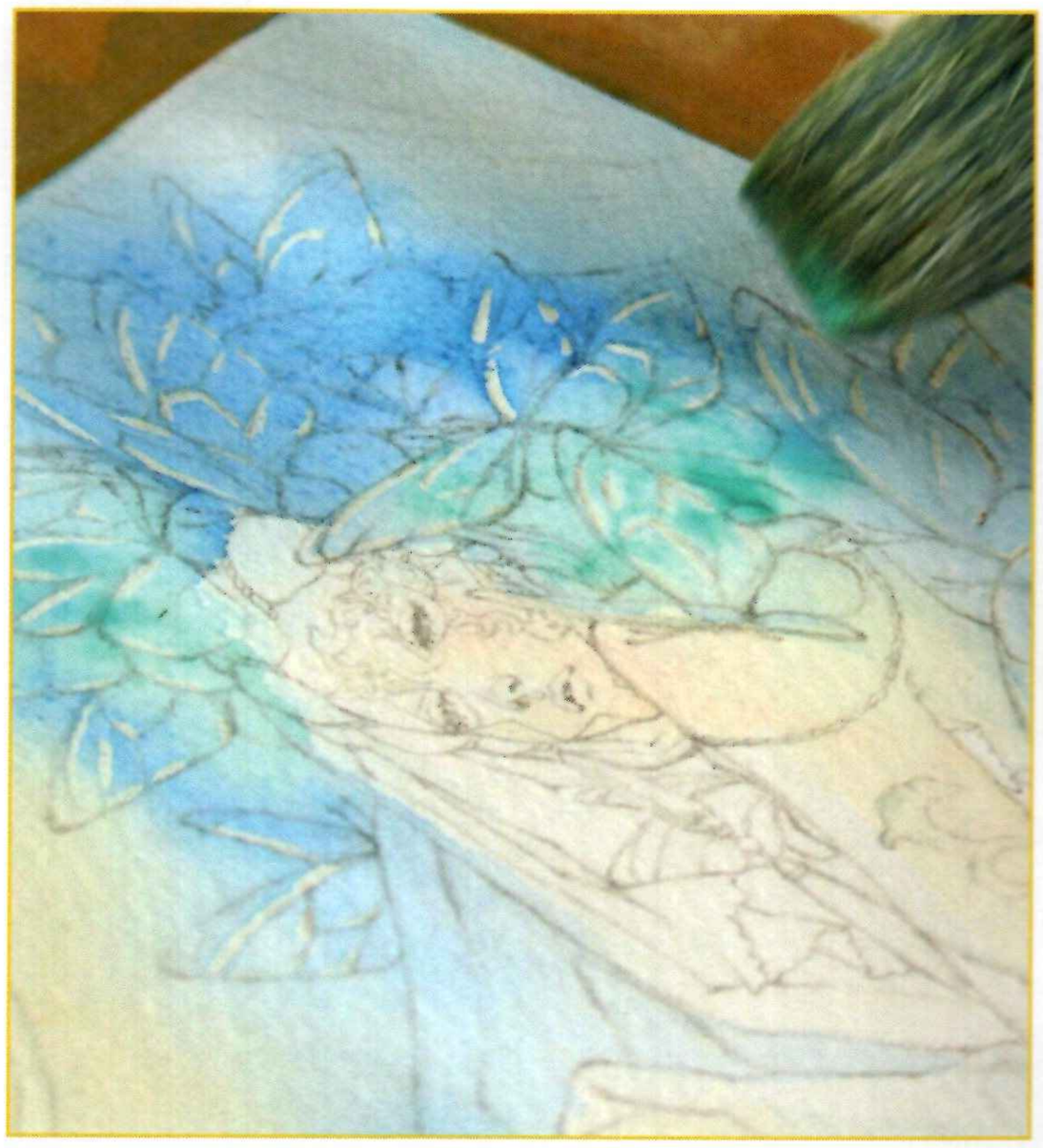


2 で使った青で瓶を塗る。暗くなる部分を中心に色をおき、それを水筆でジワッとのばすようにして塗り広げる。瓶のカゲになるまわりにも色を広げる。そして、それより少し濃い青をつくり、暗くなる部分にさらに重ねる。

下塗り2

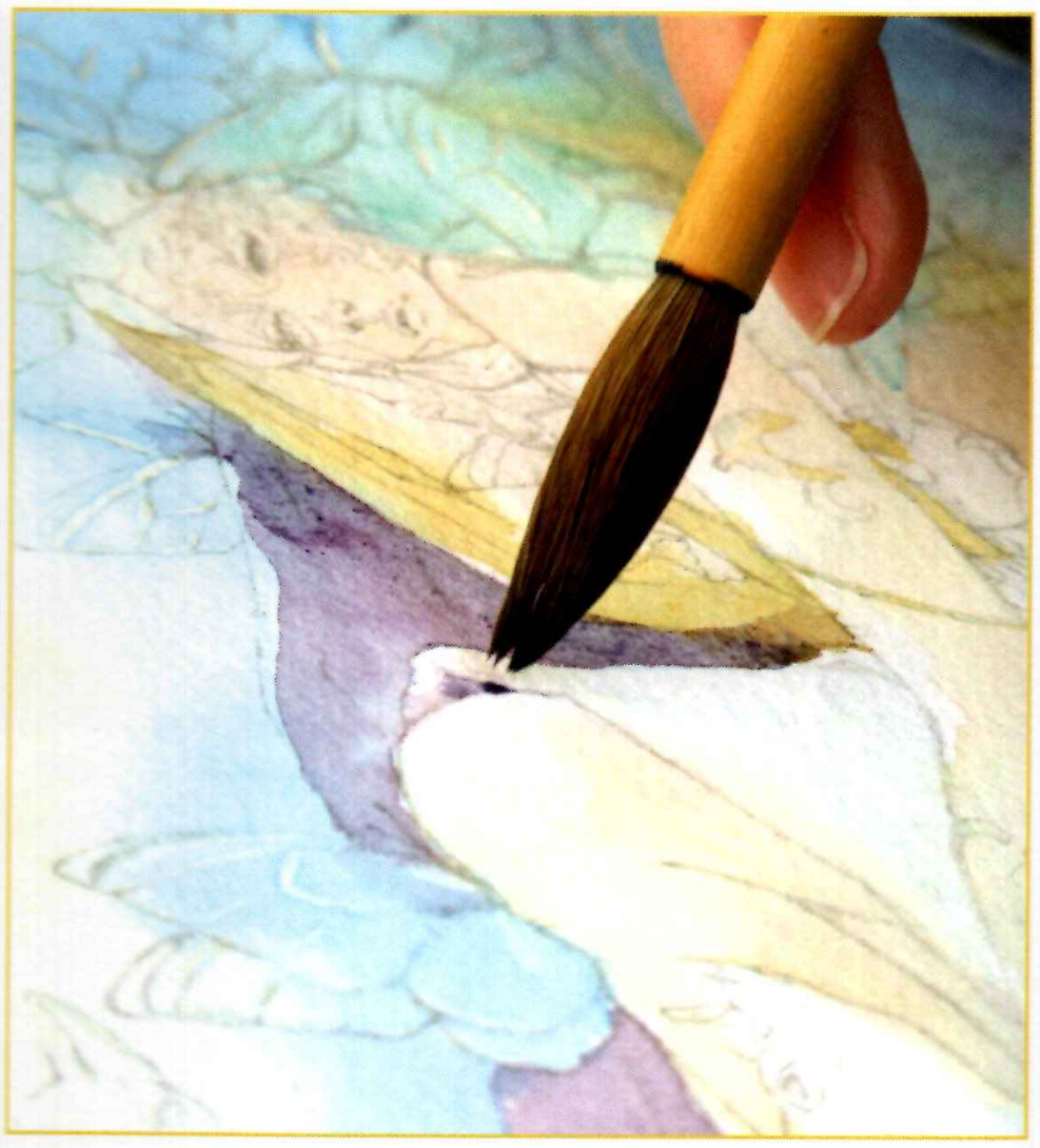
明るい青や青緑を頭の蝶に重ねて鮮やかな色彩に。
人物がまとう布などにも、パーツごとの固有色をおいていきます。

7



ウィンザーブルーとコバルトブルーヒューを混ぜた明るく鮮やかな青を、画面右上のほうに重ねる。水たっぷりで色をおき、水筆でキワをぼかしてグラデーションをつくる。そして明るい青緑コバルトグリーン（H）を蝶の所々に塗る。

8



ローズマダー、インジゴ、ウィンザーブルーを混ぜて暗めの紫をつくり、人物がまとっている布を塗る。色も水もたっぷりめに。そして、インジゴとウィンザーブルーをさらに加えて少し濃い紫をつくり、布のカゲを塗っていく。

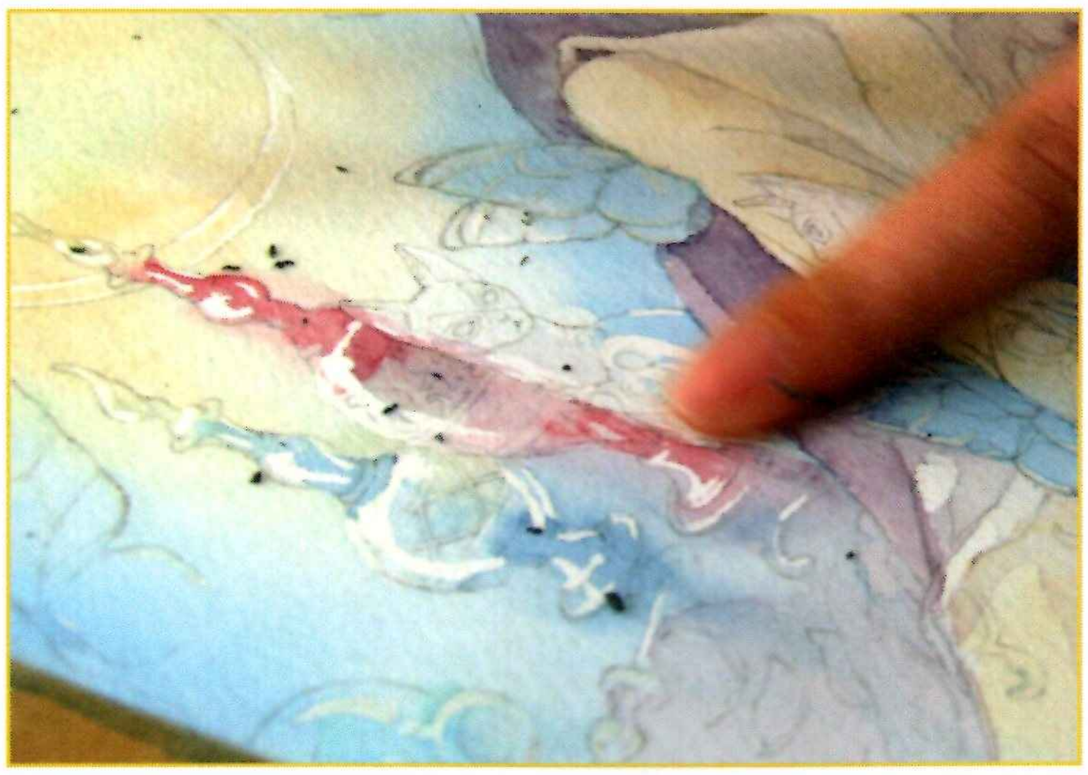
9

下塗り完成
ローズマダー、インジゴ、コバルトブルーヒューでつくった濃いめの紫を、花の部分に所々重ねてにじみをつくったり、画面右上にインジゴ多めの濃い青を重ねてグラデーションにするなどして、全体のバランスを整えたら下塗り終了。

顔を塗る

カゲや頬の赤みを塗って、徐々に立体感を出していきます。
水筆でぼかしながら塗り重ねるのがポイント。

1



下塗りをよく乾かしたら、ハイライト部分にあらかじめ塗っておいたマスキングインクを指でこすり、はがしていく。

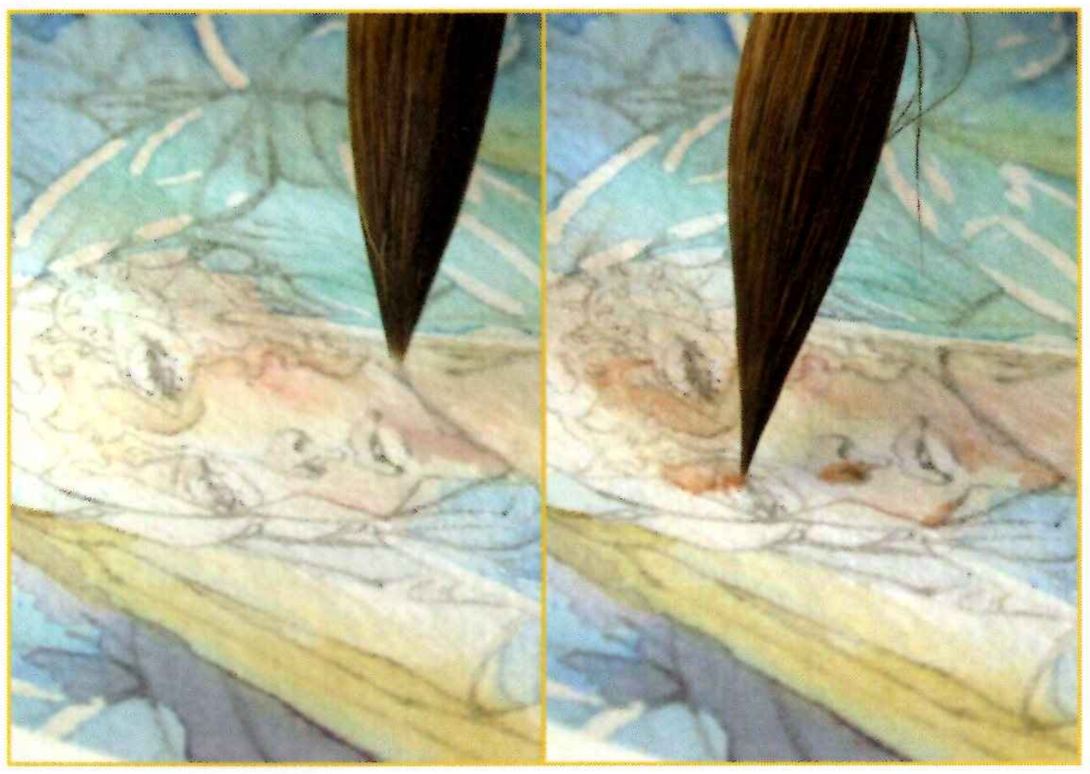
2

マースイエロー（H）と黄土色を混ぜて水で薄め、顔のカゲになる部分を中心に塗っていく。

3

水で薄めたローズマダー（H）で頬の赤みを塗る。筆先でちょんと色をおき、それを水筆でのばしてなじませる。

4

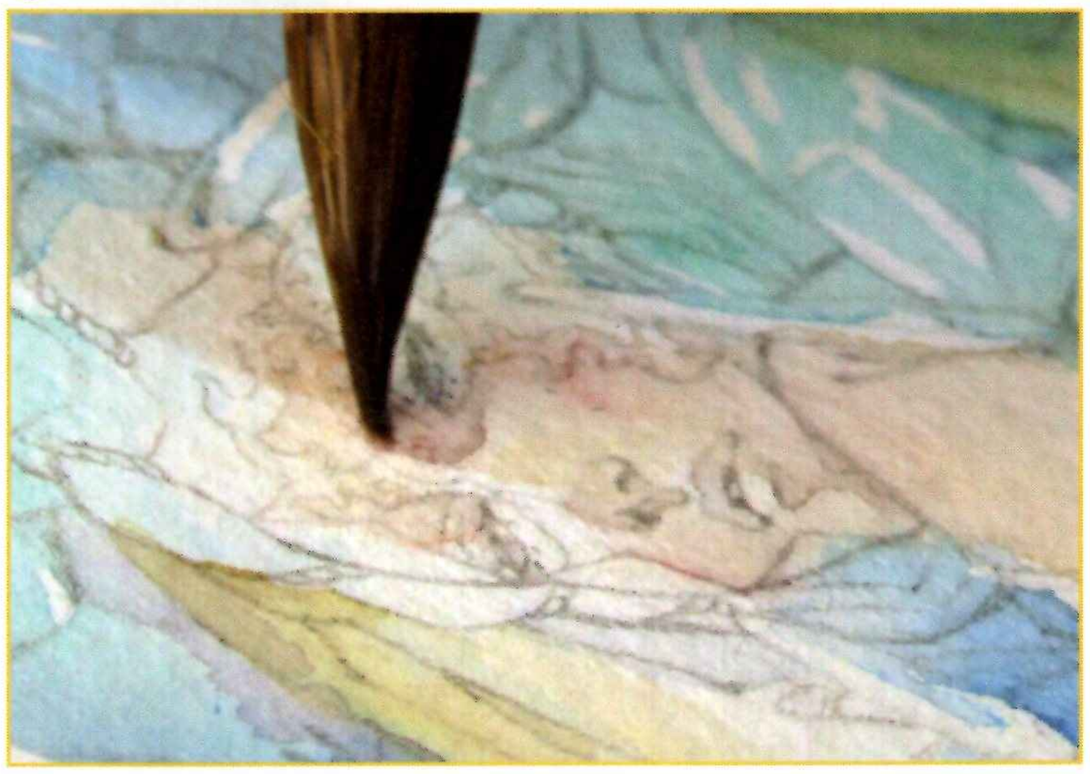


青３色やローズマダー、マースイエローなどを混ぜて、くすんだ紫をつくり、目のキワやあごの辺りのカゲを塗る。そして、ローズマダー、マースイエローを多めに足した色で顔左側のカゲも。キワを水でぼかしながら。

5

くすんだ薄い紫色で、鼻やあごのカゲなどのカゲを塗りこんでいく。徐々に、顔の立体感が表現されてきた。

6



紫のカゲ色で、さらに、目のまわりのカゲを塗り重ねる。最も暗くなるところに色をおき、まわりに塗りのばす。

顔を塗る2

続いて、顔の模様、唇、瞳、目のキワの赤みなども
丁寧に塗り進めて、妖艶さを出していきます。

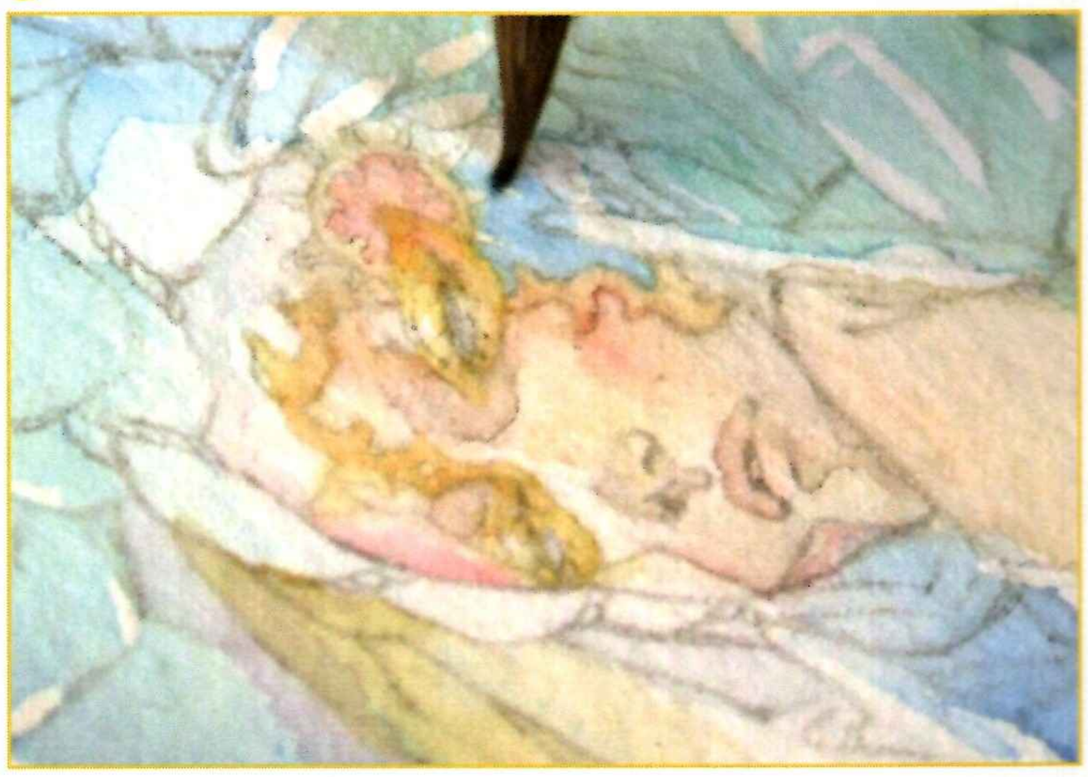
7

ローズマダーを水で薄めた色で、さらに頬の赤みを塗り重ねる。水でジワッとにじませてぼかす。

8

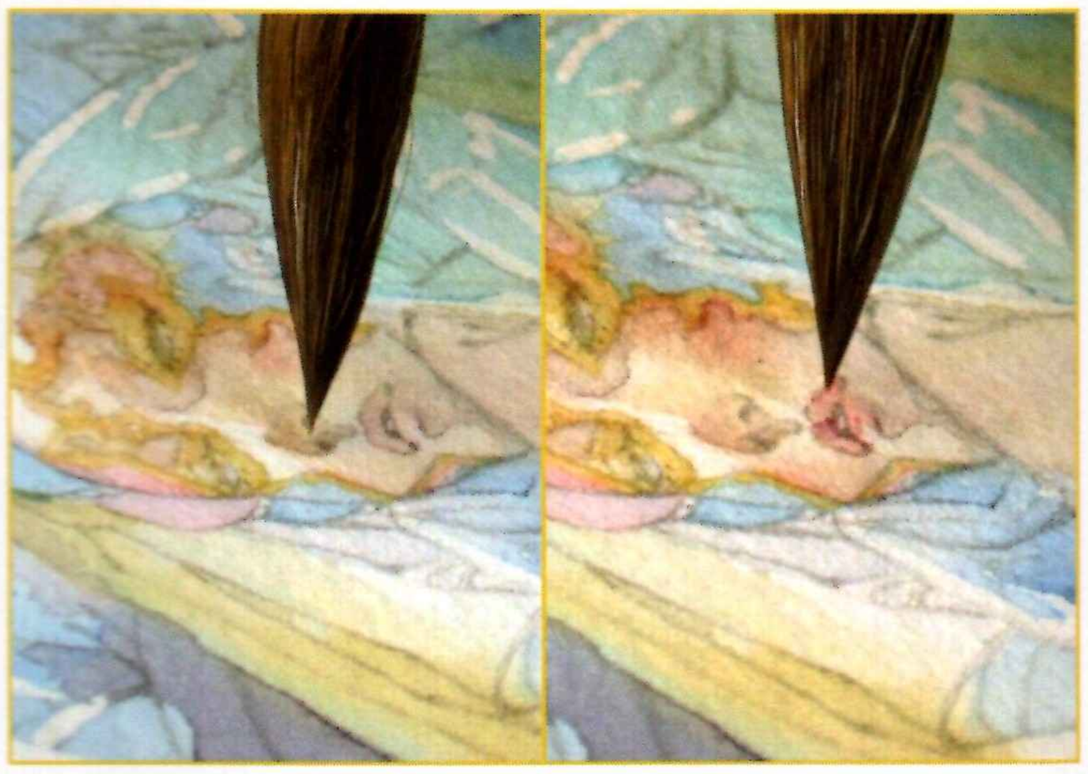
レモン色と黄土色を混ぜてつくった鮮やかな黄色で、顔の模様を塗る。ベネチアの仮面のイメージなのだそう。

9



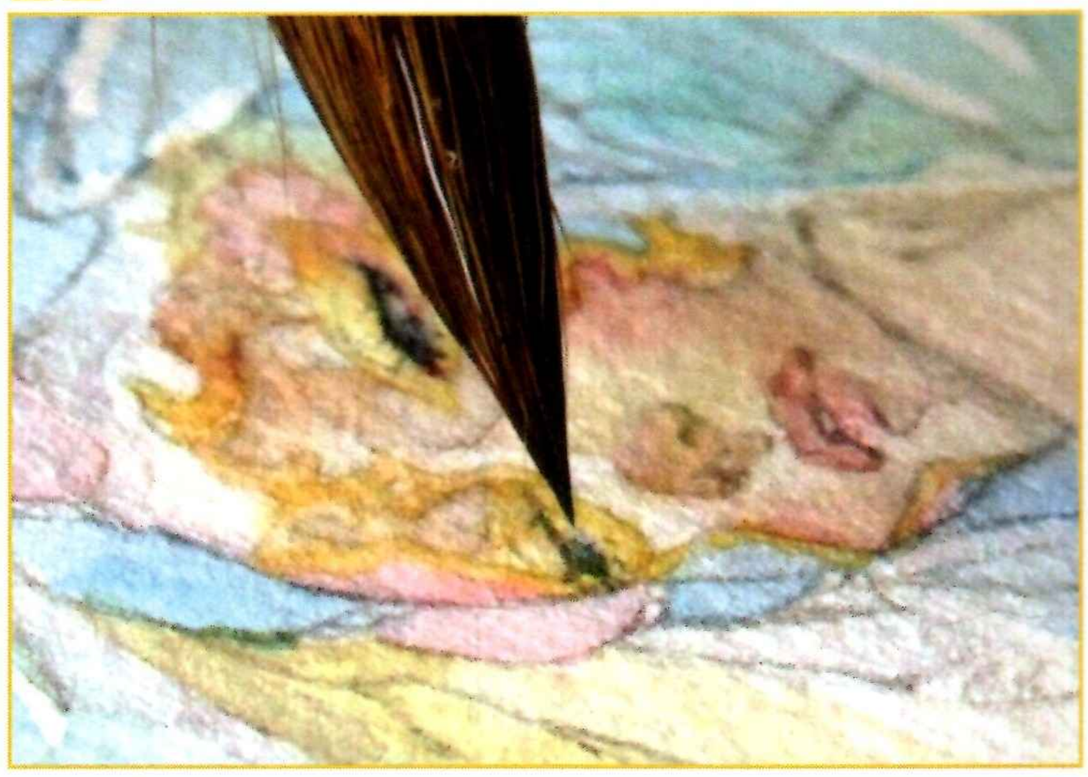
さらにローズマダーと、明るい青のウィンザーブルー（W）で模様を細かく塗っていく。

10



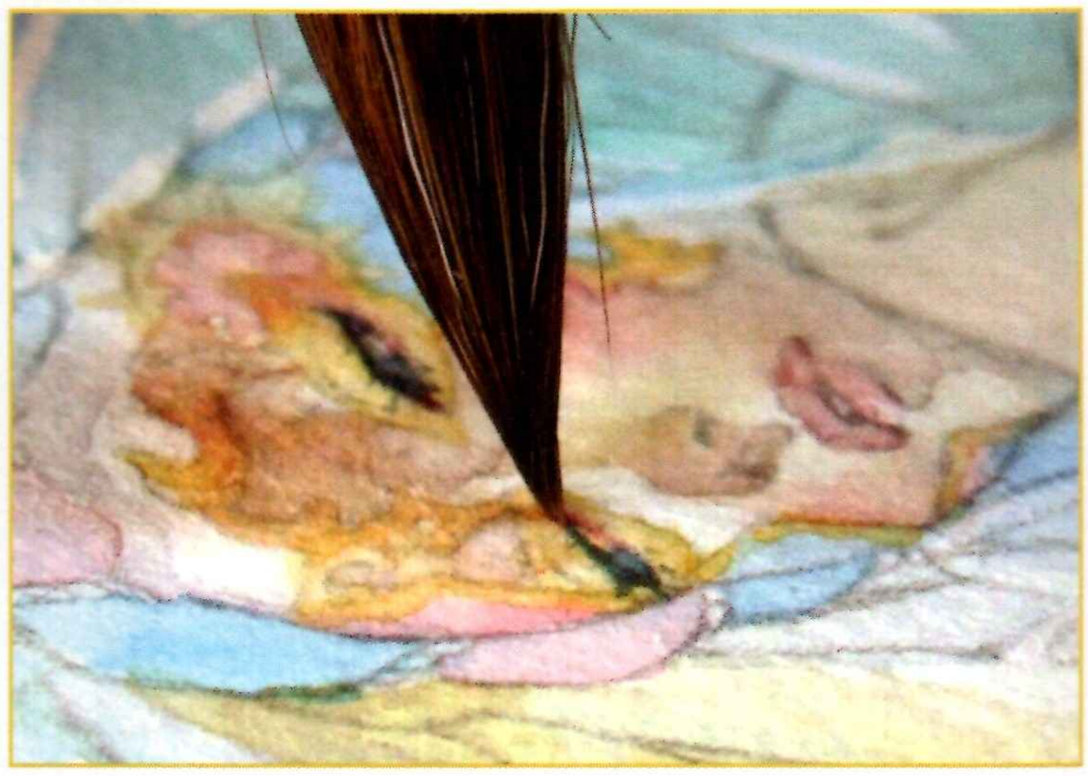
マースイエローと黄土色を混ぜて水で薄めた濃い肌色を、鼻筋から右頬あたりと鼻頭にかけてうっすら重ねる。そして、ローズマダーで頬の赤みをさらに加え、唇も塗る。

11



深い藍色のインジゴ（H）で、目のフチとまつげを描き、瞳を塗る。非常に細かい所だが、表情の要になる重要な部分なので、筆先を使って丁寧に。

12



ローズマダーで、目尻や目頭のキワに赤みを加える。目元がより印象的になり、あどけないながらも、どこか妖艶な表情に。

瓶を塗る

ハイライトの横に濃い青をおいて、
境界をはっきりとさせるとキラッと光っている印象に。

1

ウィンザーブルー（W）、コバルトブルーヒュー（H）、インジゴ（H）を混ぜた濃いめの青を塗る。端は光が当たるので真ん中部分に濃く色をのせる。そして水筆でぼかす。

2

同様に瓶の下のほうも塗る。真ん中とハイライトのキワに色をおき、それをのばすように水筆でぼかす。

3

マースイエロー（H）、レモン色、黄土色でつくった黄色で、瓶の模様を塗る。筆先で丁寧に。そして隣の赤い瓶からの反射光として、所々に赤みを加える。

蝶を塗る

青く透き通った美しい蝶。
羽の色みは、内側から外側に向かって淡くします。

1

インジゴで、蝶の羽の輪郭線と内側の模様の線を描く。

2

ウィンザーブルーとコバルトブルーヒューを混ぜた明るい青を水で薄め、インジゴで描いた線の内側を塗っていく。

3

2の色やコバルトグリーン（H）を混ぜながら何種類か色みの違う青をつくり、水たっぷりめで羽の内側に塗り重ねていく。

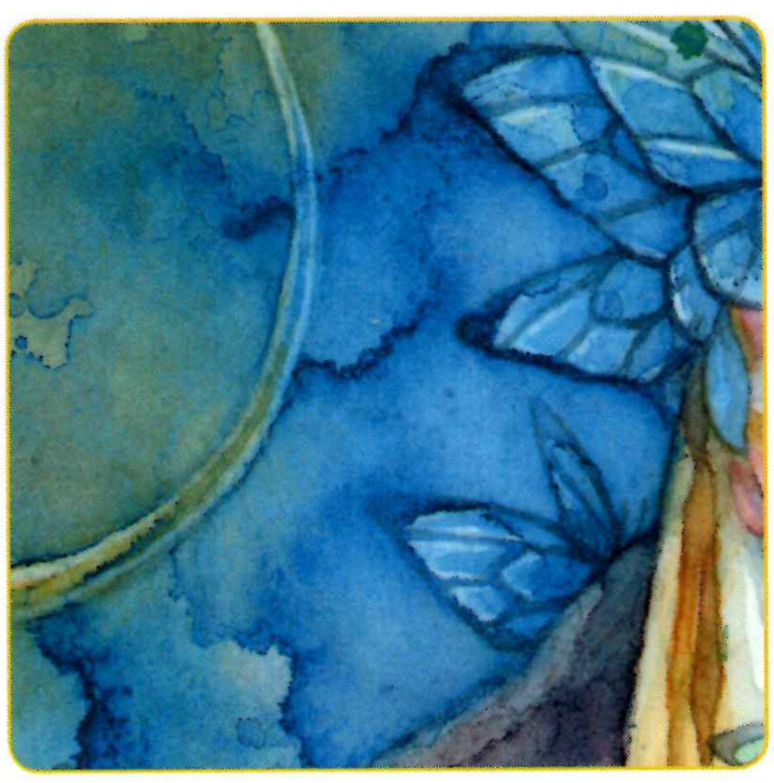
4

インジゴで下の小さい羽にも模様を描き足し、ウィンザーブルーを絵具多めで内側の方に重ねる。

仕上げ

仕上げに、淡い紫や暗めの青を大胆ににじませていきます。
にじみのフチ「水彩境界」を残して幻想的に。

全体を塗り終わったら、仕上げ。人物や花のあたりに、水で薄めた紫を重ね、蝶の部分や背景には、暗めの青をにじませながら重ねていった。画面全体がより深みのある印象に。



完成！

ベネチアの仮面からイメージしたという、幻想的なイラストが完成。少女のようでありながらも、妖艶さを感じさせる人物の表情が印象的です。今回のメイキングを通して、深みのある美しい着彩の要は、丁寧な下塗りにもある事が分かりました。また朱華さんは、マスキングインクを使用してハイライトを残していましたが、これは、後から白い絵具で塗り重ねるより、濁りなく透明感のある表現ができるから、とのこと。是非、皆さんも試してみてくださいね！

Q&A

Q1 透明水彩を使うようになったキッカケを教えてください。

姉が使わなくなった透明水彩をくれた事がきっかけで、興味を持ちました。もともと色塗りはCGだったのですが、目がとても疲れるのが気になって本格的に水彩を始めました。

Q2 透明水彩の好きなところを教えてください。

透明感のある色彩と、自然に出来る美しい滲みがとても好きで使い続けています。アクリルを使った事もあるのですが、厚塗りが私には向いていませんでした。

Q3 好きな色を教えてください。

ホルベインのニュートラルチント、インジゴ、ミネラルバイオレット、セピアをよく使います。暗い色は大体この4色の中から混ぜて塗っています。薄く溶いて、グレーとして使ってもきれいで好きです。ホルベインのコバルトグリーン、マリンブルーもとても好きな色です。上の4色とも相性が良く、使いやすいと思います。

Q4 描くのが好きなモチーフを教えてください。

花や蝶、蛾など、繊細で美しいものを描くのが好きです。また、ロウソクやランプなどの光や、ガラスの透明感なども描いていて楽しいです。

Q5 透明水彩を使い始めた時に難しいと感じたことや困ったことは？

濃い色が上手くのらなくてムラが出来てしまったり、乾くと色が薄くなってしまったりなど、水の量や筆の使い方が難しいと感じました。水の量の調節は、今でも水を使いすぎて思うようにいかない事がよくあります。あと、古い紙を使ったときに斑状に色が滲んでしまい、作品が駄目になってしまった事もありました。

Q6 難しいと感じたことや困ったことを改善するために、気づいたことや工夫したことがあれば教えてください。

水彩を習った事が無く使い方がぜんぜん分かってなかったので、好きな水彩画家さんの技法書を参考に色々試してみました。まだまだ試行錯誤中です。水の量は、一度同じ種類の紙で試し塗りをして様子を見ながら塗ったりしています。あと、使う紙もなるべく湿気の少ないところに収めたりと、保存方法にも気をつけています。

Q7 一枚の絵を仕上げるために、かかる時間を教えてください。

アイディア出しの時間はその時々でかなり違うと思いますが、ぱっと思いつくこともあればだらだらと何日も悩むときもあります。ラフは悩みながら細かく何回も描き直して整えていくので、ものにもよりますが2日ぐらいが多いと思います。線画は早ければ1日かからない事もありますが、迷って手が止まってしまうと何日もかかってしまいます。塗りは1～2週間はかかる事が多いです。締め切りがあるときでも、ギリギリまで描き続けてしまう事も多いです。迷うとすぐに手が止まってしまうので、描くのはかなり遅いほうだと思います。

Q8 絵を描く上で、資料・参考にするものはありますか？

出来るだけリアルに描くために、色々な角度や細かい所まで分かるように写真をたくさん探して描くようにしています。自分の手や足などを参考にすることも多いです。あとは、モチベーションを上げるために、色々な方の素敵な絵をたくさん見て刺激を受けています。

Q9 透明水彩を塗る際の紙の選び方で、どんなことを重視していますか？

今はほぼアルシュの細目を使っています。グラデーションや滲み、ぼかしなど、水彩らしい透明感のある塗りがとてもきれいに出来ると思います。発色や使いやすさを重視して、この紙を使うようになりました。

Q10 朱華さんは、イラストに白いままの空間はあまり残さず、すみずみまで色を塗った画面作りが印象的です。画面を端まで塗って世界観を作り出すことの効果や、塗りの密度で意識していることがあれば教えてください。

画面全体を塗る事で、広がりを感じる絵になるよう意識しています。しっかりとした描き込みや大きな滲み模様を作る事で、画面の外に広がる世界まで想像できるような絵になってくれれば、と思っています。最近は白背景の絵を描くことも増えていますが、やはり薄い色で画面の外に続く滲みを所々に作るように塗っています。

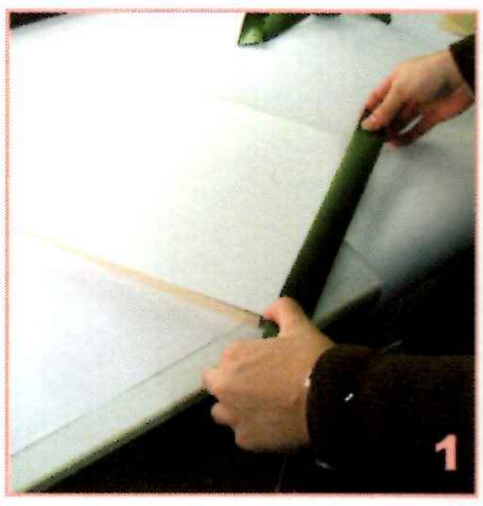
水張りを
してみよう

水彩で絵を描くと、紙が波打って困ることがあります。紙が波打っていると、絵具が均一に塗れなくなる、コピーやスキャンをする際に凹凸のカゲが出てしまう、などの問題に。それを防ぐために、紙に水を含ませて板に固定する「水張り」をしてみましょう。

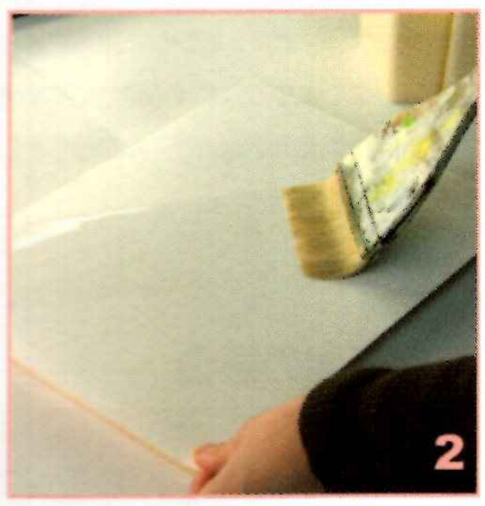
水張りとは？
水張りは水を含ませた紙をのばして、全体にひっぱりながら固定する作業です。紙は乾いたら、元の大きさに戻る習性を持つので、板に固定することで波打った状態にならず、ピンと紙が張ってくれます。そうすると、水の量を多くした絵でも、乾くと紙が張って、ペコペコにならず綺麗に仕上げることが出来ます。

▲水張りをせずに色を塗ったイラスト。水を吸って紙が反っている。紙がペコペコになると人物や背景も塗りづらい。

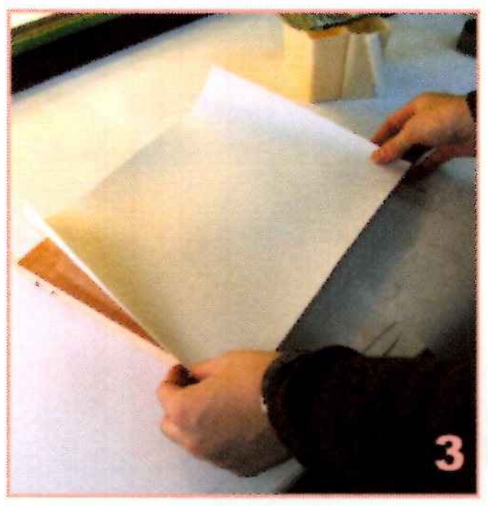
水張りに必要な道具　·ハケ（安価なもので ＯＫ）·パネル（画材店などで購入できる板）· 水張りテープ（水張り専用のテープ。裏側にのりが付いている）
★この他に、水張りしたい紙を用意（板の寸法よりも大きいサイズのものが必要です）



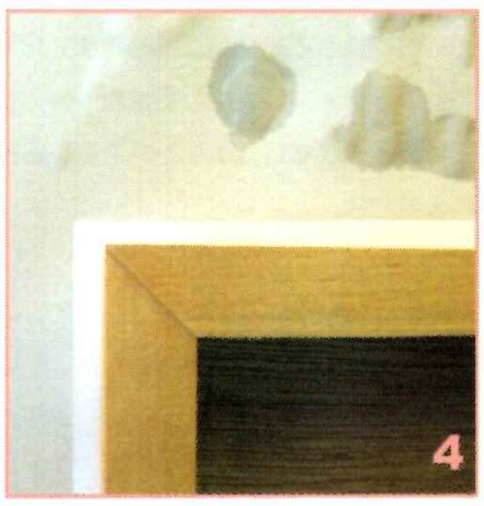
水張りテープを板の長さに合わせて切り、４本準備する。板のサイズより２㎝くらい長くめに切ると良い。



紙の裏面にハケで水を塗る。まず×を描くように塗り、その後ハケを左右に動かしながら水を全体に広げていく。

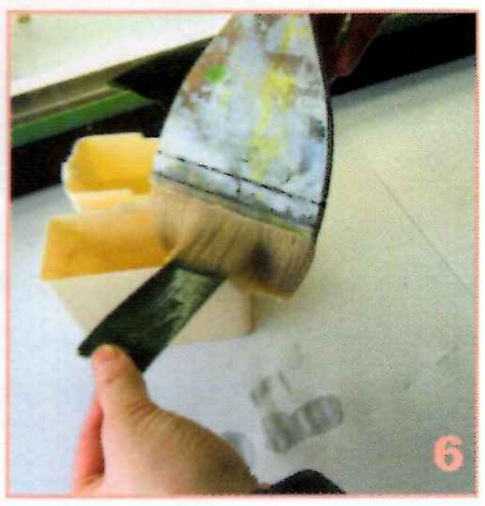


水が浸透したら紙をひっくり返し、水を塗った面を下にして板の上に置く。



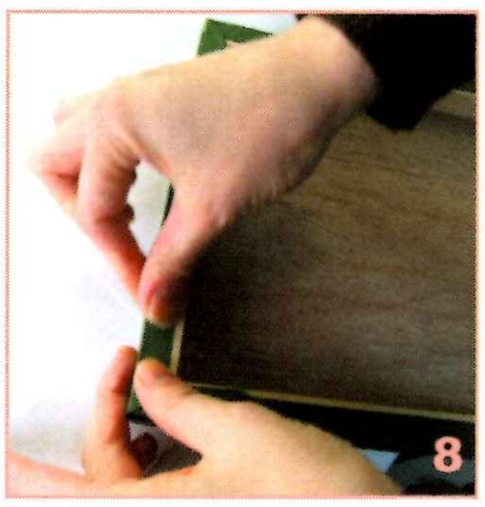
このとき、板からの紙のはみ出しが四辺とも均一になるように、裏側からもチェック。

板からはみ出している紙を折り込むように押さえて、角の形を出していく。

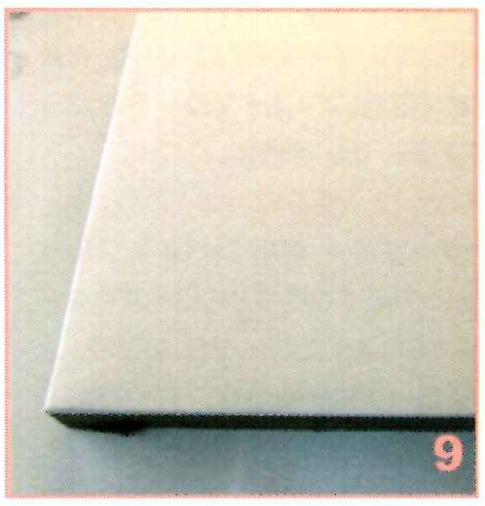


水張りテープにハケで水をつける。

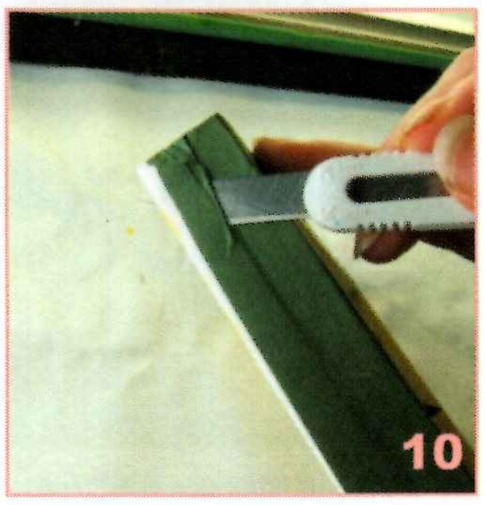
板の側面に１本ずつ水張りテープを貼り、紙を固定していく。紙にたるみができないようひっぱりながら。



余った水張りテープは板にそって内側に貼っていく。

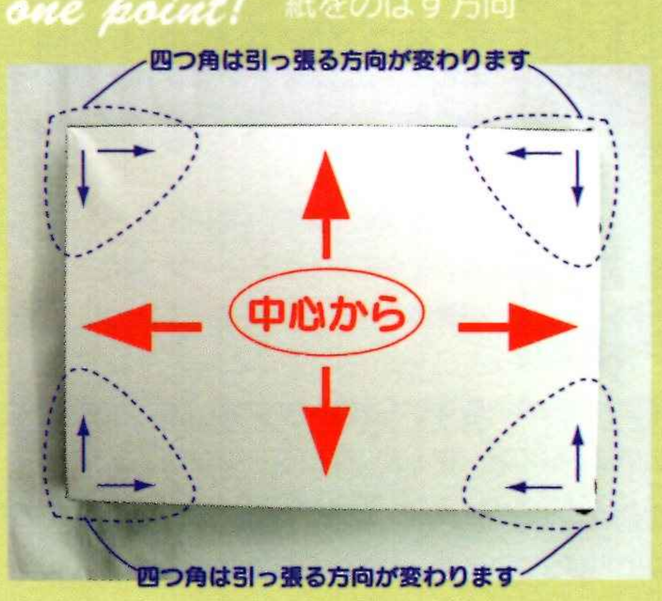


［水張り完成］よく乾かし、紙がピンと張ったら完成。紙を張る際にひっぱりが足りないと、乾いた時シワになる事もあるので注意。



イラストの完成後は、カッターでパネルから絵をはがす。カッターの刃を板と紙の間に差し込み、紙のはじに合わせて切っていく。

one point! 紙をのばす方向



綺麗に水張りするために一番重要なポイントは、水張りテープで紙を固定するときです。紙を均一に張るには、紙の中心から上下左右に体重をかけながら、手でのばしていきます。四つ角をのばすときは、中心からではなく、角から外側に向かって紙をのばすと、角にしわが出来にくくなります！

肌って何色で塗ればいいの？

キャラクターをつくる上で重要な「肌」の色選び。メイキングブックで紹介してきたように、「肌」と言っても、透明感のある肌、艶っぽい肌、リアルな陰影が入った肌など様々な表現があり、色や塗り方でキャラクターの印象も変わってきます。今回、肌の色で多く使われていたのは、淡い黄色みのジョーンブリヤン No.2（ホルベイン）。ただ、ほとんどの場合は単色ではなく、ピンク系を混色して塗られていました。ここでは、メイキングブックの作家たちが、どんな色を使っていたのかを振り返りながら、「肌」を何色で塗れば良いのか改めて考えてみましょう。

ホルベイン…（H）／月光荘…（月）／ウィンザー＆ニュートン（W） ※全て透明水彩絵具

友風子さんの場合

類やカゲ（淡い肌色）
ブリリアントイエローディープ（月）
類やカゲ（濃い肌色）
ジョーンブリヤン No.2（H）
ブリリアントイエローディープ（月）
の混色
類
コーラルレッド（月）
ブリリアントイエローディープ（月）
の混色

透き通った着彩が魅力的な友風子さんの肌は、ベースを紙地の白にして、頬やカゲなどに色を塗っていました。肌の色は月光荘の絵具がメイン。淡い肌色と濃い肌色を重ねてグラデーションにした後に、頬にピンク色をのせてなじませるという手法。肌全体に色をのせずに、ポイントで色をおいてグラデーションにするのが友風子さんの肌の特徴です。

うめつぼみさんの場合

肌
ジョーンブリヤン No.2（H）
ブリリアントピンク（H）
の混色
頬
上記混色とブリリアントピンク（H）
の混色

愛らしいフォルムで描かれたうめつぼみさんの女の子の肌は、ジョーンブリヤン No.2 と薄桃色のブリリアントピンクの混色で塗られています。顔の塗りは、まず水をしいてから、両頬をつなぐようにして顔の中心にも肌色をのばすのがポイント。頬の赤みも、水たっぷりめでぼかすように塗って、ふんわりとした肌に仕上げます。

ましきさんの場合

肌
ジョーンブリヤン No.2（H）
シェルピンク（H）の混色

艶のある少年少女を描くましきさんは、ジョーンブリヤン No.2 とシェルピンクを混色した色を使っています。たっぷりの水で絵具を溶いて薄い肌色をつくり、最初はごく薄い色で塗って、少しずつ色を濃くしていきます。唇も、肌色にシェルピンクを少し多めに混ぜた色を使用。シンプルな色で、ナチュラルな肌に仕上げていくのがましきさん流の塗り方。

にびさんの場合

肌
ジョーンブリヤン No.2（H）

前髪のカゲ
シェルピンク（H）

にびさんは、空間に広がる色で人物のシルエットを浮き立たせるという画面作り。人物は白をベースにしているので、肌の塗りはとてもシンプルです。カゲになる部分を中心にジョーンブリヤン No.2 をおいて、水筆で塗り広げ、前髪のカゲにもシェルピンクを重ねてぼかす、という工程でした。赤い主線と、カゲ色のシェルピンクがよくなじんでいます。

七神マナさんの場合

肌
ジョーンブリヤン No.2（H）
シェルピンク（H）の混色
カゲ
上記混色とウィンザーブルー（W）
の混色
頬
カドミウムイエローオレンジ（H）
カドミウムレッドディープ（W）
の混色

柔らかな肌の塗りが魅力的な七神マナさんは、最初に水をしいてから、顔にまんべんなく色を塗るので、肌のベースはマットな印象。使っているジョーンブリヤン NO.2 とシェルピンクの混色は、ましきさんと同じ色ですが、配色のバランスや塗り方、水分量が違うので、全く違う印象に仕上がっています。また、七神さんは、頬に明るいオレンジ系、カゲ色に青みのグレーという色選びも特徴的。

朱華さんの場合

肌ベース／レモン色、黄土色、マースイエロー（H）
顔のカゲ／マースイエロー（H）と黄土色の混色、マースイエロー（H）ローズマダー（H）の混色
目のキワ、あご辺りのカゲ／ウィンザーブルー（W）コバルトブルーヒュー（H）インジゴ（H）ローズマダー（H）マースイエロー（H）の混色
頬／ローズマダー（H）

リアルな着彩で人物を描く朱華さんは、黄色みがかった薄い茶色のマースイエローを肌のベースにして、そこに複数のカゲ色を重ねることで、立体的な塗りに仕上げていました。カゲの色には、黄土色、赤みのある黄色、くすんだ紫色などを使用。また、頬の赤みにピンク系ではなく、深い赤のローズマダーを使うことで大人っぽい印象になっています。

おわりに

『ＳＳイラストメイキングブック ～ＳＳ illust making book ～水彩 vol.01』、いかがでしたでしょうか？　まず表紙の友風子さんによる、透き通った色彩を生み出す繊細なテクニックにはじまり、淡い色の中にコントラストをつけて、キラキラした光やイノセントな存在感を描いてくれたましきさん、にじみやグラデーションのワザをきかせて人物の彩り方を見せてくれた七神マナさん、カラフルな下塗りからはじまる、わくわくするような画面を作り上げてくれたうめつぼみさん、色が鮮やかに広がったドラマチックなにじみを描いてくれたにびさん、そして、タッチを重ねてリアルで深みのある人物を仕上げてくれた朱華さん。水彩のにじみやグラデーションなど、幅広い表現から、実に多様なテイストでイラストを描けることがわかったと思います。みなさんもぜひ本書を参考に、気になるテクニックを試しながら、水彩の夢のような彩りを楽しんでイラストを描いてみてください！

SS イラストメイキングブック

～ SS Illust making book ～

水彩 vol.01

スモールエス編集部・編

2015 年 8 月 25 日　第一刷発行

カバーイラスト　友風子

収録作家　友風子／ましき／七神マナ／うめつぼみ／にび／朱華

編集　　赤城早苗

デザイン　　水谷文香

発行人　左田野渉

発行所　株式会社 復刊ドットコム

〒 105-0012　東京都港区芝大門 2-2-1 ユニゾ芝大門二丁目ビル

代表　　電話 03-6800-4460

編集部　電話 03-6450-1185

印刷・製本　図書印刷株式会社

©fukkan.com 2015

printed in japan

ISBN 978-4-8354-5240-1　C0076

本書の無断複写、複製（コピー）、転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

落丁・乱丁の場合は送料当方負担でお取り替えいたします。

定価はカバーに表記してあります。